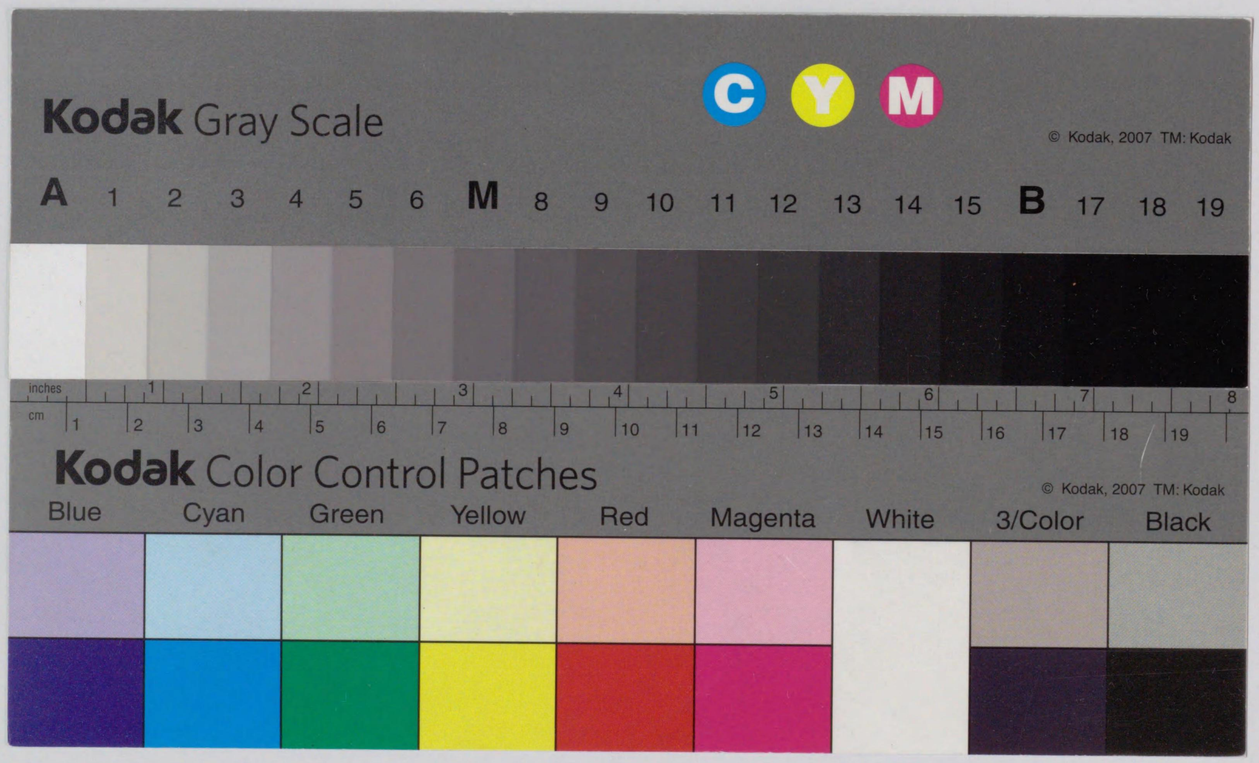

Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black

638
8 1/1

63
81

村越三千男編並画

内外植物原色大圖鑑

第九卷

東京　内外植物大圖鑑刊行會　發行

638-81

第九卷所載科名目次

顯花植物(管精有胚植物)部

裸子植物亞部

單子葉門

微子群 *MICROSPERMAE* 1

1. らん(蘭)科 Orchidaceæ 1
2. ひなのしゃくぢゃう(雛錫杖)科 Burmanniaceæ 45

シャウガ群 *SCITAMINEAE* 46

1. くずうこん(葛鬱金)科 Marantaceæ 46
2. だんどく(曇華)科 Cannaceæ 49
3. しゃうが(薑)科 Zingiberaceæ 50
4. ばせう(芭蕉)科 Musaceæ 58

ユリ群 *LILIFLORAE* 60

1. あやめ(鳶尾)科 Iridaceæ 60
2. やまのいも(薯蕷)科 Dioscoreaceæ 73
3. たしろいも(田代薯)科 Taccaceæ 77
4. ひがんばな(石蒜)科 Amaryllidaceæ 78
5. ゆり(百合)科 Liliaceæ 86
6. びゃくぶ(百部)科 Stemonaceæ 139
7. ゐ(燈心草)科 Juncaceæ 140

内外植物原色大圖鑑卷之九

顯花植物(管精有胚植物)部

裸子植物亞部

單子葉門

微　子　群

1. ら ん(蘭)科 ORCHIDACEÆ.

本科に屬する植物は凡て草本にして．球莖・塊莖・鱗莖等を有す。葉は互生或は對生し．肉質・草質又稀に鱗狀にして通常全緣なり。花は通常兩性にして初は左右相稱をなせども．後に變化して相稱をなさざることあり。單生するか或は穗狀或は總狀花序をなす。花被は6箇の片より成りて2層に排列し．子房の上に位し．外層の3片は萼片にして同形なるか或は殆んど同形をなし．內層の3片は花瓣にして．其側部の2箇は同形をなせども．他の1箇は種々の形狀をなし．往々距を具ふ．之を唇瓣と稱す。雄蕊は內外2輪より成れども．通常花粉を有するは1箇又は2箇或は甚だ稀に3箇のみにして．他は不完全なり。雌蕊は3箇の結合せる心皮より成り．子房は下位にして．通常1室稀に3室を有し．多數の微細なる倒生卵子を含む。果實は蒴にして．細微なる無胚乳種子を藏す。

1 はくさんちどり

本科には410屬．凡7200種の植物を含有し．多くは熱帶及溫帶地方に產し．本邦には自生品及栽培品を合せて95屬．凡450種を產す。

本科所載植物名目次

アヲサギサウ……6035
アヲスズラン……5991
アヲチドリ……6113
アヲテンマ……6004
アヲトンボ……6035
アヲフタバラン……6060
アヲモヂズリ……6122
アカクラエビネ……5913
アカヌマラン……6039
アカメソシン……5954
アキアサヒラン……6042
アケボノシユスラン……6009
アサヒエビネ……5917
アサヒゴテフ……6092
アサヒラン……5904
アサマサウ……5992
アツモリサウ……5966
アフヒボクロ……6076
アリドホシラン……6071
アリマサウ……5992
アリマラン……5899
アルマン……5922
イイヌマムカゴ……6099
イチエフコラン……6068
イチエフチドリ……6030
イチエフラン……5897
イチエフラン……5976
イチゲイチエフラン……5976
イトウエビネ……5925
イトウセキコク……5986
イトヒキサギサウ……6038
イハキチドリ……5894
イハチドリ……6028
イハラン……5899
イブキチドリ……6029
イリモテラン……5932
インドアツモリサウ……5973
ヴアニラ……6133
ウスベニゴテフ……6070
ウテフラン……5899
エゾエビネ……5923
エゾスズラン……5991
エゾノクマガイサウ……5969
エビネ……5912
オキナハチドリ……6027
ヲクラ……5904
ヲサラン……5995
オニノヤガラ……6003
ヲノヘラン……5896
オホヲサラン……5996
オホキバナアツモリサウ……5971
オホシユスラン……6020
オホバキソチドリ……6108
オホバナセキコク……5984
オホバノカンラン……5940
オホバノトンボサウ……6100
オホバノヤウラクラン……6078
オホフタバラン……6059
オホミヅトンボ……6036
オホムカデラン……6118
オホヤマサギサウ……6104
カウキセキコク……5984
カキラン……5989
カゴメラン……6011
カシノキラン……6116
カツトレヤ・モツシエー……5930
カモメサウ……6030
カモメラン……6017
カモメラン……6030
カヤラン……6126
カラフトアツモリサウ……5971
カラフトスズラン……5990
ガンセウラン……5934
ガンゼキラン……6088
カンボウラン……5962
カンラン……5939
キエビネ……5922
キサンラン……5992
キソエビネ……5915
キソチドリ……6107
キバナアツモリサウ……5970
キバナノセキコク……5979
ギヨクチンラン……5952
キリシマエビネ……5918
キンギンサウ……6023
キンケイラン……6087
キンセイエビネ……5919
キンセイラン……5919
キジヤウラク……5933
キンラン……5992
ギンラン……5993
キンリヨウヘン……5955
クシロチドリ……6040
クマガイサウ……5972
クモキリサウ……6045
クモチリサウ……6045
クモラン……6026
クモラン……6124
クワクラン……6086
クワラン……5924
ゲイシヤウラン……5946
コアツモリサウ……5968
コイチエフラン……5988
コクラン……6052
コケイラン……6084
ココリン……5958
コテフセキコク……5981
コテフラン……5899
コバノトンボサウ……6101
コバラン……5936
コフタバラン……6058
コホロギラン……6123
コラン……5915
コラン……5945
コンリンザイ……5957
サイハイラン……5937
サカネラン……6073
サガミラン……5964
サギサウ……6032
ササエビネ……6084
ササバギンラン……5994
ササバラン……6048
サトウヅラ……6018
サハトンボ……6037
サハラン……5904
サボテンセキコク……5985
サルメンエビネ……5923
サレツプ……5900
ジガバチサウ……6057
シカフラン……5931
シカンラン……5941
シケイ……5905
シデラン……5908
シプリペデユーム・カロスム・サンデリー……5974
シプリペデユーム・ピツチエリアヌム……5975
シマクモキリサウ……6046
シマサキラン……5945
シマササバラン……6049
シマシユスラン……6015
シマツレサギ……6094
シマホウサイ……5950
シマモクコク……5983
シマラン……5965
シヤウジヤウラン……6119
ジヤカウサギ……6098
ジヤカウチドリ……6098
シユスラン……6007
シユンラン……5949
シヨウキラン……6134
シラネチドリ……5894
シラン……5905
ジラン……5950
シルレルコテフラン……6092
シロウマチドリ……6102
シロタヘセキコク……5980
シロテンマ……6006
シロバナアツモリサウ……5967
シロバナシラン……5907
シロバナネヂバナ……6121
シロバナハクサンチドリ……5895
シンコバナ……6120
ジンバイサウ……6097
スズムシサウ……6050
スズメラン……6080
スズラン……5989
スルガラン……5950
セイカンラン……5942
セイタカスズムシ……6055
セキコク……5978
セキラン……5899
ソシンラン……5953
ソノエビネ……5921
ダイサギサウ……6033
タイフウラン……6000
タイヘイラク……5984
タイリンコクラン……6053
ダイワウラン……6130
タイワンモクコク……5983
タカツルラン……6002
タカネサギサウ……6105
タカネシユスラン……6014
タカネトンボ……6095
タカネフタバラン……6063
タカノハ……6045
チクカクラン……6056
チクケイラン……6056
チケイラン……6056
チシマアヲチドリ……6112
チドリサウ……6024
チヤイロヤウラクラン……5934
チヤウジユラン……5955
チヨゴテフ……6089
ツクシアリドホシラン……6072
ツチアケビ……6001
ツリシユスラン……6008
ツリフネラン……5927
ツルツチアケビ……6002
ツルラン……5924
ツレサギサウ……6093
テウセンキバナアツモリサウ……5969
テガタチドリ……6024
テツコツソシン……5953
テンマ……6003
トキハラン……5973
トキサウ……6114
トクサラン……5916
トケンラン……5938
トヨシマラン……6017
トラフスズメ……6082
ナガバナウヅラ……6020
ナガバノムカゴサウ……6039
ナギラン……5947
ナゴラン……5901
ナツエビネ……5920
ニウメンラン……5932
ニツクワウチドリ……6110
ニヨウホウチドリ……5898
ニラバラン……6069
ヌカゴサウ……6039
ヌスビトノアシ……6003
ネヂバナ……6120
ネツタイラン……6128
ノビネチドリ……6096
バイケイラン……5936
ハクサンチドリ……5894
ハクサンラン……5993
ハクラン……5960
ハチヂヤウシユスラン……6012
ハチヂヤウツレサギ……6106
ハツクリ……5937
バツコクラン……5995
ハツヒノデラン……5929
ハナボウラン……6131
ハルホウラン……5963
ヒアフギラン……6077
ヒゲサギサウ……6038
ヒスキラン……6129
ヒダリマキ……6120
ヒトツボクロ……6127
ヒトハラン……5976
ヒナゴテフ……6090
ヒナチドリ……6025
ヒナラン……6026
ヒノデラン……5928
ヒメイハラン……6026
ヒメケイラン……6085
ヒメゴテフ……6091
ヒメスズムシサウ……6051
ヒメスズメラン……6081
ヒメテンマ……6006
ヒメトケンラン……6125
ヒメノヤガラ……6005
ヒメヒトハラン……5977
ヒメフタバラン……6061
ヒメホテイラン……5926
ヒメミヤマウヅラ……6019
ヒメムエフラン……6074
ビヤクギフ……5905
ビロウドラン……6007
フイリウヅラ……6021
フキリツビンナゴラン……5902
フウラン……5903
フクリンシラン……5906
フシナシヲサラン……5998
フタツバグサ……6058
フタツバラン……6058
フタバナイチエフラン……6030
フタバラン……6058
フヂセキコク……5982
フチベニホウサイラン……5961
フナシミヤマウヅラ……6018
ヘウモンラン……6132
ベニカンラン……5943
ベニシユスラン……6010
ホウサイラン……5959
ボウセキコク……5987
ホウメイラン……5956
ホウライウヅラ……6022
ホウラン……5962
ボウラン……6064
ホクロ……5949
ホザキイチエフラン……6068
ホザキヲサラン……5999
ホシケイ……6087
ホシケイラン……6087
ホシチドリ……6079
ホソバクモキリサウ……6047
ホソバノキソチドリ……6109
ホテイサウ……5972
ホテイラン……5927
マシロラン……5935
マツノハラン……6041
マニラコテフラン……6089
マヒヅルラン……6066
マメヅタラン……5909
マメラン……5909
ミヅチドリ……6098
ミヅトンボ……6035
ミヅモラン……6097
ミヤマアツモリサウ……5969
ミヤマウヅラ……6017
ミヤマコクラン……6054
ミヤマシユスラン……6013
ミヤマチドリ……6110
ミヤマフタバラン……6062
ミヤマムギラン……5911
ミヤマモヂズリ……6031
ムエフラン……6044
ムカゴサイシン……6075
ムカゴサウ……6039
ムカデラン……6117
ムカゴトンボ……6034
ムギラン……5910
ムラサキアサヒラン……6043
ムラサキカンラン……5941
ムラサキフタバラン……6061
ムレスズメラン……6083
メラン……5951
モクコクラン……5983
モヂズリ……6120
モミヂラン……6077
ヤウラクラン……6077
ヤキバラン……5957
ヤクシマシユスラン……6016
ヤクシマチドリ……6111
ヤチラン……6067
ヤブエビネ……5914
ヤヘヤマクマガエサウ……6076
ヤマサギサウ……6103
ヤマシヤクジヤウ……6001
ヤマタウガラシ……6001
ヤマトキサウ……6115
ヤマラン……5948
ヨゴレカンラン……5944
ララン……5950
リウキウエビネ……5924
リウキウシユスラン……6011
リウキウセキコク……5997
リウキウヒナンラ……6027
リウキウボウンラ……6065
ワウラン……5992

1. ハクサンチドリ屬 ORCHIS.

5894. **はくさんちどり** (1圖版-1)(白圖-1)‥ラン科

Orchis aristata, *Fisch.*

(異名) いはきちどり・しらねちどり 〔形態〕本邦中部及北部の高山草本帶又は灌木帶に自生する多年生草本にして．莖高さ30糎(1尺)內外に達す。根は肥厚して掌狀をなし．莖は直生す。葉は葉柄を缺き．廣線形・全緣にして中肋を有し．基脚莖を抱き．長さ6-21糎(2-7寸)許に達し．數葉を互生す。6-7月の候．花莖を抽き．上部に小葉數箇を着生し．其葉腋に穗狀花序をなして長さ4·5-6糎(1·5-2寸)許ある密花を綴る。花は淡紅色にして．花被片は卵狀披針形鋭尖頭をなし．唇瓣は稍菱形或は倒卵狀圓形にして．紅紫色の斑點を有し3裂す。側裂片は傾下し．長くして眞直なる距を有す。

〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

5895. しろばなはくさんちどり …………ラン科

Orchis aristata, *Fisch.* var. albiflora, *Koidz.*

〔形態〕山地に生ずる前種ハクサンチドリの一變種にして．花は白色を呈するものなり。〔花色〕白色。〔分布〕北海道。

5896. **をのへらん**（1圖版-2）……ラン科
Orchis Chondradenia, *Makino.*

〔形態〕山地の帝木帶に自生する多年生草本にして．高さ 12-15 糎（4-5 寸）に達し．全株無毛なり。根際より稍楕圓形にして．明瞭なる縱脈を有する 2 葉を出し．7 月頃に至れば．更に 1 花莖を抽き．純白色にして深紅色の斑點を有する大形花を開き．距を有す。〔花色〕純白色地に深紅色の斑點を有す。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　鉢植として觀賞する價値あり。

5897. **いちえふらん**（1圖版-3）……ラン科
Orchis cyclochila, *Maxim.*

〔形態〕本邦高山樹陰地に自生する多年生草本にして．莖高さ 9-12 糎（3-4 寸）に達す。葉は根際より 1 葉を出し．廣楕圓形にして長さ 3-6 糎（1-2 寸）許に達し．翼を有する葉柄を具ふ。6-7 月の候に至り．斜上直生せる花莖を抽くこと 15-18 糎（5-6 寸）許にして．莖頂に 1 花を開く。花は全體淡紫色にして稍褐色を帶び．花瓣の上方表面は少しく綠色を呈し．基部に紅色の斑點を有す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州各部。

人生との關係　近時高山植物栽培の流行に從ひ．鉢植又は盆栽として栽培愛玩せらる。

人生との關係　本植物の根は「サレップ」根と稱し藥用に供せらる。即ち本植物の開花を見る頃．根際に生じたる子根を採取し．熱湯に浸したる後之を乾燥して使用す。主成分は粘液にして澱粉を含有す。煎劑となし包帶劑として胃腸加答兒に用ふ。

2. ナゴラン屬　AERIDES.

5901. **なごらん**（白圖-3）……ラン科
Aerides japonicum, *Reichb. f.*

〔形態〕暖國山地の岩上又は古木等に附着氣生する多年生常綠草本にして．根は帶綠白色を呈する氣根を有し．常に空氣中より水分を吸收して生育す。葉は通常 4-5 葉を根生し．線狀長楕圓形・革質にして頗る厚く．先端は斜に 2 淺裂し．長さ 9-12 糎（3-4 寸）．幅 1·8-2·1 糎（6-7 分）許を有す。夏日．葉間より花莖を抽くこと 15-21 糎（5-7 寸）許にして．莖頂に總狀花序をなして 5-10 花を綴る。花は綠白色にして花被諸片は長楕圓形をなし．唇瓣及下側の 2 片には紅紫色の斑點を具へ．且つ唇瓣は先端 3 裂し．基脚に距を有す。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球。

5902. **フヰリピンナゴラン**（1圖版-6）、……ラン科
Aerides Lawrenciae, Reichb. f.

〔形態〕比律賓原產の多年生常綠草本にして．莖は直生し．高さ 0·9-1·2 米（3-4 尺）許に達す。葉は狹披針形・全緣にして長さ 30 糎（1 尺）．幅 4·5 糎（1·5 寸）許を有し．多數を叢生す。春夏の候．葉間に花莖を抽き莖頂に總狀花序をなして．芳香を有する長さ 3·6 糎（1·2 寸）許ある花を着生す。花被片は白色にして先端紫色を帶ぶ。唇瓣は 3 深裂し．側裂片は斧形をなし．基脚に綠色にして內捲せる距を有す。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕比律賓。

3. フウラン屬　ANGRAECUM.

5903. **ふうらん**（白圖-4）……ラン科
Angraecum falcatum, *Benth.* et *Hook. f.*

〔形態〕暖國山地の古木に附着氣生する多年生常綠草本にして．往々觀賞用として栽培せらる。葉は概ね根生し．葉身は狹長にして劍狀をなして厚く．上面に溝を有す。長さ 6-9 糎（2-3 寸）に達し．互に抱護して數對を着生す。夏日葉腋より花莖を抽くこと 9-12 糎（3-4 寸）許に達し．更に分岐して少數の花を開く。花は白色にして往々淡紅暈を伴ひ．徑 1·8 糎（6 分）許にして細梗を有す。本花の花被 3 片は上方に並び．兩翼は左右に垂れ．唇瓣は 3 裂して中裂片は狹長楕圓形・凹頭をなす。距は長く絲狀をなして彎曲し．長さ 6 糎（2 寸）許に達し．蘋は綠狀長楕圓形なり。〔花色〕白色往々淡紅暈を伴ふ。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

4. サハラン屬　ARETHUSA.

5904. **さはらん**（1圖版-7）……ラン科
Arethusa japonica, *A. Gray.*

（異名）あさひらん・をくら　〔形態〕高山の稍濕地に自生する多年生草本なれども．亦往々平地にも自生することあり。莖高さ 15-18 糎（5-6 寸）

2 にようぼうちどり　3 なごらん　4 ふうらん　5 しらん

5898. **にょうぼうちどり**（白圖-2）……ラン科
Orchis pausiflora, *Fisch.*

〔形態〕本州中部の高山草本帶．殊に信州戶隱山・八ヶ嶽・下野女貌山等に自生多き多年生草本なり。莖高さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許に達し．瘠長にして．地下にある部分は塊狀をなす。葉は細長くして．長さ 6-9 糎（2-3 寸）許に達し．2-3 葉を互生し．平行脈を有す。花は不整齊にして．穗狀花序に排列す。花序は偏側生にして 2-8 花を着生し．苞は線狀披針形にして．子房より長し。花は鮮紫色を呈し．花被片は卵狀披針形をなし．唇瓣は廣圓形にして先端短 3 裂をなし．距は狹圓柱形にして．鈍頭をなす。〔花色〕鮮紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

5899. **うてふらん**（1圖版-4）……ラン科
Orchis rupestris, *Schltr.*

（異名）せきらん・こてふらん・ありまらん・いはらん　〔形態〕巖上の陽地等に自生する多年生の低草本にして．莖高さ 9-12 糎（3-4 寸）許に達す。葉は 2-4 葉を互生し．線狀披針形にして先端尖る。6-7 月の候．莖頂各葉腋より長き距を有する淡紅紫色の 5-8 花を着生す。上方の瓣は表面褐色を呈し．下方唇瓣は 3 裂し紅紫色の斑點を有す。苞は子房より短くして披針形をなし．萼片は廣披針形を呈す。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

人生との關係　觀賞用として庭園又は鉢植となす。

5900. **サレップ**　沙列布（1圖版-5）……ラン科
Orchis militaris, L.

〔形態〕歐洲原產の多年生草本にして．根は塊根をなし．春日其側に子根を生ず。莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）許に達し．葉は互生す。葉身は廣披針形にして平行脈を有し．下部にある葉は短く類白色の線條を具へ．上部の葉は莖を抱く。春日葉間より花莖を抽き．莖頂に穗狀をなして帶紅色の花被を有する不整齊の美花を開き．唇瓣は距を具ふ。雌雄兩蕊は互に癒着して肉柱をなし．花粉は粘結して花粉團をなす。〔花色〕帶紅色。〔花候〕春。〔原產地〕南部歐羅巴。

PL. 1.

1 はくさんちどり　2 をのへらん　3 いちえふらん　4 うてふらん　5 サレップ　6 フイリツピンナゴラン　7 さはらん　8 シデラン　9 ねびね　10 きりしまねびね

許に達し，葉は線狀披針形にして1葉を生じ，基脚莖を抱く。6-7月の候，21-24糎（7-8寸）許ある花莖を出し，莖頂に紫紅色をなせる花を點頭し，概ね全開せず。花下には鱗狀の2苞を有し，花被片は披針形をなし，唇瓣は稍大きく倒卵形にして3淺裂をなす。〔花色〕紫紅色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

5. シラン屬 BLETILLA.

5905. **しらん** 白及・紫蘭（白圖-5）……ラン科
Bletilla striata, *Reichb. f.* (*B. hyacinthina, R. Br.*)

（異名）びゃくぎふ・しけい　〔形態〕暖地の山野に自生品を見れども多くは庭園又は花壇等に培養せらるゝ多年生草本なり。毎春4-5葉を根生し，廣披針形にして長く，幅3糎（1寸）餘に達し，縱に皺襞多し。6月頃，花莖を抽くこと30-60糎（1-2尺）許，その上部に不整齊の花被を有する紫紅色の數花を，疎生せる總狀花序に排列す。花被片は披針形をなし，唇瓣は倒圓錐形にして3裂す。側裂片は花柱を抱擁し，中裂片は皺緣をなして5薄板を伴ふ。花後蒴果を結び成熟すれば，中に糠狀の細微なる種子を生ず。

〔花色〕紫紅色・白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球。

人生との關係　觀賞用として庭園及花壇等に栽培せらる。山野に自生品を見るものなれば，性强健にして普通の園土によく成育す。又根には一種の揮發油を含有するを以て，これを煎服するときは，肺吐血に效あるべく，又根部の粉末を「ワセリン」等にて煉り合せたるものを「ヒビ」・「アカギレ」切傷・惡瘡等の患部に塗布すれば效ありと云ふ。其他馬の毒草に中毒して，口中より泡を吹き，悶死せんとするとき本種の根18・75瓦（5匁）と食鹽37・5瓦（10匁）及甘草75瓦（20匁）とを細かく刻み，水に混入して飲用せしむれば效果ありと云ふ。

5906. ふくりんしらん ……ラン科
Bletilla striata, *Reichb. f.* var. albomarginata, *Makino.*

〔形態〕前種シランの一栽培變種にして，葉に白緣を有するものなり。（栽培種）

5907. しろばなしらん ……ラン科
Bletilla striata, *Reichb. f.* var. Gebina, *Reichb. f.*

〔形態〕本種も亦シランの一變種にして，本州中部以南九州等に自生し，花は白色を呈するものなり。（栽培種）

6. シデラン屬 BRASSIA.

5908. **シデラン**（1圖版-8）……ラン科
Brassia verrucosa, Lindl.

〔形態〕熱帶亞米利加原產の常綠氣生草本にして，球莖は圓錐形又は方錐形をなし，長さ10糎（3寸）許に達す。葉は披針形にして綠色又は濃綠色を呈し，莖側及莖頂に各2枚を着生す。花は綠色或は綠白色にして3箇の萼片は長く，花被は凡て細くして短く何れも弓狀に彎曲す。唇瓣は結合せる雄蕊の下部より生じ，幅廣くして波狀に皺縮す。〔花色〕綠色乃至綠白色。〔原產地〕北亞米利加。

人生との關係　觀賞用として鉢植となし愛玩せらる。移植は新芽の出初むる候を適期とし，水苔單用又は「オスマンダ」混用にても可なり。栽培容易にして，中溫室を適當とす。

7. マメヅタラン屬 BULBOPHYLLUM.

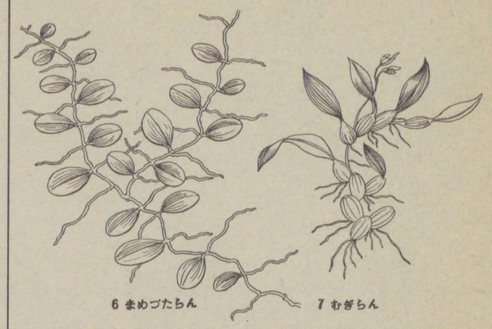
5909. **まめづたらん**（白圖-6）……ラン科
Bulbophyllum Drymoglossum, *Maxim.*

（異名）まめらん　〔形態〕暖地に自生する多年生の常綠氣生草本にして，根莖は絲狀をなして横走し，多くの結節を有す。葉は革質・卵形にして花は莖頂に單生し，黃色を呈す。萼片は卵狀披針形をなし，花瓣は細長くして先端尖り，唇瓣は卵狀長橢圓形をなして先端反曲し，帶黃色を呈す。

〔花色〕黃色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5910. **むぎらん** 麥斛（白圖-7）……ラン科
Bulbophyllum inconspicuum, *Maxim.*

〔形態〕本邦南部の山地岩上等に自生する多年生の常綠氣生小草本にして，根莖は絲狀をなして横走す。通常1莖1葉なれども，往々相並なりて生長せるを見ることあり。葉柄の基部にある假鱗莖は肥厚して長橢圓形をなし，恰も麥粒の如き感あるを以て此名あり。上に短柄を有し，長さ1・8-2・1糎（6-7分）許ある革質・長橢圓形をなせる1葉を着生す。夏日，葉側に花莖を抽くこと3糎（1寸）許にして，莖頂に白色若しくは紅色の1-2花を開く。花瓣は膜質・長橢圓形をなし，唇瓣は卵形にして，內面に雜冠狀突起を生ず。



6 まめづたらん　　7 むぎらん

〔花色〕白色或は紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

5911. みやまむぎらん ……ラン科
Bulbophyllum japonicum, *Makino.*

〔形態〕前種ムギランと同じく，多年生帶綠の氣生小草本にして，根莖は絲狀をなし剛く，假鱗莖上に稍革質・披針形をなせる1葉を戴けること略彼に相似たり。夏日葉側に絲狀の花梗を出し，2-4花を稍繖形花序に綴る。後萼片は長橢圓狀披針形にして，5條の紫線を有し，側萼片は長大にして肉紅色を呈す。花瓣は長橢圓形にして5紫線を彩り，唇瓣は厚くして反捲し，先端碧紫色を呈す。〔花候〕夏。〔分布〕九州。

8. エビネ屬 CALANTHE.

5912. **えびね**（1圖版-9）……ラン科
Calanthe discolor, *Lindl.*

〔形態〕山林に自生する多年生草本なれども，又往々栽培せらる。根には結節多く，恰も蝦の背に似たるを以て，此の名ある所以なるべし。本種は冬季に凋萎し，翌春新芽を生ずる種類にして，葉は葉柄を具へ，橢圓狀廣橢圓形にして基脚莖を抱く。4月頃葉の未だ全く開かざるに，葉間に花莖を抽き10箇許の愛らしき花を穗狀花序に綴る。花被片は淡褐色にして紫采を伴ひ，唇瓣は長き距を有し，紫色にして3深裂す。中裂片は長橢圓形にして，先端更に淺く2裂し，上面に3隆起を有す。〔花色〕淡褐色。〔花候〕春-初夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

人生との關係　庭園植込等に栽植し，愛玩するに適す。

5913. あかくらえびね ……ラン科
Calanthe discolor, *Lindl.* var. Tyoh-Harai, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，前種エビネの一變種なり。彼に比するに，唇瓣は基脚柱體に合着し，舷部は3深裂して3縱脊を有し，白色にして紫采を伴ふ。側裂片は稍矩狀長橢圓形をなし，基部より上方に向ひて狹き紫采を有し，中裂片は基脚矩形にして先端2裂し，縱脊邊緣間に狹き紫采を有するものなり。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部。

5914. やぶえびね ……ラン科
Calanthe discolor, *Lindl.* var. viridi alba, *Maxim.*

〔形態〕本州中部以南暖地の山野に自生するエビネの一變種にして，花は大形種なり。唇瓣は白色或は淡赤色にして，短き距を有す。中裂片は狹倒卵狀楔形にして，緣邊稍皺縮し2裂す。花被片は綠色にして基脚往々黃色を呈するものなり。〔分布〕本州中部及南部・九州。

5915. **きそえびね**（白圖-8）……ラン科
Calanthe alpina, *Hook. f.*

（異名）こらん　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，莖は極めて短く，葉は橢圓狀披針形にして先端尖り，長さ9-15糎（3-5寸）許に達す。夏日葉間より稍剛硬にして長さ15-30糎（0・5-1尺）許ある花莖を抽き，黃色又は綠白色をなせる偏側生の少數花を總狀花序に排列す。萼片は卵狀長橢圓形にして，鋭尖頭をなし，5脈を伴ふ。花瓣は橢圓狀披針形にして3脈を具へ，唇瓣は白色にして紫條を有し，先端缺刻狀に3裂す。距は稍內曲し萼片と同長なり。〔花色〕黃色或は綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

8 きそえびね　9 とくさらん　10 きんせいらん　11 なつえびね

5916. **とくさらん**（白圖-9）……ラン科
Calanthe gracilis, *Lindl.*

〔形態〕暖地の山野に自生する多年生草本にして．莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達す。莖は叢生し．節間は長圓柱形をなす。葉は多數を互生し．基部のものは莖を抱く。葉身は卵形或は披針形にして．長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許を有す。秋日葉間より瘠長なる花莖を側出すること 30 糎（1 尺）許にして．綠黃色をなせる花を．疎生せる總狀花序に排列す。苞は膜質・綠形にして花より超出し．花被片は 5 箇を有し長橢圓形にして反捲す。唇瓣は黃色を呈し 3 裂し．距は之を有せず。〔花色〕綠黃色。〔花候〕秋。〔分布〕九州（屋久島・奄美大島）・琉球・臺灣。

5917. **あさひえびね**……ラン科
Calanthe Hattorii, *Schltr.*

〔形態〕小笠原島に自生する多年生草本にして．葉は基脚に 4-5 葉を叢生し．橢圓狀披針形をなす。花莖には軟毛を密布し．花は密生せる總狀花序に 10-15 花を綴る。苞は披針形にして．唇瓣は 3 裂し．短き距を具ふ。
〔分布〕小笠原島。

5918. **きりしまえびね**（1 圖版-10）……ラン科
Calanthe kirishimensis, *Yatabe.*

〔形態〕山地に自生する常綠の多年生草本にして．地下に短き根莖を有し横走して之れより剛强の綠根を生ず。葉は根生し．披針形又は倒披針形にして先端稍尖り．概ね 5 條の縱脈を具へ．葉柄を合せて長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許に達す。葉柄は長く．葉身の基脚漸く狹まりて之に流る。5 月頃．葉間に短毛を有する花莖を抽くこと 30 糎（1 尺）許に達し．梢上に多數の花を總狀花序に排列す。花は白色にして紫采を伴ひ．萼片は卵狀或は長橢圓狀披針形をなし．花瓣は倒披針形にして．萼片と稍同長なり。唇瓣は廣濶にして 3 裂し．中裂片は更に叉裂し．兩面に紫采を有し．細毛を密布す。距は長形にして捲曲し．黃色の 5 薄板を具ふ。〔花色〕白色・紫采を伴ふ。
〔花候〕春-初夏。〔分布〕九州。

5919. **きんせいらん**（白圖-10）……ラン科
Calanthe nipponica, *Makino.*

（異名）きんせいえびね　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして．葉は長き葉柄を具へ．葉身は長橢圓狀披針形にして．鋭頭・狹脚をなし．長さ 1·8-2·1 糎（6-7 分）に達し．往々 4-5 葉を着生す。4 月頃葉間より瘠長にして葉よりも遙かに長き花莖を抽出し．概ね 5-6 花を總狀花序に排列す。苞は卵狀披針形にして．花は黃綠色を呈し點頭す。萼片は長橢圓狀披針形をなし．花瓣は線形にして．萼片より稍短く．唇瓣は廣濶にして 3 裂し．黃色を呈し距を有す。中裂片は．長橢圓狀卵形にして皺緣をなし．側裂片は短斜卵形をなして．不齊鈍齒牙緣を有し．脚部に 3 薄板を具へ．2 外板は雞冠狀を呈す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

5920. **なつえびね**（白圖-11）……ラン科
Calanthe reflexa, *Maxim.*

〔形態〕本邦南部の山地に自生する多年生草本にして．高さ 30 糎（1 尺）以上に達す。葉は根生し．葉身は長橢圓形・全緣にして先端尖り．數多の平行脈を具へて稍大形なり。6 月頃．總狀花序をなして．少數の淡黃綠色の不整齊花を着生す。苞は線狀披針形にして．萼片は後部のものは絲狀をなし．側部のものは卵狀鋭尖形をなす。唇瓣は稍方形にして 3 裂し．中裂片は大きく．緣邊齒牙狀に分裂す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5921. **そのえびね**（2 圖版-11）……ラン科
Calanthe striata, *R. Br.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なれども．亦觀賞用として園養せらることあり。葉は總べて根生して．短き葉柄を有し．葉身には 5 條の縱脈を具へ．廣橢圓形にして先端尖り．基脚漸く細まり．翅を有す。4-5 月の候．葉間に長き花莖を出し．莖頂に短總狀をなして．淡黃色の美しき花を着生す。
〔花色〕淡黃色。〔花候〕春。〔分布〕邦內各地。
人生との關係　觀賞用として各地に栽培せらる。

12 きねびね　13 さるめんねびね

5922. **きえびね**（白圖-12）……ラン科
Calanthe striata, *R. Br.* var. Sieboldi, *Maxim.*

（異名）あるまん　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして．前種ソノエビネの一變種なり。葉は長き葉柄を具へ．葉身は長橢圓形・鈍頭にして．基脚莖を抱き．葉柄と合せて長さ 30 糎（1 尺）以上に達す。4-5 月頃．葉間に葉より長き花莖を抽出し．總狀花序をなして少數花を排列す。苞は小梗より遙かに短く．披針形をなし．花は鮮黃色を呈す。花被片は長橢圓形をなし．唇瓣は 3 深裂し．距は細小なり。〔花色〕鮮黃色。〔花候〕春。
〔分布〕九州。

5923. **さるめんえびね**（白圖-13）……ラン科
Calanthe tricarinata, *Lindl.*

（異名）えぞえびね　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして．高さ 30 糎（1 尺）餘に達す。葉は 2-3 葉を根生し．長橢圓形或は長倒卵形をなして先端尖り．多くの平行脈を有し．全緣にして長さ 15-24 糎（5-8 寸）許を有す。夏日葉間に 30-45 糎（1-1·5 尺）許ある花莖を抽き．總狀花序をなして不整齊花を開く。花序は疎生し．細毛を密布し．苞は卵狀披針形にして子房より短し。本花の花瓣は綠色にして 3 片づゝ 2 層に排列し．唇瓣は褐紫色にして不規則に 3 裂し．中裂片は緣邊に細齒牙を有す。〔花色〕黃綠色。
〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。
人生との關係　觀賞用として栽培し．趣味あるものなり。

14 りうきうえびね　15 いとうえびね

5924. **りうきうえびね**（白圖-14）……ラン科
Calanthe japonica, *Blume.*

（異名）つるらん・くゝらん　〔形態〕本邦南部の暖地に自生する多年生草本にして．葉は長柄を具へて根生し．葉身は長橢圓狀披針形をなす。晩夏の候．最外の 1 葉腋より花莖を抽き．白色若しくは紫色或は紅色の密花を稍房狀をなせる總狀花序に排列す。苞は卵狀披針形にして大きく．萼片は倒卵狀長橢圓形をなす。花瓣は倒卵狀匙形にして．唇瓣は 3 裂し．中裂片は更に 2 深裂し．裂片は線狀長橢圓形にして鎌狀に反捲す。距は瘠長にして．萼片と稍同長なり。〔花色〕白色・紫色・紅色。〔花候〕晩夏。〔分布〕九州（屋久島）・琉球・臺灣。

5925. **いとうえびね**（白圖-15）……ラン科
Calanthe Takeoi, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する草本にして．莖は直生し．高さ 18-30 糎（0·6-1 尺）許に達す。葉は薄質・披針形にして先端尖り．基脚狹まり長さ 30 糎（1 尺）許を有す。花莖は單生し．高さ 21-24 糎（7-8 寸）に達し．梢上に 4-5 花を總狀に綴り．苞は卵狀披針形にして．萼片は卵狀披針形をなす。花瓣は倒披針形・鈍頭にして長さ 3 糎（1 寸）許．唇瓣は圓形にして基脚 3 裂し．緣邊は褶疊す。距は倒圓錐形なり。〔花色〕白質。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

9. ホテイラン屬　CALYPSO.

5926. **ひめほていらん**……ラン科
Calypso bulbosa, *Reichb.*

〔形態〕樺太に自生する多年生の小草本にして．高さ漸く 7·5-9 糎（2·5-3 寸）許に過ぎず。根莖は地下に小鱗莖を具へ．葉は 1 葉を生じ卵形にして葉柄を有す。夏日基部に 2-3 箇の鞘狀物を伴へる花莖を抽出し．莖頂稍大形にして淡紅色を呈する花を單生す。花被片は披針形・鋭尖頭をなし．唇瓣は大きく囊形をなして．先端 3 裂す。中裂片は上面に鬚毛を生じ．下面に 2 尖頭及褐色斑點を列生し．且つ紫黃諸色點を散生す。〔花色〕淡紅色。
〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

5927. **ほていらん**（2 圖版-12）……ラン科
Calypso bulbosa, *Reichb.* var. specisa, *Makino.*

（異名）つりふねらん　〔形態〕本州北部及中部の深山森林帶に自生する前種ヒメホテイランの一變種にして．概形彼に酷似し各部大形なる種類なり。花色・花候等亦彼に同じ。

10. ヒノデラン屬　CATTLEYA.

5928. **ヒノデラン**（2 圖版-13）……ラン科
Cattleya labiata, Lindl.

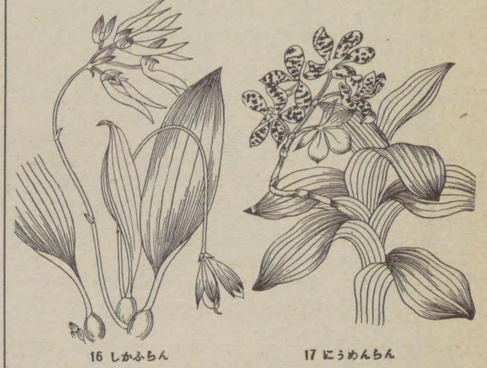
〔形態〕本種は南米「コロンビヤ」・「ブラジル」・中央亞米利加等の高溫ならざる稍濕氣を含める河の附近・凹地の鬱蒼たる森林地帶にして 1-2 米（3-6 尺）より 5-6 米（15-18 尺）の樹木の樹幹に附着自生する多年生草本にして．球莖は 45-48 糎（1·5-1·6 尺）許の棍棒狀をなし．其頂に 1 葉を生ず。晩秋の候．花梗を抽出し．1 花梗に 3-4 箇の濃薔薇色を呈する大形の花を着生し．花期長く凡そ 1 箇月を保つ。唇瓣も亦大形にして稍內方に彎曲し．正面に濃紫紅色の大斑點を有す。〔花色〕濃薔薇色。〔花候〕晩秋。〔原產地〕南亞米利加・中央亞米利加。
人生との關係　本種は花期長く．栽培容易にして比較的安價なるを以て最も廣く栽培せられ觀賞に供せらる。白色勝ちの變種は高價なるものなり。

5929. **ハツヒノデラン**（2 圖版-14）……ラン科
Cattleya Trianaei, Lind. et Reichb. f.

〔形態〕南米「コロンビヤ」原產の多年生草本にして一栽培種なり。假鱗莖は棍棒形をなし．高さ 30 糎（1 尺）許に達し．長橢圓形の 1 葉を生じ．基脚より 1 花莖を抽き．紅色又は白色の 2-3 花を莖梢に着生す。萼片は長橢圓狀披針形を呈し．花瓣は廣橢圓狀菱形にして皺曲す。唇瓣は管部紅色を呈し．末部は紫色にして凹頭をなし．皺曲す。〔原產地〕南亞米利加。

5930. **カットレヤ・モツシェー**（2 圖版-15）……ラン科
Cattleya Mossiae, Park.

〔形態〕南米原產の多年生草本にして．莖高さ 21-24 糎（7-8 寸）に達し．1 箇の革質をなせる側生葉を有す。葉は 15-24 糎（5-8 寸）許の長さに達し長橢圓形にして平行脈を有し全緣なり。花は不整齊の花被を有し．深紅色にして．莖の上部に 2-5 花を着生す。〔原產地〕南亞米利加。
人生との關係　溫室內に培養し愛玩に供せらる。



16 しかふらん　17 にうめんらん

11. シカフラン屬　CIRRHOPETALUM

5931. **しかふらん**（白圖-16）……ラン科
Cirrhopetalum Makinoanum, *Schltr.*

〔形態〕本州南部の諸島に多く自生する多年生草本にして．莖は卵形の假鱗莖を有し．ムギランの如く 1 莖 1 葉を出し．又稀に 2 葉を生ずることあり葉は舌狀披針形にして．長さ 12-15 糎（4-5 寸）．幅 3 糎（1 寸）許に達す。夏日莖側より花莖を抽くこと．12-15 糎（4-5 寸）許に達し．秋日に至り梢頭に 3·6-3·9 糎（1·2-1·3 寸）許にして．淡黃褐色に淡紅暈を伴へる 4-6 花を繖形花序に排列す。中央萼片は卵形・鋭頭をなし．側萼片は線狀披針形にして鋭尖頭をなす。〔花色〕淡黃褐色に淡紅暈を伴ふ。〔花候〕秋。〔分布〕九州（種子島・大島）・琉球。

12. ニウメンラン屬　CLEISOSTOMA.

5932. **にうめんらん**　屈子花（白圖-17）……ラン科
Cleisostoma ionosmum, *Lindl.* forma lutchuense, *Makino.*

（異名）いりもてらん　〔形態〕琉球入面山に自生する多年生草本にして．形態ナゴランに似て豐大なり。年を經たるものは下部の葉凋落して粗糙なる莖を表はし．高さ 60 糎（2 尺）餘に達す。夏日葉間に花莖を抽き．形ナゴランに似て稍大形なる花を開く。〔花色〕黃色・赤褐色の斑紋あり。
〔花候〕夏。〔分布〕琉球。

13. キンヤウラク屬　COELOGYNE.

5933. キンヤウラク……ラン科
Coelogyne Dayana, Reichb. f.

〔形態〕東印度諸島原產の多年生草本にして．往々栽培せらるゝ種類なり葉柄は基脚に橢圓狀紡錐形の鱗莖を有し．長さ 12-24 糎（4-8 寸）許に達す。

葉は薄く長楕圓形をなして先端尖り．長さ 75 糎（2·5 尺）許．春日葉に先立ちて花莖を抽くこと 0·9 米（3 尺）許に達し．總狀花序をなして多くの花を點頭す。花は帶褐淡黃色を呈して．花徑 4·5–6 糎（1·5–2 寸）許を有し．萼片は舌形をなし．花瓣は細長く．唇瓣は褐色にして總狀に分裂し．6 隆起を有す。中裂片は稍方形をなして反捲し．側裂片は內面に白條を有す。

〔花色〕帶褐淡黃色。〔花候〕春。〔原產地〕東印度（ボルネオ）。

5934. **チャイロヤウラクラン**（2 圖版–16）‥‥ラ　ン　科
Coelogyne speciosa, *Lindl.*

（異名）ガンセウラン　〔形態〕本種も東印度諸島原產の多年生草本にして．亦往々栽培せらるゝ品種なり。假鱗莖は球根狀にして下部太く．徑約 4 糎（1·3 寸）．高さ 7 糎（2·1 寸）許に達し．先端尖り．其頂端に 1 葉時に 2 葉を生ず。葉は稍長き葉柄を有し．長さ 15 糎（5 寸）許に達す。花は新芽と共に花梗を抽出し．淡黃褐色にして 1–3 花を穗狀花序に排列す。萼片は透明質にして長楕圓形をなし．淡黃褐色を呈す。花瓣は線形にして外反し．唇瓣は內部の大部分黑褐色を呈し．前部は殊に幅廣く白色を帶び．3 裂す。

〔花色〕淡黃褐色。〔花候〕不定。〔原產地〕東印度（爪哇）。

人生との關係　鉢栽培又は框植として愛玩せらる。移植は花季不定の爲め花後或は新芽の伸び初めの頃をよしとす。植込材料は水苔のみにても可なれども．「オスマンダ」混合のものにても可なり。栽培容易にして．繁殖は實生による。中溫室或は低溫室を適當とす。

5935. **マシロラン**（2 圖版–17）‥‥‥‥‥‥ラ　ン　科
Coelogyne cristata, Lindl. var. *lemoniana*, Hort.

〔形態〕熱帶亞細亞原產の多年生草本なるも．其花雅趣あるを以て．一般に栽培せられ又人工交配種も少からず。球莖は圓形又は長圓形にして．高さ 3–15 糎（1–5 寸）許に達し．葉は球莖の頂端に 2 枚互生し．其幅 2 糎（7 分）內外なり。花は徑 8 糎（2·4 寸）內外にして．花被は殆んど同形をなし．唇瓣は稍大形にして前方に開出す。1 花莖に數花乃至 10 數花を着け．綠白色にして．唇瓣の內部は橙黃色を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕2–3 月。

〔原產地〕亞細亞南部。

人生との關係　主に觀賞用として低溫室內等に吊り下げらる。水苔のみにても又「オスマンダ」或は少量の荒木田土混合にても可なり。

14. バイケイラン屬　CORYMBIS.

5936. **ばいけいらん**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ラ　ン　科
Corymbis veratrifolia, *Hook. f.*

（異名）こばらん　〔形態〕琉球に自生する草本にして．莖高さ 1·2 米（4 尺）許に達す。葉は橢圓狀披針形にして．先端尾狀銳尖頭をなし．基脚鞘狀をなす。花は綠白色にして．長大なる圓錐花序に排列す。苞は卵狀披針形にして花被片は狹倒披針形をなし．唇瓣は披針形·銳頭なり。蕊柱は瓣片と同じく．花後長さ 4·5 糎（1·5 寸）許ある蒴を結ぶ。〔花色〕綠白色。

〔花候〕夏。〔分布〕琉球。

15. サイハイラン屬　CREMASTRA.

5937. **さいはいらん**（2 圖版–18）‥‥‥‥‥‥ラ　ン　科
Cremastra appendiculata, *Makino.*

（異名）はっくり　〔形態〕山地の樹蔭·水濕の地を好みて自生する多年生常綠草本にして．假鱗莖は球形をなして徑 2·4 糎（8 分）許を有し．頂端に通常 1 葉なれども時に 2 葉を生ず。葉身は橢圓狀長橢圓形にして．先端尖り狹脚をなして長さ 12–21 糎（4–7 寸）許に達す。5–6 月の候．莖側より花莖を抽出して長さ 21–30 糎（0·7–1 尺）許に達し．淡黃褐色の花を總狀花序をなして點頭す。苞は綠形をなし．萼片は 3 箇を有して基脚合着し．花瓣は 2 箇を具へ．萼片よりも稍小さく．唇瓣は基脚囊狀をなし．先端 3 裂し．紅紫色の斑點を有す。〔花色〕淡黃褐色。〔花候〕春–初夏。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國·九州。

人生との關係　時に觀賞用として栽植せらる。一種花色に紅色を呈するものあり。

5938. **とけんらん**（2 圖版–19）‥‥‥‥‥‥ラ　ン　科
Cremastra unguiculata, *Finet.*

〔形態〕本邦中部及北部の高山幽谷に自生する多年生草本にして．莖高さ 24–30 糎（0·8–1 尺）許に達す。葉は前種サイハイランに似て．概ね 2 葉を出し．葉背には通常紫色の斑點を有すれども．稀には之を見ざることあり。夏日莖側より花莖を抽き．黃色にして稍褐色を帶び．紫色の細點を有する小花を着生し．唇瓣は白色にして大なり。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。

〔分布〕本州北部及中部。

18 かんらん　　19 おほばのかんらん

16. カンラン屬　CYMBIDIUM.

5939. **かんらん**　草蘭（白圖–18）‥‥‥‥‥ラ　ン　科
Cymbidium Kanran, *Makino.*

〔形態〕本邦暖地に自生する多年生草本なれども．亦往々觀賞用として培養せらるゝ種類にして．初冬已に花を開くを以て此名あり。而して本種は各其の產地によりて形狀其他多少相異れども．概ね假鱗莖は廣卵形にして．頂端より 3–4 葉を出し．葉身は線形或は廣線形·銳尖頭·狹脚をなし．概形メランに似て稍小さく且つ垂れ易き性あり。初冬の候．莖側より抽出せる高さ 18–60 糎（0·6–2 尺）許ある花莖に 5–12 花を總狀花序に排列し．花序は稍偏側生にして疎なり。苞は線形にして子房より短く．花被は綠色にして紫心を有す。萼片は廣線形をなし．花瓣は披針狀鏟形にして萼片より短く．唇瓣も亦短形にして稍 3 裂し．2 薄板を有す。〔花色〕綠色。〔花候〕初冬。

〔分布〕本州中部及南部·琉球。

5940. **おほばのかんらん**（白圖–19）‥‥‥‥ラ　ン　科
Cymbidium Kanran, *Makino.* var. latifolium, *Makino.*

〔形態〕前種カンランの一栽培變種なり。彼に比するに全株長大にして且つ葉身殊に長大なる種類なり。（栽培種）

5941. しかんらん　紫草蘭‥‥‥‥‥‥‥‥‥ラ　ン　科
Cymbidium Kanran, *Makino.* forma purpurascens, *Makino.*

（異名）むらさきかんらん　〔形態〕本種も亦カンランの一栽培品種にして．花色紫色を呈するものなり。（栽培種）

5942. せいかんらん　青草蘭‥‥‥‥‥‥‥‥ラ　ン　科
Cymbidium Kanran, *Makino.* forma viridescens, *Makino.*

〔形態〕カンランの一栽培品種にして．花は淡黃綠色を呈し．唇瓣に紫斑を有するものなり。（栽培種）

5943. べにかんらん　紅草蘭‥‥‥‥‥‥‥‥ラ　ン　科
Cymbidium Kanran, *Makino.* forma rubescens, *Makino.*

〔形態〕カンランの一栽培品種にして．花は紅色を帶びたる種類なり。（栽培種）

5944. よごれかんらん‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ラ　ン　科
Cymbidium Kanran, *Makino.* forma purpureo-viridescens, *Makino.*

〔形態〕カンランの一栽培種にして．花は帶色を呈し．稍紫色を帶ぶる種類なり。（栽培種）

5945. **こらん**（2 圖版–20）‥‥‥‥‥‥‥ラ　ン　科
Cymbidium Koran, *Makino.*

（異名）しまさきらん　〔形態〕概形スルガランに酷似せる稍小形なる種類にして．栽培種に屬す。葉は長さ 30 糎（1 尺）餘．幅 9 粍（3 分）許に達す。7–8 月の候．白色にしてホウランよりも紅紫條斑の一層鮮明なる 2–3 花を總狀花序に綴り．香氣最も高し。〔花色〕白色地に紅紫條斑を伴ふ。

〔花候〕夏。（栽培種）

PL. 2.

11 そのねびね　　12 ほていらん　　13 ヒノデラン

14 ハツヒノデラン　　15 カツトレヤ·モツシエー　　16 チヤイヤウラクラン

17 マシロラン　　18 さいはいらん　　19 とけんらん　　20 こらん

5946. **げいしゃうらん** (3圖版-21) ……ラン科
Cymbidium Lowianum, *Reichb.*

〔形態〕常綠の多年生草本にして．假鱗莖は肥大し．大なるものは高さ15糎(5寸)に達するものあり。葉は數枚づゝ莖を圍繞して互生し．細長き劔狀を呈し．往々肉質鈍頭にして．長さ10-60糎(0·3-2尺)に達するものあり。春日莖側より花梗を抽出し．15-90糎(0·5-3尺)以上に達し．1-2花より多きは40-50花を着生し．芳香を有す。花は小形にして．薄綠色を普通とすれども．白色・黃色・綠褐色の濃淡等種々あり。花瓣は萼片と略同形にして唇瓣は雄蕊の基部より出でゝ3裂し．中裂片は前方に展開し．結合雄蕊亦長く前方に突出す。〔花色〕淡綠色其他種々。〔花候〕春。(栽培種)

人生との關係　鉢植として栽培し．觀賞・愛玩するに適す。移植は3月頃即ち新芽の僅か伸び初めたる頃を適期とし．植込材料は水苔・「オスマンダ」荒木田土を等量に混じ．少量の砂・木炭・骨粉・牛糞等を加へたるものを可とす。肥料は生育中薄き油粕液を施すときは效果あり。繁殖は株分又は莖伏による。

5947. **なぎらん** (3圖版-22) ……ラン科
Cymbidium lancifolium, *Makino.*

〔形態〕山中に自生する多年生草本にして．葉は長き葉柄を具へて稍厚く葉身は披針形をなして．長さ15-24糎(5-8寸)許に達し．幅廣くしてナギの葉に似たるを以て此名あり。夏日葉間より花莖を抽くこと葉より稍短く莖上5-6箇の小枝を分ち．每頭白色の花を着生して總狀花序を綴る。苞は披針形にして子房より短く．花は長梗を有して．徑3-4·5糎(1-1·5寸)許を有し．萼片は白色・黃色或は綠色をなし．花瓣も亦白色にして淡紅色の中條を具へ．唇瓣は3裂して2薄板を具へ．香氣を有せず。〔花色〕白色にして淡紅色の中線あり。〔花候〕夏。〔分布〕本州(新島)・四國・九州・琉球・臺灣。

5948. **やまらん** ……ラン科
Cymbidium nipponicum, *Makino.*

〔形態〕潮海地に自生する無葉蘭の一種にして多年生なり。根莖は斜生或は直生し．高さ15糎(5寸)許に達す。6月頃より8月頃に亙りて莖上に1-5花を總狀花序に排列す。苞は鞘形或は橢圓形にして．花は中等大なり。萼片は線狀披針形にして．花瓣は萼片より短く且つ狹く．蒼白色にして紫色の大縱條を具へ．唇瓣は花瓣より更に短くして3裂し．中裂片の中央には深溝を有し．側裂片には2箇の薄板を伴ふ。〔花色〕蒼白色。〔花候〕夏。
〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5949. **ほくろ** 春蘭 (3圖版-23) ……ラン科
Cymbidium virescens, *Lindl.*

(異名) しゅんらん　〔形態〕到る處の山野に普通なる常綠の多年生草本にして．地下に太き肉質の鬚根を有す。葉は狹長にして剛く．縞澁緣をなして長さ21-24糎(7-8寸)許に達す。4月頃叢葉間に多鞘なる花莖を抽出し．其頂に淡黃綠色にして不整齊なる花被を有する1花を着く。花被片は線狀箆形をなし．唇瓣は表面皺曲して外反す。〔花色〕淡黃綠色。
〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州各部・四國・九州。

人生との關係　時に栽培して觀賞に供す。又藥效としては果實の皮を剝ぎ．內部の白色のものを粉末として止血藥とし．根を乾燥して粉末となし．之を「アカギレ」・「ヒビ」等の患部に塗布するときは之を治するに效あり。「ワセリン」を混入するか又は飯粒と共に練り合せて塗布すれば一層の效果ありと云ふ。

5950. **するがらん** 建蘭 (3圖版-24) ……ラン科
Cymbidium ensifolium, *Sw.*

(異名) ららん・じらん・しまほうさい　〔形態〕本邦暖地に自生する多年生の常綠草本なれども．又廣く觀賞用として栽培せらる。高さ30糎(1尺)許に達し．葉は細長く劔形にして叢生し．長さ60糎(2尺)以上に達す。夏秋の候叢葉間より1花莖を抽出し．上部に數花を總狀花序に綴り．芳香を有す。花被片は長橢圓形にして．帶綠色を呈し．紫色の縱條を彩る。唇瓣は卵狀長橢圓形にして．蕊柱と抱合し．前部は反捲し．後部は凹形をなし．紫色の斑點を有す。蕊柱は半圓形にして稍內曲し．上端內側の孔は柱頭にして．其の上に圓形の帽を戴き．2箇の花粉塊を覆ふ。〔花色〕帶綠色にして紫色の縱條あり。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球。

人生との關係　觀賞用として鉢栽培をなし．愛玩に供せらる。

5951. **めらん** 漳蘭 (3圖版-25) ……ラン科
Cymbidium ensifolium, *Sw.* forma flaccidior, *Makino.*

〔形態〕前種スルガランの一栽培品種にして．概形よく相似たり。唯本種の葉は彼に比するに幅稍廣く且つ柔軟にして其の末端垂れ易き性あり。花形亦彼に同じ。(栽培種)

5952. **ギョクチンラン** 玉此蘭 (3圖版-26) ……ラン科
Cymbidium Gyokuchin, Makino.

〔形態〕支那より船載せる草本にして．葉は廣線形をなして長さ30糎(1尺)許に達し．幅廣く滑澤にして深綠色を呈し．稍下垂する性を有すること等前種メランによく似たり。秋日青白色の細き花莖を抽出し．花形スルガランに似て純白色の花を開き．香氣最も高く蘭中の最優等種に屬す。
〔花色〕純白色。〔花候〕秋。〔原產地〕支那。

人生との關係　觀賞用として鉢栽培となし愛玩せらる。

5953. **ソシンラン** 素心蘭 (3圖版-27) ……ラン科
Cymbidium Gyokuchin, Makino. var. *Soshin,* Makino.

(異名) テッコツソシン　〔形態〕本種も亦支那より船載せる栽培種に屬す。葉はギョクチンランよりも幅一層狹くして長く．秋日彼と同じく純白色の花を開き．香氣亦最も高し。(栽培種)

5954. **あかめそしん** ……ラン科
Cymbidium rubrigemmum, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する多年生常綠の草本にして．葉は薄革質・線形をなし．長さ30糎(1尺)許に達す。總狀花序は少數の花を着生し．苞は披針形にして紫色を呈す。萼片は線形をなし．花瓣は披針形にして長さ24糎(8分)許を有し．唇瓣は橢圓形にして．緣邊に斑點を伴ふ。〔分布〕臺灣。

5955. **キンリョウヘン** (3圖版-28) ……ラン科
Cymbidium pumilum, Rolfe.

(異名) チャウジュラン　〔形態〕支那原產の栽培種にして．葉は3-5葉を叢生し．長橢圓狀線形にして先端尖る。3月頃披針形にして鱗片を有する花莖を葉間より抽出し．稍上に多くの花を着生す。苞は三角狀鞘形にして．萼片は長橢圓形・花瓣は狹長橢圓形をなす。唇瓣は稍直生して3裂し．各裂片は先端反捲す。〔原產地〕支那。

5956. **ホウメイラン** ……ラン科
Cymbidium pumilum, Rolfe. forma *virescens,* Makino.

〔形態〕前種キンリョウヘンの一栽培品種にして．花色碧色を呈するものなり。(栽培種)

5957. **こんりんざい** (3圖版-29) ……ラン科
Cymbidium Yakibaran, *Makino.*

(異名) やきばらん　〔形態〕本種も亦栽培種に屬する草本にして．概形スルガランに相似たれども．彼に比するに本種の葉は先端より12-15糎(4-5寸)に至る處の緣邊に黃白色を彩り．花莖は紫色を呈して．高さ30糎(1尺)許に達す。6-7月頃黃綠色にして．唇瓣に紫色の細點を有する花を開き香氣稍高し。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。(栽培種)

5958. **ここりん** ……ラン科
Cymbidium albo-marginatum, *Makino.*

〔形態〕本種も亦栽培種に屬し．前種コンリンザイに似て．葉緣銀白色を呈する一種なり。其他概形彼に酷似す。(栽培種)

5959. **ほうさいらん** 歲蘭・拜節蘭 (3圖版-30) ……ラン科
Cymbidium sinense, *Willd.*

〔形態〕臺灣に自生する多年生草本にして．假鱗莖は廣卵形をなし．頂端に2-4葉を生ず。葉は披針形にして鋭尖頭・狹脚をなし．長さ24-60糎(0·8-2尺)．幅3糎(1寸)許に達す。色は深綠色を呈し．稍粗糙にして光澤を有し．直立するの性あり。早春莖側に花莖を抽くこと60糎(2尺)許に達し．梢頭に不整齊なる2-6花を總狀花序に排列す。花序は偏側生にして疎生なり。苞は鞘形をなして子房より短く．花被は綠紫色にして濃紫脈を有し．徑3-6糎(1-2寸)許あり。花瓣は披針形にして．唇瓣は花被より短く．稍3裂し．中裂片は長橢圓狀卵形をなし著しく外反し．黃色にして．紫色條紋を具ふ。側裂片は圓形にして紫緣をなす。〔花色〕綠紫色。〔花候〕早春。
〔分布〕臺灣。

5960. **はくらん** (白圖-20) ……ラン科
Cymbidium sinense, *Willd.* forma Hakuran, *Makino.*

〔形態〕本種は前種ホウサイランの一栽培品種にして．葉は薄質をなし先端尖り．花は小さく且つ少數にして．色彩亦淡色なるものなり。〔花色〕綠紫色。〔花候〕早春。(栽培種)

5961. **ふちべにほうさいらん** ……ラン科
Cymbidium sinense. *Willd.* var. margicoloratum, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生するホウサイランの一變種にして．概形彼に似たれど

20 はくらん　　21 ほうらん

も．本種は唇瓣碧紫色を呈して．斑紋を有せざる一種なり。（栽培種）

5962. **ほうらん** 鳳蘭（白圖-21）……ラン科
Cymbidium Simonsianum, *King*. et *Pantl*.

（異名）かんぼうらん　〔形態〕暖地に自生する多年生草本にして．假鱗莖は卵狀紡錐形をなし．頂端に 4-8 葉を簇生す。葉は蘭中最も狹長なる種類にして．長さ 18-90 糎（0·6-3 尺）に達し．基脚狹まり滑澤にして．中肋は顯著なるも其他は著しからず。初冬の候．莖側より 15-18 糎（5-6 寸）許の花莖を抽出し．4-12 花を總狀花序に綴り．花序は點頭す。苞は小形にして三角狀鑿形をなし．花被片は白色にして狹倒披針形を呈し．中心に赤色の線條を具ふ。唇瓣は花瓣より短く．基脚黃色にして 3 裂す。中裂片は廣卵形にして稍大きく紫赤色を呈し．黃端にして著しく反捲し．2 箇の海板及短毛を伴ふ。側裂片は卵形にして赤色なり。〔花色〕白色。〔花候〕初冬。
〔分布〕九州・臺灣。
人生との關係　觀賞用として栽培し．愛玩に供せらるれども．香氣稍薄弱なるを缺點とす。

5963. はるほうらん ……ラン科
Cymbidium Simonsianum, *King*. et *Pantl*. forma vernale, *Makino*.

〔形態〕前種ホウランの一品種にして．概形彼に酷似す。春季花を開き．花瓣中の紅暈少き一種なり。（栽培種）

5964. さがみらん ……ラン科
Cymbidium sagamiense, (*Nakai*.)

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして．地下に横走せる根莖を有し．屢ば分岐す。花莖は高さ 18-24 糎（6-8 寸）許に達し．下部の鱗片は初め白色を呈すれども．終に黑褐色に變じ．上部の鱗片は披針形をなして綠色を呈す。花は淡綠色にして 2-5 花を總狀に綴り．萼片は廣鑿形にして綠色を帶ぶ。花瓣は稍弓形をなして白色を呈し．唇瓣も亦白色にして下部は包旋し．內面に肋綠條 2 箇を具へ．上部は卵形なり。〔花色〕淡綠色。〔花候〕初夏。
〔分布〕本州中部。

5965. しまらん ……ラン科
Cymbidium Simaran, *Makino*.

〔形態〕本種は一栽培種にして．綠葉中白色の條斑を有する種類なり。花戸は其葉の純白色或は帶黃白色等によりて種々の名稱を附せるものあり。（栽培種）

17. アツモリサウ 屬　CYPRIPEDIUM.

5966. **あつもりさう** 敦盛草（4 圖版-31）……ラン科
Cypripedium speciosum, *Rolfe*.

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして．莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達し．莖葉共に絨毛を生ず。葉は卵圓形にして先端尖り．通常 1 莖に 4-5 葉を着生し．兩面脈上に毛茸を布き．基脚莖を抱きて互生す。5-6 月の候．莖頂に大形にして淡紅色をなせる 1 花をつけ．幌狀をなせる脾瓣を有す。萼片は披針形にして．合萼片は稍長く．花瓣は鎌狀披針形をなす。唇瓣は 5 裂し．基脚の 2 片は鎌形をなして小さく．中 2 片も亦鎌形をなせども大形にして前部は囊狀を呈す。蕊柱は短く．假雄蕊は大きく戟形をなす。子房は合萼片と同長にして．柱頭は菱形なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕春-夏。〔分布〕千島・北海道・本州各部・臺灣。
人生との關係　觀賞用として栽培するに適し．又切花として用ひらる。栽培稍困難なり。用土は腐植土を用ひ．半日陰を好む。

5967. しろばなあつもりさう ……ラン科
Cypripedium speciosum, *Rolfe*. var. albiflorum, *Makino*.

〔形態〕前種アツモリサウの一變種にして．花は紫白色を呈する種類なり。〔花色〕紫白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州中部。

5968. **こあつもりさう**（4 圖版-32）……ラン科
Cypripedium debile, *Reichb*. *f*.

〔形態〕山地喬木帶の樹蔭等に多く自生する多年生草本なり。莖は狹小にして．高さ 12-15 糎（4-5 寸）許に達し．莖頂に 2 葉を對生す。葉は廣卵形にして先端鋭く．隔離生の射出脈 3-5 條を有し．緣邊は稍波狀を呈す。6-7 月頃葉間より花莖を抽出し．莖頂に 1 花を懸垂す。花は徑 3 糎（1 寸）許を有し．黃綠色にして紫色を帶ぶ。萼片は卵形にして．合萼片は稍短く長橢圓形・鋭頭をなし．花瓣は披針形にして萼片と稍同じく．唇瓣は長橢圓形にして瓣片より稍短形なり。〔花色〕黃綠色にして紫色を帶ぶ。〔花候〕夏。
〔分布〕本州各部・四國。
人生との關係　庭園植込み等に栽培し．觀賞の價値あるものなり。

5969. てうせんきばなあつもりさう ……ラン科
Cypripedium guttatum, *Sw*.

（異名）えぞのくまがいさう・みやまあつもりさう　〔形態〕寒地に自生する多年生草本にして．莖高さ 30 糎（1 尺）許に達し．莖頂に 2 葉を對生す。葉は卵形或は橢圓形にして．先端鋭く．下面に微毛を生じ．長さ 9 糎（3 寸）許に達す。花は花莖の頂端に 1 花を着生し．コアツモリサウよりも稍大形にして．黃白色を呈し．紫色の斑點を有す。合萼片は披針形・鋭頭にして短く．花瓣は廣卵形或は稍菱形をなし．唇瓣の囊狀部前方の緣邊は鋭角をなして反捲し．中部內側には微毛を生ず。〔花色〕黃白色・紫色斑點あり。
〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道。

5970. **きばなあつもりさう**（4 圖版-33）……ラン科
Cypripedium guttatum, *Sw*. var. Yatabeanum, *Pfitz*.

〔形態〕前種テウセンキバナアツモリサウの一變種にして．本種は花被黃綠色を呈し．花瓣は狹長にして先端闊く．唇瓣は紫色を呈する一種なり。
〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道。

5971. **おほきばなあつもりさう**（4 圖版-34）　ラン科
Cypripedium calceolus, *L*.

（異名）からふとあつもりさう　〔形態〕北地の山野に自生する多年生草本にして．莖高さ 30 糎（1 尺）許に達す。葉は 3-5 葉を着生し．葉身は廣橢圓形にして先端鋭尖なり。花は總狀花序をなして．1-3 花を排列し．苞は葉狀にして花より超出す。萼片は卵狀披針形にして．合萼片は狹搾し．先端に缺刻を有す。花瓣は綠狀披針形にして稍扭捩し．唇瓣は黃色・卵形にして基部に赤色斑點を伴ひ．下垂す。側裂片は半月形をなして反捲し．中裂片は半圓形にして內捲す。〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

5972. **くまがいさう** 鬼晋郵（4 圖版-38）……ラン科
Cypripedium japonicum, *Thunb*.

（異名）ほていさう　〔形態〕山地樹蔭等に自生する多年生草本にして根莖は橫走し．莖梢部には微毛を布き．基脚膜鞘を被る。莖は高さ 30 糎（1 尺）餘に達し．頂端に扇を開きたるが如き 2 箇の大葉を生じ．互に接近したる射出脈を多數に生ず。2 葉間より絨毛を布ける短き花梗を抽き．淡黃綠色にして暗紅紫色の斑點を有する 1 花を開く。苞は葉狀披針形をなして子房より長く．萼片も亦披針形にして合萼片は廣濶なり。花瓣は三角形にして萼片より稍長く．唇瓣は囊狀をなして內面に短毛を布く。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。
人生との關係　觀賞用として栽培するの價値あり。

18. トキハラン 屬　PAPHIOPEDILUM.

5973. **インドアツモリサウ**（4 圖版-35）……ラン科
Paphiopedilum insigne, Pfitz.

（異名）トキハラン　〔形態〕東印度原產の多年生常綠草本にして．莖高さ 30 糎（1 尺）餘に達し．稍赤褐色を呈す。葉は軟質にして 5-6 葉を着生し廣線形・圓頭をなし．平行脈を有して全緣なり。花莖は葉より遙かに短く細毛を密布し．苞は廣橢圓形・筒脚をなし側扁生なり。花は 1 莖 1 花を普通とすれども．時に 2-3 花を着生し．アツモリサウに似て．黃綠色を呈し．赤褐色

21 げいしやうらん　　22 なぎらん　　23 ほくろ
24 するがらん　　25 めらん　　26 ぎよくちんらん　　27 ソシンラン
28 キンリヨウヘン　　29 こんりんざい　　30 ほうさいらん

の斑紋及線狀を有する花被を具へ．外面に細毛を生ず。萼片は廣倒卵形にして內面に褐色の斑點を有し．上部の一部は白色なり。花瓣は長楕圓形にして．唇瓣は大きく囊狀をなし．內面紫褐色にして細點を密布し．且つ細毛を生ず。〔花色〕黃綠色。〔花候〕11-12 月。〔原產地〕印度（アッサム地方）。

人生との關係　花は一般に餘り美しからざれども．開花期長く．且つ栽培容易なるを以て．庭園又は鉢植として培養し．觀賞に供せらる。殊に切花としても優に 10 數日間を保つを以て抑花用に愛用せらる。低溫室に栽培し．夏期は室外日蔭棚に置くを可とす。養土としては．水苔のみにても亦荒木田土・「オスマンダ」を加へたるものをよしとす。

5974. **シブリペデューム・カロスム・サンデリー**　ラン科
Paphiopedilum callosum, Reichb. f.　（4 圖版-36）
var. *Sanderae*, Pfitz.

〔形態〕本種は園藝家方面より一般に稱せらるゝシブリペデュームの一種にして「シヤム」原產の多年生常綠草本なり。葉は綠色にして．淡色の斑點を有し．花は長き花莖の頂端に通常 1 花を着くれども．亦稀に 2 花を着くることあり。花形・花色共に高尚・美麗にして．殊に切花として最も優良なるものなり。〔花色〕種々。〔花候〕冬-夏。〔原產地〕「シヤム」。

人生との關係　觀賞用及切花用として．庭園等に栽培せらる。移植は花後行ふを適期とし．植込材料は一般に水苔のみを以て培養せらるれども．又「オスマンダ」・荒木田土を等量に．且つ少量の砂と木葉腐壤土とを加へたるものにても可なり。肥料としては牛糞の乾燥したるもの．骨粉等を混じたるものを施せば可なり。

5975. **シブリペデューム・ビッチェリアヌム**　ラン科
Paphiopedilum pitcherianum, Mand.　（4 圖版-37）
var. *Williamsii*, Hort.

〔形態〕園藝家の手によりて作り出されたる交配種にして．常綠の多年生草本なり。葉は廣綠形にして先端圓く．軟質・平滑なり。葉間より 2-3 の花莖を抽出し．頂端に花を單生す。花は紫褐色にして．紫條を有し．唇瓣は大形の囊狀をなす。〔花色〕紫褐色地に紫條を伴ふ。（栽培種）

19. イチエフラン屬　DACTYLOSTALIX.

5976. ひとはらん　ラン科
Dactylostalix maculosa, *Miyabe*. et Kudo.

（異名）いちえふらん・いちげいちえふらん　〔形態〕高山樹蔭に自生する多年生草本にして．塊莖は細長く絨毛を被る。葉は 1 葉を根生し．有翼の葉柄を具へ．葉身は膜質・卵形或は楕圓形にして．鈍頭・鈍脚をなし．長さ 3-6 糎（1-2 寸）に達す。夏日 1 葉の基部より斜上・直生する花莖を抽き．高さ 15-18 糎（5-6 寸）に達し．莖頂に 1 花を生ず。本花の有する唇瓣は內花被片より短く．倒卵狀圓形をなして 3 裂し．白色にして紫色の斑點を具へ．他の花被片は黃綠色を呈す。蕊柱は長楕圓形にして 3 脈を具へ翼を伴ふ。〔花色〕黃綠色にして唇瓣は白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州各部。

5977. ひめひとはらん　ラン科
Dactylostalix ringens, *Reichb. f.*

〔形態〕前種ヒトハランの一種にして．概形彼に比するに．莖は軟弱にして花は小さく．唇瓣は圓形ならずして．紫點亦顯著ならざる種類なり。〔分布〕北海道・本州。

20. セキコク屬　DENDROBIUM.

5978. **せきこく**　石斛　（4 圖版-39）　ラン科
Dendrobium monile, *Kraenzl.*

〔形態〕山中岩上或は古木等に生ずる多年生の氣生草本にして．莖高さ 9-12 糎（3-4 寸）より 18-21 糎（6-7 寸）許に達し．圓柱形或は紡錐形又稀に念珠形をなして節を有し．稍木賊の如く節毎に葉を生ず。葉は厚質にして舌形或は線狀披針形をなし．長さ 5-5·4 糎（1·7-1·8 寸）許に達す。夏日莖上花梗を抽き．白色にして徑 3 糎（1 寸）許を有する美花を 1-2 箇頂生す。苞は細小・圓形にして．花被片は長楕圓形をなし．唇瓣は不明に 3 裂す。側裂片は圓形にして短く．中裂片は卵形にして長く先端反捲す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

人生との關係　本種には栽培品種多く．觀賞用として栽培せらる。藥效として．根・莖・葉を共に煎服すれば一般的强壯劑として效あり

23 きばなのせきこく　24 シロタヘセキコク

5979. **きばなのせきこく**　（白圖-23）　ラン科
Dendrobium tosaensis, *Makino.*

〔形態〕暖地に自生する多年生の氣生草本にして．根莖は短く横走し．肉質にして．圓柱形をなし．多くの節を具へ．節毎に細莖を出し．分叉して叢生す。葉は稍革質・披針形にして基脚鞘形をなす。8 月頃中等大にして黃綠色をなせる花を細莖上に 2-5 花を着生し．側生せる總狀花序に排列す。花瓣は披針形にして唇瓣は倒卵形をなし．先端暗紫色を呈す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州・琉球。

5980. **シロタヘセキコク**　（白圖-24）　ラン科
Dendrobium Dearei, Reichb. f.

〔形態〕外來の栽培用多年生草本にして．莖高さ 60-90 糎（2-3 尺）許に達す。葉は革質・廣楕圓形にして．先端不齊に凹み長さ 6 糎（2 寸）許を有す。花は通常 3-4 花．稀に多數を攢簇して總狀花序に排列す。花瓣は廣卵形にして．稍波緣をなし．唇瓣は長楕圓形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕濠洲。

25 コテフセキコク　26 フヂセキコク

5981. **コテフセキコク**　（白圖-25）　ラン科
Dendrobium Phalaenopsis, Fitzg.

〔形態〕本種も亦外來の栽培用多年生草本にして．莖は長紡錐狀をなし．長さ 45-60 糎（1·5-2 尺）許に達す。葉は披針形にして先端尖り．長さ 15 糎（5 寸）許．花は紫色にして徑 6-9 糎（2-3 寸）許を有し．少數花を腋出せる總狀花序に排列す。萼片は披針形にして．花瓣は倒卵形或は菱形をなし．唇瓣の側裂片は圓く．中裂片は三角形・鋭尖頭をなし．上面は裸出す。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔原產地〕濠洲。

5982. **フヂセキコク**　（白圖-26）　ラン科
Dendrobium superbiens, Reichb. f.

〔形態〕本種も亦外來の栽培草本にして．莖は溝を具へ．圓柱形にして多くの節を有し．高さ 90 糎（3 尺）許に達し．葉は長楕圓形にして先端尖り．長き鞘脚を有す。總狀花序は長さ 40 糎（1·3 尺）許ありて懸垂す。苞は細小にして．萼片は長楕圓形をなし．花瓣は倒卵形をなす。唇瓣の側裂片は半倒卵

形・圓頭をなし，中裂片は長楕圓形・鋭頭にして先端外反し，3-5 箇の薄板を伴ふ。〔原產地〕濠洲。

27 モクコクラン　　28 いとうせきこく

5983. **モクコクラン**（白圖-27）…… ラ ン 科
Dendrobium nobile, Lindl. var. *formosanum*, Reichb. f.

（異名）タイワンモクコク・シマモクコク　〔形態〕喜馬拉原產のオホバナセキコクの一變種にして，莖は延長して懸垂す。花は白色にして長梗を有し，唇瓣は紫色を呈する一種なり。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

5984. **オホバナセキコク**（4 圖版-40）…… ラ ン 科
Dendrobium nobile. Lindl.

（異名）カウキセキコク・タイヘイラク　〔形態〕支那より渡來せる觀賞用多年生草本にして，稍壓扁せられたる莖を簇生し，劃然たる節を具へ，高さ 50 糎（1·6 尺）内外に達す。葉は卵狀披針形にして互生し，平行脈を具へ，不齊双凸端をなして長さ 6-9 糎（2-3 寸）許に達す。花は不整齊なる花被を有する大形花にして，紅紫色を呈し，通常 2-3 花を點頭して總狀花序を綴る。苞は細小にして，花瓣は卵狀長楕圓形をなし，唇瓣は倒卵狀長楕圓形にして，兩面剪絨狀をなし，後部は濃紫色を呈し，緣邊は白色なり。

〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。〔原產地〕喜馬拉。

人生との關係　庭園に栽培し，又鉢植として觀賞に供す。

5985. サボテンセキコク …… ラ ン 科
Dendrobium linguaeforme, Sw.

〔形態〕外來の栽培用多年生草本にして，莖は圓柱形をなし，多くの結節を有して横走す。葉は長楕圓形にして 3 溝を具へ，長さ 3 糎（1 寸）許。花は白色にして紅采を伴ひ，多數相集りて疊長なる總狀花序をなす。苞は細小にして三角形をなし，花被片は線狀披針形にして，唇瓣は短小なり。

〔花色〕白色。〔原產地〕濠洲。

5986. **いとうせきこく**（白圖-28）…… ラ ン 科
Dendrobium leptocladum, *Hayata*.

〔形態〕暖地に生ずる多年生草本にして，莖は高さ 45 糎（1·5 尺）許に達し，疊長なり。葉は狹披針形にして長さ 6 糎（2 寸）許を有し，花は莖側に單生す。萼片は長楕圓形をなし，花瓣は萼片と稍同形なり。唇瓣は菱形にして長さ 1·3 糎（4·5 分）許を有し，先端細裂し，上面中部には粗毛を生ず。

〔分布〕臺灣。

5987. ボウセキコク …… ラ ン 科
Dendrobium teretifolium, R. Br.

〔形態〕外來の多年生伏臥生草本にして，莖には多くの節を有し，節毎に多くの小枝を岐ちて其頂端に概ね 1 葉を着生す。葉は圓柱形にして先端尖り，長さ 9-30 糎（0·3-1 尺）許に達す。花は白色にして少數花を總狀花序に排列し，花被片は線形をなし，唇瓣は披針形にして先端尖り反捲す。

〔原產地〕濠洲。

21. コイチエフラン屬　EPHIPPIANTHUS.

5988. **こいちえふらん**（5 圖版-41）…… ラ ン 科
Ephippianthus Schmidtii, *Reichb. f.*

〔形態〕高山の喬木帶に自生する多年生小草本にして，地下より 1 葉を抽き，高さ 12-15 糎（4-5 寸）許に達す。葉は長き葉柄を具へ，葉身は卵形を呈すれども，縱脈は明瞭ならず。夏日細長にして 21-24 糎（7-8 寸）許ある 1 花莖を抽出し，其頂に數花を着生して總狀花序をなす。苞は細小・透明質にして，緣邊に細鋸齒を有し，花は白色なり。花被片は長楕圓形をなし，唇瓣は有爪にして，兩側は垂す。〔花色〕褐色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・本州各部。

22. スズラン屬　EPIPACTIS.

5989. **すずらん**（5 圖版-42）…… ラ ン 科
Epipactis Thunbergii, *A. Gray*. (*E. longifolia*, *Blume*.)

（異名）かきらん　〔形態〕山間濕潤の地に自生する多年生草本にして莖高さ 30 糎（1 尺）餘に達し，莖葉共に無毛なり。葉は卵狀披針形にして先端尖り，基脚鞘狀をなして莖を擁す。夏日梢上に褐色をなせる 10 數花を點頭し，總狀花序に排列す。苞は葉狀をなし，花と同長なるか或は短く，花被片は卵形にして先端尖り開出す。唇瓣は白色にして紅點を有し，中央は狹搾し，前部は擴大して瓣狀を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

29 からふとすずらん　　30 あをすずらん

5990. **からふとすずらん**（白圖-29）…… ラ ン 科
Epipactis latifolia, *All*.

〔形態〕寒地に自生する多年生草本にして，莖高さ 30-90 糎（1-3 尺）許に達し，上部には微毛を密生す。葉は圓形或は卵狀披針形にして，長さ 7·5-12 糎（2·5-4 寸）許を有し，概ね毛緣なり。花は綠色にして黃色又は紫色を交へ，徑 1·2-1·8 粍（4-6 分）許を有し，稍偏側生の總狀に排列す。唇瓣は他の花被片より短く，前部は卵狀唇形をなし，後部は稍球形にして，基脚に 2 硬點を有す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

5991. **あをすずらん**（白圖-30）…… ラ ン 科
Epipactis latifolia, *All*. var. papillosa, *Maxim*.

（異名）えぞすずらん　〔形態〕各地の高山喬木帶に自生する多年生草本にして，莖には捲縮毛を密布し，高さ 30 糎（1 尺）内外に達す。葉は縐澁にして，下葉は廣楕圓形，中葉は披針形，梢葉は線狀披針形にして何れも先端尖り互生す。7-8 月の候，梢上に總狀花序をなして，帶綠色の花を開く。

〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・九州。

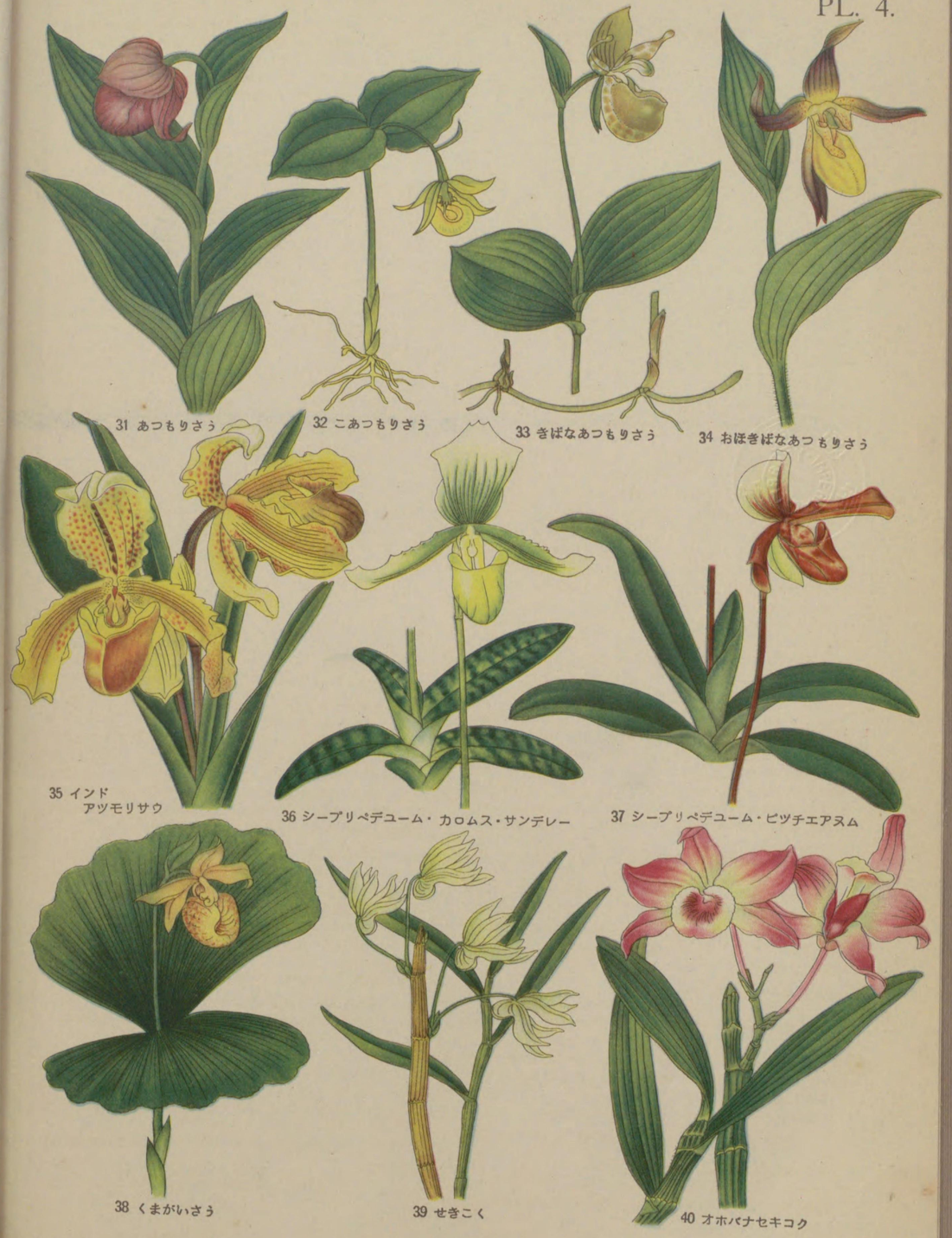
人生との關係　時に觀賞用として栽培せらるゝことあり。

5992. **きんらん**（5 圖版-43）…… ラ ン 科
Epipactis falcata, *Wettst*. (*Cephalanthera falcata*, *Blume*.)

（異名）きさんらん・わうらん・ありまさう・あさまさう　〔形態〕山地樹林中の稍濕氣を含める地を好みて自生する多年生草本にして，莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）許に達す。葉は廣披針形にして先端尖り，基脚莖を抱き稍無柄なり。4 月頃，梢上に數箇の小花を着け穗狀花序をなす。花は黃色にして，花被片は卵形をなし，常に上方に向ひ，花蓋片は十分に開展せざるの特性を有す。〔花色〕黃色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

5993. **ぎんらん**（5 圖版-44）…… ラ ン 科
Epipactis erecta, *Wettst*. (*Cephalanthera erecta*, *Blume*.)

PL. 4.



31 あつもりさう　32 こあつもりさう　33 きばなあつもりさう　34 おほきばなあつもりさう
35 インド アツモリサウ　36 シープリペデユーム・カロムス・サンデレー　37 シープリペデユーム・ビツチエアヌム
38 くまがいさう　39 せきこく　40 オホバナセキコク

（異名）はくさんらん　〔形態〕前種と同じく山地の樹蔭に自生する多年生草本にして，概形キンランに似たれども，全體小形にして莖高さ30糎（1尺）に達せず。4-5月の候，白色にして少數の花を穗狀花序に綴る。苞は花よりも短く，萼片は披針形にして花瓣は小卵形をなし，唇瓣は短濶にして囊狀をなす。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

5994. ささばぎんらん …… ラン科
Epipactis longibracteata, *Wettst.* (*Cephalanthera longibracteata, Blume.*)

〔形態〕前種ギンランに似たる小草本なれども，彼に比するに全形壯大にして，葉は披針形をなし，苞は花より長形なる種類なり。〔分布〕北海道·本州·九州。

23. ヲサラン屬　ERIA.

5995. **をさらん**（5圖版-45）…… ラン科
Eria reptans, *Makino.*

（異名）ばっこくらん　〔形態〕山中の岩石上等に自生する多年生草本にして，根莖はセキコクに似て肥厚·横走す。假鱗莖は長楕圓形をなして接在する狀恰も筍の形に似たるを以て此名あり。莖は通常2節ありて梢頭に2葉を對生し，形狀セキコクの葉の如くにして稍大なり。3月頃葉の中心より1花梗を抽きて2·1-2·4糎（7-8分）許に達し，2箇の鱗葉ありて頂に乳白色をなせる小形の花を單生す。苞は小形·膜質にして卵形をなし，花被片は長楕圓形·鋭頭にして唇瓣は紫色を呈して3裂し，基脚に3箇の雛冠突起を有す。〔花色〕乳白色。〔花候〕春。〔分布〕本州南部·四國·九州。

5996. おほをさらん …… ラン科
Eria yakushimensis, *Nakai,*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，概形前種ヲサランに似たれども，本種は全體大形なると，彼の花の乳白色にして單生するに比し，本種の花は黃白色にして，通常10-16花を着生し，總狀花序をなすを其異る所なりとす。〔分布〕九州。

5997. りうきうせきこく …… ラン科
Eria luchuensis, *Yatabe.*

〔形態〕前種と同じく山地に自生する多年生草本なり。莖は假鱗形狀圓柱形にして，3-4節を有し，葉は3-5葉を頂生し，革質·長楕圓形にして2裂し，基脚鞘狀となり長さ12-15糎（4-5寸）許に達す。9-10月頃，梢上に乳白色をなせる花を總狀花序に排列す。苞は卵形にして，萼片は披針形をなし稍合生し，唇瓣は細小·卵形にして黑紫色を呈す。〔花色〕乳白色。〔花候〕秋。〔分布〕琉球。

5998. **ふしなしをさらん**（5圖版-46）…… ラン科
Eria nudicaulis, *Hayata.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして，莖は圓柱形をなして肥厚し，高さ24糎（8寸）許に達す。葉も亦肥厚し，長楕圓形·鈍頭·狹脚をなし，長さ15糎（5寸）許を有す。花は乳白色にして，前種リウキウセキコクより稍小さくして，腋出せる穗狀花序に排列す。苞は卵形をなし，萼片は披針形にして7脈を具へ，花瓣も亦披針形にして3脈を有す。唇瓣は三角狀卵形或は菱狀卵形にして先端尖り，基脚急に緊縮せられ，柱體の足部と關節す。〔花色〕乳白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

5999. **ほざきをさらん**（5圖版-47）…… ラン科
Eria Corneri, *Reichb. f.*

〔形態〕暖地の山野に自生する多年生草本にして，假鱗莖は簇出し，初めは卵形を呈すれども，既にして圓柱形となる。葉は葉柄を具へ，披針形にして長さ24糎（8寸）許に達す。花は綠黃色にして，少數花を着生す。萼片は卵狀三角形をなし，側萼片は著しく大きく，唇瓣の側裂片は白色にして紫點を有し，中裂片は三角形にして，紫褐色を呈す。〔花色〕綠黃色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

24. タイワウラン屬　EUANTHE.

6000. タイワウラン …… ラン科
Euanthe Sanderiana, Schltr.

〔形態〕熱帶原產の多年生草本にして，莖は稍株立性をなし，葉は肉質にして互生し，長さ30糎（1尺）許に達す。夏秋の候，葉の基部より葉と稍平行に抽出せる20糎（6·5寸）許ある花梗に5-6花乃至數花を輪生す。花は大きく且つ扁平にして，徑10糎（3寸）に及び頗る雄大なるものなり。花色は淡紫黃色の地に赤褐色の斑點及線狀を現し，上部萼片と2花瓣とは淡色にして，下部の2萼片は最も濃色なり。唇瓣は稍小さく帶黃赤褐色を呈す。〔花色〕淡紫黃色の地に赤褐色の斑點あり。〔花候〕夏-秋。〔原產地〕比律賓群島（ミンダナオ島）。

人生との關係　觀賞用として栽培し愛玩せらる。移植は4-5月頃を適期とし，「オスマンダ」·水苔を以て，鉢植又は「ヘゴ」板へ根を縛付く。繁殖は株分法による。

25. ツチアケビ屬　GALEOLA.

6001. **つちあけび**（白圖-31）…… ラン科
Galeola septentrionalis, *Reichb. f.*

（異名）やまたうがらし·やましやくじゃう　〔形態〕山地に自生する多年生の寄生草本にして，莖葉共に肉質なり。根莖は横走し，莖は卵形の鱗片を以て疎に被はれ，直生して高さ30-60糎（1-2尺）許に達す。花は黃褐色にして，30糎（1尺）許ある圓錐花序に排列す。萼片は長楕圓形にして先端尖り，長さ2·1糎（7分）許を有し，黃色にして，先端及中部は紅色を帶び，外面には微毛を密布す。花瓣は卵狀長楕圓形をなし，萼片より短く，同色なり。唇瓣は圓形にして扇狀に分裂し，花後生ずる蒴は漿果狀をなし，倒卵狀長楕圓形にして懸垂す。〔花色〕黃褐色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

31 つちあけび

32 おにのやがら

6002. つるつちあけび …… ラン科
Galeola altissima, *Reichb. f.*

（異名）たかつるらん　〔形態〕暖地に自生する無葉蘭の一種にして，莖葉共に無毛なり。莖は蔓狀をなして雁木狀に仲長し，多くの枝を分ち稍赤色を帶び，長さ往々36米（120尺）に達するものあり。花は穗狀花序をなして多數を懸垂し，花被片は線狀楕圓形にして，唇瓣は舟形をなし，先端圓く不齊齒牙緣を有し，上面中央には廣濶なる肉質の隆起と2裂せる毛塊とを具ふ。蕚は線形なり。〔分布〕琉球·臺灣。

26. オニノヤガラ屬　GASTRODIA.

6003. **おにのやがら**　天麻·赤箭（白圖-32）…… ラン科
Gastrodia elata, *Blume.*

（異名）ぬすびとのあし·てんま　〔形態〕山中陰地に自生する多年生の寄生草本にして，塊莖は長楕圓形をなして肥厚し，長さ7·5-15糎（2·5-5寸）許に達し，莖は直生し全體葉綠を有せずして，單に節部に先端3裂せる鱗片のみを着生し，黃赤色を呈す。7月頃莖上に穗狀花序をなして，密花を着生す。苞は線狀披針形にして花より稍短く，花は黃色にして3萼片と合着して囊狀をなし，基脚腹面は膨大して先端5裂す。唇瓣は卵狀楕圓形·全緣にして爪を有し，爪部瓣片は着生し，大形·肉質の突起1對を伴ふ。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

6004. あをてんま …… ラン科
Gastrodia elata, *Blume.* var. viridis, *Makino.*

〔形態〕オニノヤガラに似たる草本にして，莖葉共に綠色を呈するものなり。〔分布〕北海道·本州。

6005. **ひめのやがら**（白圖-33）…… ラン科
Gastrodia shikokiana, *Makino.*

〔形態〕前種オニノヤガラと同じく．山中陰地に自生する多年生の寄生草本にして．莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達す。本種も亦彼と同じく葉綠素を缺き．黃赤色の鱗片を有すること亦よく似たれども．全體彼より小形なるものなり。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

33 ひめのやがら　　34 ひめてんま

6006. **ひめてんま**（白圖-34）…… ラン科
Gastrodia gracilis, *Blume.*

〔異名〕しろてんま　〔形態〕山中陰地に自生する寄生草本にして．テンマに似たれども．本種の花梗は長く．苞は小梗の ⅓ 長．萼片は稍同じく鈍頭をなす。蕊柱は短く先端 2 岐し．分枝は直生す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

27. シュスラン屬　GOODYERA.

6007. **しゅすらん**（5圖版-48）…… ラン科
Goodyera velutina, *Maxim.*

〔異名〕びろうどらん　〔形態〕山地の樹蔭等に自生する常綠の多年生草本にして．莖高さ 12-15 糎（4-5 寸）に達し．下部に太き鬚根を生ず。葉は葉柄を具へ．長橢圓形・銳尖頭にして互生し．暗綠色を呈し滑澤なり。7-8 月の候．莖上に白色にして淡紅褐暈を伴へる少數花を穗狀花序に綴り．花序には短毛を布く。後萼片は凹形にして直生し．花瓣と共に帽を形成し．側萼片は離生して唇瓣の囊狀部を包覆す。蕊柱は葯の半長にして．嘴より稍小形なり。〔花色〕白色・淡紅褐色暈を伴ふ。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

人生との關係　觀賞用として栽培するに適す。

6008. **つりしゅすらん**（5圖版-49）…… ラン科
Goodyera pendula, *Maxim.*

〔形態〕深山老木の幹上を匍匐して生育する常綠の多年生草本にして．莖は伏臥生をなし．太き鬚根を有し．莖は概ね根莖より下垂し長さ 15 糎（5 寸）許に達す。葉は線狀披針形乃至線形にして．5 條の縱脈を有し．波狀緣をなす。7-8 月の候．莖と稍銳角をなして登上する穗狀花序をなし．帶褐白色の小花を偏側生に密生す。苞は線狀披針形にして．子房より長く．後萼片は披針形・側萼片は斜卵狀披針形・鈍頭をなし．嘴は 2 裂す。〔花色〕帶褐白色。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州。

6009. **あけぼのしゅすらん**（5圖版-50）…… ラン科
Goodyera Maximowicziana, *Makino.*

〔形態〕各地の山林樹下に自生する常綠の多年生草本にして．莖高さ 12-15 糎（4-5 寸）より 21-24 糎（7-8 寸）に達し．稍伏臥生にして．下部に太き鬚根を生ず。葉は葉柄を具へ．卵形或は橢圓形にして互生し．長さ 3 糎（1 寸）許に達す。7-8 月の候．梢上に淡紫白色の數花を穗狀花序に排列し．苞は披針形にして花と稍同長なり。〔花色〕淡紫白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

6010. **べにしゅすらん**（白圖-35）…… ラン科
Goodyera macrantha, *Maxim.*

〔形態〕高山喬木帶の樹下等に自生する常綠多年生の低草本にして．莖高さ 9-12 糎（3-4 寸）許に達す。葉は葉柄を有し．卵形にして．稍皺襞を伴ふ。

35 べにしゅすらん

8-9 月の候．莖頂に細長なる披針形の葉間より淡黃褐色にして．大形なる花を 5-6 箇簇生す。〔花色〕淡黃褐色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

6011. **かごめらん** …… ラン科
Goodyera Matsumurana, *Schlecht.*

〔異名〕りうきうしゅすらん　〔形態〕山地に自生する常綠の多年生草本にして．葉は斜橢圓形をなし．先端尖り．上面に紅色の斑點を具へ．葉柄を有す。花穗は多くの花を密生し．苞は披針形にして花と稍同長なり。萼片は長橢圓形をなし．花瓣は稍箆形にして．唇瓣は卵形をなし．基脚囊狀を呈す。〔分布〕琉球。

6012. **はちぢゃうしゅすらん** …… ラン科
Goodyera hachijoensis, *Yatabe.*

〔形態〕山地樹蔭に自生する常綠の多年生草本にして．根莖は横走し．莖は紫色を呈し．上部は有毛にして．高さ 12 糎（4 寸）許に達す。葉は卵形にして．濃綠色の斑紋を有し．長さ 3-6 糎（1-2 寸）許．花は白色にして．稍偏側生に穗狀花序をなして排列す。苞は葉狀を呈して細鋸齒緣をなし．花と稍同長なり。後萼片は花瓣と合生し．唇瓣の囊狀は淡黃色にして．內面に毛を生じ．前部は白色にして平開す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州（八丈島）。

6013. **みやましゅすらん** …… ラン科
Goodyera morrisonicola, *Hayata.*

〔形態〕深山の樹蔭に自生する常綠の多年生草本にして．莖は斜上し高さ 9 糎（3 寸）許に達す。葉は卵形乃至卵狀長橢圓形にして．先端尖り皺緣をなす。穗狀花序は疎生して短毛を布く。萼片は狹長橢圓形をなし．花瓣と共に花兜を形成し．唇瓣は基脚囊狀を呈し．內面に絨毛を生ず。〔分布〕臺灣。

6014. **たかねしゅすらん** …… ラン科
Goodyera pachyglossa, *Hayata.*

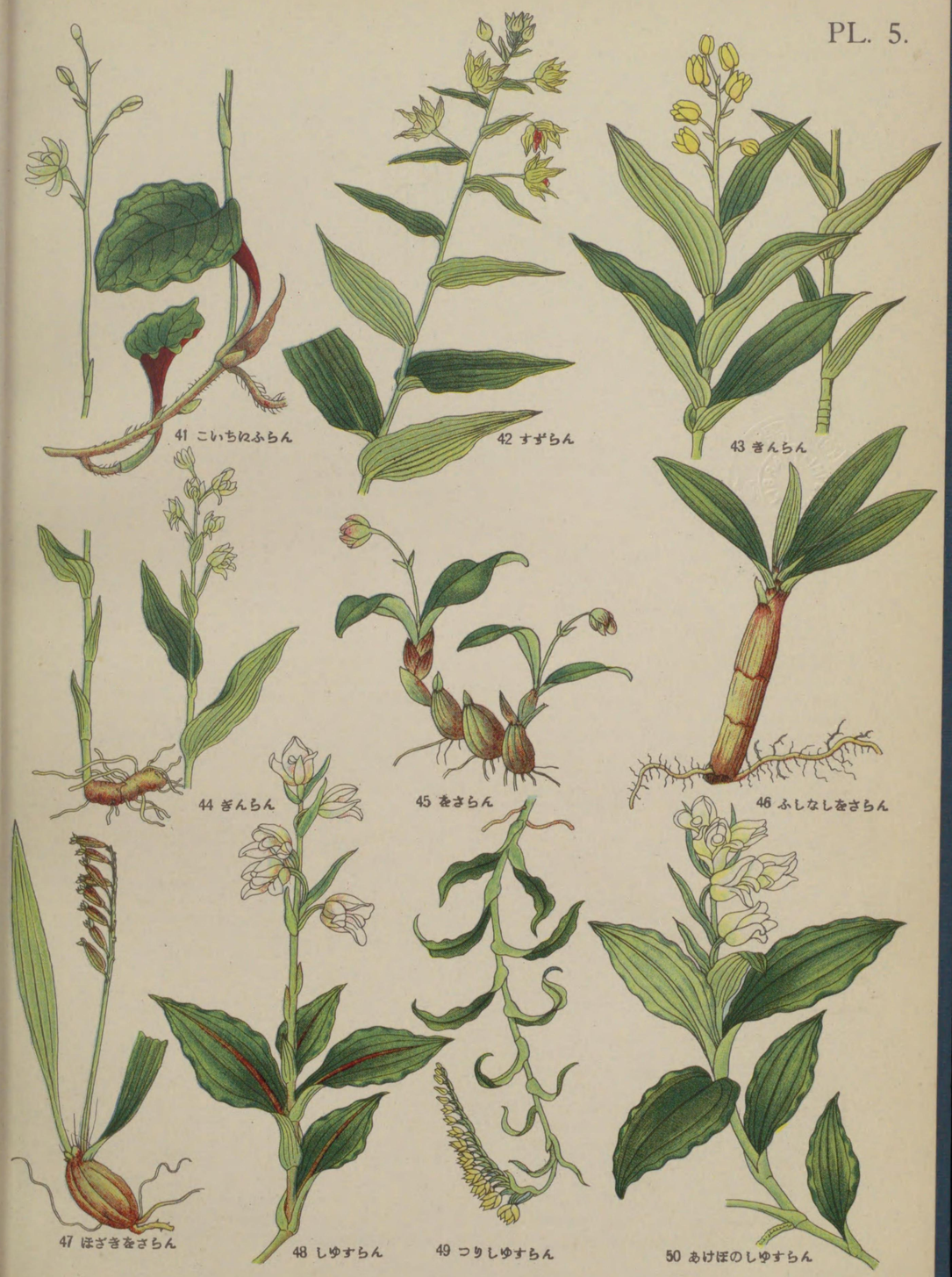
〔形態〕高山に自生する多年生の常綠草本にして．莖高さ 24 糎（8 寸）許に達し．上部に細毛を布く。葉は卵狀長橢圓形にして．鈍頭・圓脚をなす。花は總狀花序に密花を排列し．花軸には細毛を密布す。苞は披針形にして．後萼片は卵狀長橢圓形をなし．先端凹み．側萼片は斜卵形にして．何れも外面に粗毛を布く。花瓣は倒卵狀楔形・銳頭にして．唇瓣は卵形をなし．基脚不齊に膨大し．內面には粗毛を生ず。〔分布〕臺灣。

6015. **しましゅすらん** …… ラン科
Goodyera Ogatai, *Yamamoto.*

〔形態〕屋久島・臺灣等の島國山地に自生する常綠の多年生草本にして．莖は肉質をなし．下部は地上を匍匐して結節毎に根を生じ．上部は斜上・直生し．高さ 1·2-1·8 糎（4-6 分）許に達す。葉は 3-4 葉を出し．卵形或は長橢圓狀卵形にして．葉柄を有し．基脚は鞘狀をなして莖を抱く。花は 2-3 箇を頂生或は腋出し．苞は 4-5 箇を具へ．花被諸片は何れも同長にして．脚部は稍綠色を呈し．上部は帶赤色或は淡紫色を呈す。唇瓣は花被片より稍短く．基部は肥厚し．內面は半囊狀をなす。〔花色〕帶赤色。〔花候〕夏。〔分布〕九州（屋久島）・臺灣。

6016. **やくしましゅすらん** …… ラン科
Goodyera Yakushimensis, *Nakai.*

〔形態〕屋久島に自生する多年生常綠草本にして．莖は淡紫綠色を呈し．



41 こいちねふらん　42 すずらん　43 きんらん
44 ぎんらん　45 をさらん　46 ふしなしをさらん
47 ほざきをさらん　48 しゅすらん　49 つりしゅすらん　50 あけぼのしゅすらん

伏臥生なり。莖葉は卵形或は長卵形にして。3-4 葉を生じ。中肋に沿ひて不齊白斑を有す。苞は線狀披針形にして。下部緣邊には毛茸を生じ。花と稍同長なり。側萼片は長橢圓形にして龍骨を有し。褐色にして先端白色を呈す。花瓣は白色・狹長にして。唇瓣は基脚囊狀をなし。先端凹み中部に溝を有す。〔分布〕九州（屋久島）。

6017. **みやまうづら**（6圖版-51）……ラン科
Goodyera Schlechtendaliana, *Reichb. f.*

（異名）かもめらん・とよしまらん　〔形態〕深山の樹蔭に自生する多年生常綠草本にして。莖高さ 9-12 糎（3-4 寸）に達し。上部には細毛を密布す。葉は葉柄を具へて互生し。卵狀橢圓形にして先端尖り。上面に白色斑紋を彩り頗る美なり。夏日莖頂に帶紅白色の數花を穗狀花序に排列し。花序は偏側生なり。苞は子房より短く。子房は細毛を密布す。唇瓣は囊狀をなし內面に細毛を布き。嘴は 2 叉す。〔花色〕帶紅白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

6018. **ふなしみやまうづら**……ラン科
Goodyera Schlechtendaliana, *Reichb. f.* forma similis, *Makino.*

（異名）さとうづら　〔形態〕前種ミヤマウヅラの一品種にして。本種は葉面に白斑を有せざるものなり。概形彼に同じ。〔分布〕邦內各地。

6019. **ひめみやまうづら**（6圖版-52）……ラン科
Goodyera repens, *R. Br.*

〔形態〕ミヤマウヅラの一種にして。彼に比するに本種は全體小形にして唇瓣の基脚囊狀部に毛を有せざるを判別の要點なりとす。7-8 月の候。葉間より花莖を抽出し。莖頂に近く白色の花を偏側生に排列すること亦ミヤマウヅラと相似たり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

6020. **ながばなうづら**……ラン科
Goodyera longirostrata, *Hayata.*

（異名）おほしゅすらん　〔形態〕本種も亦山地樹蔭に自生する多年生の常綠草本にして。下部の莖は地上を匍匐し。長さ 18 糎（6 寸）許に達す。葉は卵狀長橢圓形にして先端尖り。基脚圓形をなして。葉柄を有す。總狀花序は少數花を着生し。花軸に纖毛を密布す。苞は緣邊に微毛を生じ。萼片と共に狹長橢圓形をなし。後萼片は花瓣と共に花兜を形成す。唇瓣は基脚囊狀をなし。內面に毛茸を生ず。〔分布〕臺灣。

6021. **ふいりうづら**……ラン科
Goodyera albo-reticulata, *Hayata.*

〔形態〕山地樹蔭に自生する常綠多年生草本なり。莖は瘠長にして直生し。高さ 15 糎（5 寸）許に達す。葉は卵形にして先端尖り。上面に白色網紋を布く。花は穗狀花序に疎花を着け。苞は披針形・銳尖頭をなす。花後無柄にして卵狀長橢圓形をなせる蒴を結ぶ。〔分布〕臺灣。

6022. **ほうらいうづら**……ラン科
Goodyera nantoensis, *Hayata.*

〔形態〕山地に自生する多年生の常綠草本にして。莖は匍匐直生し。高さ 15 糎（5 寸）許に達す。葉は葉柄を有し。卵形にして鈍頭・圓脚をなし。葉鞘は披針形にして。上部に至るに從ひ漸く短し。總狀花序は偏側生にして密花を着け。長さ 3 糎（1 寸）餘に達す。苞は卵狀披針形にして先端尖り。萼片は卵狀長橢圓形・鈍頭をなす。唇瓣は基脚不齊に膨大し。內面に細瘤起を生ず。〔分布〕臺灣。

6023. **きんぎんさう**（6圖版-53）……ラン科
Goodyera procera, *Hook.*

〔形態〕暖地に自生する多年生草本にして。莖は多くの葉を着生し。高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達す。葉は葉柄を具へ。長橢圓狀披針形をなし長さ 9-18 糎（3-6 寸）。幅 3 糎（1 寸）許にして厚く。緣端外反し。基部狹まり莖を包みて互生す。夏日梢上に芳香を有する細小なる白色花を叢生して穗狀花序をなす。苞は花と同長にして。萼片は廣卵形をなし。花瓣は篦形をなす。唇瓣の囊狀部內面には軟毛を生じ。先端反捲し。その內面には 2 大硬突起を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕九州（大島）・琉球・臺灣。

28. チドリサウ屬 GYMNADENIA.

6024. **ちどりさう**（6圖版-54）……ラン科
Gymnadenia conopsea, *R. Br.*

（異名）てがたちどり　〔形態〕高山の山間陰濕の地に自生する多年生草本なり。地下に掌狀に分裂し扁平にして肥厚せる根莖を有し。之れより太き鬚根を生ず。莖は直生して高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達し。葉は長橢圓形或は披針形にして。長さ 6-11 糎（2-3・5 寸）許を有し。基脚鞘狀をなす。7-8 月の候。梢上に花莖を抽き。淡紅紫色の花を密生して穗狀花序に排列す。苞は花より短く。後萼片は廣卵形。側萼片は卵狀長橢圓形をなし。唇瓣倒三角狀楔形にして。先端 3 裂し。中裂片は三角形をなして細齒緣を有し。側裂片は四角形をなす。距は細長くして彎曲し。子房より長形なり。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

6025. **ひなちどり**（6圖版-55）……ラン科
Gymnadenia Chidori, *Makino.*

〔形態〕山地樹上等に自生する多年生草本にして。莖高さ 9 糎（3 寸）內外に達す。葉は根際より 1 葉を生じ。葉身は長橢圓形にして先端尖り。基脚莖を抱き。波狀緣をなす。6-7 月の候。莖上小葉腋に淡紫色の花を 2-3 箇着生し。穗狀花序を綴る。花は比較的大形にして長き距を有す。苞は披針形にして子房より長く。萼片は卵狀長橢圓形にして。唇瓣は 3 裂す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕四國。

人生との關係　花形愛らしきを似て。觀賞用に供せらる。

6026. **ひならん**（6圖版-56）……ラン科
Gymnadenia gracilis, *Miq.*

（異名）くもらん・ひめいはらん　〔形態〕本邦南部喬木帶の巖上等に自生する多年生草本にして。莖高さ 9-12 糎（3-4 寸）に達し。地下には稍肥大せる塊根を有す。春日根際に近く 1 葉を出し。葉身は長橢圓形にして。銳頭或は鈍頭をなし。基脚鞘狀を呈して莖を抱く。6-7 月の候。莖頂に小形にして紫色を呈する 13 乃至 18 花を偏側生に綴りて總狀花序をなす。苞は卵狀披針形にして。花被片は橢圓形をなし。通常正開せず。唇瓣は長大にして 3 裂し。距は小形なり。花後長橢圓形の蒴を結ぶ。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

36 りうきうひならん　　37 いぶきちどり

6027. **りうきうひならん**（白圖-36）……ラン科
Gymnadenia lepida, *Reichb. f.*

（異名）おきなはちどり　〔形態〕南方暖地の喬木帶に自生する多年生草本にして。莖高さ 12-15 糎（4-5 寸）に達し。地下に肥大せる塊根を有す。葉は根際より 2-3 葉を生じ。オニユリの葉に似たれども。稍廣くして先端尖り。基脚莖を抱く。春日總狀花序をなして淡紅色の愛らしき 4-5 花を着生す。〔分布〕九州・琉球。

6028. **いはちどり**（6圖版-57）……ラン科
Gymnadenia keiskei, *Maxim.*

〔形態〕山地の巖上等に自生する多年生草本にして。莖高さ 9-12 糎（3-4 寸）許に達す。葉は莖の下部に 1 葉を生じ。卵狀披針形にして基脚莖を抱き全緣なり。6 月頃梢上に花穗を出して數花を着生す。花は淡紫色にして苞を具へ。唇瓣は大形にして 4 裂し。基部に紅色の斑點を彩り。短小なる距を有す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部。

人生との關係　時に觀賞用として栽培せらる。

6029. **いぶきちどり**（白圖-37）……ラン科
Gymnadenia ibukiensis, *Makino.*

〔形態〕チドリサウと同じく山地に生ずる多年生草本にして。莖高さ 30 糎（1 尺）許に達す。概形チドリサウに似て稍小形なれども。花は反つて大きく。少數にして疎生なり。〔分布〕本州中部。

6030. **かもめさう**（6圖版-58）……ラン科
Gymnadenia cyclochila, *Korsh.*

（異名）かもめらん・いちえふちどり・ふたばないちえふらん

〔形態〕山中溪間等に自生する多年生草本にして．莖高さ 9-12 糎(3-4 寸)に達す。葉は根際より長柄を有する 1 葉を出し．葉身は廣卵圓形にして．明瞭なる平行脈を有し．先端尖り全緣なり。莖の上部には長橢圓形をなせる小形の 2-3 葉を着生す。7 月頃．莖上小葉腋に長き距を有する 3-4 箇の愛らしき花を穗狀花序に綴る。花は淡紅色にして．膜質の苞を具へ．唇瓣は著しく大形にして．深綠色を呈する多くの斑點を有す。〔花色〕淡紅色。

〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州各部・四國。

人生との關係　觀賞用として栽培し．愛玩に供せらる。

6031. **みやまもぢずり**（6圖版-59）……ラン科
Gymnadenia cucullata, *Rich.*

〔形態〕高山の喬木帶に自生する多年生草本にして．莖高さ 9-12 糎(3-4 寸)に達し．葉は 2 葉を根生し．1 葉は長橢圓形．他は圓橢圓形にして先端尖り．稍膜質をなし．莖葉は 1-2 葉を生じて披針形をなす。6 月頃莖の上部に紅紫色にして恰もモヂズリに似たる細花を偏側生の穗狀花序に綴る。花被諸片は合着して花兜をなし．唇瓣は 3 裂し．側裂片は絲狀にして．中裂片は先端稍擴大せる線形をなす。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州・四國。

38 さぎさう　　39 だいさぎさう

29. サギサウ屬　HABENARIA.

6032. **さぎさう**　鷺毛玉鳳花（白圖-38）……ラン科
Habenaria radiata, *Spreng.*

〔形態〕山野の濕地に自生する多年生草本にして．春日宿根より莖を抽くこと 30 糎(1 尺)許．葉は披針形にして先端尖り．長さ 6-9 糎(2-3 寸)許に達す。夏日梢上に花穗をなし 2-3 花を着生す。花は白色にして．棍棒形をなせる長さ 3·6-4 糎(1·2-1·3 寸)許ある長き距を有す。萼片は卵狀 披針形．花瓣は卵形にして不齊細齒牙緣を具へ．唇瓣は 3 裂し．更に絲狀に細裂して其狀恰も白鷺の飛ぶに似たるを以て本和名あり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。

〔分布〕本州各部・九州。

人生との關係　往々庭園等に栽培し．觀賞に供せらる。

6033. **だいさぎさう**（白圖-39）……ラン科
Habenaria geniculata, *D. Don.*

〔形態〕原野及山麓の陽地に自生する多年生草本にして．莖高さ 30-60 糎(1-2 尺)に達し．地下に栂指大の圓形塊根 2 箇を有す。葉は披針形にして．淡綠色を呈し．緣邊に白色の覆輪を伴ひ．長さ 9-12 糎(3-4 寸)許に達す。花はサギサウに似て白色を呈し．莖上に 7-8 花を綴り．唇瓣の側裂片は淺く細裂す。〔花色〕白色。〔花候〕秋。〔分布〕四國・九州・琉球。

6034. **むかごとんぼ**（白圖-40）……ラン科
Habenaria flagellifera, *Makino.* (*Coeloglossum flagelliferum, Maxim.*)

〔形態〕暖地に自生する多年生草本にして．莖高さ 18-45 糎(0·6-1·5 尺)許に達す。葉は披針形にして先端尖り 3-4 葉を生ず。花は綠色小形にして瘠長なる穗狀花序に排列す。苞は卵形にして先端尖り．子房より短く：花瓣も卵形にして 3 裂し．側裂片は絲狀をなして中裂片より長く．距は棍棒形にして先端凹み下降す。〔花色〕綠色。〔花候〕初夏。〔分布〕四國・九州。

40 むかごとんぼ　　41 みづとんぼ

6035. **みづとんぼ**（白圖-41）……ラン科
Habenaria Oldhami, *Kraenzl.* (*H. tosaensis, Makino.*)

（異名）あをとんぼ・あをさぎさう　〔形態〕山麓の水濕地に自生する多年生草本にして．サハトンボに似たるも．花は小さく．唇瓣は全緣にして．距の末端膨大し小球形をなす種類なり。〔花色〕白色。〔花候〕春。

〔分布〕本州各部・九州。

6036. おほみづとんぼ……ラン科
Habenaria linearifolia, *Maxim.*

〔形態〕本種も亦山麓の水濕地に自生する多年生草本にして．概形ミヅトンボに似たれども．全形稍大きく且つ唇瓣は彼の全緣なるに比し細裂する種類なり。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州中部。

6037. さはとんぼ……ラン科
Habenaria sagittifera, *Reichb. f.*

〔形態〕山林・原野等の水濕地を好みて自生する多年生草本にして．葉は線狀披針形をなし．先端尖る。花は白色にして疎生し．先端漸次放大せる長大の距を具へ．唇瓣は 3 裂し．側裂片は稍前方に彎曲す。〔花色〕白色。

〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

6038. ひげさぎさう……ラン科
Habenaria polytricha, *Rolfe.*

（異名）いとひきさぎさう　〔形態〕暖地の山野に自生する多年生草本にして．葉は莖の中部に生じ．長橢圓狀披針形にして．短鋭尖頭をなし．基脚狹まる。花は 10-13 花を穗狀に綴り短き苞を有す。花瓣は 2 深裂し．各裂片は更に絲狀に分裂し．唇瓣も亦絲狀に細裂し恰も鬚の如き觀を呈するを以てヒゲザキサウの名ありと云ふ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

42 むかごさう

30. ムカゴサウ屬　HERMINIUM.

51 みやまうつら　　52 ひめみやまうづら　　53 きんぎんさう

54 ちどりさう　　55 ひなちどり　　56 ひならん

57 いはちどり　　58 かもめさう　　59 みやまもぢづり

6039. **むかごさう**（白圖-42）…… ラン科
Herminium angustifolium, *Benth.*

（異名）ながばのむかごさう・ぬかごさう・あかぬまらん　〔形態〕本邦南部の喬木帶に自生する多年生草本にして．莖高さ 30-90 糎（1-3 尺）許に達し．葉は長き線形をなす。穗狀花序は長さ 6-24 糎（2-8 寸）許を有し．稍偏側生なり。苞は子房と稍同長にして花被は癒合す。蕚片は長楕圓形・鈍頭にして．花瓣は膜質をなし．唇瓣は線形にして 3 裂し．花後生ずる蒴は長楕圓形なり。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

6040. **くしろちどり** …… ラン科
Herminium Monorchis, *R. Br.*

〔形態〕北地に自生する多年生草本にして．葉は 2-3 葉を生じ．線狀長楕圓形をなす。花は黃綠色にして．3-4·5 糎（1-1·5 寸）許ある花穗に偏側生をなして着生し．苞を具ふ。蕚片は長楕圓形にして鈍頭をなし．唇瓣は蕚片と稍同長にして 3 裂し．各裂片は狹長なり。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

31. マツノハラン屬　HOLCOGLOSSUM.

6041. **まつのはらん** …… ラン科
Holcoglossum quasipinifolium, *Schltr.*

〔形態〕氣生種に屬する一種にして．葉は 2 列し．1 莖に通常 8-9 葉を着け．葉身は針形をなし．長さ約 10 糎（3 寸）内外あり。花莖は長さ約 6 糎（2 寸）許を有し．2-3 花によりて總狀花序をなして開花す。本花の花被は各片とも倒卵形をなし．唇瓣には距を有し．長さ 1·5 糎（5 分）許にして先端 3 裂し．側裂片は斜三角形・鈍頭．中裂片は凹面鈍頭．2 箇は凸端をなし細齒牙緣を有す。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

32. アキアサヒラン屬　LAELIA.

6042. アキアサヒラン …… ラン科
Laelia autumnalis, Lindl.

〔形態〕外來の多年生草本にして．葉は革質・長楕圓狀線形をなし．長さ 12 糎（4 寸）許を有す。花莖は長さ 45-60 糎（1·5-2 尺）許に達し．鞘狀物を伴ひ．莖頂に 5-6 花を着生す。蕚片は披針形をなし．花瓣は長楕圓狀披針形にして．波狀緣をなす。唇瓣は黃色の 2 薄板を具へ．側裂片は圓形にして大きく帶白色をなし．中裂片は濃紫色を呈し．倒卵形にして先端反捲す。
〔花色〕淡紫帶白色。〔花候〕秋。〔原產地〕北米「メキシコ」。
人生との關係　觀賞用として栽植せらる。

6043. ムラサキアサヒラン …… ラン科
Laelia Gouldiana, Reichb. f.

〔形態〕本種も亦外來の觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして．葉は長楕圓狀線形をなし．花莖は高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達し．莖頂に濃紅紫色の數花を着生す。蕚片は披針狀長楕圓形にして．唇瓣の中裂片は大きく濃色を呈し．側裂片は白色なり。〔原產地〕北米「メキシコ」。

33. ムエフラン屬　LECANORCHIS.

6044. **むえふらん**　無葉蘭（7 圖版-60）…… ラン科
Lecanorchis japonica, *Blume.*

〔形態〕南方暖地の山林中に自生し．莖高さ 24-30 糎（0·8-1 尺）許を有する多年生の寄生草本にして．莖葉共に葉綠素を缺く。葉はショウキラン・ヒメムエフランと同じく小鱗片様鞘狀をなして互生し．稍黃褐色を呈す。夏日莖の上部にある鞘狀葉腋に小梗を出して數箇の不整齊花を着生す。花被片は狹長にして．唇瓣は基脚長く．前部は擴大し．内面には絨毛を密布して蕊柱を圍む。〔花色〕白質。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國。

34. クモキリサウ屬　LIPARIS.

6045. **くもきりさう**（7 圖版-61）…… ラン科
Liparis auriculata, *Blume.*

（異名）くもちりさう・たかのは　〔形態〕山中陰地又は深山溪谷等に自生する多年生草本にして．莖高さ 18-21 糎（6-7 寸）に達し．基部にある葉は鱗片狀をなして莖を抱き．其上部にある 2 葉は大形にして葉柄を具へ．相對して開展す。葉身は廣卵形にして先端尖り．長さ 3-9 糎（1-3 寸）許に達す 5-6 月の候．翼を有する花莖を抽くこと 15-30 糎（0·5-1 尺）許に達し．紫色若しくは碧色の疎花を總狀花序に綴る。苞は卵狀鑿形をなし．蕚片は披針形にして先端尖り．内方の 2 瓣は短濶なる唇瓣の下にありて左右に挺出す。
〔花色〕紫色又は碧色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

6046. **しまくもきりさう** …… ラン科
Liparis auriculata, *Blume.* var. hostaefolia, *Koidz.*

〔形態〕クモキリサウの一種にして．概形彼に酷似すれども．本種は葉の形大きく卵形をなし．花は淡黑紫色にして．唇瓣の上部は波緣を呈する種類なり。〔分布〕小笠原島。

6047. **ほそばくもきりさう** …… ラン科
Liparis Loeselii, *A. Rich.*

〔形態〕濕地に生ずる多年生草本にして．葉は長楕圓形・鈍頭をなし．通常 2 葉を生ず。花は總狀花序をなして 3-8 箇を着生し．花被片は不同なる線形にして．唇瓣は卵形・全緣なり。〔分布〕樺太。

6048. **ささばらん**（7 圖版-62）…… ラン科
Liparis odorata, *Lindl.*

〔形態〕暖地に自生する多年生草本にして．葉は シランの如く短濶・縱道深く．皺襞をなし．淡綠色なれども基脚暗紫色を帶び．通常 4-5 葉を生じ．其葉互に相抱きて莖を出さず。夏日葉の中央より 1 花莖を抽くこと 9-24 糎（3-8 寸）許にして．莖上に黃褐色の 6 瓣花を總狀花序に疎生す苞は卵形乃至披針形にして．蕚片は長楕圓形をなし．唇瓣は倒卵狀楔形にして反捲し．基部に隆起を有す。〔花色〕黃褐色。〔花候〕夏。〔分布〕九州・臺灣。

43 しまささばらん　　44 すずむしさう

6049. **しまささばらん**（白圖-43）…… ラン科
Liparis hachijoensis, *Nakai.*

〔形態〕前種ササバランに酷似し稍小形なる一品種にして．同じく暖地の山地に自生する多年生草本なり。葉は概ね 2 葉を生じ．楕圓狀披針形にして先端鋭く．白色線狀の斑紋を有す。花は總狀花序に排列し．蕚片は線狀長楕圓形をなし．唇瓣は倒卵形にして蕚片より短し。〔分布〕本州（八丈島）。

6050. **すずむしさう**（白圖-44）…… ラン科
Liparis liliifolia, *A. Rich.*

〔形態〕山中陰地に自生する多年生草本にして．クモキリサウに似て全形稍大きく．莖高さ 24-30 糎（0·8-1 尺）許に達す。葉は廣楕圓形にして先端尖り．數條の平行脈を有す。花は大形にして．淡紫紅色を呈し．之に紅色の線狀を配する狀．其優艶なること．本屬中の冠たるべし。花瓣は唇瓣近くに相並びて着生し．先端は唇瓣端より稍長形なり。〔花色〕淡紫紅色。
〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。
人生との關係　觀賞用として栽培するに適す。

6051. ひめすずむしさう …… ラン科
Liparis nikkoensis, *Nakai.*

〔形態〕山中陰地に自生する小草本にして．莖葉共に無毛なり。假鱗莖は卵圓形をなして長さ 6 粍（2 分）許を有し．頂端より鎌狀内旋形の 2 葉を生ず。花莖は稜を有し葉間より抽出すること 3 糎（1 寸）許にして．莖梢に帶黃色の花を 3-4 箇着生し．苞を有す。蕚片は黃綠色にして．花瓣は綠狀をなす。唇瓣は黑紫色を呈し．下部は稍鎌狀に内旋し．上部は全緣にして．卵狀鋭尖形をなす。〔花色〕帶黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

45 こくらん　46 せいたかすずむし　47 ちけいらん　48 ひめふたばらん

6052. **こくらん** (白圖-45) …… ラ ン 科
Liparis nervosa, *Lindl.*

〔形態〕山中樹蔭に自生する多年生草本にして.地下に短き根莖を有し匍匐す。莖は多くの結節を具へ.多肉にして高さ3-9糎(1-3寸)許に達す。葉は2-3葉を生じ.廣橢圓形にして先端尖り.長さ6-11糎(2-3·5寸)許に達し.短き葉柄を具ふ。6-7月の候.黒紫色の小形花を總狀花序に疎生し.苞は小形なり。萼片は長橢圓形をなし.花瓣は箆狀線形にして萼片より長く.唇瓣は倒卵形·凹頭をなして細齒牙緣を有し.基脚壓狀の2突起を伴ふ。〔花色〕黒紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

6053. **たいりんこくらん** …… ラ ン 科
Liparis macrantha, *Rolfe.*

〔態形〕暖地に自生する多年生草本にして.葉は葉柄を有し.膜質にして橢圓狀卵形をなし.長さ9-12糎(3-4寸)に達す。花穗は多くの花を着生し苞は三角狀卵形にして細小なり。萼片は披針形.花瓣は狹長.唇瓣は倒心臟形にして.細齒牙緣をなす。〔分布〕臺灣。

6054. **みやまこくらん** …… ラ ン 科
Liparis Sasakii, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する氣生蘭の一種にして.莖高さ7·5糎(2·5寸)許に達し.基脚鱗片を被る。葉は通常2葉を生じ.倒卵形にして長さ4·5糎(1·5寸)許を有し.稍葉柄を缺く。花は黒紫色にして.心臟形の苞を具へ.總狀花序に排列す。萼片は線狀披針形にして.花瓣は線形をなし.唇瓣は圓倒卵形にして稍尾狀突頭をなし.緣邊に毛茸を生じ.基脚に1隆起體を伴ふ。〔分布〕臺灣。

6055. **せいたかすずむし** (白圖-46) …… ラ ン 科
Liparis japonica, *Maxim.*

〔形態〕山中陰地に自生する多年生草本にして.概形スズムシサウに相似たり。假鱗莖は卵形をなし.莖は剛硬にして高さ21-30糎(0·7-1尺)許に達し.2-3の葉鞘によりて莖を被包す。葉は橢圓形にして先端鈍く.基脚狹まる。花は帶綠色にして.細小なる苞を具へ.穗狀花序をなして疎に着生す萼片は卵狀長橢圓形にして3脈を具へ.花瓣は膜質にして.箆狀線形をなし1脈を具へ.唇瓣は短形なり。〔分布〕本州各部·四國·九州。

6056. **ちけいらん** (白圖-47) …… ラ ン 科
Liparis plicata, *Franch.* et *Sav.*

(異名) ちくかくらん·ちくけいらん　〔形態〕暖地の山中溪谷等の樹蔭に自生する多年生草本にして.概形ムギランの如く假鱗莖上に長披針形の1葉を生じ.長さ9-12糎(3-4寸)許に達す。形狀竹の葉に似て淡綠色を呈し.基部に4片の苞を具へ.1片は稍長く且つ先端鋭尖なり。晩秋の候.葉心に沿ひて.1花梗を抽き.莖頂に10數花を着けて6糎(2寸)餘の花穗をなす。〔花候〕晩秋。〔分布〕九州·臺灣。

6057. **じがばちさう** (7圖版-63) …… ラ ン 科
Liparis Krameri, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕山中陰地に自生する多年生草本にして.高さ12-15糎(4-5寸)許に過ぎず。根莖は肥厚し.鱗莖狀をなす。葉は2葉を生じ.卵狀披針形にして基脚狹細なり。花莖は葉の3倍長く.基部に鱗片を被る。花は總狀花序をなして疎花を綴り.青色·黒色の2種を有し形狀小さく.且つ小形の苞を伴ふ。〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州。

35. フタバラン屬 LISTERA.

6058. **ふたばらん** (7圖版-64) …… ラ ン 科
Listera cordata, *R. Br.*

(異名) ふたつばらん·こふたばらん·ふたつばぐさ　〔形態〕山地の喬木帶に自生する多年生草本にして.莖高さ6-9糎(2-3寸)許に達す。葉は莖の上部に2葉を生じて對生し.廣披針形·微凸頭をなし.葉着部より上方の莖には腺毛を生ず。花は莖梢に12-13花を總狀花序に排列し.淡綠色にして小形なり。唇瓣は楔形にして線狀に2裂し.基部各側には鎌狀の小突起を有す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

6059. **おほふたばらん** …… ラ ン 科
Listera japonica, *Blume.*

〔形態〕山地の喬木帶に自生する多年生草本なり。前種フタバランに酷似せるも.全體稍大形にして.唇瓣は線狀披針形をなし分裂せざると.脚齒の後方に向ひて柱體を抱けるとは本種の特徴なり。〔分布〕邦内各地。

6060. **あをふたばらん** (7圖版-65) …… ラ ン 科
Listera Savatieri, *Maxim.*

〔形態〕各地の高山喬木帶に自生する多年生草本なり。根莖は絲狀をなして横走し.莖高さ11-24糎(3·5-8寸)許に達す。葉は莖の中部に2葉を對生し.葉着部より上方の莖には腺毛を生ずることフタバランに相似たり。葉身は橢圓狀或は三角狀卵形をなし.長さ1·2-3·6糎(0·4-1·2寸)許を有す。7-8月の候.莖梢に6-12箇許の綠色小花を總狀花序に綴り.鑿形の苞を有す。唇瓣は倒卵狀楔形にして細長く.先端2裂すれども離開せざるものなり。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國·九州。

6061. **ひめふたばらん** (白圖-48) …… ラ ン 科
Listera shikokiana, *Makino.*

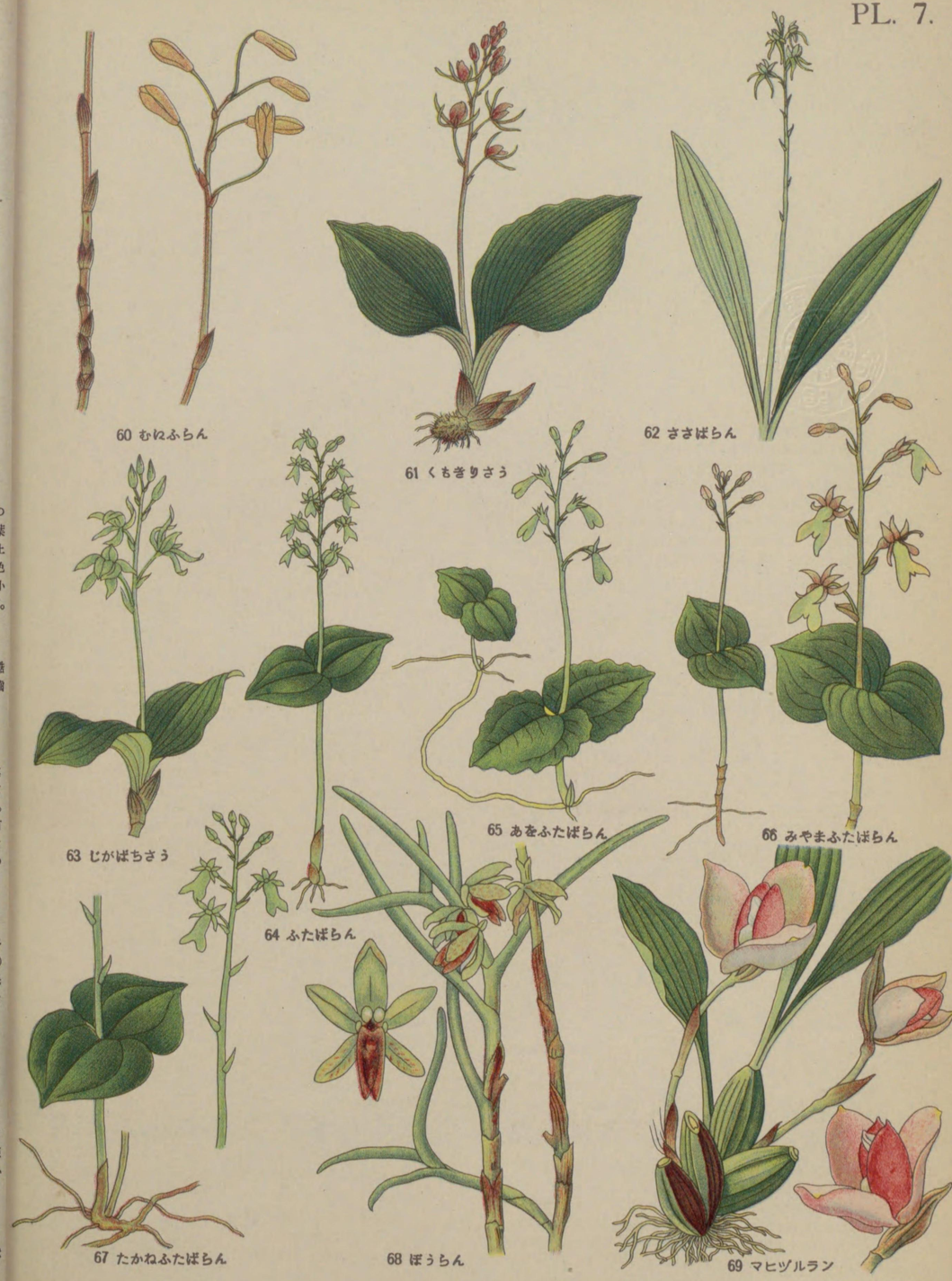
(異名) むらさきふたばらん　〔形態〕各地の山地喬木帶に自生する多年生草本にして.地下に短き根莖を有し.莖は直生して高さ6-9糎(2-3寸)許に達す。葉は2葉を對生し.廣三角狀卵形にして.花梗は花軸と共に腺毛を被る。4-5月の候.有梗なる4-5花を總狀花序に排列し.小卵形の小苞を伴ひ.唇瓣は著しく挺出し廣線形をなす。〔花色〕淡紫色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部·四國·九州。

6062. **みやまふたばらん** (7圖版-66) …… ラ ン 科
Listera nipponica, *Makino.*

〔形態〕高山陰地に自生する多年生草本にして.地下に短き根莖を有し.莖は斜上或は直生して高さ9-21糎(3-7寸)許に達す。葉は莖の中部に2葉を對生し.稍淡綠色を呈し.葉着部より上部の莖には腺毛を生ず。7-8月の候.莖梢に暗紫色を呈する3-9箇の花を總狀花序に疎生し.卵狀鑿形の短小なる苞を伴ふ。唇瓣は花被片より長く.扇狀倒心臟形をなし.裂片は短小なり。〔花色〕暗紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部。

6063. **たかねふたばらん** (7圖版-67) …… ラ ン 科
Listera Yatabei, *Makino.*

〔形態〕本邦中部諸高山喬木帶に自生する多年生草本なり。根莖は絲狀



60 むねふらん　61 くもきりさう　62 ささばらん　63 じがばちさう　64 ふたばらん　65 あをふたばらん　66 みやまふたばらん　67 たかねふたばらん　68 ぼうらん　69 マヒヅルラン

をなして横走し．莖は瘠長にして高さ 15–18 糎（5–6 寸）に達す。葉は莖の中部に半圓形の 2 葉を對生し．葉着部より上方の莖には腺毛を密布す。夏日莖梢に淡綠色をなせる 8–10 箇の花を總狀花序に綴り．卵狀鑿形の小苞を伴ふ。唇瓣は花被片より長く．長橢圓形にして先端深凹頭をなし裂片は開出す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

36. ボウラン屬　LUISIA.

6064. **ぼうらん**　釵子胶（7圖版–68）……ラン科
Luisia teres, *Blume*.

〔形態〕本邦南部の山中古木上に生ずる多年生常綠の氣生蘭の一種にして．莖は圓柱形をなして剛く稍狀物を伴ふ。葉は肉質にして．細長き穗狀樣圓柱形をなす。7–8 月の候．葉間に淡紅色の小花を葉に對生して生ずる穗狀花序に排列す。苞は短く．花被片は線形をなし．唇瓣は 2 箇の耳垂を有し．前部は長橢圓形にして 2 裂し．暗紫色の密點を散生して．其狀シュスランに似たり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕九州・小笠原島・琉球。

6065. **りうきうぼうらん**　……ラン科
Luisia liukiuensis, *Schltr*.

〔形態〕南部溫暖なる島地の古木上に生ずる多年生常綠の氣生蘭の一種なり。前種ボウランと同じく葉は肉質にして長穗狀をなせる圓柱形をなす總狀花序は腋出して．多花を排列し．苞は廣卵形にして子房より短く．唇瓣は 3 裂し．中裂片は長橢圓狀舌形にして大形なり。〔分布〕九州（大島・屋久島）・琉球。

37. マヒヅルラン屬　LYCASTE.

6066. **マヒヅルラン**（7圖版–69）……ラン科
Lycaste Skinneri, Lindl.

〔形態〕本種は本屬中最も著名なる品種なるを以て．廣く一般に栽培せらる。球莖は 9–12 糎（3–4 寸）内外ある長卵形にして．葉は 1–2 葉を着け 嚢身は橢圓狀披針形をなし．長さ 30 糎（1 尺）許に達す。12 月頃より翌年 3 月頃に亙りて．球莖の側方より花梗を抽くこと 15–18 糎（5–6 寸）許に達し．其頂端に直徑 12–15 糎（4–5 寸）大にして．恰も蠟細工の如き美しき 1 花を着生す。萼片は長卵形にして．白薔薇色を呈し．花瓣は稍短く廣卵形にして先端尖り反捲す。唇瓣は暗紅色にして美麗なり。〔花色〕白薔薇色。
〔花候〕冬—春。〔原産地〕南米「グッテマラ」。

人生との關係　觀賞用として低溫室栽培をなし愛玩せらる。植込みには良く切り返したる腐葉土及細かに切りたる芝土を等量に混合したるものを適當とす。

38. ヤチラン屬　MALAXIS.

6067. **やちらん**（8圖版–70）……ラン科
Malaxis paludosa, *Sw*.

〔形態〕高山の稍水濕地に自生する多年生草本にして．莖高さ 15 糎（5 寸）許に達し．基部に廣橢圓形の假鱗莖を有し．2–3 葉を叢生す。葉は倒橢圓狀倒卵形乃至長橢圓形にして．長さ 1·5 糎（5 分）許を有す。7–8 月の候．花莖を抽き梢上に淡黃綠色の疎花を穗狀樣總狀花序に排列す。花瓣は萼片より遙かに短く．線狀長橢圓形をなし．唇瓣も亦短形なる廣三角狀卵形をなして上方に向ひ．不明 3 裂をなす。花後生ずる蒴は橢圓形なり。〔花色〕淡黃色。
〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

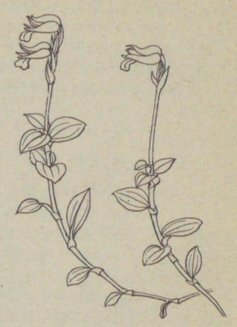
39. ホザキイチエフラン屬　MICROSTYLIS.

6068. **ほざきいちえふらん**（8圖版–71）……ラン科
Microstylis monophyllos, *Lindl*.

（異名）いちえふこらん　〔形態〕北地の高山に自生する多年生草本にして．根際より稍大形なる廣橢圓形の 1 葉を出し．基脚莖を抱く。7–8 月の候．綠白色の花を．穗狀をなせる總狀花序に排列し．狹小の苞を伴ふ。萼片は卵狀披針形にして鋭尖頭をなし．花瓣は絲狀をなして萼片と同長．唇瓣は稍圓形にして先端急に尖り．蒴は廣橢圓形なり。〔花色〕淡綠色。
〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

40. ニラバラン屬　MICROTIS.

49 にらばらん



50 ありどほしらん

6069. **にらばらん**　韮葉蘭（白圖–49）……ラン科
Microtis formosana, *Schltr*.

〔形態〕本邦暖地に自生する多年生草本にして．高さ 18–30 糎（0·6–1 尺）許に達し．全體纖細なる品種なり。根際より 1 葉を生じ．圓柱形にして．明瞭なる平行脈を具へ．稍ニラの葉に似たり。夏日莖の上端に 1 花莖を抽き．多數の短梗を有する黃色小形の不整齊花を開き．15–35 糎（0·5–1·2 尺）許の花穗をなす。萼片は廣濶・鈍頭にして凹面を呈し．花瓣は萼片より小さく．唇瓣は長橢圓形にして全緣なり。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

41. ウスベニゴテフ屬　MILTONIA.

6070. **ウスベニゴテフ**（8圖版–72）……ラン科
Miltonia vexillaria, Nichols.

〔形態〕本種は熱帶亞米利加殊に「ブラジル」・「コロンビヤ」等に多く自生する多年生草本にして．我國にては觀賞用として溫室に栽培せらるゝ一種なり。同屬中美麗なる大形種に屬し．一般に觀賞せられ．多くの栽培變種を有するものなり。〔花色〕淡紅色。〔原産地〕南亞米利加。

42. アリドホシラン屬　MYRMECHIS

6071. **ありどほしらん**（白圖–50）……ラン科
Myrmechis japonica, *Rolfe*.

〔形態〕高山の喬木帶・灌木帶に亙り自生する多年生草本にして．高さ 9–12 糎（3–4 寸）許に達し．莖は瘠長にして伏臥生なり。葉は小圓卵形にして先端尖り．緣邊平滑にして．短き葉柄の基部は延びて莖を包み．互生なり。8 月頃梢上に花莖を抽き．莖頂に白色にして淡紫色を帶べる 2–3 花を綴り．穗狀花序をなす。苞は長橢圓狀披針形にして．花被片は卵狀長橢圓形をなし．唇瓣は基脚囊狀を呈す。〔花色〕白色にして淡紫色を帶ぶ。〔花候〕夏。
〔分布〕北海道・本州北部及中部。

6072. **つくしありどほしらん**　……ラン科
Myrmechis tsukusiana, *Masamune*.

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして．高さ 3–6 糎（1–2 寸）許に達し莖の基脚は地に伏し．結節毎に根を生ず。葉は膜質・圓卵形にして短き葉柄を有し莖を抱く。花は莖頂に單生若しくは双生し．花梗には稍毛茸を布き．鱗形の 3–4 苞を具へ．花下にも亦 1 箇の苞を伴ふ。萼片は卵狀披針形にして先端鋭く尖り．唇瓣は萼片より稍短く．基部は囊狀をなす。〔分布〕九州（屋久島）。

43. サカネラン屬　NEOTTIA.

6073. **さかねらん**（8圖版–73）……ラン科
Neottia Nidus-avis, *Rich*.

〔形態〕林野に自生する多年生草本にして．根は四方に射出し．肥厚して密簇す。莖は淡黃色にして褪ね葉稍を具へ．尋常葉を缺き．高さ 30–47 糎（1–1·5 尺）許に達す。花は總狀花序をなして密生し．苞は披針形にして子房より短し。花被片は卵形にして．唇瓣は 2 裂し．先端反捲す。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

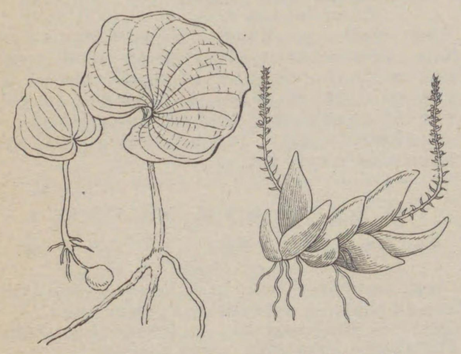
6074. **ひめむえふらん**（8圖版-74）…… ラン科
Neottia micrantha, *Lindl.*

〔形態〕山野の森林中に自生する多年生草本にして，前種サカネランと同じく莖は葉鞘を具へて尋常葉を缺く。總狀花序は疎生なり。萼片は披針形にして先端尖り，花瓣は唇瓣と共に小形なり。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

44. ムカゴサイシン屬　NERVILIA.

6075. **むかごさいしん**（8圖版-75）……ラン科
Nervilia nipponica, *Makino.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして，地下に球狀をなせる塊莖を有し，高さ9糎（3寸）許に達す。葉は通常花後に單生し，葉身は30-45糎（1-1·5尺）許ある心臟狀圓形にして先端稍鋭く，長き葉柄を有す。花莖は紫色を呈し葉鞘を具へ，莖頂に內面に紫點を有する紫色の花を單生す。苞は卵狀披針形にして小梗より稍長く，花瓣は萼片より短く，唇瓣は狹長にして，下面は紫色を呈す。側裂片は白色小形，中裂片は楕圓形にして皺曲し，白色を呈し上面に紫點を彩る。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。



51 あふひぼくろ　　52 おほばのやうらくらん

6076. **あふひぼくろ**（白圖-51）…… ラン科
Nervilia Aragoana, *Gaud.*

（異名）やへやまくまがゑさう　〔形態〕暖地の山野に自生する多年生草本にして，高さ15-30糎（0·5-1尺）許に達す。葉は波狀緣をなせる圓心臟形にして凸頭をなし大形なり。花は淡綠色にして疎生せる總狀花序に排列す。萼片は線狀披針形にして鋭頭をなす。花瓣は狹長にして唇瓣は3中裂をなし，中裂片は卵形を呈して皺曲し，且つ有毛なり。〔花色〕淡綠色。〔分布〕琉球・臺灣。

45. ヤウラクラン屬　OBERONIA.

6077. **やうらくらん**（8圖版-76）…… ラン科
Oberonia japonica, *Makino.* var. aurantiaca, *Makino.*

（異名）もみぢらん・ひあふぎらん　〔形態〕深山の老樹上等に自生する多年生草本にして，莖高さ3-15糎（1-5寸）許に達す。葉は多數を2列に密生して互生し，其質厚く，葉身は卵狀長楕圓形にして先端尖る。夏日葉の中心より1莖を抽出すること6-9糎（2-3寸）許に達し，赤橙色の細花を總狀花序に排列す。花序は瘠長にして疎生し，花軸は黃綠白色を呈す。苞は卵形にして淡綠色をなし，花被片は卵形をなす。唇瓣は3裂し，中裂片は倒心臟形にして，側裂片は三角狀鏃形をなして短形なり。〔花色〕赤橙色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

6078. **おほばのやうらくらん**（白圖-52）…… ラン科
Oberonia japonica, *Makino.* forma major, *Makino.*

〔形態〕山中の老樹上等に自生する多年生草本にして，概形ヤウラクランに似て大きく，葉も亦大形にして，葉質最も厚し。夏日花莖を抽きて赤橙色の細花を綴ること亦彼に同じ。〔花色〕赤橙色。〔花候〕夏。

46. ホシチドリ屬　ODONTOGLOSSUM.

6079. **ホシチドリ**（8圖版-77）…… ラン科
Odontoglossum crispum, Lindl.

〔形態〕外來の觀賞用多年生草本にして，莖の基部に卵形の假鱗莖を具へ葉は線形或は線狀披針形にして，長さ30糎（1尺）許を有す。花は白色にして赤・褐其他諸色の斑點を有し，徑4·5-7·5糎（1·5-2·5寸）許を有す。萼片は卵形或は卵狀披針形にして，花瓣は概ね菱形をなし，緣邊に齒牙を具へ皺曲す。唇瓣は長楕圓狀卵形にして，齒牙緣を有し亦皺曲す。〔花色〕白色にして赤褐色其他諸色の斑點を有す。〔花候〕夏。〔原產地〕北亞米利加。

47. スズメラン屬　ONCIDIUM.

6080. **スズメラン** …… ラン科
Oncidium varicosum, Lindl.

〔形態〕本種も亦觀賞用として溫室栽培をなす外來の多年生草本にして，葉は線狀披針形をなし，其質剛硬なり。花穗は多くの花を着生し，花被片は綠色小形にして褐色の斑點を有し，唇瓣は鮮黃色にして大きく，有齒の雞冠狀突起を伴ふ。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔原產地〕南米「ブラジル」。

6081. **ヒメスズメラン**（8圖版-78）…… ラン科
Oncidium ornithorhynchum, H. B. et K.

〔形態〕「メキシコ」原產の觀賞用として溫室栽培をなす多年生草本なり假鱗莖は長楕圓形にして側扁し，長さ4·5-7·5糎（1·5-2·5寸）許を有し，莖側より線形にして長さ18-30糎（0·6-1尺）許ある2-3葉を生ず。花は紅紫色にして長さ2·4糎（8分）許を有し，瘠長にして長さ30糎（1尺）許ある花莖の上端に多數を攢簇す。萼片は線狀長楕圓形にして，波狀をなし，唇瓣は提琴形にして，側裂片は小さく，中裂片は大きく凹頭をなす。〔花色〕紅紫色。〔原產地〕北米「メキシコ」。

6082. **トラフスズメ**（9圖版-79）……ラン科
Oncidium tigrinum, La. Llave. et Lex.

〔形態〕本種も亦「メキシコ」原產の觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして，通常2葉を生じ，長楕圓狀披針形にして肥厚す。花は赤褐色にして，黃色の斑點を彩り，多數を圓錐花序に排列す。花被片は扇形をなし，唇瓣は腎臟形にして大きく，黃色を呈し長爪を伴ふ。〔花色〕赤褐色にして黃色斑點を有す。〔原產地〕北米「メキシコ」。

6083. **ムレスズメラン**（9圖版-80）…… ラン科
Oncidium sphacelatum, Lindl.

〔形態〕溫室に栽培せらるゝ多年生草本にして，地下には殆んど球形扁平なる圓錐形或は卵形乃至方錐形をなせる球莖を有す。葉は球莖に1-2葉を頂生し，長楕圓形或は廣披針形にして，長さ15-50糎（0·5-1·6尺）許に達し葉質に厚・薄及緣邊の色彩に濃・淡又は赤銅色等ありて種々なり。花梗は新莖の成熟と共に下部より抽出すること0·3-1米（1-3尺）許に達し，多くの枝を分ち多數の花を攢簇す。花は黃色を普通とすれども，亦褐色其他種々あり，花瓣も亦大小種々ありて一定せざるものとす。〔花色〕普通黃色なれども其他種々。〔原產地〕熱帶亞米利加。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。又本種は長き花梗を多く分枝して，多數の花を着生し，花期長きを以て切花として愛用せらる。

48. コケイラン屬　OREORCHIS.

6084. **こけいらん**（白圖-53）…… ラン科
Oreorchis patens, *Lindl.*

（異名）ささえびね　〔形態〕深山幽谷に自生する多年生草本にして，根は塊球をなし，1根莖より2葉を生ず。葉は狹長にして劍狀をなし，長さ30糎（1尺）餘に達す。春日葉側に花莖を抽き，高さ30糎（1尺）許に達し，褐黃色の多花を互生して總狀花序をなす。花被片は披針形にして，唇瓣は爪を有し，中裂片は先端皺緣をなし楔狀にして，側裂片より短形なり。〔花色〕褐黃色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

6085. **ひめけいらん**（白圖-54）…… ラン科
Oreorchis patens, *Lindl.* forma gracilis, *Makino.*

〔形態〕前種コケイランに酷似し，全形彼に比して小形なる一品種なり。〔分布〕北海道・本州・四國・九州。

70 やちらん　71 ほざきのいちねふらん　72 ウスベニゴテフ　73 さかねらん　74 ひめむねふらん　75 むかごさいしん　76 やうらくらん　77 ホシチドリ　78 ヒメスズラン

53 こけいらん　54 ひめけいらん　55 くわくらん　56 がんぜきらん

49. クックラン屬 PHAJUS.

6086. **くゎくらん** (白圖-55) …… ラン科
Phajus grandifolius, *Lour.*

〔形態〕支那南部及濠洲原產の多年生草本にして，高さ60糎(2尺)餘に達す。葉はシランに似て4-5葉を出し，廣披針形にして縱に皺多く，長さ30糎(1尺)以上に達す。夏間より花莖を抽き，春季に至りて漸く生長し，夏季に至り莖頭に十數花を綴る。花被は外面淡綠色にして，內面は赤紫色をなし，唇瓣の先端は紫色を呈し，形狀ガンゼキランに似て大形なり。
〔花色〕淡綠色·內面赤紫色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

6087. **ほしけいらん** …… ラン科
Phajus maculatus, *Lindl.*

〔異名〕きんけいらん·ほしけい　〔形態〕暖地の山野に自生する多年生草本にして，高さ60糎(2尺)許に達す。假鱗莖は卵形をなし，葉は多數叢生して，卵狀披針形をなし，先端尖り，長さ45-60糎(1·5-2尺)許を有し，黃色·黑紋を伴ふ。花は黃色にして，長楕圓形の小距を具へ，往々10-15花總狀花序に排列す。花被片は長楕圓形にして鈍頭をなし，唇瓣は稍3裂し，中裂片は赭褐色にして，鈍齒牙緣を有し摺折し，側裂片は回旋す。
〔花色〕黃色。〔分布〕本州南部·四國·九州。

6088. **がんぜきらん** (白圖-56) …… ラン科
Phajus maculatus, *Lindl.* var. minor, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕暖地に自生する多年生草本にして，高さ18-20糎(6-7寸)に達し，下部に卵形·綠色の假球莖を叢生し，上部に圓筒形の莖を出す。葉は大きく披針形にして先端尖り，基脚莖を抱き，6-7條の縱脈は顯著なり。春夏の候，球莖より花莖を抽くこと30糎(1尺)許に達し，先端に疎なる總狀花序をなして，淡黃色の花を開く。〔花色〕淡黃色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州(八丈島)·九州。

50. コテフラン屬 PHALAENOPSIS.

6089. **チヨゴテフ** (9圖版-81) …… ラン科
Phalaenopsis amabilis, Blume.

〔異名〕マニラコテフラン　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ外來の多年生草本にして，葉は舌狀をなして淡綠色を呈す。花は純白色にして濃黃采を伴ひ，唇瓣及柱體には少數の紫色點紋を具へ，通常徑12糎(4寸)許を有すれども，往々大小不定なり。〔花色〕純白色·濃黃采を伴ふ。
〔花候〕秋。〔原產地〕馬來半島。

6090. **ヒナゴテフ** …… ラン科
Phalaenopsis antennifera, Reichb. f.

〔形態〕本種も亦觀賞用として渡來せる多年生草本にして，葉は長楕圓形をなし，少數の暗紫色斑點を有し，長さ9-18糎(3-6寸)許。花は白色又は暗紫色にして，花瓣に赤條を彩り，通常6乃至15-16花を總狀花序に綴る。唇瓣には爪を具へ，中裂片は廣濶にして，濃紫色を呈し，側裂片は卵形にして黃色なり。〔花色〕白色或は暗紫色。〔花候〕夏。〔原產地〕交趾支那。

6091. **ヒメゴテフ** …… ラン科
Phalaenopsis rosea, Lindl.

〔形態〕本種も亦觀賞用として渡來せる多年生草本にして，葉は長楕圓形斜凹頭をなす。花莖は稍暗紫色を帶びて點頭し，十數花を着生す。花被片は白色·卵形にして中央に紅采を伴ひ，唇瓣は紅色にして3裂す。〔花色〕白色·紅采を伴ふ。〔原產地〕比律賓群島。

6092. **アサヒゴテフ** (9圖版-82) …… ラン科
Phalaenopsis Schilleriana, Reichb. f.

〔異名〕シルレルコテフラン　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ外來の多年生草本なり。根は灰白色にして扁たく樹木に密着し，莖は殆んど直立することなし。葉は長楕圓形にして，通常左右に3乃至數葉宛を互生し，長さ15-60糎(0·5-2尺)許に達し，多肉性にして，綠色或は帶銀綠色に紫綠色の斑點を有し，裏面は紫赤色を呈するものあり。圓錐花序は莖の中部より葉と稍平行して抽出し，15糎(5寸)より長きは1米(3尺)以上に及び，數條の枝を分岐して懸垂し，十數花より往々200-300花以上の美花を着生す。花は清楚なる白色なるもの或は華麗なる紅色をなすもの等種々あり。萼片は紅紫色を呈し，花瓣と同じく卵形をなし，花瓣は稍大形なり。唇瓣は蕊柱の下部より出でて前方に向ひ，基部に小突起片を有するもの，及下部先端に2本の細き尾を有する種類とあり。〔花色〕白色又は紅色。
〔原產地〕比律賓。

51. ツレサギサウ屬 PLATANTHERA.

6093. **つれさぎさう** 連鷺草 (9圖版-83) …… ラン科
Platanthera japonica, *Lindl.*

〔形態〕本邦南部及北部の山地喬木帶に自生する多年生草本にして，地下に數條の指狀塊根を有す。莖高さ15-18糎(5-6寸)許に達し，莖上數葉を着生す。葉は長楕圓形にして廣く且つ大きく，基脚鞘狀をなして莖を抱く。6月頃大形にして白綠色を呈する多くの花を1時に穗狀花序をなして開き，內方の2瓣は後方に反捲し其狀恰も白鷺の連飛するが如き觀を呈するを以て連鷺草の名あり。唇瓣は長大にして子房より遙かに長き距を有す。
〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州·琉球。

6094. **しまつれさぎ** …… ラン科
Platanthera boninensis, *Koidz.*

〔形態〕暖地に自生する地上蘭の一種にして，莖は剛硬·基脚2-3の葉鞘を具へ，高さ18-45糎(0·6-1·5尺)許に達し，葉と共に毛を有せず。葉は膜質にして，廣楕圓形又は卵形·圓頭をなし，基脚莖を抱く。總狀花序は直生して多くの花を綴り，葉狀をなせる長き苞を有す。唇瓣は披針狀綠形にして，長さ側萼片と同じく，距は狹長楕圓形にして，先端鎌狀をなす。
〔分布〕小笠原島。

6095. **たかねとんぼ** (9圖版-84) …… ラン科
Platanthera Matsudai, *Makino.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして，地下には瘠長なる直生塊莖を有す。莖は瘠長にして基脚に葉鞘を有し，高さ9-30糎(0·3-1尺)許に達す。葉は2葉を着け，大形，滑澤にして卵狀圓形又は楕圓形をなし，銳頭·圓脚にして短鞘を伴ふ。花は綠色にして狹長なる穗狀花序に排列し，苞は鑿形をなして子房より長し。唇瓣は卵圓形にして萼片より短く，距は長楕圓形·鈍頭にして唇瓣より短形なり。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部。

6006. **のびねちどり** (9圖版-85) ……ラン科
Platanthera decipiens, *Lindl.*

〔形態〕深山の樹下等に自生する多年生草本にして．莖は多くの葉を生じ高さ60糎(2尺)許に達す。葉は廣楕圓形或は長楕圓形にして．圓頭或は鋭頭をなし．粗鋸齒緣を有す。5-6月の候．莖頂各葉腋に穗狀花序を出し．淡綠色にして下方の花瓣に紅色の線紋を彩り．先端彎曲せる距を有する密花を着生し．形チドリサウに似たり。苞は花瓣より遙かに長く．唇瓣も亦他片より長形なり。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春-夏。〔分布〕樺太・千島・北海道本州北部及中部。

人生との關係　觀賞用として培養し．愛らしき種類なり。

6097. **じんばいさう** (9圖版-86) ……ラン科
Platanthera Florenti, *Franch.* et *Sav.*

(異名) みづもらん　〔形態〕山中の陰地に自生する多年生草本にして莖高さ30糎(1尺)内外に達し．基脚に2箇の膜質葉鞘を伴ふ。下葉は莖の下部に2葉を生じ．卵形或は楕圓形・全緣にして明瞭なる平行脈を有し．上葉は4-7枚を着け．細長にして互生す。夏日淡綠色を呈する6-7箇の不整齊花を疎なる穗狀に綴る。苞は子房と同長にして鑿形をなし．花瓣は卵狀披針形を呈す。唇瓣は諸花被片より稍長く且つ懸垂し．距は子房と稍同長にして斜出す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

6098. **みづちどり** (9圖版-87) ……ラン科
Platanthera hologlottis, *Maxim.*

(異名) じゃかうちどり・じゃかうさぎ　〔形態〕原野の水澤濕地等に自生する多年生草本にして．莖高さ45-75糎(1·5-2·5尺)許に達す。葉は狹長にして先端鋭く．互生して基脚莖を抱く。6月頃莖頂に花莖を抽き．灰白色の不整齊なる密花を疎なる穗狀花序に綴る．長さ9-12糎(3-4寸)許に達す。苞は花より長く．花被片は卵形にして．唇瓣は舌形をなし萼片より稍長く．距は子房より超出す。〔花色〕灰白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

6099. **いいぬまむかご** (10圖版-88) ……ラン科
Platanthera Iinumae, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして．莖の基脚に膜質の葉鞘を伴ふ高さ18-30糎(0·6-1尺)許に達し．長楕圓形若しくは披針形をなせる2-3葉を基部に着生し．上部に至れば遙かに小形なる線狀或は鑿狀をなせる3-4葉を着生す。7月頃小形にして綠色を呈する密花を圓柱狀の穗狀花序に排列し．鑿形の苞を有す。後萼片は卵形・側萼片は倒卵狀長楕圓形にして毛緣を有し．唇瓣は花被片より長く先端反捲し．距は楕圓形にして短形なり。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

6100. **おほばのとんぼさう** (10圖版-89) ……ラン科
Platanthera interrupta, *Maxim.*

〔形態〕高山喬木帶の稍陽地に自生する多年生草本にして．地下に數條の指狀塊根を具へ．莖高さ60糎(2尺)以上に達し．本屬中最も長大なる一種なり。莖の基部にある2葉は大形にして廣披針形をなし．上部に至るに從ひ漸次小形となる。6-7月の候．他のトンボサウ類に比して稍大きく．且つ懸垂せる唇瓣に横向或は斜上せる距を有する綠白色の14-15花を．莖の上部に着生し．疎なる大形の穗狀花序を綴る。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

57 こばのとんぼさう

6101. **こばのとんぼさう** (白圖-57) ……ラン科
Platanthera nipponica, *Makino.*

〔形態〕山地の樹蔭に自生する多年生草本にして．莖高さ24-45糎(0·8-1·5尺)許に達し．地下に2箇の塊莖を具へ．長楕圓狀紡錐形をなす。莖の基部には廣線形にして．鋭尖頭をなせる大形の1葉を具へ莖を包み．上部には細針形の5-6葉を互生す。花は淡綠色の「トンボ」形をなせる小形花にして．梢上に4-6箇を着生し．疎なる穗狀花序に排列す。唇瓣は長楕圓狀舌形にして．花被片より稍長く．距は瘠長にして後方に彎曲す。〔花色〕淡綠色。〔分布〕本州各部・四國。

6102. **しろうまちどり** ……ラン科
Platanthera Makinoi, *Yabe.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして．莖は多くの葉を生じ．高さ30糎(1尺)許に達す。脚葉は長楕圓形乃至楕圓形にして．基脚莖を抱き．中・上葉は卵狀長楕圓形或は楕圓形をなす。花は穗狀花序に排列し．花序は長さ6糎(2寸)許に達す。苞は卵狀披針形をなして花と稍同長．萼片は卵形にして．花瓣は卵形或は狹三角形をなす。唇瓣は長さ花被片と稍同じく．長楕圓狀卵形にして距は内曲す。〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

6103. **やまさぎさう** (10圖版-90) ……ラン科
Platanthera mandarinorum, *Reichb. f.*

〔形態〕山地原野の向陽の地を好みて自生する多年生草本なり。根は指狀にして細く．4-5塊ありて横走す。莖は稍方形をなして2-3葉を互生す。葉は下部の1葉大形にして．卵狀楕圓形乃至披針形をなす。6-7月の候．黄綠色の少數花を穗狀花序に綴る。唇瓣は披針狀線形にして大きく．距は辨長にして向上・彎曲す。〔花色〕黄綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

6104. **おほやまさぎさう** ……ラン科
Platanthera sachalinensis, *Fr. Schm.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。莖の下部に生ずる2葉は大形にして．廣楕圓形・鈍頭をなし．上部に至るに從ひ小形なり。花は白色にして疎なる穗狀花序に排列し．苞は花より長く披針形にして先端尖る。花被片は卵形にして．唇瓣は全緣なる長楕圓狀線形をなして懸垂し．距は線形にして長さ子房に2倍す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國。

6105. **たかねさぎさう** (10圖版-91) ……ラン科
Platanthera minor, *Reichb. f.*

〔形態〕高山草本帶に自生する多年生草本にして．莖高さ9-12糎(3-4寸)許に達す。莖の下部に生ずる1-2葉は大形にして長楕圓形をなし．基脚莖を抱きて互生し．全緣なれども．上部の葉は狹小なり。8月頃．梢上葉腋に黄色を呈する不整齊の少數花を總狀花序に排列す。苞は長さ子房と稍同じく花被片と共に舌形をなし．花被片の先端は鋭尖なり。唇瓣は線狀舌形にして．距は長き絲狀をなす。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・本州北部及中部。

6106. **はちぢゃうつれさぎ** ……ラン科
Platanthera Okuboi, *Makino.*

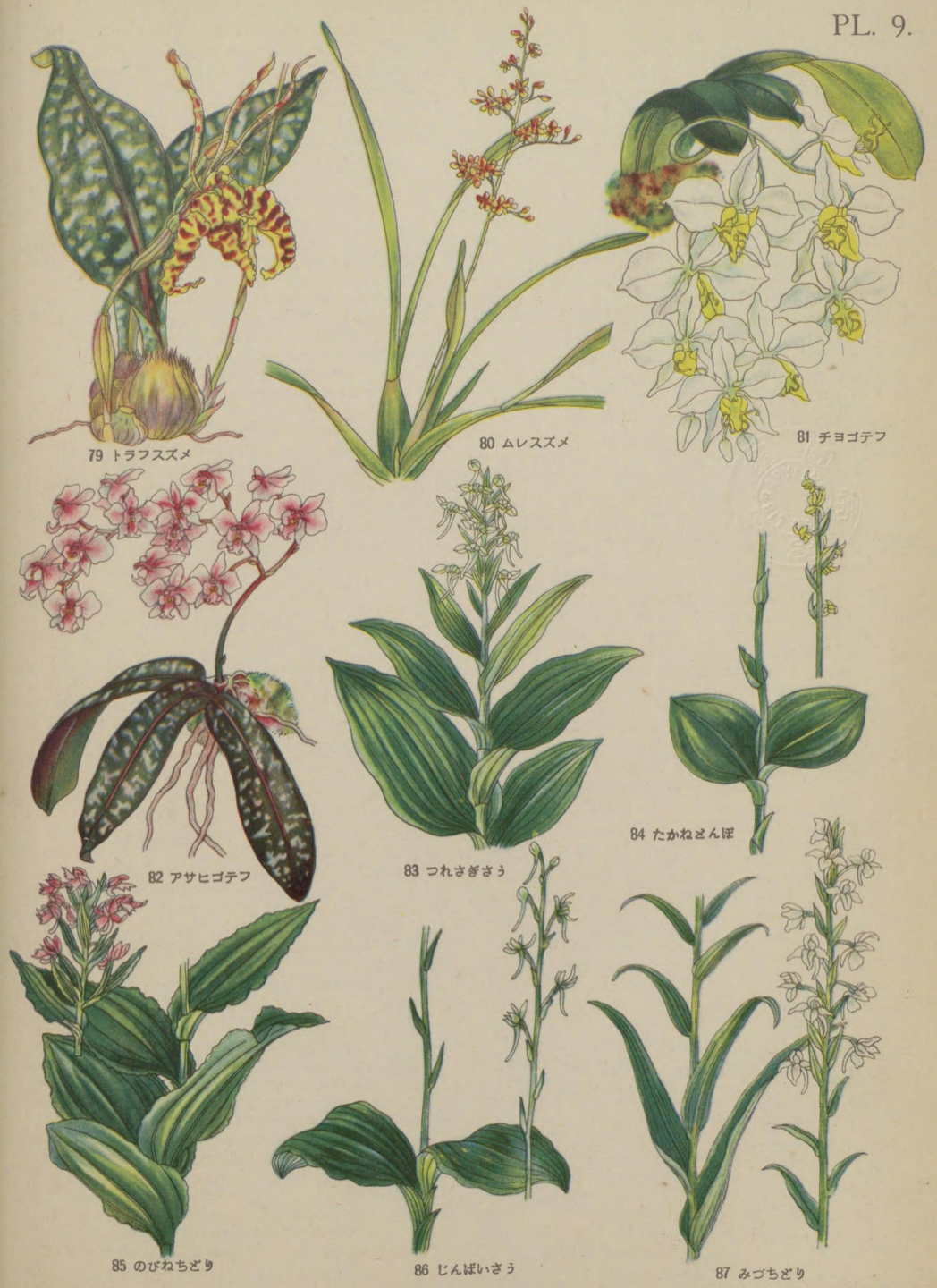
〔形態〕南方島地の山野に自生する多年生草本にして．地下の塊莖は紡錐形をなし直生す。莖の基部には2-3箇の葉鞘を具へ．高さ18-55糎(0·6-1·8尺)許に達す。莖には5-8葉を着生し．下部の2葉は大形なる楕圓形或は狹長楕圓形にして．基脚鞘狀をなし莖を抱く。花は穗狀花序をなして密生し．葉狀苞を有す。唇瓣は披針狀舌形にして．長さ約9粍(3分)許を有し全緣なり。距は狹長にして子房より長く且つ彎曲す。〔分布〕本州(新島・八丈島)。

6107. **きそちどり** (10圖版-92) ……ラン科
Platanthera ophrydioides, *Fr. Schm.*

〔形態〕山地の草本帶に自生する多年生草本にして．地下の塊莖は紡錐形をなし．莖は瘠長にして高さ漸く18-21糎(6-7寸)許に過ぎず。葉は莖に2-3葉を着生し．下部の1葉は大きく．全緣なる廣楕圓形・鈍頭をなし．基脚莖を抱き．上葉は卵狀披針形をなす。7-8月の候．花莖の上部に小梗を出し．帶綠色の6-10花を疎なる穗狀花序に排列し．卵狀披針形の苞を有す。萼は線形にして花瓣は稍廣く．唇瓣は狹線形にして花被片より長く．距は子房より超出し．線形にして眞直なり。〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州各部。

6108. **おほばきそちどり** ……ラン科
Platanthera Yatabei, *Maxim.*

〔形態〕山地草本帶に自生する多年生草本にして．全形キソチドリに似て



79 トラフスズメ
80 ムレスズメ
81 チヨゴテフ
82 アサヒゴテフ
83 つれさぎさう
84 たかねさんぼ
85 のびねちどり
86 じんばいさう
87 みづちどり

稍大形なるのみならず．其の葉は特に彼より大形なる楕圓形を呈する品種にして．其他花期・花色等凡て彼に相同じ。〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。
〔分布〕樺太・北海道・本州各部。

6109. ほそばのきそちどり …… ラン科
Platanthera tipuloides, *Lindl.*

〔形態〕各地の山地草本帶に自生する多年生草本にして．莖高さ 30-45 糎 (1-1·5 尺)許に達す。莖の下部に生ずる 1 葉は長楕圓形・鈍頭にして大きく上葉は狹長なり。花は穗狀花序をなして疎花を綴り．苞は披針形或は線形にして．花瓣は唇瓣と共に肉質・卵形をなし．稍同長なり。距は細き弓狀をなして子房より長し。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各部。

6110. **みやまちどり** (10 圖版-93) …… ラン科
Platanthera Takedai, *Makino.*

(異名) にっくゎうちどり　〔形態〕高山草本帶に自生する多年生草本にして．塊莖は根狀をなし．莖は直生して基部に膜質の 2 鱗片を伴ふ。下葉は莖の稍中部に 2 葉を着け．長楕圓形・全緣にして長さ 3-6 糎 (1-2 寸)許に達し．葉柄を缺き．基脚莖を抱く。上葉は苞狀にして．卵狀線形或は線狀披針形をなし先端尖る。6-7 月の候．稍上葉腋に不整齊の小花 8-10 箇を着生し．總狀花序に排列す。苞は鑿狀線形にして先端尖り．花は帶綠色にして香氣を有せず．距は極めて短小なり。〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

6111. やくしまちどり …… ラン科
Platanthera amabilis, *Koidz.*

〔形態〕九州の山地に自生する多年生草本なり。莖は疥長にして直生し．基脚葉鞘を伴ひ．高さ 9 糎 (3 寸) 許に達す。莖の下部に生ずる葉は長さ 2 糎 (6 分)許を有し．廣楕圓形にして．上葉は稍小さく披針狀長楕圓形をなし基脚共に莖を抱く。花は疎なる總狀花序に排列し．花軸は雁木狀をなし．長楕圓狀卵形の苞を有す。花瓣は稍斜卵形にして．鋭尖頭・半心脚をなし．唇瓣は披針狀線形にして先端尖り．距は絲狀をなして懸垂す。〔分布〕九州 (屋久島)。

6112. ちしまあをちどり …… ラン科
Platanthera viridis, *Lindl.*

〔形態〕千島の山地に自生する多年生草本にして．莖は多くの葉を叢生す葉は長楕圓形或は長楕圓狀披針形にして．花は穗狀をなして着生し．稍同長なる苞を具ふ。唇瓣は線形にして 3 齒裂し．距は短く膨大なり。
〔分布〕千島。

6113. **あをちどり** (10 圖版-94) …… ラン科
Platanthera viridis, *Lindl.* var. bracteata, *Reichb. f.*

〔形態〕前種 チシマアヲチドリ の一變種にして．概形彼に似たれども．本種の花序は彼に比して疎生し．苞は花より約 2-3 倍長く且つ唇瓣は線形にして截頭をなすを異る所なりとす。〔分布〕千島・北海道・本州北部及中部。

---

52. トキサウ 屬 POGONIA.

6114. **ときさう** (10 圖版-95) …… ラン科
Pogonia japonica, *Reichb. f.*

〔形態〕原野・水湯の地に自生する多年生草本にして．地下に少數の鬚根を有し．莖高さ 18-21 糎 (6-7 寸) 許に達す。葉は通常 1 根 1 葉にして．其形廣披針形をなす。夏日花莖を抽くこと 18-21 糎 (6-7 寸) に達し．莖頂に紅紫色の 1 花を生じ．上方に向ひて僅かに開展し．下位子房の下に葉狀の 1 小苞を伴ふ。花被片は披針形にして子房より長く．唇瓣は狹長にして 3 裂し．缺刻緣を有す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國。

6115. **やまときさう** (10 圖版-96) …… ラン科
Pogonia minor, *Makino.*

〔形態〕到る處の山野陽地に自生する多年生草本にして．前種トキサウに比するに．全形稍小さく莖高さ 9-12 糎 (3-4 寸)乃至 15-18 糎 (5-6 寸)許に達す。葉は往々廣く長楕圓形・全緣にして互生す。6 月頃莖の上端に白色・紅暈を伴ひ．充分に開かざる稍不整齊の小花を單生す。萼片は線狀披針形をなし．花瓣は倒披針形にして．唇瓣は花瓣と同長なり。〔花色〕白色にして紅暈を伴ふ。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

---

53. カシノキラン 屬 SACCOLABIUM.

6116. **かしのきらん** (11 圖版-97) …… ラン科
Saccolabium japonicum, *Makino.*

〔形態〕南部山地の樹幹に附着する氣生蘭の一種にして．根は白綠色を呈し太き圓柱形をなす。莖は通常單生して短く．短節を有す。葉は革質・常綠にして莖の兩側に開出し．稍鎌狀披針形にして長さ 3-6 糎 (1-2 寸) 許に達す。8 月頃 1-2 條の花莖を抽出し．淡黃色の 4-10 花を側出せる總狀花序に綴り．苞は三角狀鑿形にして細小なり。花瓣は箆狀長楕圓形にして萼片より小さく．唇瓣は白色にして口廣き大形なる囊狀をなし．內面後側は黃色にして．紫紅色の斑點を彩り．前部は稍三角形にして．不整細齒牙緣を有し．稍 3 裂す。中裂片は稍大きく鈍三角形をなして肥厚し．黃色にして紫色の細點を散生す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州・琉球。

---

54. ムカデラン 屬 SARCANTHUS.

6117. **むかてらん** (11 圖版-98) …… ラン科
Sarcanthus scoropendrifolius, *Makino.*

〔形態〕前種カシノキランと同じく氣生蘭の一種にして．根は莖の側部より發生し．單一にして長く伸長す。莖は疥長にして匍匐し．單生又は枝を分つ。葉は長さ 6-9 粍 (2-3 分) 許を有し．肉質・鑿形にして互生す。8-9 月の候．稍上葉腋に淡紅色の美花を開く。苞は細小にして．萼片は箆狀長楕圓形をなし．基部合生す。花瓣は萼片と同形にして稍小さく．唇瓣は翼を有し．基脚囊狀をなす。囊體は後方に彎曲し．花被片より長形なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕四國。

6118. おほむかでらん …… ラン科
Sarcanthus fuscomaculatus, *Hayata.*

〔形態〕前種 ムカデラン と同じく老木の樹皮等に附着する氣生蘭の一種にして．根は白色・圓柱形をなし．先端分裂す。莖は葉鞘を伴ひ長さ 30 糎 (1 尺) 許に達し．葉は革質・線形にして長さ 1·5 糎 (5 分) 許を有す。花は側出せる圓錐花序に排列し．三角形をなせる苞を具へ．花瓣は狹長楕圓形にして唇瓣の基脚距を有す。〔分布〕臺灣。

---

55. シャウジャウラン 屬 SOPHRONITIS.

6119. **シャウジャウラン** (11 圖版-99) …… ラン科
Sophronitis grandiflora, Lindl.

〔形態〕觀賞用として溫室栽培に適する外來の多年生・常綠氣生蘭の一種にして．アサヒラン に似て最も矮性なる種類に屬し．莖高さ漸く 8 糎 (2·6 寸) 許．數種の變種を有す。葉は球莖より 1 葉を生じ．厚肉質にして莖と共に深綠色を呈す。冬より春に亙り．球莖の成熟と同時に葉の基部より短き花梗を抽き．通常 1 花を着くるを普通とすれども．亦品種により往々 1-3 花を着生し．鮮朱色を呈し．大なるものは花徑 7 糎 (2·3 寸) 許を有す。萼裂片は小さく．花瓣は特に幅廣く．唇瓣は黃色にして 3 裂し．中裂片は狹長にして前方に突出す。〔花色〕鮮朱色。〔花候〕冬-春。〔原產地〕南米「ブラジル」・「パラグッイ」。

人生との關係　觀賞用として溫室內に栽培せらる。植込は水苔・「オスマンダ」を混合したるもの又水苔のみにても可なり。框鉢植に適し．移植は花後を適期とす。

---

56. ネヂバナ 屬 SPIRANTHES.

6120. **ねぢばな** (11 圖版-100) …… ラン科
Spiranthes australis, *Lindl.*

(異名) もぢすり・ひだりまき・しんこばな　〔形態〕路傍・堤塘等の稍芝生地に多く自生する多年生草本なり。莖は疥長にして高さ 15-18 糎 (5-6 寸) より 45 糎 (1·5 尺) 許に達す。葉は線狀披針形或は線形にして．一見ニラの葉によく似たり。6-7 月の候．莖頂に紅紫色を呈する愛らしき小花を穗狀花序に綴る。花序は狹長にして扭捩し．腺毛を密布す。苞は卵狀披針形にして子房より長く．花被片は線狀披針形にして．上側の 3 片は稍癒合し．唇瓣は白色にして．長楕圓形をなし皺曲す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。
〔分布〕樺太・北海道・本州・九州・琉球・臺灣。

6121. しろばなねぢばな …… ラン科
Spiranthes australis, *Lindl.* var. suishaensis, *Hayata.*

〔形態〕臺灣に自生する多年生草本にして．莖高さ 30-45 糎 (1-1·5 尺) 許に達し．下葉は大なる倒披針狀線形をなし．基脚葉鞘を伴ひ．長さ 15 糎 (5 寸) 許に達す。花は白色にして互に接近し．穗狀花序に排列す。花序は 9-16 糎 (3-6 寸) 許を有し．扭捩して細毛を布く。苞は卵形にして．花被片は癒合し．唇瓣は長楕圓形にして．先端皺曲し．基脚 2 箇の圓形突起を具へ．毛茸を生ず。〔花色〕白色。〔分布〕臺灣。

6122. **あをもぢずり** ……ラン科
Spiranthes viridiflora, *Makino.*

〔形態〕原野に自生する多年生草本にして．前種モヂズリによく相似たれども．花被は綠色にして中肋に向ひ漸く濃厚となり．唇瓣は淡色にして中肋に向ひ漸く綠色を呈し．子房亦全體に綠色を呈するものなり。〔花色〕綠色。〔分布〕本州中部。

57. コホロギラン屬 STIGMATODACTYLUS.

6123. **こほろぎらん** (11圖版-101) ……ラン科
Stigmatodactylus sikokianus, *Maxim.*

〔形態〕本邦南部の山地樹蔭等に自生する多年生草本にして．莖高さ6-9糎(2-3寸)に達し．中部に卵形の1葉を生ず。8-9月の候．淡綠色にして紫暈を有する1-3花を總狀花序に排列す。花被片は線形にして．唇瓣は圓形をなし．細齒緣を有し．淡紫色にして．中に濃紫采を伴ふ。〔花色〕淡綠色にして紫采を伴ふ。〔花候〕夏。〔分布〕本州南部・四國・九州。

58. クモラン屬 TAENIOPHYLLUM.

6124. **くもらん** (11圖版-102) ……ラン科
Taeniophyllum aphyllum, *Makino.*

〔形態〕本邦南部喬木帶の大木樹皮上に附着する氣生無葉蘭の一種にして．根は白綠色を呈して蜿曲し．莖は短形なり。6月頃穗狀花序をなして淡綠色の1-3花を綴り．花被片は披針形にして．基部は筒狀に合生し．唇瓣は船形をなし．囊狀の距を有す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

59. ヒメトケンラン屬 TAINIA.

6125 **ひめとけんらん** (11圖版-103) ……ラン科
Tainia laxiflora, *Makino.*

〔形態〕本邦南方島地に自生する多年生草本にして．根莖は結節を有し横走す。葉は葉柄を具へて根出し．葉身は披針形或は長橢圓狀披針形にして先端尖り．基脚狹形にして摺折す。上面白斑を彩り下面紫色を呈し．長さ4-12糎(1-3-4寸)許に達す。花は小形・帶紫色にして．基脚黃色を彩り．葉より長き疳長なる花莖に3-5花を着生して．總狀花序をなす。苞は披針形にして．花瓣は長さ萼片より稍短く．同形なり。唇瓣は花被片より稍短く．廣橢圓狀倒卵形にして3裂し．中裂片は大きく．上面に3薄板を伴ふ。

〔花色〕帶紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州(神津島・御倉島)・九州・琉球。

60. カヤラン屬 THRIXSPERMUM.

6126. **かやらん** (11圖版-104) ……ラン科
Thrixspermum japonicum, *Reichb. f.*

〔形態〕山地の老樹上に自生する多年生氣生蘭の一種にして．葉間より線狀の根を出し．樹皮にかゝりて之れに附着す。葉は長さ3糎(1寸)內外を有し．線狀扁平にして密に互生し．2列に排列する狀恰もカヤに似たり。夏日葉間より纖細なる花莖を出し．分岐して梢上に淡黃色の6-8箇の小花を綴り．總狀花序をなす。萼片は橢圓形をなし．花瓣は狹小にして．唇瓣は基脚絲狀を呈し分裂す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

61. ヒトツボクロ屬 TIPULARIA.

6127. **ひとつぼくろ** (11圖版-105) ……ラン科
Tipularia japonica, *Matsum.*

〔形態〕深山幽谷の陰地に自生する多年生草本にして．高さ15-30糎(0・5-1尺)內外に達す。葉は龜下にある塊根より1葉を生じ．卵圓狀披針形・鋭頭にして．長さ6糎(2寸)．幅1・8-2・1糎(6-7分)許を有し．表面は光澤ある深綠色にして5條の平行脈は中肋白色．下面は菫紫色を呈し．長き葉柄を有す。夏日葉側に細梗を抽き．長さ21-24糎(7-8寸)許に達し．細鱗樣の葉を互生し．梢頭に綠色にして．紫條を有する小花を總狀花序に綴り．苞は之を缺如す。花被片は長橢圓狀箆形．唇瓣は圓形にして3裂し．距は毛管狀をなして子房より稍長く．萼は倒卵形をなす。〔花色〕綠色にして紫條を有す。

〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

62. ネッタイラン屬 TROPIDIA.

6128. **ねったいらん** (12圖版-106) ……ラン科
Tropidia angulosa, *Blume.*

〔形態〕南方暖地に自生する多年生草本にして．莖高さ18-30糎(0・6-1尺)許に達す。葉は葉柄を缺き．葉身は膜質・橢圓形或は卵形にして先端尖り．長さ7・5-12糎(2・5-4寸)許に達す。穗狀花序は頂生し．短梗を有する多くの花を綴り．苞は狹長にして開出し．萼片は披針形にして．基脚合生し先端尖る。花瓣は卵狀披針形にして．唇瓣は長橢圓形をなし．花瓣と稍同長なり。〔分布〕臺灣。

63. ヒスキラン屬 VANDA.

6129. **ヒスキラン** (12圖版-107) ……ラン科
Vanda soerulea, Griff.

〔形態〕熱帶原產の觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして．莖高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は線形にして齒牙緣を有し剛硬なり。花は徑7・5-9糎(2・5-3寸)許を有する大形にして淡碧色をなし．總狀花序に排列す。側萼片は倒卵形．花瓣は廣倒卵形にして爪を具へ．唇瓣は暗碧色にして線狀長橢圓形をなし．萼片より短く．中裂片は肥厚せる2隆起を伴ふ。

〔花色〕淡碧色。〔原產地〕印度。

6130. **ダイワウラン** (12圖版-108) ……ラン科
Vanda Sanderiana, Reichb. f.

〔形態〕本種も亦觀賞に供せらるゝ熱帶原產の多年生草本にして．莖は多くの葉を互生す。葉身は舌形にして幅3糎(1寸)．長さ30糎(1尺)許を有し．肉質・剛硬にして先端鋸齒を有す。夏日葉の基部より葉と平行して．約20糎(6・5寸)許ある花梗を出し．總狀花序をなして12-13花を排列す。花は大きく且つ扁平にして．淡紫黃色地に赤褐色の斑點及線狀を現はし．花徑約10糎(3寸)許に達し．頗る美しく且つ雄大なり。萼片は圓形にして後萼片は淡紫色を呈し．基脚點紋を具へ．側萼片は黃緋の2色を配し．花瓣は菱狀倒卵形をなす。唇瓣は比較的小さく帶黃赤色を呈し．側裂片は杯形．中裂片は腎臟形にして暗緋色を呈す。〔花色〕淡紫黃色地に赤褐色斑點及線狀を配す。〔花候〕夏-秋。〔原產地〕比律賓(ミンダナオ島)。

人生との關係　觀賞用として溫室栽培に適す。移植は4-5月頃を適期とし．「オスマンダ」・水苔を以て鉢植又は框植とするか又は「ヘゴ」板へ根を縛り付くるに適す。繁殖は株分によるものとす。

6131. **ハナボウラン** (12圖版-109) ……ラン科
Vanda teres, Lindl.

〔形態〕本種も亦熱帶原產の多年生草本にして．觀賞用として栽培せらゝる一種なり。莖は莖狀を呈し．葉は圓柱形にして3-6花を總狀花序に排列す。萼片は圓形にして白色地に紅采を伴ひ．花瓣は稍大形にして深綠色を呈す。唇瓣の側裂片は廣く稍內曲し．黃色にして緋色の斑點を有し．中裂片は腎臟形にして紫色或は紅色なり。〔原產地〕印度。

6132. **ヘウモンラン** (12圖版-110) ……ラン科
Vanda tricolor, Lindl.

〔形態〕本種も亦熱帶原產なれども．極めて一般的に栽培せらるゝ多年生の氣生草本なり。莖は數枝を分ちて多くの葉を簇生す。葉は舌形をなして．上面に溝を有す。總狀花序は葉より長くして懸垂し．花は黃色地に赤褐色の斑點を具ふ。花被片は倒卵形にして．唇瓣の側裂片は圓形をなし小さく．中裂片は頭大羽裂して紫色を呈し．隆起線を伴ふ。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。

〔原產地〕南洋「ジャバ」。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。花は比較的華麗ならざれども不時開花し．期間長く且つ芳香を有するを以て．溫室內の裝飾又切花用として愛用せらる。移植は4-5月を適期とし．鉢植・框植何れにも適す。水苔のみにても又「オスマンダ」混合のものにても可なれども．鉢內には多くの瓦の破片又は木炭を入れ．高溫度の栽培を要し．「スリップ」の害蟲に注意すること肝要なり。

64. ヴァニラ屬 VANILLA.

6133. **ヴァニラ** (12圖版-111) ……ラン科
Vanilla planifolia, Andrews.

〔形態〕元來「メキシコ」東部沿岸暖地森林帶の濕潤なる地に自生する常綠の蔓性草本なれども．現時にては熱帶地方の各地に栽培せらる。莖は圓

88 いいぬまむかご

89 おほばのどんぼさう

90 やまさぎさう

91 たかねさぎさう

92 きそちどり

93 みやまちどり

94 あをちどり

95 ときさう

96 やまときさう

97 かしのきらん

98 むかでらん

99 シャウジャウラン

100 ねぢばな

101 こほろぎらん

102 くもらん

103 ひめとけんらん

104 かやらん

105 ひとつぼくろ

柱形にして、葉と殆んど反對の處より白色の氣根を出し、樹幹に攀昇す。葉は互生し、長卵圓形にして先端尖り、上面暗綠色、下面淡色を呈し、其質多汁性にして厚く、葉柄は楯形をなして短小なり。花は小苞葉の葉腋より抽出し、有梗にして穗狀をなす。花冠は上立性にして花瓣は長披針形を呈し、帶黃綠色に黃斑を彩り、5瓣なり。雄蕊は3箇を具へ、概ね蕊柱と癒合し、中央のものゝみ稔熟す。果實は莢果にして、長さ30糎(1尺)許に達し、强き香氣を有し、初めは黃色を呈すれども、稔熟して褐色となる。〔花色〕霜黃綠色。〔花候〕夏。〔原產地〕北米「メキシコ」。

人生との關係　本植物の果實は、之を「ヴァニラ」と稱して藥用に供す。即ち果實の未だ稔熟せざる前、其黃色の時季に之を採收し、日光に晒して乾燥せしめ、類褐色を呈するに至りて貯藏す。「ヴァニラ」の重要なる成分は「ヴァニルリン」と少量の揮發油・脂肪及糖分等にして、其氣味佳快なるを以て、調味藥として應用せられ、「ヒステリー」・月經不順・萎黃病等に使用せらる。通常丁幾又は糖劑として用ふ。主要なる用途は「コーヒー」・「アイスクリーム」等に佳快の氣味を附するに用ふ。

---

65. ショウキラン屬　YOANIA.

6134. **しょうきらん**　忽地笑　(12圖版-112)　‥ラン科
Yoania japonica, *Maxim.*

(異名) やまたうがらし・らんてんま　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして、莖高さ通常7·5-15糎(2·5-5寸)內外なれども、往々30糎(1尺)以上に達するものあり。葉は尋常葉を缺き、鞘狀をなせる鱗片は淡紅紫色にして、膜質・卵形をなす。花は長梗を有し、白色の4-7箇を房狀をなせる總狀花序に排列し、鞘狀の苞を有す。萼片は長橢圓形・鈍頭にして黃色を呈し、花瓣は廣卵形なり。唇瓣は白色にして囊狀をなし、短き距を具へ、各側裂片には4條の顯著なる脈を有し、蕊柱も亦白色・短濶にして、葯は狹紡錐形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州。

*　*
*　*　*

2. ひなのしゃくぢゃう(雛錫杖)科
BURMANNIACEÆ.

本科に屬する植物は凡て草本にして、通常死生物に寄生し、葉綠素を缺き鱗狀葉を生ずれども、又稀に獨立して生活し、葉綠素を含みて狹き葉を生ずるものあり。花は通常兩性にして1-2箇づゝ生ずるか、或は聚繖花序に排列す。花の諸器官は輪狀排列をなし、通常萼と花冠との區別なく、6箇乃至3箇より成る3數性にして多軸性なり。花被は概ね癒合し、稀に子房の上部は全く分離せる裂片を有す。雄蕊は6箇又は內輪の3箇だけ存し、屢ば著だしく擴大せる葯帶を有し、通常花被に着生す。子房は下位にして、1-3室を有し、3箇の側膜胎座又は內角胎座に多數の細微なる倒生卵子を附着す。果實は蒴にして、多數の小種子を藏し、種子には胚乳を含む。

本科には凡9屬、60種の植物を含有し、熱帶の原始林及草原に多く生じ少數は北「アメリカ」にも分布す。本邦には1屬、6種を產するに過ぎず。

---

1. ヒナノシャクヂャウ屬　BURMANNIA.

6135. **ひなのしゃくぢゃう**　雛錫杖　ヒナノシャクヂャウ科
Burmannia japonica, *Maxim.*　(12圖版-113)

〔形態〕暖地山野の主に死物に寄生する多年生草本なり。莖葉共に無毛にして、葉綠素を缺き稍淡黃褐色を呈し、高さ3-9糎(1-3寸)許に達す。根莖は塊狀をなし、橢圓形或は長橢圓形にして、莖は稍粗大なり。葉は鱗片狀に退化し、小形にして莖に互生す。花は白色小形にして花梗を缺き、莖の上部に攢簇し、花被裂片は褐黃色を呈し、花筒は3稜を有す。雄蕊は花喉の下に着生し、花柱と共に閉在す。柱頭は3岐し、子房は3室を有し、蒴は倒卵狀球形にして3稜を具ふ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

6136. **しろしゃくぢゃう**　(12圖版-114)　ヒナノシャクヂャウ科
Burmannia cryptopetala, *Makino.*

〔形態〕暖地の山野に生ずる無毛・白色の寄生小草本にして、莖は細長く高さ6-15糎(2-5寸)許に達し、退化せる鱗片狀葉を散生す。花は梭形の3翼を有し、1-7花を聚繖花序に排列す。花被は上位、萼部は黃色にして、筒部より遙かに短く6裂す。雄蕊は花喉の下に3箇を具へ、花柱は閉在生にして3裂し、3柱頭を有し、蒴は宿存花被を具ふ。〔花色〕白黃色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州中部及南部・九州。

58 るりしゃくぢゃう

59 きりしましゃくぢゃう

6137. **るりしゃくぢゃう**　(白圖-58)‥‥ヒナノシャクヂャウ科
Burmannia Itoana, *Makino.*

(異名) やへやましゃくぢゃう　〔形態〕概形前種シロシャクヂャウに酷似せる一種にして、本種の莖は碧菫色を呈し、花は莖上に頂生する種類なり。〔花色〕藍紫色。〔花候〕夏。〔分布〕九州(屋久島)・琉球。

6138. **きりしましゃくぢゃう**　霧島草　ヒナノシャクヂャウ科
Burmannia nepalensis, *Hook. f.*　(白圖-59)

(異名) きりしまさう　〔形態〕本邦南部の山地に生ずる寄生草本にして、莖葉共に葉綠素を缺き、淡黃褐色を呈す。莖高さ4·5-15糎(1·5-5寸)許に達し、退化鱗片狀葉を互生す。夏日莖頂に小花莖を出し、倒心臟形にして半月形の翼を有する淡黃色の小花を1乃至數箇着生して聚繖花序に排列す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。

6139. **たいわんしゃくぢゃう**‥‥‥‥ヒナノシャクヂャウ科
Burmannia Takeoi, *Hayata.*

〔形態〕暖國密林中の腐植土上に生ずる寄生小草本にして、莖は無色なるか、或は稍碧紫色を呈し、通常單生すれども時に1-2枝を岐ち、高さ6-9糎(2-3寸)許に達す。葉は退化せる鱗片狀葉にして白色・披針形をなす。花は莖上に單生し、シロシャクヂャウに比して遙かに大きく、紫碧色にして、1-2箇の苞を有す。花被は筒形にして不齊なる半長橢圓形の翼を伴ふ。萼部は3深裂し、雄蕊は3箇を具へ、花柱は直生、柱頭は3裂す。〔花色〕紫碧色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

*　*
*　*　*

シャウガ群

1. くずうこん(葛鬱金)科 MARANTACEÆ.

本科に屬する植物は概ね多年生草本にして．通常不均對形の羽狀脈葉を有し．葉柄の先端に膨起部を伴ふ。花は萼と花冠との區別明瞭にして．通常兩性なれども．無對形又は無軸性と稱して對稱面を有せず。雄蕊は4箇乃至5箇を有し．內輪に於ける1蕊の半部は發育して葯を具へ半部は花瓣狀を呈し．他の內輪雄蕊及1-2箇の外輪雄蕊は共に花瓣狀をなし．且つ內輪に屬する1箇は僧帽狀を呈す。子房は下位にして通常3室又稀に1室を有し．各室に只1箇の卵子を含む。花柱は甚だしく彎曲して屢ば分裂したる斜形の先端を有し．種子は假種皮を具ふ。

60 クズウコン

本科には4屬．凡280種の植物を含有し．熱帶產なれども主として亞弗利加・亞米利加に多く產出す。我國には臺灣に1屬．1種を產するに過ぎず。

本科所載植物目次

ウラベニセウ……6146　セブラセウ……6143　マランタ……6143
クズウコン……6140　トラフヒメバセウ……6143　モンエフセウ……6142
コウトウクマタケラン6147　フイリヒメバセウ……6145　ヤバネヒメバセウ……6141
シハイヒメバセウ……6144　フタイロマランタ……6142

1. クズウコン屬 MARANTA.

6140. **クズウコン**（白圖-60）…… クズウコン科

Maranta arundinacea, L.

〔形態〕外來の多年生栽培草本にして．莖高さ0·6-1·8米(2-6尺)許に達し．根莖は肉質・紡錐形をなし．莖は多くの枝を分つ。葉は卵狀長橢圓形にして先端尖り．基脚圓形を呈し．長さ21糎(7寸)許を有し．下面に細毛を布き．葉柄を具ふ。花は白色にして莖頂に總狀花序をなして排列し．線狀披針形の苞を伴ふ。萼片は3箇．卵狀披針形をなし．花冠は先端不同に3裂せる筒形にして．內に瓣狀をなせる2假雄蕊と子房とを具ふ。果實は扁錐形をなせる堅果にして．黑褐色を呈す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕南亞米利加。

人生との關係　根莖より澱粉を採取する爲めに栽培せらる。

6141. **ヤバネヒメバセウ**（13圖版-119）…… クズウコン科

Maranta smaragdina, Lindl.

〔形態〕本種も亦外來の多年生觀葉草本にして．南亞米利加の原產なり。葉は長さ21糎(7寸)．幅6糎(2寸)許を有し．中脈は稍偏側し．綠色の地に灰白色の矢箭狀斑條を配し．緣部は綠色の覆輪樣に彩られ．裏面は稍紫色を帶びて斑紋を有せず。本種は雄蕊に葯を有せざるものにして．蓋し本種の特徵なり。〔原產地〕南米「エクアドル」。

人生との關係　觀葉植物として．溫室に栽培せらる。性質强健．栽培容易なり。半日陰を好めども　冬季は日光の直射を受けしむべく．排水よき肥土を適當とす。

6142. **モンエフセウ**（13圖版-115）…… クズウコン科

Maranta bicolor, Ker.

（異名）フタイロマランタ　〔形態〕外來の觀葉植物として溫室に栽培せらるゝ短矮なる多年生草本にして．通常莖と稱すべき部分なく．葉は地下の塊根より簇出し．高さ30糎(1尺)內外に達す。葉は互生し．橢圓形或は卵形にして．葉面は帶白綠色を呈し．中肋と緣邊との間には暗色の斑紋を彩りて頗る美なれども．花は不整形をなせる白色花にして．觀賞するに足らず。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　觀葉植物として溫室に栽培せらる。性强健にして多濕を好み．夏季は日覆下に置くを要す。繁殖は株分による。冬季越冬溫度は攝氏4·5度內外なり。本種は貝殼虫類の好みて寄生し易ければ．力めて之れを驅除せざるべからず。

6143. **トラフヒメバセウ**（13圖版-116）…… クズウコン科

Calathea zebrina, Lindl.

（異名）ゼブラサウ・通稱マランタ　〔形態〕外來の觀葉植物として溫室內に栽培せらるゝ多年生草本にして．高さ30-90糎(1-3尺)に達すれども．通常莖と稱する部分は之を缺く。葉は長橢圓形にして長さ20-30糎(0·7-1尺)．幅10糎(3寸)許を有し．中肋及支脈は綠色を呈し．其間に矢羽模形の幅廣き暗色の斑條を支脈と平行に彩り．全體天鵞絨樣の色澤をなして美しく．殊に新葉の開き初めたる當時は實に美觀を呈すれども．時日を經るに從ひて褪色するを常とす。下面は菫紫色を呈す。花は球形の穗狀花にして．雄蕊は淡紫色をなす。〔原產地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　觀葉植物として栽培せらる。溫室性の陰地植物なれば．日蔭に置くときは．色彩美なれども．日光の直射を受くるときは卷縮す。用土は腐植土を可とし．溫氣を好む。繁殖は株分により．冬期越冬溫度は攝氏10度を要す。

6144. **シハイヒメバセウ**（13圖版-117）…… クズウコン科

Calathea picta, Hook.

〔形態〕本種も亦外來の觀葉植物にして．通稱マランタ・ピクタと呼ばる。原產地にありては莖高さ1米(3尺)に達すれども．內地にありては通常40-42糎(1·3-1·4尺)內外に過ぎず。葉は長き葉鞘によりて莖を抱き．長橢圓形乃至橢圓狀披針形にして先端尖り．長さ15-21糎(5-7寸)許に達す。表面は綠色地に黃綠色の刷毛目を矢箭形に彩り．裏面は紫紅色を呈して美麗なれども．老成すれば褪色す。本種は花梗上に概ね2葉を出して．其の上部に茗荷樣の花叢を出す。花は黃色にして紫綠色の苞を有す。〔花色〕黃色。〔原產地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　前種と同じく鉢植として觀葉に供す。溫室栽培なり。

6145. **フイリヒメバセウ**（13圖版-118）…… クズウコン科

Calathea musaica, Hort.

〔形態〕本種も亦觀葉植物として．本屬中價値高き外來の草本にして．莖高さ30糎(1尺)內外に達し．莖葉共に無毛種に屬す。葉は殆んど葉身と同長なる葉柄を具へ．葉身は長さ15糎(5寸)．幅3糎(1寸)許にして．稍歪める心臟狀卵形をなし先端尖り．鮮綠色にして光澤を有し．且つ淡黃綠色の刷毛目狀色彩を配して頗る美なり。本種は通常溫室內にては開花せざるものとす。〔原產地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　觀葉植物として溫室內に栽培せらる。性半日陰の地を好み．繁殖は株分によるものとす。

2. ウラベニセウ屬 STROMANTHE.

6146. **ウラベニセウ**（13圖版-120）…… クズウコン科

Stromanthe sanguinea, Sonder.

〔形態〕本種も亦主に鉢仕立として觀賞せらるゝ外來の觀葉草本なり。葉の長さ30糎(1尺)內外に達し．1株より10葉內外を叢生す。葉面は深綠色を呈し．裏面は赤紅色にして極めて美しく．觀賞の主要點なり。花は白色にして紅色の苞を有し．花亦觀賞の價値あれども．內地溫室內にありては殆んど開花せざるを憾とす。〔花色〕白色。〔原產地〕南米「ブラジル」。

人生との關係　觀葉植物として溫室內に栽培せらる。栽培容易なり。越冬攝氏10度。

3. コウトウクマタケラン屬 DONAX.

6147. こうとうくまたけらん…… クズウコン科

Donax cannaeformis, *Rolfe*.

106 ねつたいらん　107 ヒス井ラン　108 ダイワウラン　109 ハナボウラン　110 ヘウモンラン　111 ヴアコラ　112 しようきらん　113 ひなのしやくじやう　114 しろばなしやくじやう

〔形態〕臺灣に生育する多年生草本にして，概形クマタケランに酷似し，葉高さ 0·9-1·2 糎（3-4 尺）に達す。葉は廣披針形にして中肋の左右に極めて多數の平行脈を有し，長き葉柄の基脚は基部莖を抱く。花は不整齊，白色にして稍黃色暈を帶び，圓錐花序に排列す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。

〔分布〕臺灣。

人生との關係　專ら庭園に栽培し觀賞に供せらる。

*　　*　　*
*　　*　　*

2. だんどく（曇華）科　CANNACEÆ.

本科に屬する植物は多年生草本にして，油細胞を有し，大形の澱粉粒を含む。葉は單葉にして羽狀脈を具へ互生す。花は不整齊なる兩性花にして蕚及花冠を具へ，美麗なる色彩を有す。花の諸器官は輪狀に排列す。蕚は3箇の片より成り，花冠は3箇の花瓣を具へ下部は癒合す。雄蕊は1-5箇を有し，下部は花冠筒と癒着し，其內輪にある1箇は1室の葯を有する半部

61 ダンドク

と，花瓣樣をなせる半部とより成り，他の雄蕊は何れも花瓣樣をなし，其內1箇は大形の唇瓣をなして著しく反捲す。子房は下位にして3室を有し，各室に2列に排列せる大形の倒生胚子を含む。花柱は葉狀にして太く，斜形の柱頭を具へ，果實は蒴にして多數の有肧乳種子を含む。

本科には1屬，凡60種の植物を含有し，多く熱帶亞米利加に產し，本邦には栽培品として凡8種あり。

本科所載植物索引目次

アカバナダンドク……6152
アメリカダンドク……6151
インデアン・ショット 6148
オランダダンドク……6149
カンナ・ヒーブリダ…6155
キバナノダンドク……6153
シナダンドク……6150
シロバナダンドク……6154
ダンドク……6148
ホソバダンドク……6149

1. ダンドク屬　CANNA.

6148. **ダンドク**　曇華・檉特・蘭蕉（白圖-61）……ダンドク科
Canna indica, L. var. *orientalis*, Hook. f.

（英名）インデアン・ショット（Indian Shot）〔形態〕觀賞用として培養する多年生草本にして，根莖は多肉質の塊根狀をなし，頂部に芽を有す。莖高さ 0·9-1·2 米（3-4 尺）より 1·5-1·8 米（5-6 尺）に達し，葉は大形の長橢圓形にして先端尖り，稍バセウの葉に似て小さく，長さ 30-45 糎（1-1·5 尺）許に達す。夏秋の候，莖頂に鮮赤色の美花を着生して，疎なる總狀花序をなす。苞は綠色・卵形をなし，蕚片も亦綠色にして3箇を有し，花冠は下部僅に筒狀に結合して，大部は3分裂し，雄蕊は不齊なる4-5片を具へ花瓣狀をなし，鮮赤色にして，下部は筒狀をなして花筒に着生し，最內片は1側に單胞葯を着生す。雌蕊は1箇を有し，子房は3室を具へ下位なり。花柱は雄蕊筒に沿着し，蒴は球形にして，表面に刺狀突起を滿布す。

〔花色〕鮮赤色。〔花候〕夏-秋。〔原產地〕西印度「ギアナ」地方。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。東京地方にては霜除をなして越冬せしむ。本種は現今の園藝變種の殆んど原種と認むべきものにして，我國へは今より百十數年以前（文政十一年）蘭船によりて初めて渡來したるものなり。

6149. **オランダダンドク**（13圖版-121）……ダンドク科
Canna patens, Rosc.

（異名）ホソバダンドク　〔形態〕前種と同じく外來の宿根草本にしてダンドクに比するに形體稍小さく，高さ 90 糎（3尺）許に達す。葉は狹長橢圓形にして，葉柄は稍伸長し，榕葉と雖も前種の如く莖を包むに至らず。花

は黄色にして．先端赤色を呈す。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。（栽培種）

人生との關係　ダンドクに同じ。

6150. シナダンドク …… ダンドク科
Canna Reevesii, Lindl.

〔形態〕本種も亦舶載せる觀賞用宿根草本にして．後種キバナノダンドクに相似たれども．花は小形にして．外假雄蕊は稍鋭頭をなす。

〔原産地〕印度。

6151. アメリカダンドク …… ダンドク科
Canna Warszewiczii, Hort.

〔形態〕本種も亦外來の觀賞用宿根草本にして．莖は暗綠色を呈し．粉白を裝ひ．高さ 0·9-1·2 米（3-4 尺）許に達す。葉は長楕圓形にして先端尖り稍暗紫色或は青銅色彩を伴ひ．長さ 15 糎（5 寸）許を有す。花は赤色にして．單生せる總狀花序に密花を簇生す。苞は卵形にして褐色を呈し．萼片は披針形をなし紫色を帶び．花瓣は披針形にして鋭尖頭をなし．共に粉白を布く。花瓣狀をなせる假雄蕊及唇瓣は共に倒披針形をなし．鮮緋紅色を呈し．長さ 6-7·5 糎（2-2·5 寸）許を有す。〔花色〕鮮緋紅色。〔花候〕夏。

〔原産地〕南亞米利加。

6152. アカバナダンドク …… ダンドク科
Canna coccinea, Mill.

〔形態〕本種も亦外來の觀賞用宿根草本なり。莖は瘠長にして綠色をなし．高さ 1·2-1·8 米（4-6 尺）許に達す。葉は長楕圓形或は長楕圓狀披針形にして先端尖り．花は單生せる總狀花序に排列す。苞は小圓形にして綠色を呈し．萼片は披針形にして綠色をなし赤采を伴ふ。花瓣も亦披針形にして鋭尖頭をなし．長さ 3·6 糎（1·2 寸）許を有し．唇瓣には黄色の斑點を配す。假雄蕊は 2 箇を有し．狹長にして凹端をなし．葯は小球形なり。

〔花色〕帶赤色。〔花候〕夏。〔原産地〕西印度。

6153. **キバナノダンドク**（13 圖版-122）…… ダンドク科
Canna flaccida, Rosc.

〔形態〕本種も亦觀賞用植物として渡來せる宿根草本にして．根莖は横走し．莖は高さ 1·5-1·8 米（5-6 尺）に達す。葉は長き葉柄を具へ．卵狀披針形にして先端尖り．基脚莖を抱く。花は黄色にして孤 15 糎（5 寸）許を有し．少數花を葉と稍同長なる總狀花序に綴る。苞は披針形にして子房より長く萼片は綠色にして長楕圓形をなす。花瓣は廣線狀披針形にして花後反捲し假雄蕊は倒卵形・凹頭をなし．唇瓣と共に鮮黄色をなす。唇瓣は短爪を具へ廣楕圓形にして．緣邊波狀を呈す。〔花色〕鮮黄色。〔花候〕夏。

〔原産地〕南亞米利加。

6154. シロバナダンドク …… ダンドク科
Canna glauca, L.

〔形態〕本種も亦觀賞用として渡來せる宿根草本にして．地下に根莖を有し．匐枝を曳く。莖高さ 1·5-1·8 米（5-6 尺）に達し．莖葉共に綠色にして粉白を布く。葉身は長楕圓狀披針形にして．緣邊白色を呈し．鋭頭・鋭脚にして．長さ 9-15 糎（3-5 寸）許を有す。總狀花序は單生或は双岐して．黄綠色の疎花を綴る。萼片は卵形・鈍頭をなし．花瓣は線狀披針形にして．長さ 4·5 糎（1·5 寸）許を有し．唇瓣は線狀或は倒卵狀長楕圓形・凹頭にして．淡黄色を呈す。假雄蕊も亦黄色にして．斑點を有せず。〔花色〕黄綠色。

〔花候〕夏。〔原産地〕西印度。

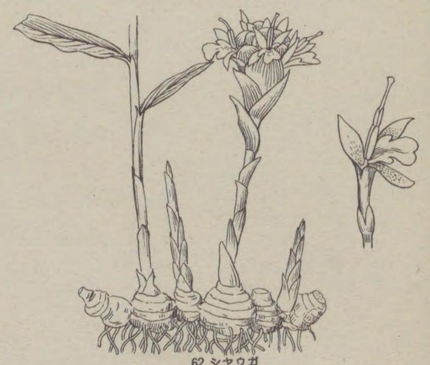
6155. **カンナ・ヒーブリダ**（13 圖版-123）…… ダンドク科
Canna hybrida.

〔形態〕本種は園藝家によりて交配せる種子により成立したる一種にして．形態は前種より小形にして．而も花形大きく．園藝種として栽培するに好適のものなり。花色にも紅色・黄色・赤黄色或は之等の色彩に斑點のあるもの等種々あり。〔花候〕夏。（栽培種）

＊　　＊
＊　　＊　　＊

3. しゃうが（薑）科　ZINGIBERACEÆ.

本科に屬する植物は多年生草本にして．油細胞を有し．球形狀の根莖を具ふ。葉は葉鞘及葉柄を具へ．單葉にして羽狀脈を有す。花は不整齊の兩性或は單性にして．單軸性なり。多くは 3 箇の萼及花冠を具へ．花の諸器官は輪狀排列をなし．何れも結合し下部は管狀をなす。内輪に於ける唯 1 箇の



62 シヤウガ

雄蕊のみ完全に發育し．2 室を有する葯を具へ．他の 2 假雄蕊は癒合して．花冠狀の唇瓣をなし．又往々外輪に於ける側部 2 箇の雄蕊は翼瓣を形成し他の 1 箇は全く消滅す。花序は單一或は複合等種々ありて．概ね芳香を放つ。子房は下位にして通常 3 室稀に 1 室を有し．多くの倒生卵子を含む。花柱は細長にして．花粉を生ずる雄蕊の溝狀部内に位す。果實は蒴にして多くの種子を含み．種子は粉狀の胚乳を有し．通常假種子を伴ふ。

本科には 24 屬．凡 800 餘種の植物を含有し．主として熱帶亞弗利加・熱帶亞細亞に分布し．本邦には 6 屬．凡 38 種を産出す。

本科所載植物居目次

アヲノクマタケラン	6164	クマタケラン	6162	ハナメウガ	6161
アフミシヤウガ	6156	ゲツタウ	6165	ハルウコン	6168
ウコン	6167	シナシヤウガ	6156	ベンウコン	6173
ウスゴ	6169	シヤウガ	6156	ベンカジュツ	6174
オホクマタケラン	6165	シユクシヤ	6172	フイリクマタケラン	6163
ガジュツ	6169	シロウコン	6169	フイリメウガ	6159
カヤシヤウガ	6156	セウヅク	6170	ホザキシヤウガ	6174
ガランガ	6171	タイリンゲツタウ	6166	メウガ	6158
キシヤウガ	6156	タイリンメウガ	6160	メ　カ	6158
キヅメゲサ	6167	ナカテシヤウガ	6156	ワセシヤウガ	6156
キヤウワウ	6168	ハジカミ	6156	……	
キントキ	6156	ハナシヤウガ	6157	……	

1. シャウガ屬　ZINGIBER.

6156. **シャウガ**　薑・生薑（白圖-62）…… シャウガ科
Zingiber officinale, Rosc.

（異名）ハジカミ　〔形態〕本邦にては專ら食用・藥用として畑地に栽培せらるゝ多年生草本にして．莖高さ 60-90 糎（2-3 尺）許に達す。葉は披針形にして先端尖り．毛を有せず．メウガに似て形稍小形なり。花は通常出さずと雖も．暖地にありては夏秋の候．地下に花莖を抽き．橙黄色の不整齊花を．長楕圓狀圓柱形をなせる穗狀花序に排列す。根莖は指を屈したるが如き塊狀をなし．其味辛く香氣深し．苞は稍圓形にして黄綠色を呈し．萼は筒形にして 1 側分裂す。花冠は橙黄色の地に斑點を彩り．筒部は萼より長く舷部は 3 裂す。唇瓣は稍短く．紫色にして白點を裝ひ且つ 3 裂す。雄蕊は暗紫色にして長さ唇瓣と稍同じく．子房は下位なり。果實につきては未だ詳ならざるものゝ如し。〔花色〕橙黄色。〔花候〕夏-秋。〔原産地〕熱帶亞細亞？。

人生との關係　生薑は香辛料・製藥用・漬物用として需要多きのみならず其他干薑・粉薑として藥用に供し．嫩芽も亦食用せられ．殊に此の根莖は新らしき子莖を生ずるも親莖即ち舊莖は腐敗せざるを以て．俗にヒネ生薑と稱して種々の用途に使用することを得る特性を有するを以て．廣く各地方

115 モンエフセウ　116 トラフヒメバセウ　117 シハイヒメバセウ
118 フイリヒメバセウ　119 ヤバネヒメバセウ　120 ウラベニセウ
121 ダンドク　122 オランダダンドク　123 カンナ・ヒーブリダ

に栽培せられ，現今其最も盛に栽培せらるゝは，埼玉・靜岡・愛知・千葉・茨城等の諸縣なりとす。以下生薑の調理法並に藥効等につき少しく記述すべし。

薑の加工法

1 薑の鹽漬　根薑を紫蘇の葉を雜へたる梅酢の中に漬け込むときは，紅色となり，俗に赤漬薑と稱して食用に供す。酸味と辛味とを有して味佳なり。又普通鹽漬とし或は味噌漬として食用に供せらる。其他香氣と辛味とを有するを以て肉類等と共に煮食するに，味極めて佳良なるものなり。

2 生薑の砂糖漬　生薑の皮を剝ぎて，輪切り若しくは斜切りとして能く茹で，之を清水 1·8 立（1 升）に石灰 3·6 錢（2 匁）の割合に混じたる中へ 2 日間程浸したる後，水にてよく洗ひ，砂糖を混じて絕えず攪拌しつゝ漸次煮詰め，砂糖液の絲狀にねばるを程度として別に其中へ乾燥したる砂糖を多量に加へ，文火にて煮上げ，其乾燥するを待ちて他器に移し，更に砂糖を撒布して貯藏するものなり。

3 生薑團子　「バタ」4 瓦（1 匁）を焙かし，糖蜜 0·2 立（1·5 合）と丁字粉・肉粉とを各 11 瓦（3 匁）及薑粉 18 瓦（5 匁）とを 0·2 立（1·5 合）許の熱湯に煑かし，之れに少量の重曹とを加へてよく攪拌し，尙「パン」粉 300 瓦（半斤）許を加へて練り，焼鍋に「バタ」を布きて，半時間許焼きて製するものなり。

4 薑　水　薑を細く刻みて「アルコール」に漬け，1 週間許經過したる後之を搾りて汁を採り，砂糖を加へて甘味を付け，之れに蒸溜水を注加して，壜に入れて貯ふ。

5 薑　糖　砂糖の煎汁を 0·4 立（2 合）許銅鍋に取り，更に之を煮返して，暫く後に火より下し，小摺粉木樣の棒にて鍋に沿ひて充分に攪拌し，汁の充分よく白色を呈するに至りしとき，薑を「ワサビオロシ」にて摺り，木綿布を以て漉したる液汁を注加し，更に火に掛けてよく混和したる後，生紙を布きたる上に流し込みて製するものなり。

生薑の藥効

藥効としては，根薑は約 2 %の揮發油，樹脂「ギンデロール」，澱粉等を含有するを以て，健胃劑・祛痰劑・發汗劑として有効なり。尙製劑として（1）生薑丁幾（2）生薑含利別等あり。

（1）生薑丁幾は生薑 1 分と稀酒精 5 分の割合を以て製したる黃褐色の液體にして，本品は芳香性健胃劑として 1 日數回に 10 滴乃至 30 滴を用ふ。

（2）生薑含利別は生薑丁幾 3·75 瓦（1 匁）と單舍 37·5 瓦（10 匁）とを混じて製したる微濁黃色の含利別にして，本品も亦健胃劑として用ひらる。

其他（イ）新葉を煮出して行水すれば汗疹に（ロ）根薑の煎汁を服用すれば霍亂に（ハ）又此汁液を齒痛・拔毛・禿頭・白癬・打撲傷等の患部に塗布するときは何れも有効なり。

生薑の品種及栽培法

品　種

生薑は種類頗る多けれども，著名なるものを擧ぐれば次の如し。

（1）**カヤシャウガ**（茅薑）　埼玉縣北足立郡神根村の產にして，分蘖多く，辛味は强からざれども，早生種なるを以て，促成軟化用として適當なる品種なり。

（2）**キシャウガ**（黃薑）　愛知縣賀茂郡豊川町附近の產にして，根薑の外觀は鮮黃色を呈し，中等大にして，辛味稍弱き種類なり。前種と同じく早生種に屬す。

（3）**ワセシャウガ**（早生薑）　又谷中薑とも稱し，東京市谷中地方の產にして，根薑小さく，水分に富み，辛味少き種類なり。同じく早生種に屬す。

（4）**キントキ**（金時）　靜岡縣濱松附近の產にして，根薑は淡紅色を呈し，葉の附着部は特に濃色なり。中生種に屬し，主に干薑の原料に供せらる。

（5）**ナカテシャウガ**（中薑）　本種も愛知縣豊川附近の產なれども，現今廣く各地に分布栽培せらる。根薑は大形にして，漬物用に供せられ，中生種に屬す。

（6）**アフミシャウガ**（近江薑）　本種は早生薑と同じく東京市谷中地方に產する種類にして，根薑は大きく，前種と同じく漬物用として賞美せらる。晩生種なり

（7）**シナシャウガ**（支那薑）　又大薑とも稱せらる。支那の原產にして，葉は少數なれども頗る長大且つ根薑亦偉大なり。表面平滑にして光澤を有し，比較的辛味弱ければ，製葉用又漬物用として佳良なり。前種と同じく晩生種に屬す。

栽培法

薑は通常溫暖にして稍濕潤なる氣候に適し，土質は蔬菜用としては，稍水濕を有し肥沃なる壤土を可とし，干薑用としては乾燥に失せざる砂質土に適す。

種　薑　種薑は前年採收して貯藏せるものゝ中より，品質固有の形狀・色澤を具へ且つ腐敗の徵候なきものを選び，大なるものにありては 35 瓦（10 匁）內外に撫取る。但し蔬菜用として用ふる種薑は可成早く採取する必要上，餘り大きくなき限り，大抵其儘使用し，干薑用として栽培する場合は 2-3 芽を有する樣に割りて小さくするを可とす。10「アール」（1 反步當り）に要する種薑の量は，蔬菜用としては 450 瓩（120 貫）內外，干薑用としては 225-262 瓩（60-70 貫）を要する割合なり。

植　込　薑は芋と同じく種薑を植込むものにして，通常 4 月頃に畦幅 60 糎（2 尺）・株間 21-24 糎（7-8 寸）・深さ 6 糎（2 寸）位を程度として栽植す。本種は廚芽の發も遲きものにして，5 月下旬に至り漸く地表に發芽を見る位なり。

管　理　薑の栽植は多く麥の間作をなすものなれば，此の場合には麥の刈取後直ちに除草し，第一回の補肥・中耕をなす。両して補肥を施すには，麥の刈株を反轉しつゝ補肥したる上方に土寄をなす。次に 6 月下旬頃に至れば，前と反對の側に第二回の補肥・中耕をなし，數日隔てゝ充分に土寄をなし，同時に其畦間に藁稈・枯草の類を土の見へざる程度に敷き詰め，上面の乾燥と雜草の發生とを防止するものとす。

肥　料　肥料は先づ 10「アール」（1 反步當り）に對し，堆肥 1127 瓩（300 貫）位と，大豆粕・鯡粕の中何れかと木灰とを混和して用ふれども，普通大豆粕 82 瓩（22 貫）に木灰 26 瓩（7 貫）內外を混和したるものを用ふるも可なり。而して堆肥の全部と大豆粕を用ふるものとせば，栽植の際基肥として，其の 6 分を施し次で芽の 18-21 糎（6-7 寸）位に生長したる頃即ち 6 月中・下旬頃殘りの全部を施し，中耕を兼ねて土寄を行ふ。中耕後は成るべく畦間の除草位に留め，鍬を入れざるを可とす。

採　收　採收の時季は品種・用途等によりて異る。即ち一般に蔬菜用としては，葉付の儘葉薑として 7 月下旬頃より順次に採取し，漬物用又干薑用又は種薑用としては 10 月頃より 12 月上旬頃の間に於て，莖葉の充分に發育したる頃に行ふものとす。而して採收の際は古き根莖も同時に採收するものとす。收量は 10「アール」（1 反步）に付，葉薑にありては 150 把內外，種薑・干薑にありては 152 瓩（400 貫）內外を普通とすべし。

薑の軟化法

薑の軟化したるものを廚薑と稱し，埼玉縣地方にて多く行はる。軟化法を行はんとするには，先づ溫暖にして日當りよき高燥なる場所を選び，深さ 2·5 米（8·5 尺）內外に掘り，入口は幅 60 糎（2 尺），長さ 1·8 米（6 尺）位となし，普通南向又は東南向とし，內面積は長さ 3 米（10 尺），幅 2·7 米（9 尺）之れに 60 糎（2 尺）許の通路を設け，左右に幅 0·9 米（3 尺）・長さ 2·7 米（9 尺）・深さ 75 糎（2·5 尺）の床を設け，床の周圍には 15 糎（5 寸）幅の段を設く。

醱熱物には普通藁を主とする新鮮厩肥を用ふ。又切藁を積み重ね，之れに下肥或は風呂水を撒布し，多少醱酵せしめたる後踏込むものにして，其踏込法は氣候の寒溫により踏込量及踏込回數に多少の相違あるものにして，即ち 9 月の盛夏時にありては，厩肥を堅く踏み付け，少量の腐熟堆肥を入れて薑を伏込み，12 月-1 月頃の嚴冬時にありては，醱熱物の踏込量を增し，更に同量を踏み込み，都合 2 回に分ちて行ふものにして，軟化の適溫は攝氏 27-28 度內外とす。

斯くて踏込を終りたれば，腐壤土を 6-9 糎（2-3 寸）の厚さに置きて薑を伏せ込むものなり。而して第二回目の伏込をなす場合には，前の醱熱物は其儘になし置き，其の上更に新鮮なる厩肥を踏込むものとす。

種薑は一窖につき 112-150 瓩（30-40 貫）を普通とし，1 塊づゝ芽を上方に向けて伏込み，終りたれば其上に腐壤土 2·4 耗（8 分）許の厚さに撒布して灌水し其上に蓆又は藁を覆ひて日光を遮斷し，出入口は藁・古席・蓆等にて密閉し置くべし。其の後は時々床內の溫度を檢し，尙勉めて通氣に注意し，灌水を適宜に施すときは 通常 3 週間內外にして發芽するを以て，其後 1 週間位にして，「日入れ」と稱して日光に充て以て薑を鮮紅色に着色せしむる樣になすべし。

日入れをなすには，蓆・莚等の被覆物を除きて，光線に充てしむるものなれども一時に强き光線に觸れしむるときは，所謂日燒を生ずる恐あるを以て，快晴の日等にありては，油障子等を覆ひて，柔き日光に充つる樣に或は 2 日隔てゝ交互に薄き日覆と厚き日覆とを取替へて光線を受けしむるが如き樣に手配し，收穫時迄之を繰り返さゞるべからず。但し雨天の時にありては日入れを行はず，厚く蓆等を覆ひて床內の溫度の低下を防がざるべからず。

斯くして，嫩芽の伸長して 4 葉を開展するまでは時々微溫湯を床面に撒布して適當の溫濕を補給し，第五葉の開展するを見て，初めて收穫し，1 束として市場に出すものなり。

伏込は秋期より初夏迄に 1 窖內にて 4 回之を行ふを普通とす。

6157. ハナシャウガ …… シャウガ科
Zingiber Zerumbet, Smith.

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして，根莖は塊狀をなし莖高さ 0·9-1·2 米（3-4 尺）に達す。葉は長楕圓狀披針形にして，長さ 30 糎（1 尺）許を有し，下面に毛茸を生ず。花は白色にして密生せる長楕圓形の穗狀花序に排列し，綠色・圓形の苞を具ふ。花冠は筒狀をなして，長さ苞と同じく，裂片は白色なり。唇瓣は鮮黃色にして斑點を有せず。中裂片は圓形にして凹頭をなす。雄蕊は苞白色にして唇瓣と同じく。葯は長楕圓形をなして長さ 2·4 糎（8 分）許を有す。〔花色〕白色。〔原產地〕熱帶亞細亞？。

6158. めうが　蘘荷・茗荷　（白圖-63） …… シャウガ科
Zingiber Mioga, *Rosc.*

（異名）めか　〔形態〕山野・竹林等の陰地に自生する宿根草本なれども，又往々家園等に栽植せられ，概形生薑に似たり。地下に根莖を有すれども，生薑の如く肥大ならずして，圓柱形をなす。春日宿根より嫩苗を生じ，形筍に似たるを以て，メウガダケと稱し，漸次生育して高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達す。葉は楕圓狀披針形をなし，平滑にして毛を有せず。花は直ちに地中より生じ，穗狀花序に排列す。花序は短柄を具へ，廣楕圓形にして長さ 6-9 糎（2-3 寸）許に達し，鱗片は卵狀楕圓形をなし，其狀恰も筍に似たり。外苞は楕圓形・內苞は披針形にして膜質をなし，萼は筒形にして先端尖り，瓶形に分裂す。花冠は筒部より稍長く，裂片は披針形にして白色を呈し，唇瓣は倒卵形にして基脚各側 2 淺裂す。雄蕊は 1 箇を具へ，葯隔は長く延長して絲狀の花絲を包み，假雄蕊は 2 箇にして，花筒內に藏し，蒴は卵形・鈍頭に

して3室を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・琉球。

人生との關係　本花の稚きものをメウガ子と稱し食用に供す。一種の芳香を有し、風味高尚なるを以て香味料として各種の調理に添用せらる。

63 めうが

6159. **ふいりめうが** …… シャウガ科
Zingiber Mioga, *Rosc.* var. variegatum, *Makino.*

〔形態〕前種メウガの一變種にして、葉に白斑を有し、秋期に至りてこの斑紋淡綠色に變ずる種類にして、栽培種に屬す。

6160. **たいわんめうが**（白圖-64）……シャウガ科
Zingiber Kawagoii, *Hayata.*

〔形態〕暖地に自生する宿根草本にして、根莖は短く、肥厚して稍横走す。莖は單生にして高さ30-60糎（1-2尺）に達し、毛茸を被る。葉は2列に排列し、長橢圓狀披針形にして、鋭尖頭・鈍脚をなし、長さ18糎（6寸）許に達し、兩面に短毛を布き、舌片は耳形をなし2分裂す。總狀花序は概ね頂生又は根生し、長さ4-5糎（1-5寸）許を有し、多くの花を攢簇す。外苞は披針形にして稍脚を具へ鱗狀に排列す。內苞は圓筒形にして1側分裂す。萼筒は瘠長にして長さ3糎（1寸）許。3箇の萼片を有し紫色を呈す。唇瓣は倒卵形にして3裂し、側裂片は小さく斜長橢圓形にして、緣邊は菫色を呈し、基脚黃色なり。中裂片は倒卵狀長橢圓形にして凹頭をなし、黑紫色を呈す。雄蕊は1箇、花柱は絲狀にして白色を呈す。〔花色〕淡紫白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

64 たいわんめうが　　65 はなめうが

2. ハナメウガ屬　ALPINIA.

6161. **はなめうが**　杜若（白圖-65）……シャウガ科
Alpinia japonica, *Miq.*

〔形態〕暖地の山麓陰地に自生する多年生草本にして、藥用植物の一なり。莖高さ30糎（1尺）許に達し、葉は葉柄を具へ、長橢圓形にして先端尖り、長さ30糎（1尺）許、軟纖毛を有して天鵞絨の如く、4-5葉を互生す。夏日、舊莖葉心より1花莖を抽くこと9糎（3寸）許に達し、白質にして黃赤色の斑點を有する不整齊花を穗狀花序に双生し、花序は毬毛を被る。萼は圓筒形にして不齊なる3齒緣をなし、花冠は筒形にして3裂し、唇瓣は倒卵形をなして2裂す。雄蕊は1箇を具へ、長大にして內曲し、假雄蕊は2箇を有して鼇形なり。蒴は橢圓形にして赤熟し、表面に毛茸を生ず。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

6162. **クマタケラン**（14圖版-124）…… シャウガ科
Alpinia Kumatake, Makino.

〔形態〕元來支那より輸入したる觀賞用多年生の歸化草本にして、概形メウガに類し、莖高さ往々2·5-3米（7·5-9尺）許に達す。葉は長さ55糎（1·8尺）許を有し、長橢圓形にして平行脈を具へ、革質・毛緣にして狹長なる鞘を具へ、舌片は卵形・鋭頭にして毛緣をなす。春日莖頂に花梗を抽き、白色の不整齊なる疎花を圓錐花序に排列し、苞及小苞を伴ふ。萼は膜質・鐘狀筒形にして3裂し、裂片は毛緣をなす。花冠の筒部は圓筒形にして、萼片より稍短く、裂片は膜質・長橢圓形にして筒部より長く、唇瓣は廣卵形にして凹頭・先端は齒牙狀皺緣をなし、長さ2·7糎（9分）許を有し、白色にして黃采並に深紅色の脈を伴ふ。雄蕊は1箇、假雄蕊は2箇を有し、花柱は絲狀にして、柱頭は長橢圓狀楯形をなす。〔花色〕白色にして黃采・深紅脈を伴ふ。〔花候〕春。〔原產地〕支那。

6163. **フイリクマタケラン** …… シャウガ科
Alpinia Kumatake, Makino. var. *variegata*, Makino.

〔形態〕前種クマタケランの一變種にして、葉に黃色及淡黃色の不齊線狀を彩り、葉鞘は綠色にして、蒼白線狀を現はし、緣邊は往々赤色を呈する種類にして、觀賞用として栽植せらるゝ一種なり。

6164. **あをのくまたけらん**（14圖版-125）…… シャウガ科
Alpinia chinensis, *Rosc.*

〔形態〕暖地に自生する多年生草本にして、概形類るメウガに酷似すれども莖は稍細長にして、高さ0·9-1·2米（3-4尺）に達す。葉は披針形にして、中肋の左右には多數の平行脈を有し、無毛・平滑なり。夏日白色にして紅色の斑點及黃采を有する不整齊花を圓錐花序に排列す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州（新島・八丈島）・四國・九州・小笠原島・琉球。

人生との關係　觀賞用として栽培し、又全草を乾燥して繩を作るに用ふ。

6165. **ゲッタウ**　月桃（14圖版-126）……シャウガ科
Alpinia speciosa, K. Schm.

（異名）おをくまたけらん　〔形態〕南方島地の山野に自生する多年生草本なり。莖は稍纖濃にして大きく、高さ3米（10尺）內外に達す。葉は互生して60糎（2尺）內外。廣披針形をなし鋭尖頭・狹脚・全緣にして、緣邊に毛茸を密布す。舌片は鈍頭にして長さ9粍（3分）許を有し、絹毛を布く。5-6月の候、白色の花を圓錐花序に排列し、花序は長さ30糎（1尺）許にして點頭す。萼は稍鐘形にして2裂し、花冠の裂片は長さ3糎（1寸）許を有し、先端赤色を彩る。唇瓣は廣卵形にして稍3裂し、黃色地に赤色斑點及條斑を伴ふ。雄蕊は1箇にして唇瓣より短く、假雄蕊は鬣形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕小笠原島・琉球・臺灣。

人生との關係　臺灣にては諸所に多くの自生品ある外、特に栽培するものあり。煙草入其他小器具を編むに用ひらる。

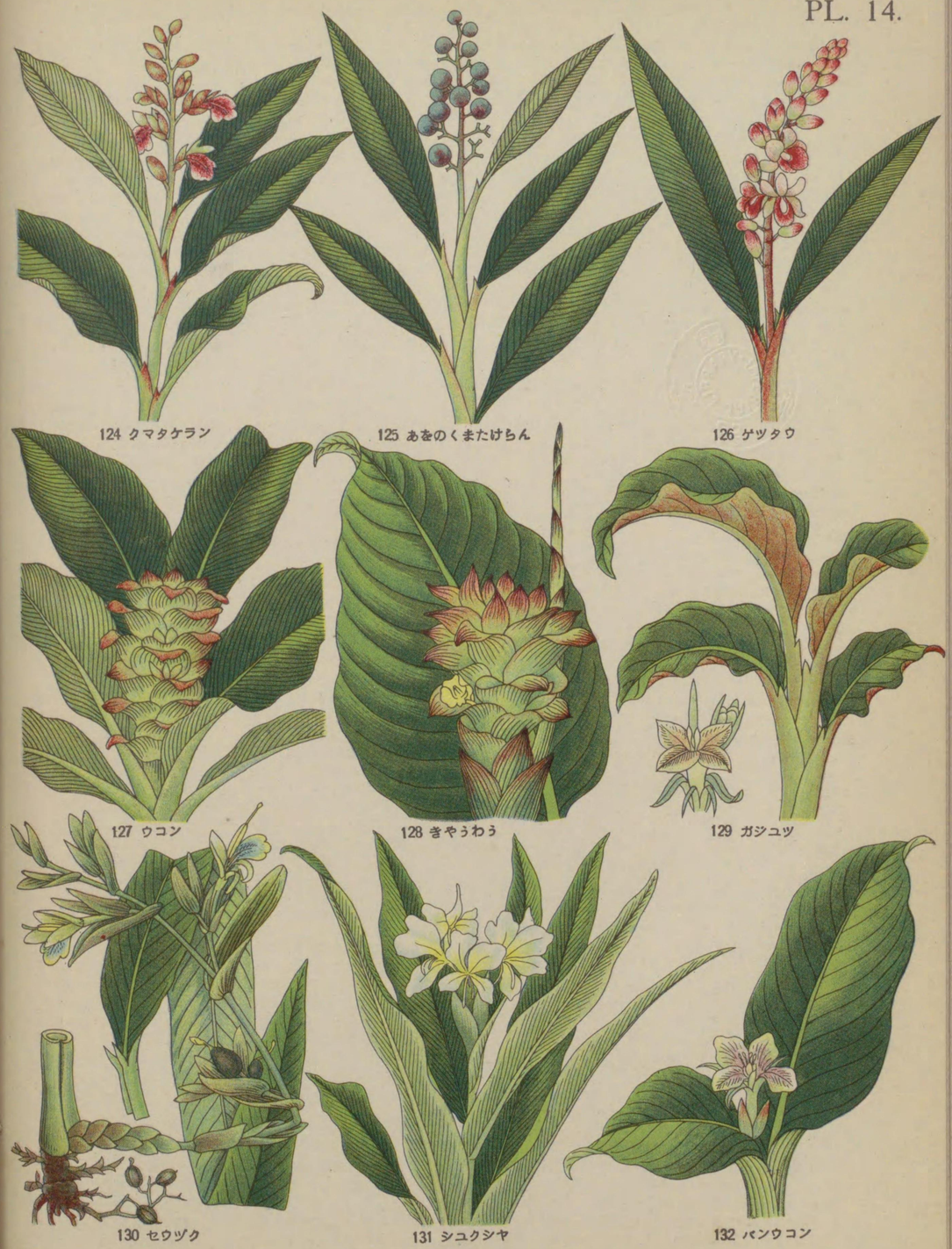
6166. タイリンゲッタウ …… シャウガ科
Alpinia uraiensis, Hayata.

〔形態〕臺灣の山野に自生する宿根草本にして、莖高さ1·8米（6尺）許に達し、葉は線狀披針形にして先端尖り、長さ90糎（3尺）許に達す。舌片は長橢圓狀三角形にして、外面に粗毛を布く。總狀花序は密生し、花軸には剛毛を生じ、苞及小苞を有す。萼は稍白色にして鐘狀圓筒形をなし1側分裂し、外面に粗毛を散生す。花冠は3裂し、唇瓣は黃色にして赤心を具へ、長橢圓狀三角形をなして先端2裂す。中央上部に細嚢起を有し、基脚には絨毛を密布す。雄蕊は1箇、假雄蕊は2箇を具へ、花柱は頂端杯形に擴大し毛緣をなす。〔分布〕臺灣。

3. ウコン屬　CURCUMA.

6167. **ウコン**　鬱金（14圖版-127）…… シャウガ科
Curcuma longa, L.

（異名）キゾメグサ　〔形態〕元來熱帶地方の原產にして東印度・支那に產し、本邦にては臺灣・琉球・九州に自生する多年生草本にして、高さ0·9-1·2米（3-4尺）に達す。地下には肥厚せる根莖を具へ、長橢圓形にして



124 クマタケラン　125 あをのくまたけらん　126 ゲツタウ
127 ウコン　128 きやうわう　129 ガジユツ
130 セウヅク　131 シユクシヤ　132 バンウコン

形狀ダンドクに似たる側脈を有する有柄大形の葉を1株より4-5枚出し兩面共に無毛にして．長さ30-45糎（1-1·5尺）許に達す。夏秋の候．葉の中心より花梗を抽き．梗頂に鱗狀をなせる白色の小苞を生じ．1苞内に3-4花を漸次開花し．每花又各1苞を有す。苞は外苞より薄く且つ小形にして白色なり。其他小花の形狀・雌蕊の狀等キャウワウに異る所なし。

〔花色〕白色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

人生との關係　若き根より糊粉を造り．又香料・染料にも用ひらる。

尙本植物は漢藥として古來有名なるものなり。本邦にては藥用植物として．古くより栽培せらる。即ち藥効としては（1）根部を乾燥して煎服するときは腹痛・切瘡・血痳に効あり。（2）根部の粉末は痔出血の際患部に散布すれば効あり。（3）產後惡血に起因する眩暈には．根部の粉末を黑燒とし．之に酢を混じて服用するときは大に効ありと云ふ。

6168. **きゃうわう** 薑黃（14圖版-128）……シャウガ科
Curcuma aromatica, *Salisb.*

（異名）はるうこん　〔形態〕印度原產の多年生草本にして．根莖は肥厚し．葉は長き葉柄を具へ．長楕圓形にして．先端尾狀をなして尖り．長さ0·9-1·2米（3-4尺）に達し．下面に短毛を布く。5-6月の候．淡紅白色の花を穗狀花序に排列し．花序は圓柱形をなす。苞は圓形にして淡綠色を呈し．長さ4·5糎（1·5寸）內外を有す。花は苞より短く．花冠は筒形をなし．上半部は漏斗狀をなす。唇瓣は黃色・圓形にして．下方に傾向し．不明に3裂す。假雄蕊は鈍頭にして花冠の裂片と同じく．柱頭は不明なる2分裂をなす。〔花色〕淡紅白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕琉球。

6169. **ガジュツ**（14圖版-129）……シャウガ科
Curcuma zedoaria, Rosc.

（異名）シロウコン・ウスゴ　〔形態〕「ヒマラヤ」原產の多年生草本にして．廣卵形の根莖の外．圓柱形の塊莖多數を有す。葉は長き葉柄を具へ．長楕圓形にして．銳尖頭・狹脾をなし．下面に紫釆を彩り．長さ30-60糎（1-2尺）に達す。花は淡黃色にして穗狀花序に排列し．苞は卵形にして綠色を呈し往々赤釆を伴ふ。萼は鈍齒牙緣を有し．白色にして花冠筒より短く．花冠筒は漏斗形をなし．唇瓣は圓形にして不明なる2分裂をなす。〔花色〕淡黃色。〔原產地〕「ヒマラヤ」。

4. セウヅク屬 ·ELETTARIA.

6170. **セウヅク** 小荳蔻（14圖版-130）……シャウガ科
Elettaria cardamomum, White. et Maton.

〔形態〕印度南部の山林殊に「マラバール」半島の海岸に生ずる多年生草本にして．莖高さ2·1-2·4米（7-8尺）許に達す。葉は長大なる披針形にして葉鞘を具へ．花は花莖の上部に生じ．花莖は分岐し．披針形の苞葉を伴ふ。花の構造はシャウガによく似たれども．本種の唇瓣は藍色にして．緣邊黃色を呈し3裂す。雄蕊の1箇は粉囊を以て雌蕊の柱頭を包擁し．果實は覆果にして．暗黃色を呈し．各房中に5-6箇の種子を藏す。〔原產地〕印度。

人生との關係　本植物の果實は小荳蔻と稱し．特異の味と樟腦樣の香氣とを有し．芳香性健胃劑として應用せらる。製劑は芳香散・苦味丁幾・芳香丁幾等なり。日本藥局方所定の藥用植物にして．成分としては揮發油を含有し．其灰分は「マンガシ」を含有するものなり。

5. ガランガ屬 HEDYCHIUM.

6171. ガランガ……シャウガ科
Hedychum elatum, R. Br.

〔形態〕印度地方原產の多年生草本にして．高さ3米（10尺）以上に達す。葉は線狀披針形にして先端尖り．長さ30-55糎（1-1·8尺）許に達し．兩面共に無毛にして．長柄を有す。花は長楕圓形をなせる苞より2花を抽出し．黃白色にして長さ30糎（1尺）許ある稍密生せる穗狀花序に排列す。萼は棍棒狀筒形にして3齒緣を有し．花冠も亦筒形にして．先端線狀に分裂す。雄蕊は1箇を具へて唇瓣より長く．葯は花柱を圍む。假雄蕊は倒披針形をなし．唇瓣は稍圓形にして爪を有し．先端2裂す。〔花色〕黃白色。

〔原產地〕亞細亞「ネパール」。

6172. **シュクシャ**（14圖版-131）……シャウガ科
Hedychium coronarium, *Koem.*

（異名）ホザキシャウガ　〔形態〕西印度原產の多年生草本にして．高さ1·2-1·8米（4-6尺）許に達す。地下に肥厚せる根莖を有し．葉は長楕圓狀披針形にして．下面に毛茸を生じ．長さ30糎（1尺）許に達し．舌片は2裂す。花は白色又は帶黃白色にして芳香を放ち．密生せる穗狀をなす。苞は長楕圓形にして大きく．通常3-4花を抱く。萼は苞より短く．綠色にして圓柱形なり。花冠は筒形をなし．先端線狀に分裂して反捲し．筒部は長さ7·5糎（2·5寸）許を有す。雄蕊は唇瓣と長さ同じく．假雄蕊は長楕圓形なり。唇瓣は幅廣く先端2裂し．且爪を有し．葯は無毛にして長楕圓形をなす。

〔原產地〕西印度。

6. バンウコン屬 KAEMPFERIA.

6173. **バンウコン**（14圖版-132）……シャウガ科
Kaempferia Galanga, L.

〔形態〕熱帶原產の多年生草本にして．地下の塊莖より通常2葉を出す。葉は廣楕圓形にして先端尖り．基脚圓形をなし．長さ6-12糎（2-4寸）許に達す。花莖は葉と共に抽出し．7-8月の候．白色をなせる6-12花を順次に開花す。苞は披針形にして綠色を呈し．萼は圓筒形をなして齒緣を有し．花冠は盆形をなす。假雄蕊は花瓣狀を呈し．唇瓣は扁圓にして2裂し．裂片は鈍頭・白色にして．中心に淡紫釆を伴ふ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。

〔原產地〕交趾支那。

6174. ばんかじゅつ……シャウガ科
Kaempferia rotunda, *L.*

〔形態〕臺灣に自生する多年生草本にして．地下の根莖は塊狀をなす。葉は長楕圓形にして．長さ30糎（1尺）許に達し．上面は淡暗綠色を交へ下面紫色を呈す。花は白色にして．4-6花を穗狀花序に排列す。苞は長楕圓形・鈍頭にして．萼は長さ4·5-7·5糎（1·5-2·5寸）許を有し．1側分裂し．細齒緣をなす。花冠筒は萼と稍同長にして．先端長線形に分裂す。唇瓣は稍短く2深裂し．裂片は稍圓形にして．濃紫色或は紅紫色を呈す。〔花色〕白色。

〔分布〕臺灣。

＊　＊　＊
＊　＊　＊

4. ばせう(芭蕉)科　MUSACEÆ.

本科の植物は大形の草本又は木本にして．葉も亦大形なり。葉は中肋の兩側に多數の平行脈を有す。花は不整齊なる兩性或は單性にして．單軸性の三數性をなす。花序は通常複生にして．佛燄樣の大なる苞を具ふ。苞は時に美麗なる色澤を有し．花冠を呈することあり。花被は花冠狀に發育し6箇の結合或は分離せる片よりなりて2層に排列し．通常外輪前部の1花被は大きく．內輪後部の1花被は甚だ細小なり。雄蕊は6箇ありて．通常其の內の5箇は花粉を生じ．他の1箇は不完全にして假雄蕊をなし．或は全く缺如す。子房は下位にして．3箇の室を有し．各室に1箇或は多數の倒生卵子を藏す。花柱は3-6裂し．果實は漿果或は蒴にして．種子は粉狀の胚乳を含み．多くは假種皮を具へ．胚乳は內胚乳及外胚乳よりなる。

本科には6屬．凡80種の植物を含有すれども．多くは熱帶地方に產し．本邦には1屬．4種を有するに過ぎず。

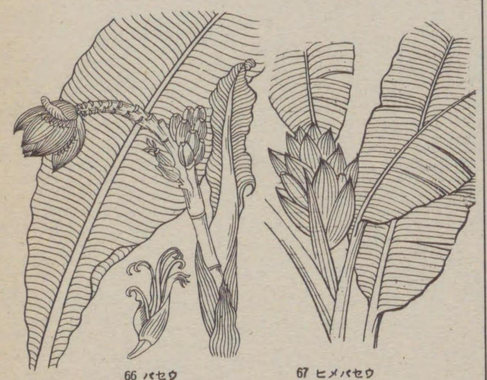
本科所載植物名目次

アフギバセウ……6182　タビビトノキ……6182　マニラアサ……6180
イトバセウ……6177　バセウ……6175　マニライトバセウ……6180
コウトウバセウ……6181　バナナ……6178　ミバセウ……6178
ゴクラクバナ……6183　ビジンサウ……6176　ヤマバセウ……6179
セイタカミバセウ……6178　ヒナバセウ……6176　リウキウバセウ……6177
タイワンバセウ……6179　ヒメバセウ……6176

1. バセウ屬　MUSA.

6175. バセウ　芭蕉（白圖-66）……バセウ科
Musa Basjoo, Sieb.

〔形態〕元來熱帶支那原產の多年生草本なれども．古くより觀葉植物として各地に栽培せらる。莖高さ6米（20尺）以上に達し．葉は長き葉柄を具へ．長橢圓形にして圓頭をなし．中肋の兩側には平行せる側脈を有し．長さ1·8-2·7米（6-9尺）許に達す。夏秋の候　葉身より花莖を抽出し．淡黃色の不整齊花を穗狀花序に排列す。花序は廣橢圓形或は長橢圓形をなせる



66 バセウ　　67 ヒメバセウ

大苞の凋落により漸次開展し．各苞2列に排列せる多數の花を着生す。雌性花は花穗の下部4-5節にのみ生じ．上部は何れも雄性花なり。花被は3箇の萼片と2箇の花瓣との合成より成り．淡黃色にして長く．唇瓣は橢圓形にして內方に陷凹し．淡黃色を呈して半透明なり。雄蕊は5箇稀に6箇を具へ　子房は4-5稜をなし．3室を有す。柱頭は前後に壓扁せられ．花後生ずる果實は漿果にして．成熟すれば黃綠色となり．黑色の種子を生ずれども熱帶地方にあらざれば熟するに至らず。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏-秋。〔原產地〕支那。

人生との關係　觀葉植物として庭園等に栽植せらる。又葉の纖維を採りて芭蕉布を織り．其他製紙の原料等に供せらる。

藥効として（1）葉を煎服するときは解熱劑となり．（2）花を乾燥して煎用すれば腦充血を醫し．（3）根を75瓦（20匁）と生薑18·75瓦（5匁）及甘草37·5瓦（10匁）とを混じ．之を0·54立（3合）の水にて0·36立（2合）に煮詰めたるものを服用するときは痳病·消渴を治するに効ありと云ふ。

6176. ヒメバセウ　美人蕉（白圖-67）……バセウ科
Musa coccinea, Andr.

〔異名〕ヒナバセウ・ビジンセウ　〔形態〕概形バセウに似たる南支那原產の多年生草本なれども．現時にありては觀葉植物として各地に廣く栽培せらる。莖は匐枝を出し．高さ1·2-1·5米（4-5尺）許に達し．葉は長橢圓形にして．長き葉柄を有す。夏日葉腋に花莖を抽き卵狀披針形にして．概ね黃端をなせる數十箇の苞を鱗次し．每苞黃色にして上部淡綠色を呈する3-4花を1列に着生し．直生せる穗狀花序をなす。雄花叢は多く．雌花叢は少數なり。花被は3萼片．2花瓣より成り．先端は5齒裂をなし．分生せる1花被片は線形にして．他片と同長なり。花後3稜を有する黃色の漿果を結ぶ。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕南支那。

人生との關係　觀葉用として庭園及花壇等に栽培せられ．果實は食用に供せらる。

68 いとばせう　　69 バナナ

6177. いとばせう（白圖-68）……バセウ科
Musa liukiuensis, *Makino.*

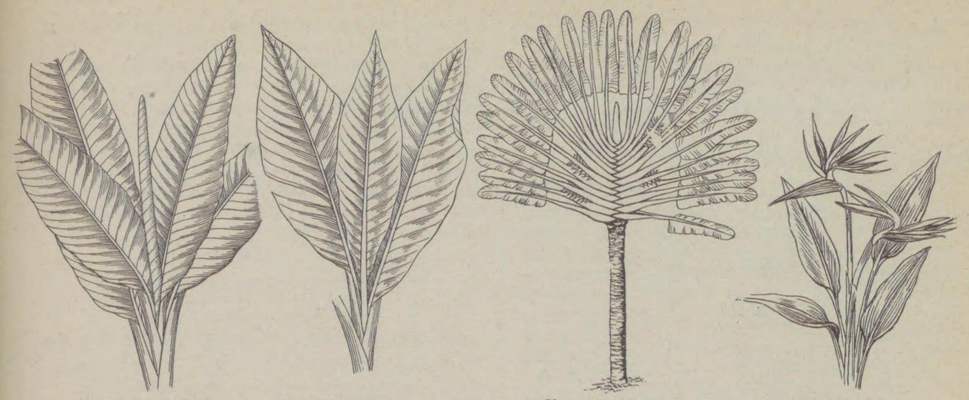
〔異名〕りうきうばせう　〔形態〕琉球に自生する多年生草本にして．高さ1·8米（6尺）許に達す。葉は長橢圓形にして裏面に粉白を裝ひ．葉柄を具ふ。5月頃赤紫色にして．白粉を布ける廣卵形．或は狹卵形をなせる花苞を抽出し．穗狀花序をなす。花序は長形にして．上部に點頭し．基部に大なる苞を具へ．長さ30糎（1尺）許に達す。雄花の花被は淡黃色にして先端濃色．邊緣·背部は淡紫色をなし．密槽瓣は蒼白色にして半透明なり。雄蕊は淡黃色を呈し．花柱は白色なり。花後生ずる漿果は圓柱狀紡錐形をなし．淡綠色にして粉白を布き．3-5稜をなして長さ6-9糎（2-3寸）許に達す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕春。〔分布〕琉球。

人生との關係　果實は食用に供せらる。

6178. バナナ　甘蕉（白圖-69）……バセウ科
Musa paradisiaca, L. subsp. *sapientum*, O. Kuntze.

〔異名〕ミバセウ・セイタカミバセウ　〔形態〕元來印度·馬來半島の原產なれども．現時にては爪哇·布哇·伊太利·「メキシコ」·北米「フロリダ」地方の熱帶又は亞熱帶地方に廣く栽培せられ．我國にては臺灣·小笠原島等に產する多年生草本にして．全形バセウに酷似し．莖高さ6米（20尺）以上に達す。葉はバセウに似たる大葉にして．莖の頂上に8-10葉を叢生す。夏日．叢葉間より大形の花叢を出し．淡黃色にして多數の花を2列に着生したる花苞を彎曲下垂せる穗狀花序に排列し．花苞は赤紫色を呈す。密槽瓣は銳尖頭をなして花被片より短く．雄花は凋落生なり。果實は漿果にして3稜橢圓形をなし．長さ12-18糎（4-6寸）．徑3糎（1寸）許．黃色にして柔き果肉を有し．1花穗に多きものは十數段の總をなし．1總に12-13箇の果實を着生す。果實は芳香と甘味とを有し且つ榮養に富めるを以て．廣く食用に供せらる。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕印度·馬來半島。

人生との關係　本植物の果實は40％の皮部と60％の肉部とを有し．未熟のものよりは甘露粉を製し．醫藥用に供し．熟したるものは生にて食ひ．或は火酒及酢を釀す。尙本果實は糖分68·7を含有するを以て．甘味甚だ多く．且つ其他の滋養成分を含有すること他の果實に比して多量なるを以て．本果實を食用すれば最良の小麥粉にて製したる麵麭を食するに優るものと稱せらる。又觀賞植物として栽培するの外．纖維をとりて芭蕉布を織り．或は製紙の料に供す。



70 たいわんばせう　　71 マニライトバセウ.　　72 タビビトノキ　　73 ゴクラクバナ

6179. たいわんばせう（白圖-70）……バセウ科
Musa paradisiaca, *L.* subsp. seminifera, *Bak.* var. formosana, *Warb.*

〔異名〕やまばせう　〔形態〕臺灣の山野に自生するバセウの一種にして．概形普通のバセウに似たれども．漿果は小形にして．黃色又は綠色を呈し．中に比較的大形の種子を藏す。果實は食用に堪へざるものとす。〔分布〕臺灣。

6180. マニライトバセウ（白圖-71）……バセウ科
Musa textilis, Nee.

〔異名〕マニラアサ　〔形態〕熱帶原產の多年生草本にして．形態バセウによく相似たり。莖高さ4-6·5米（13-22尺）內外に達し．匐枝を曳く。葉は長き葉柄を具へ．長橢圓形にして．上面は鮮綠色を呈し．裏面は粉白を裝ひ．屢ば褐色の大斑を伴ふ。葉質强靭にして良質の纖維を含有す。穗狀花序は葉より短く點頭し．雄花は凋落生なり。萼は5裂し．長さ3·6糎（1·2寸）許を有し．外片の先端には絲狀の鉤角を具ふ。果實は漿果にして3稜を有し彎曲す。食するに堪へず。〔原產地〕比律賓。

人生との關係　本植物の葉より採りたる纖維は．絹絲狀の光澤を有す。本品は「マニラ」麻と稱し．粗大なるものは繩索に製し．纖細なるものは編物·布の製造に供す。製絲の方法は開花前に莖狀をなせる葉柄束を切り採り．中肋を殘して葉片を去り．之を薄くさきて．纖維分離器により柔軟なる組織を分離し．維管束を構成せる纖維のみを取りて乾燥するものなり。

6181. こうとうばせう……バセウ科
Musa textilis, *Nee.* var. Tashiroi, *Hayata.*

〔異名〕こうとうあばか　〔形態〕臺灣に自生する多年生草本にして．高さ6米（20尺）內外に達し．匐枝を生ず。葉は長柄を具へ．長橢圓形にして裏面白色を呈す。苞は卵狀橢圓形にして上面紫褐色．內面は緋紅色をなし．基脚合生せる8箇の花を擁す。萼は先端5裂し．花瓣は披針狀長橢圓形をなす。雄蕊は5箇を具へ．長さ萼片と同じく．柱頭は棍棒形をなして絨毛を密布す。果實は三角狀圓柱形をなせる漿果にして．食すべからず。〔分布〕臺灣。

2. タビビトノキ屬　RAVENALA.

6182. タビビトノキ（白圖-72）……バセウ科
Ravenala madagascariensis, J. F. Gmel.

〔異名〕アフギバセウ　〔形態〕「マダカスカル」原產の木本にして．熱帶地方にては廣く栽培せらる。全株高さ6-9米（20-30尺）に達し．莖は枝を有せず。葉は長大にして．バセウの葉に類似し．梢頭2列に排列し．其形扇を開きたるが如し。長き葉柄を具へ．柄脚は水筒をなし．內には絕えず淸水を貯藏するを以て．一名水の木又はタビビトの木と稱せらる。花梗は葉より長く或は短く．苞は舟形をなして多數を具へ．內に多數の花を含む。花瓣は長く挺出し．萼片は離生す。果實は蒴にして3殼を有す。〔原產地〕「マダカスカル」島。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。土人は種子を食用に供す。

3. ゴクラクバナ屬　STRELITZIA.

6183. ゴクラクバナ（白圖-73）……バセウ科
Strelitzia Reginae, Banks.

〔形態〕南部亞弗利加原產の多年生草本にして．高さ0·9米（3尺）許に達す。葉は長き葉柄を具へ．革質にして卵形或は卵狀披針形をなし．粉白を裝ひ．長さ30糎（1尺）許に達す。花は黃紫色にして蝎尾狀聚繖花序に排列し．箆狀舟形をなせる苞を有す。萼片は披針形にして．花瓣は不同なる箭形をなす。雄蕊は5箇を具へ．子房は3室を有す。〔花色〕黃紫色。〔原產地〕南部亞弗利加。

*　　*　　*　　*　　*

ユ　リ　群

1. あやめ(鳶尾)科　IRIDACEÆ.

本科の植物は通常多年生草本なれども．又稀に半灌木なり。葉は互生し．全緣にして跨狀に排列し．2縦列をなす。花は整齊或は不整齊にして3數性をなし．多軸性又は單軸性にして兩性なり。花序は頂生し．1箇或は多數の花を着生し．蕚と花冠との區別明瞭なるか或は不明なり。花被は6箇の片より成りて2層に排列し．1様なるか又は2様をなし．芽中にありては回旋様に排列す。雄蕊は3箇ありて．外向葯を有し．花被の外層片と對生す。子房は下位にして．通常3室又稀に1室を有し．各室に多數の倒生卵子を含む。花柱は3裂し．裂片は時に花冠様をなす。果實は蒴にして．成熟すれば3裂し．種子は胚乳を含む。

74 イチハツ

本科には凡57屬．1050種の植物を含み．共最も多くは南亞弗利加・亞米利加・地中海地方の熱帶及亞熱帶地方に分布し．本邦には自生し或は培養せらるゝもの13屬．49種を有す。

本科所載植物名目次

アカネイリス……6209
アカネズキセン……6220
アサギズキセン……6221
アヤメ……6184
アントリザ……6211
イソノナミ……6195
イチハツ……6204
イノゲラン……6218
イボクサアヤメ……6227
エヒメアヤメ……6192
オランダアヤメ……6191
カキツバタ……6200
カスガノ……6195
カマヤマシヤウブ……6197
カラフトキシヤウブ…6199
キシヤウブ……6198
キバナサフラン……6218
キバナダルマヒアフギ6215
キンカキツバタ……6202
クリムソンカツプ・イキシヤ……6226
クルマアヤメ……6186
クロークス・ヴエルシカラー……6216
クロークス・ヴエルナス……6216
クロークス・サチヴス 6216
クロークス・スペシオサス……6216
クロークス・ヌデイフローラス……6216
クロークス・ビフロラス……6216
クロークス・メーシアクス……6219
クロークス・モエシアクス……6216
ゲイシヨウウイ……6195
コアヤメ……6187
コカキツバタ……6203
コバナア……6229
コヤスグサ……6204
サフラン……6216
ザマノモリ……6195
シボリイリス……6210
シメイノアキ……6195
シヤガ……6205
シロアヤメ……6185
シロカキツバタ……6201
シロバナイリス……6107
シンソウカジン……6195
スキセンアヤメ……6230
スパニツシユ・アイリス……6188
スペインアヤメ……6188
タウシヤウブ……6224
ダツチ・アイリス……6191
ダツチ・クロークス…6219
ダルマヒアフギ……6214
タレユエサウ……6192
チグリジヤ……6231
ツルギノマヒ……6195
トラフユリ……6231
トラユリ……6231
ドンドバナ……6196
ナーガルブルーム……6224
ナンキンアヤメ……6190
ニハゼキシヤウ……6228
ニホヒイリス……6207
ニホヒシヤウブ……6207
ネヂアヤメ……6189
ネヂバリン……6189
ノハナシヤウブ……6196
ハツシモ……6195
ハナアヤメ……6184
ハナサフラン……6217
ハナシヤウブ……6195
バビアナ……6212
バリン……6189
ハルサフラン……6217
バレン……6189
バンサンジコ……6216
バンダイハ……6195
ハンボノカウ……6195
ヒアフギ……6213
ヒアフギアヤメ……6193
ヒアフギズキセン……6234
ヒアフギモドキ……6194
ビツキ……6220
ヒナアヤメ……6192
ヒナタウシヤウブ……6225
ヒメヒアフギズキセン6233
ヒメシヤガ……6206
ヒメタウシヤウブ……6232
フリージヤ……6221
フリージヤ・アームストロンギー……6223
フリージヤ・レフラクタ・ビューリチイー 6222
ボスメン……6220
マツカゼ……6195
マナヅル……6195
マヒコノハマ……6195
ムラサキイリス……6208
ムラサキサフラン……6217
ムラサメ……6201
モミヂノタキ……6195
モンイキシヤ……6226
モントブチア……6233
ヤマシヤウブ……6196
ユルシノイロ……6195
ラツキヤウアヤメ……6188
ワシノヲ……6201
ワラヒホテイ……6195

1. アヤメ屬　IRIS.

6184. **あやめ** 溪蓀 (15圖版-133) ……… アヤメ科
Iris sanguinea, *Donn.* var. typica, *Makino.* (*I. sibirica, L.* var. *orientalis, Maxim.*)

(異名) はなあやめ　〔形態〕稍濕潤なる山野に自生するものあれども多く觀賞用として庭園・池邊等に栽培せらるゝ多年生草本にして．每年根莖より基部紅色を呈する細長き劒狀葉を叢生す。5-6月の候．葉間より花莖を抽くこと30-60糎(1-2尺)許に達し．莖頂2-3花を着生す。花は碧紫色を普通とし．花梗及花被筒は鞘苞より短く．花蓋は3蕚片と3花瓣とより成り．外層の3片は蕚片にして．舷部は圓形をなし急遽擴大して外反し．中央黄色を呈す。爪部は廣濶にして內面に暗紫色の網狀斑紋を有し．內層の3片は花瓣にして．長楕圓形をなし．花柱の花瓣様をなせる部分より長く直立す。雄蕊は3箇を具へ．蕚片と雌蕊の花瓣狀部との間に隱る。〔花色〕碧紫色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州各部・九州。

人生との關係　庭園・池邊等に栽培して觀賞に供す。又根部を乾燥して粉末としたるものを．胡麻油にて練り合せたるものを疥癬の局部に塗布すれば之を治するに効ありと云ふ。

6185. しろあやめ ……………… アヤメ科
Iris sanguinea, *Donn.* var. typica, *Makino.* forma albiflora, *Makino.* (*I. sibirica.* var. *typica.* forma *albiflora, Makino.*)

〔形態〕前種アヤメの一品種にして．花は白色なるものなり。〔分布〕四國。

6186. くるまあやめ ……………… アヤメ科
Iris sanguinea, *Donn.* var. typica. *Makino.* forma stellata, *Makino.* (*I. sibirica.* var. *orientalis.* forma *stellata, Makino.*)

〔形態〕本種も亦アヤメの一栽培品種にして．花瓣は形狀・大小共に蕚片と同様なる種類なり。(栽培種)

6187. コアヤメ ……………… アヤメ科
Iris sibirica, L. var. *typica,* Maxim.

〔形態〕外來の觀賞用多年生草本にして．概形アヤメに似たれども．全形彼に比して小さく．花亦小形なり。花梗は痩長にして鞘苞より長く．外層の花被即ち蕚片は篦狀倒卵形をなす。〔原產地〕西比利亞。

6188. **ラッキャウアヤメ** (15圖版-134) ………アヤメ科
Iris Xiphium, L.

(異名) スペインアヤメ　(英名) スパニッシュ・アイリス(Spanish Iris)　〔形態〕外來の觀賞用多年生草本にして．半耐冬性なり。葉は每年10月頃．根莖より發芽し．稍圓筒形をなして粉白を布き．長さ30糎(1尺)內外に達す。3-4月の候．葉間より花莖を抽くこと30糎(1尺)許に達し．莖頂に長梗を有する1-2花を着生し．花被筒は之を缺く。花は菫紫色にして．外瓣中央部は菫色を呈するもの多く．內瓣は狹長なり。園藝品種極めて多し。〔花色〕菫紫色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係　觀賞用又切花用として栽培せらる。性强健なるを以て栽培容易なり。

本種は暖地を好むものなれば．東京以北の寒地にては冬季葉の枯るゝ恐あり．されど露地性なるを以て．性强健なり。土質は砂質壤土に適すれども亦普通壤土にても可なり。球根の植付は10月初旬より11月を適期とし．後るゝときは莖葉の徒長を來す。肥料は腐熟堆肥・魚粕・過燐酸石灰等を適宜施用すれば可なり。繁殖は自然分球による。球根の掘り上げは6月下旬より7月を適期とす。

6189. **ねぢあやめ** (15圖版-135) ……………アヤメ科
Iris lactea, *Pall.* var. chinensis, *Koidz.*

(異名) ばれん・ばりん・ねぢばりん　〔形態〕元來支那原產にして．朝鮮には野生品を生ずれども．內地にありては觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本なり．高さ30-45糎(1-1·5尺)許に達し．葉はアヤメに似たれども稍狹く．白綠色にして．劒背を缺き．通常2-3回扭捩せるは．本種の特徵にして亦ネヂアヤメの稱ある所以なり。3-4月の候．莖頂に1-2花を着生し．花蓋筒は細長くして鞘苞間に生じ．花は白色地に淡紫色の線狀と淡紫暈とを伴ふ。花瓣は狹く．長さ6糎(2寸)．幅9-12粍(3-4分)許を有し．花後蒴果を結ぶ。〔花色〕白色地に淡紫色の線狀及淡紫暈を伴ふ。〔花候〕春。〔分布〕朝鮮。

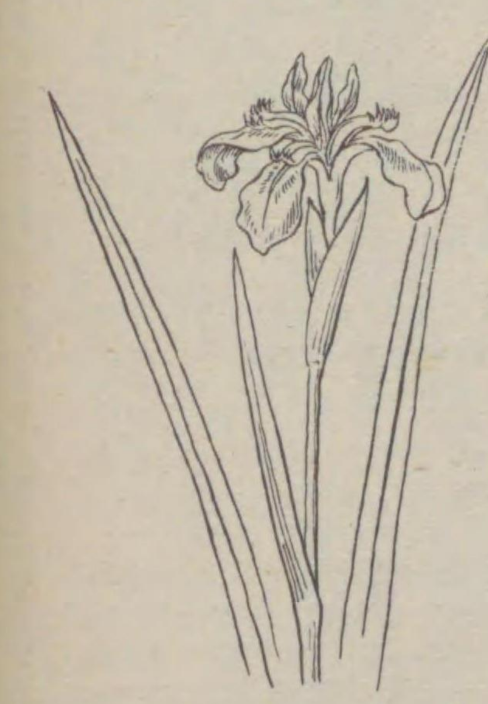
6190. **ナンキンアヤメ** (15圖版-136) ……… アヤメ科
Iris pumila, L.

〔形態〕本種は觀賞用として栽培せらるゝ外來の多年生草本にして．莖は極めて短く．高さ漸く15-20糎(5-7寸)許に過ぎざる矮性種なり。葉は劒狀にして細く．2縦列をなし長さ4·5-9糎(1·5-3寸)許に達す。5-6月の候．重り合へる葉間に花莖を抽出し．概ね1莖1花或は2花を着生し．花被筒は篦形をなせる苞より長し。花は白色又は黄色乃至青紫色を呈し．外瓣の基部に毛狀の突起を具へ．內瓣は上方に向ひ3瓣互に相抱合す。〔花色〕白色・黄色・青紫色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕南部歐羅巴。

6191. **オランダアヤメ** (15圖版-137) ……… アヤメ科
Iris Xiphium, L. var.

(英名) ダッチ・アイリス(Dutch Iris)　〔形態〕本種は和蘭に於て早咲「スパニッシュ・アイリス」と他種との交配によりて作り出されたる一園藝品種にして．莖高さ60糎(2尺)以上に達し．葉は圓筒形にして彼に比するに著しく大なり。花形・花色は共に殆んど彼に似たれども．花被は幅廣く大輪咲なると．花期の彼より早きは共異る所なりとす。〔花色〕菫紫色。〔花候〕4-5月。〔原產地〕和蘭。

人生との關係　觀賞用及切花用として栽培せらる。



75 ひなあやめ

76 ヒアフギアヤメ

6192. **ひなあやめ** (白圖-75) …………… アヤメ科
Iris Rossii, *Bak.*

(異名) たれゆゑさう・えひめあやめ　〔形態〕本邦南部の暖地に自生する多年生草本にして．地下に橫走せる根莖を有して2葉を生ず。葉は狹線形にして銳尖頭・銳尖脚をなし．長さ12-24糎(4-8寸)許に達す。春日葉間に花莖を抽くこと7·5-15糎(2·5-5寸)許．莖頂に菫色稀に白色の單頂花を着生す。苞は篦形をなして1花を抱擁す。花被筒は細長にして．長さ3-6糎(1-2寸)許を有し．蕚片は楕圓形．花瓣は篦狀倒卵形にして蕚片より短く．何れも圓頭をなして爪を生ず。花後球形にして．徑6粍(2分)許ある蒴果を結ぶ。〔花色〕菫色又白色。〔花候〕春。〔分布〕本州南部・四國・九州。

6193. **ヒアフギアヤメ** (白圖-76) …………… アヤメ科
Iris setosa, Pall.

〔形態〕觀賞用として．庭園の濕地・陰地等に栽培せらるゝ多年生草本なれども．地方によりては往々自生す。莖高さ60糎(2尺)許に達し．葉は劒狀にして長さ30-60糎(1-2尺)に達し．中肋脈を有せず。全體淡綠色にして基部紫紅色を帶ぶ。初夏の候．葉間に花莖を抽きて數枝を分ち．各枝頭に2花を着生す。花はアヤメに類し．花被は圓筒形をなし．蕚片は菱狀圓形にして急遽爪脚をなし．舷部は紫色を呈し．中に濃紫色の脈條を有す。爪部は黄色にして．且つ褐紫色の諸脈を多數に彩る。花瓣は極めて短小にして．僅かに9-12粍(3-4分)の長さを有するに過ぎず。〔花色〕紫色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・北海道・本州北部及中部。

人生との關係　觀賞用として栽培せられ．殊に切花用として需要多し。

6194. ヒアフギモドキ ……………… アヤメ科
Iris dichotoma, Pall.

〔形態〕本種も亦外來の多年生草本にして．每春細長き地下莖より．徑3糎(1寸)許ある6-8葉を簇生して扇形をなす。莖は高さ60糎(2尺)許に達し．多くの枝を岐ち．梢頭6-10花を着生す。篦狀苞は乾皮質にして長さ1·2糎(4分)許を有し．3-5花を抱く。蕚片は稍方形にして．廣楔脚をなし．白色にして紫點を伴ふ。花瓣も亦白色にして淡紫采を有し．長楕圓形なり。〔花色〕白色地に淡紫采を有す。〔花候〕夏。〔原產地〕「ダフリヤ」。

6195. **はなしゃうぶ** 花菖蒲・玉蟬花 (15圖版-138) アヤメ科
Iris ensata, *Thunb.* var. hortensis, (*Makino.*) (*I. Kaempferi.* var. *hortensis, Makino.*)

〔形態〕本種はノハナシャウブの栽培變種にして．觀賞用として水邊・濕地等に培養せらるゝ多年生草本なり。地下に地下莖を有し．葉は劒狀にして先端尖り．中肋狀の脈を有することアヤメに似たれども．本種の中肋は彼に比して顯著なるは共判別の特徵とす。6月頃．葉間に花莖を抽くこと0·9-1·2米(3-4尺)許．共頂に近く通常3花を開く。花は葉よりも通常低く．共色濃紫・淡紫・白絞等種々ありて．何れも6片の花蓋より成り．外層の3片は頗る大形にして下垂し．內層の3片は小形にして上向し．通常倒卵形にして鈍頭をなす。〔花色〕濃紫・淡紫・白絞共他種々。〔花候〕夏。(栽培種)

人生との關係　本植物は古來觀賞用として愛玩せらるゝものにして．從つて共栽培變種多様なるものなり。

本種は元來宿根草本なれども．亦種子によりて繁殖せしむれば．通常3年目の初夏より開花を見るを得べく．播種は春蒔を良とす。

花菖蒲の主なる園藝品種

本種は花菖蒲と記し．園藝上最も普通に栽培せらるゝ代表的日本花卉の一種にして．200種以上の園藝品種を有す。而して東京地方を中心とせる花菖蒲の外に熊本花菖蒲．伊勢花菖蒲の如き特種の系統あれども．共源は多く松平菖翁によりて創出せられたるもの多く．現在の園藝品種の基礎をなすものなりと云ふ。

以下花菖蒲の園藝品種として．共主なるものを揭ぐ。

(1) **ザマノモリ** (座間の森)　松平菖翁の作出せられたるものにして．代表的大輪種なり。莖高さ30糎(1尺)內外に達し．莖葉共に狹長なり。葉は軟質にして．淡綠色を呈す。花は6月上旬頃より開き初め．花徑30糎(1尺)內外を有し．瓣片は垂下す。花色は白色地に淺黄色の筋條を有する種類なり。

(2) **ワラヒホテイ** (笑布袋)　本種も亦菖翁作出の著名品種にして．「唐子遊」の異名あり。莖高さ1-1·5米(3-4·5尺)許に達し．葉は濃綠色にして質硬く直生す。晩生種にして．6月下旬頃花を開く。花は濃紫紺色をなせども．開花後漸次褪色す。花徑は30糎(1尺)に達し．各花被片は長・幅共に21糎(7寸)許にして．瓣緣は稍卷捲し．花心部には多くの突起を具へ．濃紫色を呈す。近似の品種に「昇龍」あり。狂咲種なり。

(3) **ツルギノマヒ** (劔の舞)　本種も菖翁の作出と稱せらる。6月中旬頃開花を見る大輪種にして．花莖20-30糎(0·7-1尺)許を有す。莖高さ1米(3尺)內外に達し．葉は幅稍廣く．淡綠色にして．質軟く稍傾垂す。本花の內花蓋は著しく發達して大きく．外花蓋よりも僅に短き程度なり。花心部には．瓣化せる雌蕊．三英花の場合に於ける內花蓋狀をなして排列す。性强健にして．繁殖盛なり。

(4) **ハツシモ** (初霜)　本種は早咲種にして．切花用として貴ばる。莖高さ1米(3尺)內外に達し．花徑20-30糎(0·7-1尺)．幅10糎(3寸)內外に達し．花瓣は垂下せず。性質强健にして．繁殖力强く．準促成栽培に用ひらる。

(5) **カスガノ** (春日野)　本種は東京堀切にて實生より育成せられたるものなりと云ふ。莖高さ1·2米(4尺)許に達し．葉は質軟く．黄綠色にして幅廣し。6月中旬頃開花し．花徑30糎(1尺)內外ある大輪種にして．花被片は稍下垂し．白地に藍紫色の筋條を有する品種なり。性質弱く從て繁殖力亦弱し。近似種に色調優秀にして．花形の異らざる「五節の舞」と稱する品種あり。

(6) **モミヂノタキ** (紅葉の瀧)　菖翁の作出と稱せらるゝ代表的良花を有する品種なり。莖高さ1·5米(5尺)以上に達し．莖葉共に黄綠色を呈し．剛直なれども．栽培難く又繁殖率弱し。6月中旬頃．徑22糎(7·5寸)．幅12糎(4寸)以上ある花を開き．花被片は垂下せずして．上方に向ふ。花は强き暗赤色にして白色の砂子吹掛を現はし．一定の色彩を保つ優良種なり。

(7) **ユルシノイロ** (兎の色)　本種も亦菖翁の作出なりと。莖高さ60糎(2尺)內外の矮性種に屬し．性質・繁殖率共に弱く．且つ連作を忌む種類なるを以て．地培稍困難にして．寧ろ鉢栽培に適す。葉は濃綠色を呈し．長さ48糎(1·6尺)內外にして直生す。花は青紫色をなし．花徑20糎(7寸)．幅7·5糎(2·5寸)許の小花にして．瓣質硬く．受咲性なり。近似種に「大江戶」・「江戶自慢」等あり。何れも莖高く．花色は本種に比するに鮮明ならざる種類なり。

(8) **ゲイショウウイ** (霓裳羽衣)　菖翁の作出種なり。莖高さ1·2-1·5米(4-5尺)に達し．葉は濃綠色を呈し．性質强健ならず。6月下旬頃．暗赤色にして白色の鮮かなる條斑を有する優秀の花を開く。本花は花被片9箇を有し．花徑は25-30糎(0·8-1尺)．幅15糎(5寸)許の受咲にして．稍狂咲の傾を有する種類なり。近似種に「鳳凰地」と稱する種類あり．概形本種に異らざれども．莖の低きと．狂ひの强きを異る要點とす。

(9) **バンダイハ** (万代波)　菖翁の作出種なり。本種は切花用として愛好せらるゝ早咲種にして．莖高さ1·2米(4尺)內外に達し．性强健．繁殖力旺盛なる品種に屬す。花は他の白色種の概ね帶藍紫色をなすに比し．帶黄白色なるを特徵とす。花徑20-25糎(7-8寸)許を有し．花被片は硬質にして．垂下せざる品種なり。

(10) **シンソウカジン** (深窓佳人)　本種は東京堀切にて實生により作出せる品種なり。莖は高性にして．草性强健なれども．莖葉及瓣片共に軟弱なり。葉は黄綠色を呈し．花は6月中旬頃開花す。花徑20-24糎(7-8寸)許を有し．色は白色にして．瓣端に淡青色を帶び．內花蓋は黑紫色を呈する優秀品種なり。

(11) **マナヅル** (眞名鶴)　菖翁の作出種なり。本種は草性中等にして繁殖力稍劣る。莖高さ1·5米(5尺)以上に達し．葉は黄綠色にして强く．直立性なり。花は6月中旬頃開き．純白色地に紫色の筋條を彩り．又時に不定紫條斑を伴ひ．花徑26-27糎(8·5-9寸)許を有す。本花の有する雄蕊は特に濃紫色を呈し．共間隙より狂性の花瓣の現はるゝことあり。近似種に「泉川」と稱する品種あり。概形本種と同じく．6月下旬頃開花す。

(12) **イソノナミ** (磯の波)　本種も亦菖翁の作出種にして．性質弱く．培養稍

困難なる品種なり。莖高さ 1·5 米（5 尺）内外に達し．葉は濃綠色を呈す。6 月中旬頃に開花し．花徑 24-30 糎（0·8-1 尺）を有し．花は受咲にして．花被片は白色地に紫色の絞りを現はし．先端に缺刻を有す。近似種に「虎の斑」と稱する一品種あり。

以下熊本菖蒲の 2-3 品種を列記すべし。

熊本花菖蒲と稱するものは．前述東京堀切地方の花菖蒲と同系統にして．源は松平菖翁より分與を受けたるものを．熊本地方の趣味に適する樣に改良淘汰せられたるものにして．極めて大輪咲なると．花瓣の垂下するの特徴を有し．鉢栽培を本體となす。

尙熊本菖蒲にありては．内花蓋を耳瓣と稱し．花の品位はこの耳瓣によりて定められ．又其形狀により各種の名稱を有するものなり。而して内花蓋のよく發達し．柱頭正形にして 3 箇正しく相對する花形を正花と稱し．又側方より見るとき内花蓋と外花蓋との中間に．相當の空隙を有せざるもの及花瓣の廣く．上方より之を見るとき．全體の形狀圓く見ゆるものを共に優良種とせらる。

（1）**マツカゼ**（松風）　本種は熊本市西田信常氏が實生によりて育成せられし品種にして．莖高さ 60 糎（2 尺）内外の矮性種に屬し．莖葉共に小形なれども性强健にして．繁殖力亦强し。5 月中下旬頃開花す。花は三英花にして．花被片は長さ 12 糎（4 寸）．幅 7·5 糎（2·5 寸）以上に達し．花瓣の中央部は凹み居るを以て「トモ咲」と稱せらる。尙花菖蒲は普通 1 莖 1-3 花を着すれども．本種は主に 1 莖 1 花又稀に 2 花を着生するものとす。

（2）**マヒコノハマ**（鉾子の濱）熊本市甲田唯矢氏の作出せる矮性種にして．高さ 50 糎（1·5 尺）許に過ぎず。葉は幅廣く．且つ短く．性强健にして繁殖力强し．5 月下旬頃六英咲正花を開く。外花蓋は長さ 15 糎（5 寸）餘．内花蓋は 12 糎（4 寸）内外の中輪花にして．花被片は白地に藍紫色の覆輪を有し．中央部は稍隆起す。内外花蓋の中間に空隙を有し．優良ならざる品種なり。

（3）**ハンポノカウ**（反咱の孝）　熊本市西田信常氏が實生より生育せる 晩生種に屬す。性質强健にして．高さ 1-1·5 米(3-4·5 尺）許に達し．葉は鮮綠色にして直立性なり。凋花後著しく葉の伸長するの特性を有す。6 月下旬頃六英花を開き．外花蓋は長く 20 糎（7 寸）餘．幅 15 糎（5 寸）以上に達し．内花蓋は稍小形なり。内外花蓋共に周緣波狀を呈する品種なり。

（4）**シメイノアキ**（紫冥の秋）　本種は 安政年間熊本の藩主 三宅爲五郎氏の作出せるものなりと。稍矮性種に屬し．性質强健にして繁殖力亦旺盛なり。葉は幅廣く．先端稍下垂するの傾あり。6 月中旬頃．外花蓋は長さ 18 糎（6 寸）．幅 13 糎（4·5 寸）内外ある六英咲正花を開く。花は鮮濃藍色地に白色の中線條を彩り．花心は雪白にして．濃藍色の覆輪を有し．花被片は殆んど波狀なき廣瓣にして．外花蓋片は大形なるも垂下せず．柱頭は正しく 3 叉す。近似種に「朝日濤」と稱する品種あり。

6196. **のはなしゃうぶ**……アヤメ科
Iris ensata, *Thunb.* var. spontanea, (*Makino.*) (*I. Kaempfeoi.* var. *spontanea, Makino.*)

（異名）やましゃうぶ・どんどばな　〔形態〕各地の山野に自生する宿根草本にして．ハナシャウブの原種に屬す。概形稍カキツバタに類すれども．葉は直生して劍形をなし．先端尖り．濃綠色にして中肋は顯著なり。初夏の候．葉間に葉より超出せる花莖を抽出して莖頭紫色の花を開き．花瓣は短く鈍頭なり。〔花色〕紫色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州北部及中部。

6197. **カマヤマシャウブ**（15 圖版-139）……アヤメ科
Iris Kamayama, Makino.

〔形態〕本種は德川時代に朝鮮釜山より草花として渡來せしより「カマヤマシャウブ」の名ありと云ふ。朝鮮方面の大陸地方の原產にして．概形極めてアヤメに似たるを以て往々混視せらるゝことあれども．本種は葉質硬く．花色濃く．花梗の葉叢より超出せるを判別するの特徴とす。即ち葉は細長くして硬く．濃綠色にして稍粉白を布く。花莖は長く超出し．鞘苞の邊緣は赤紫色を呈す。花は濃菫色にして外花被片は反捲し．内花被片は長形なり。〔花色〕濃菫色。〔花候〕5 月下旬。（栽培種）

6198. **キシャウブ**（15 圖版-140）……アヤメ科
Iris Pseudacorus, L.

〔形態〕庭園等に栽培せらるゝ外來の多年生草本にして．莖は圓柱形をなし．高さ 60-90 糎（2-3 尺）許．葉は劍形にして．長さ 45-90 糎（1·5-3 尺）に達す。5 月頃莖頂に鮮黃色をなせる多くの花を開く。萼片は廣倒卵形にして．花瓣は長楕圓形をなし．萼片の爪部より稍長形なり。〔花色〕鮮黃色。〔花候〕春。〔原產地〕歐羅巴。

6199. **からふときしゃうぶ**……アヤメ科
Iris Maacki, *Maxim.*

〔形態〕北地に自生する多年生草本にして．根葉は長さ 60 糎（2 尺）以上徑 1·2-1·8 糎（4-6 分）許に達す。莖は圓柱形にして．稍頭に黃色の多花を着生す。萠は圓柱狀長楕圓形にして．3 鈍稜を具へ．長さ 6 糎（2 寸）許に達す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太。

6200. **かきつばた**　杜若・燕子花　（15 圖版-141）　アヤメ科
Iris laevigata, *Fisch.* et *Mey.*

〔形態〕西比利亞の中部以東．滿洲及本州中部以北の池沼・水邊・濕地等に往々自生する多年生草本にして．高さ 60 糎（2 尺）許に達し．地下に長き根莖を有す。葉は劍狀にして 60-90 糎（2-3 尺）に達し．柔軟・淡色にして概ね花より超出す。本葉はアヤメ・ハナシャウブの如く顯著なる中肋狀の脈を有せずして．隆起せざるを特徴とするを以て．容易に彼等と識別することを得べし。夏日叢葉の中心より花莖を出し．莖頭に通常紫碧色の花を開き．花は比較的小形なり。花被筒は短く．萼片は長き爪を有し．紘部は橢圓形にして下垂し．瓣片は箆狀披針形にして直生し．先端尖る。〔花色〕紫碧色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部。

人生との關係　觀賞用として池邊・水濕地等に栽培せらる。園藝品種には四季咲・白色・白との絞・6 瓣花等種々あり。

6201. **わしのを**　鷲の尾　……アヤメ科
Iris laevigata, *Fisch.* et *Mey.* var. albopurpurea, *Takeda.*

（異名）むらさめ・しろかきつばた　〔形態〕カキツバタの一園藝品種にして．概形彼に類似すれども．本種の花は白色地に紫色を交へて絞り咲をなせる種類なり。（栽培種）

6202. **キンカキツバタ**……アヤメ科
Iris minutoaurea, Makino. (*I. minuta, Franch.* et *Sav.*)

〔形態〕朝鮮原產の多年生草本にして．地下に擴れる根莖を有す。葉は狹長劍形にして先端尖り．長さ 45 糎（1·5 尺）．徑 3 粍（1 分）許を有す。4 月頃．葉間に 6-9 糎（2-3 寸）許ある花莖を抽き．莖頭に徑 3 糎（1 寸）内外の黃色花を單生す。苞は箆狀をなして．長さ 3 糎（1 寸）許を有し．1 花を抱擁す。花被は狹圓筒形をなし．長さ花被裂片と稍同じく．萼片は廣橢圓形にして廣爪をなし．花瓣は萼片より短く．倒卵形にして長爪をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕朝鮮。

6203. **こかきつばた**（15 圖版-142）……アヤメ科
Iris ruthenica, *Dryand.* var. nana, *Maxim.*

〔形態〕外來の多年生草本にして．地下に横走せる瘠長の根莖を有す。葉は線形にして銳尖頭をなし．3-6 葉を族生し．長さ 14 糎（4·5 寸）．徑 3-6 粍（1-2 分）許を有す。4 月頃．叢葉間より高さ 6-9 糎（2-3 寸）許ある花莖を抽出し．莖色の單頂花を開く。苞は箆狀にして 1 花を抱擁し．花被筒は棍棒狀圓柱形にして．長さ 1·2 糎（4 分）許を有す。萼片は長橢圓形にして．長さ 4 糎（1·3 寸）許に達し．廣き爪をなし．花瓣は稍小さく狹倒披針形にして狹爪を具ふ。蒴は稍球形をなす。〔花色〕菫色。〔花候〕春。〔原產地〕支那。

6204. **イチハツ**　鳶尾　（白圖-74）……アヤメ科
Iris tectorum, Maxim.

（異名）コヤスグサ　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして．高さ 45-48 糎（1·5-1·6 尺）許に達す。葉は短廣なる劍狀をなし．淡綠色にして．通常 5-6 葉を 2 縱列に互生し．光澤を有せず。春日．葉より高く花莖を抽きて上部は分岐し．各枝に 1-3 花を着生す。花は淡碧紫色にして．所々に紫色の小點を有し．或は又白色を呈す。花徑は 12 糎（4 寸）内外にして．外瓣は倒卵形をなして内瓣より大きく．且つ下垂し．緣邊波狀に皺曲し．上内面に稍鶏冠狀の突起を有す。瓣片は萼片と同形にして短爪を有す。〔花色〕白色又は淡碧紫色。〔花候〕春。〔原產地〕支那。

人生との關係　根を掘りて乾燥したるものを「イリス」根と稱し．藥用に供することは．日本藥局方に指定せらる。

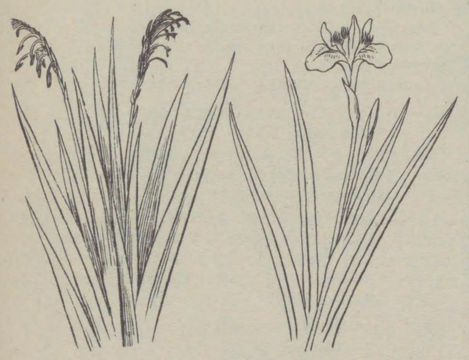
即ち藥效として（1）「イリス」根を煎服すれば．緩下劑・吐劑・眩暈等に效あり。（2）根を摺り潰したるものを．腫物の患部に塗布すれば效あり。（3）「イリヂン」(Iridin) と稱する「グリコシット」を含有するを以て．其香氣を利用して．粉粧藥に應用し．又蔘用としては矯臭散布藥として應用せらる。漢方にては之を「烏園」と稱し．根部を「鳶頭」と稱す。

6205. **しゃが**　胡蝶花　（16 圖版-143）……アヤメ科
Iris japonica, *Thunb.*

〔形態〕陰地に自生する多年生の常綠草本にして．莖高さ 30-45 糎（1-1·5 尺）許に達す。葉は革質・劍狀にして幅廣く．平行脈を有し．長さ莖と稍同じく．濃綠色にして光澤あり。4-5 月の候．莖頂數箇の枝を分ち．各枝頭に 1-2 花を着生す。花蓋片及花柱の頂端は周緣細裂して．毛狀をなす。花は白色にして紫暈を有し．黃色の細點を伴ひ甚だ美なり。鞘冠は凹頭にして邊緣細裂し．花瓣は狹小なり。雄蕊は 3 箇．花柱は 3 岐して花瓣狀をなし．蒴

果はこを結ばず。〔花色〕白色にして紫暈及黃色細點を伴ふ。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州各部・九州。

人生との關係 觀賞用として栽培せらる。



77 ひめしやが　　78 アントリザ

6206. **ヒめしやが**（白圖-77）…… アヤメ科
Iris gracilipes, A. Gray.

〔形態〕元來山地に自生する多年生草本なれども、古くより觀賞用として庭園等に栽培せらる。概形コカキツバタに似たれども稍大きく、根莖より數多の葉を生じ株狀をなす。葉は膜質・線形にして、中肋狀の葉脈を有せず莖は葉より超出す。4-5月の候、細長にして微に扁平なる花莖を抽きて多くの枝を岐ち、每枝に2花を開く。花は徑3糎（1寸）內外、概形シャガに類似し、外瓣は楕圓形にして先端凹み、淡紫色を呈すれども、中部は廣く白色にして、斜行紫脈線を具へ、中央に縱狹溝を有し、先端橙黃色を呈す。內瓣も亦淡紫色にして廣披針形凹頭をなし、蒴は球形なり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州・九州。

6207. **ニホヒシャウブ**（16圖版-144）…… アヤメ科
Iris florentina, L.

（異名）ニホヒイリス・シロバナイリス　〔形態〕觀賞用として栽植せらるゝ外來の多年生草本にして、地下に有する根莖は、乾燥すれば一種の香氣を放つを以て、ニホヒシャウブの名あり。莖高さ30-45糎（1-1·5尺）許に達し、莖は葉より超出す。葉は廣劒形にして、冬季に至るも凋落せず。4-5月の候、外瓣は倒卵狀楔形をなし、白色を呈して下垂し、鮮黃色の雜冠毛を具ふ。內瓣は外瓣と同大にして白色、直立せる花を開く。本花は花後蒴を結ばざるものとす。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係 庭園に栽植し、觀賞に供す。一種花色に青色を呈するものあり。

6208. **ムラサキイリス**（16圖版-145）…… アヤメ科
Iris germanica, L.

〔形態〕本種も亦外來の品種にして、高さ60-90糎（2-3尺）許に達し、概形イチハツに相似たり。葉は長さ30-45糎（1-1·5尺）許に達し、劒狀にして莖より短く、通常1莖2花を着け、苞は筮狀をなして紫釆を伴ひ、上半部は乾皮質なり。外瓣は倒卵狀楔形にして下垂し、長さ4·5-7·5糎（1·5-2·5寸）許を有し、黃色の雜冠毛を伴ふ。內瓣は外瓣と同大・倒卵形をなして直生し、互に相よりて球形をなす。〔花色〕紫色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕歐羅巴。

6209. **アカネイリス**（16圖版-146）…… アヤメ科
Iris sambucina, L.

〔形態〕本種も亦觀賞用として栽植せらるゝ外來の多年生草本にして、根は肥大し、多くの結節を具へ、地中を匍匐し、比較的乾燥に耐ふる性あり。莖の地に接する部分は赤紫色を呈するを以て、アカネイリスの名ありと云ふ。葉は劒形にして、粉綠色を呈し、葉緣は膜質・透明なり。花莖は葉より長く、6月上旬の頃、莖上に花を着生す。外瓣は倒卵形にして反捲し、天鵞絨狀暗紫色を呈し、斑狀を伴ふ。內瓣は廣楕圓形にして凹頭をなし、淡紫色を呈して上向し、狹爪を具ふ。〔花色〕暗紫色、內瓣淡紫色。〔花候〕6月上旬。〔原產地〕南部歐羅巴。

6210. **ヅポリイリス**（16圖版-147）…… アヤメ科
Iris pallida, Lam.

〔形態〕本種も亦觀賞用として庭園に栽培せらるゝ多年生草本にして、莖高さ60-75糎（2-2·5尺）內外に達す。葉は長さ30-60糎（1-2尺）にして劒形をなし、中肋脈を有せず。5月上旬の候、莖頂に暈色稀に白釆を伴へる花を開き、芳香を放つ。苞は乾皮質にして筮形をなし、外瓣は倒卵狀楔形にして、長さ8·5糎（2·8寸）許を有し、雜冠毛を具へ、內瓣は圓形なり。

〔花色〕暈色。〔花候〕春。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係 庭園等に移植し觀賞に供せらる。性强健にして、陽地の稍乾燥せる土地を好む。移植は秋期を適期とす。

2. アントリザ屬 ANTHOLYZA.

6211. **アントリザ**（白圖-78）…… アヤメ科
Antholyza aethiopica, L. (*A. floribunda, Salisb.*)

〔形態〕本種は牧野博士によりザイフリアヤメと命名せられたるものにして、我國には未だ一般的に栽培せられざるも、切花として好適の品種なり。地下には大なる根莖を有し、葉は劒狀をなして長さ1米（3尺）、幅3糎（1寸）內外を有し、質は稍粗剛にして、深き縱溝を具へ、濃綠色を呈す。5-6月の候、葉間より花莖を抽くこと60-75糎（2-2·5尺）許に達し、2列に花穗を排列す。花瓣は一種獨特なる鉤針狀に彎曲し、其色オレンヂ色を帶びたる深紅色を呈す。〔花色〕紅黃色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕亞弗利加（喜望峰）。

人生との關係 觀賞用又切花用として栽培せらる。冬季は「フレーム」內にて越冬せしむ。霜害を受けざる樣に保護するを要す。繁殖は分球による。

3. バビアナ屬 BABIANA.

6212. **バビアナ**（16圖版-148）…… アヤメ科
Babiana stricta, Ker.

〔形態〕本種は牧野博士により、ホザキアヤメなる和名を附せられたるものにして、近時の外來に係り、本邦にては專ら園地に栽培し觀賞に供せらるるものなり。〔花色〕帶紫赤色又は藤紫色。〔花候〕4-5月。〔原產地〕南亞弗利加。

4. ヒアフギ屬 BELAMCANDA.

6213. **ひあふぎ** 射干（16圖版-149）…… アヤメ科
Belamcanda chinensis, *Leman*.

〔形態〕山野の稍水濕地を好みて自生する宿根草本なれども、亦觀賞用として庭園に培養せらる。莖高さ1米（3尺）以上に達し、葉は廣き劒狀にして密に互生し、扁平となり粉白を布く。其形恰も檜扇を開きたるに似たるを以て此名あり。夏日葉間1莖を抽き、高さ1·2-1·5米（4-5尺）に達し、梢上多くの小枝を岐ちて、花蓋に濃紫點を有する黃褐色の美花を聚繖花序に排列し、花被片は長楕圓狀筮形にして、互に分離せる6片より成り、花被筒を有せず。苞は膜質・筮形にして、雄蕊は3箇、雌蕊は1箇を具へ、黃色を呈す。花後楕圓形にして膨滿せる蒴果を結び、熟すれば蒴は裂開して、中に黑色球形の種子を藏し、此種子を「ヌバタマ」と稱す。〔花色〕黃褐色にして濃紫色をなせる斑點を有す。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

人生との關係 觀賞用又は切花用として栽培せらる。又藥用としては、根莖を乾燥したるものを煎服すれば、解熱・通經・咳嗽・水腫・溜飲・疝氣等に效ありと云ふ。

6214. **だるまひあふぎ**（16圖版-150）…… アヤメ科
Belamcanda chinensis, *Leman*. forma. vulgaris, *Makino*.

〔形態〕牧野博士の前種ヒアフギの一變種として區別せられたる一矮性種に屬し、花梗は短く、帶褐黃色にして赤紫色の斑點を有する花を1箇所に叢生し、時に斑入葉を有するものあり。繁殖は主として株分により、移植は春季を適期とす。（栽培種）

6215. **きばなだるまひあふぎ**…… アヤメ科
Belamcanda chinensis, *Leman*. forma flava, *Makino*.

〔形態〕本種も亦ヒアフギの一栽培品種にして、花は黃色を呈し、濃黃色の斑點を有する種類なり。（栽培種）

5. サフラン屬 CROCUS.

6216. **サフラン** 泪夫蘭・蕃紅花 (16圖版-151) アヤメ科
Crocus sativus, L.

(異名) バンサンジコ　〔形態〕園圃に栽培せらるゝ多年生の藥草にして．地下に徑3糎(1寸)許ある栗褐色の球莖を有し．葉鞘の殘餘を以て被包せらる。花莖は5-6片の鞘葉と6-9條の扁葉とを存し．鞘葉は膜質・透映にして縱紋を有し．扁葉は松葉狀を呈して長く．先端鈍く．暗綠色にして邊緣は稍卷曲す。9月頃畑地に種球を栽植するときは．10月頃葉を出し．10月より11月に亙り．葉間より紫菫色を帶び．暗色の線狀を有する優美なる花を頂生・單立し．芳香愛すべし。花被は短筒狀をなして6裂し．各裂片は長楕圓形・鈍頭にして．花喉は有毛なり。雄蕊は3箇を具へ．花喉に着生し．葯は黃色なり。雌蕊は1箇を有し．花柱は3岐して花瓣の間に垂下し．各分枝は先端更に細裂して．鮮黃色を呈す。花後長楕圓形にして．3殼を有する蒴果を結ぶ。〔花色〕紫菫色。〔花候〕10-11月。〔原産地〕地中海東南の濱岸諸地。

人生との關係　本植物の雌蕊頭を乾燥したるものを「サフラン」と稱し．健胃・鎭痙・通經等の諸藥に用ひ．藥局方にては「サフラン」丁幾・芳香阿片酒等を製するに用ひ．其他菓子・食品を黃色に染むるに用ひらる。尙本品は古來婦人生殖器の諸病に效果偉大なりとして重用せられたりしが．方今にては餘り重用視せられざるに至れり。

サフランの品種及栽培法

(1) 春咲種

(イ) **クロークス・ヴェルナス** (Crocus vernus) (本文參照)

(ロ) **クロークス・ヴェルシカラー** (C. versicolor)　本種は「アルプス」原產にして．古くより栽培せらる。白色系統の變種は多く本種より作り出さる。

(ハ) **クロークス・モエシアクス** (C. moesiacus) (本文參照)

(ニ) **クロークス・ビフロラス** (C. biflorus)．英名「スコッチ・クローカス」(Scotch Crocus) と稱し．葉は線形をなして稍短く．綠に白條を有するを特徵とす。花は白色或は橙黃色にして．外部に紫色の剛毛目樣の斑條を有するものなり。

(2) 秋咲種

(イ) **クロークス・サチヴス** (Crocus Sativus)．英名「サフロン・クローカス」(Saffron Crocus) 普通藥用サフランと稱するものなり。(本文參照)

(ロ) **クロークス・スペシオサス** (C. Speciosus)．英名「ショイー・クローカス」(Showy C.) と稱し．花は比較的大形にして．10月頃葉前に花を開き．凋花後葉を出す。又他種と變り樹蔭にてもよく生育開花するを以て．自然水邊に近き處によく生育するなるべし。

(ハ) **クロークス・ヌデイフローラス** (C. nudiflorus) 本種は葉の幅廣く．花は淡紫色をなせる種類なり。

サフランの繁殖法と球莖の貯藏

サフランの繁殖法は．種子と子球とによる2法あれども．普通子球による方法を安全なりとす。

(1) 子球による繁殖法

子球は通常親球の上方に5-6箇を附くるものなれば．9-10月の頃に至り其小球を採取し．深さ6-9糎(2-3寸)位に植付け．冬季に至れば其上に覆土す。鉢栽培の場合は．排水裝置をなしたる鉢へ．砂混りの腐葉土を飾ひ込み15糎(5寸)鉢ならば．5-6球を植ゑ込み．初めは可成暗所に置きて根の發育を促し．發芽するに至れば明き所に出し．漸次日光に當つるときは早く開花するに至る。

(2) 種子による繁殖法

4-5月頃に至れば．種子は成熟し．子房は裂開して種子を飛散するものなれば其以前に子房の「カーキー」色に變じたる頃を見計ひて花梗より切り取り．十分に乾燥して種子を採取し．其種子を鉢又は床地に播種するものとす。鉢播・床播の何れにせよ．播種直後は日光の直射を避け．且つ適當の灌水に注意するときは暫らくにして發芽すべし。發芽後は漸次日光に當て．時々除草・灌水するの程度にして．其儘になし置き．葉の凋枯するに至れば」水を中止す。3年目の春に至り腐葉土4・川砂3・馬糞3位の割合に混じたるものを．球上3-6糎(1-2寸)の厚さに被覆す。かくして初夏に至れば．球は成熟するを以て之を掘り上げ．植付をなすときは．翌年に至りて開花するに至るべし。(植付後の手當は栽培法に準ず)。

球の貯藏　サフランは3月頃萎花すると暫時にして葉も亦凋萎し．休眠季に入るものなれば．爾後10日内外にして球を掘り出し．其儘箱等に容れ屋内にて乾燥せしむ。此際老根・枯葉・莖等を取り去り清潔にして．秋季植付季迄濕氣に觸れざる樣に貯藏す。濕氣を含み．濕度加はるときは．必ず腐敗菌の媒介となりて球の腐敗を來す處あるものなれば．充分に注意を要す。されど餘りに乾燥に失するときは．球の生活力を失ふに至るを以て．適度の手間を要するものなり。

栽培法　本植物は．濕潤なる土地．殊に雨後水の溜るが如き場所は大禁物にして．乾燥せる土壤を好むものなれば．土質は砂勝ちの輕鬆なる土地に適し．且つ日光は充分に當つるを要するを以て．可成日當りよき所を選ばざるべからず。

植付けは9月より10月頃迄にして．株間は15-18糎(5-6寸)となし．球の上に6-9糎(2-3寸)の覆土をなす。餘り淺植は好しからず。肥料は下肥の薄薄なるものにして可なれども．充分腐熟したる馬糞に少量の油粕を混じたるものなれば更に效果あるものとす。

施肥は植込をなす1ケ月位以前に行ひ．よく調し置くをよしとす。開花に至れば．極めて薄き油粕汁を1回施し．秋期又球の傍を掘りて馬糞を埋め置くときは．翌年の開花に效果ありと云ふ。

以上は露地栽培法の大要なれども．鉢栽培も亦之に準ずるものとす。

6217. **ハナサフラン** 蕃紅花 (16圖版-152) …アヤメ科
Crocus vernus, All.

(異名) ムラサキサフラン・ハルサフラン　〔形態〕サフランには園藝變種多く．其色彩には系統を有す。本種は紫色系統の原種に屬する多年生草本にして．歐洲南部の原產なり。地下には球莖を有し．葉は花と稍同高にして2-4葉を生じ．徑6粍(2分)許．邊緣反捲し．中央帶白・下面粉白を布く。花は淡紫色にして白或は紫條を伴ひ．花被裂片は披針狀楕圓形にして花喉には毛を生ず。葯は黃色にして花絲より長く．花柱は3分裂して橙黃色を呈す。〔花色〕淡紫色其他。〔花候〕原種にありては夏．栽培品種にありては春。〔原產地〕歐羅巴。

6218. **キバナサフラン** (16圖版-153) …… アヤメ科
Crocus aureus, Sibth. et Sm.

(異名) イノゲラン　〔形態〕本種も亦外來の多年生草本にして．地下の大球莖より6-8葉を束生し．狹線形にして邊緣反捲す。花莖の上部には箆狀をなせる2箇の苞を有し．花は鮮黃色にして．花被裂片は鈍頭をなし．筒部の半長乃至殆長なり。葯は淡黃色にして箭狀．花柱は分枝すれども葯より短小なり。〔花色〕鮮黃色。〔原產地〕歐羅巴。

6219. クロークス・メーシアクス……アヤメ科
Crocus moesiacus, Ker.

(英名) ダッチ・クロークス　〔形態〕本種は園養變種黃色系統の原種にして．花は鮮黃色を呈し．花被片に色彩線狀を伴はざるものなり。〔花色〕鮮黃色。〔原產地〕歐洲東南部・亞細亞。

人生との關係　性强健なるを以て．鉢栽培・花壇植等に適し．觀賞に供せらる。秋植球根にして．繁植は分球による。

6. アカネズキセン屬 ELEUTHERINE.

6220. **アカネズキセン** (17圖版-154) …… アヤメ科
Eleutherine plicata, Herb,

(異名) ボスメン・ビッキ　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ外來の多年生草本なり。地下には廣卵形の鱗莖を有して2-3の根生葉を簇生し．葉は線形或は線狀披針形にして．長さ45糎(1·5尺)許に達す。春日．根葉間に30糎(1尺)許の花莖を抽き．梢上に至りて分枝し．短葉を着け．基部莖を抱擁す。花は1花叢に1-2．時に12-13花を着生し．白色6瓣花にして．中に深黃色の雄蕊を具へ．花被の基脚に着生す。本花は每日午後3時頃に至りて開花し．夕刻に凋花するを以て．花時最も短きものなり。子房は下位にして3室を有し．多くの卵子を含む。花柱は短く先端3岐す。本種の鱗莖は赤褐色を呈するを以てアカネズキセンの和名ありと云ふ。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕西印度。

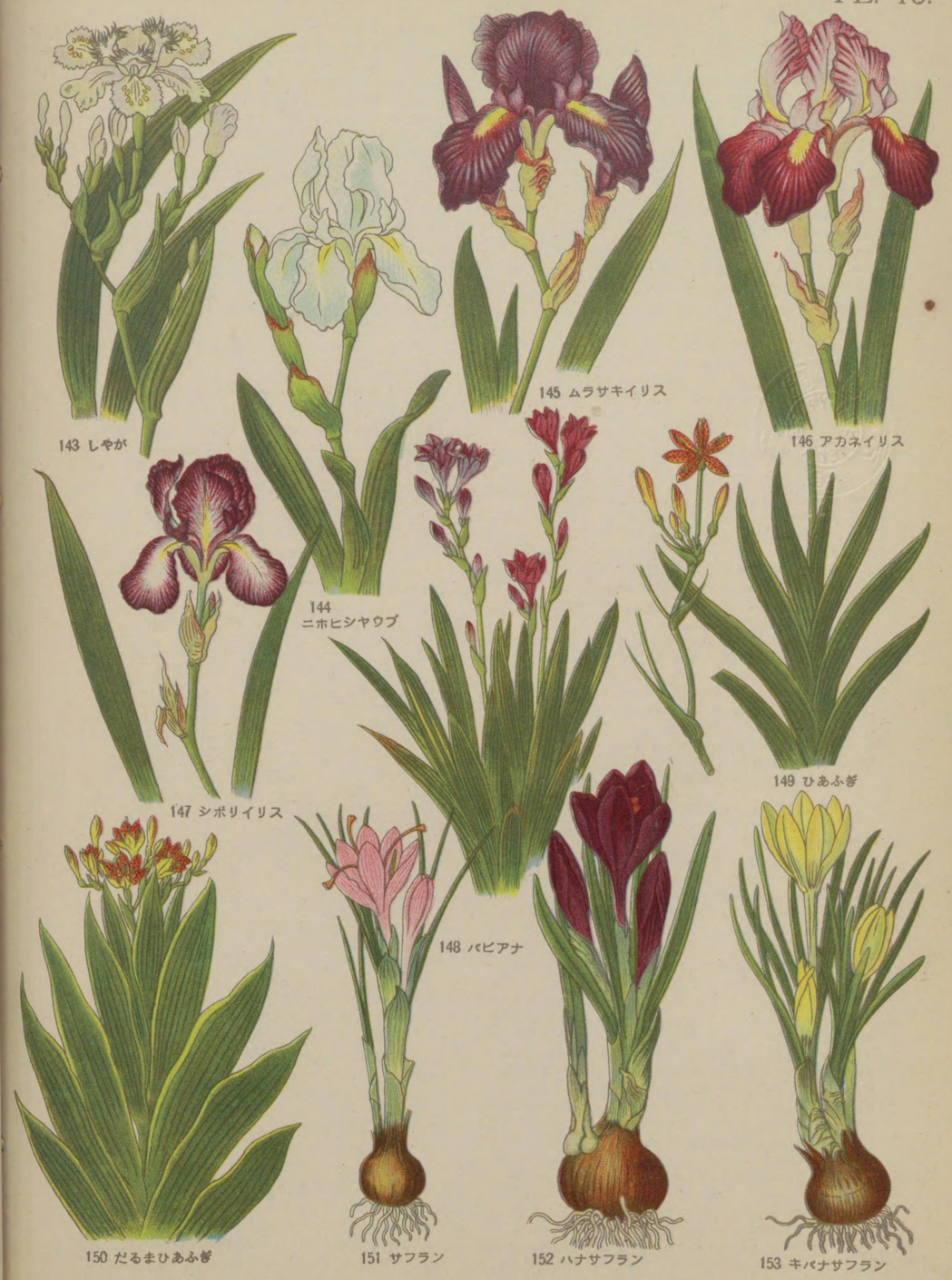
7. フリージャ屬 FREESIA.

6221. **アサギズキセン** (17圖版-155) …… アヤメ科
Freesia refracta, Klatt.

(異名) フリージャ　〔形態〕本種はフリージャの原種とも見らるべき外來の多年生草本にして．地下に卵圓形或は圓錐形にして厚き皮を被れる鱗莖を有し．莖は稍分岐して．高さ30-45糎(1-1·5尺)に達す。葉は菖蒲に似て著しく小さく．形狀寧ろ蘭の葉に近く．1球に5-6葉を生ず。3-4月の候．帶黃綠白色の疎花を穗狀花序に排列し．花序は偏側生にして．花軸は腦木形をなす。箆狀苞は楕圓狀披針形をなし．花被は細長き鐘形にして．中央部以下急に細まり．長さ2·4-4·5糎(0·8-1·5寸)許に達し．紋部は唇形をなし．裂片は不等にして概形鐵砲百合に似たれども．極めて小形なり。花梗は其先端殆んど直角に曲り．5乃至7花を着生し．下部より順次開花す。

〔花色〕帶黃綠白色。〔花候〕春。〔原產地〕南部亞弗利加。

人生との關係　本種は花としては餘り艶麗ならざれども．一種の芳香を有し．且つ形態極めて淸楚なるを以て愛玩の價値あるべく．又切花用として



栽培せらる。性質不耐冬性の種類なれば一般に「フレーム」又は溫室栽培を要す。本種の外に純白大輪・淡紅色種・黃色種等の園藝品種あり。

アサギズキセンの栽培法

本種は秋植球根の性狀を有し．內地にありては．冬期間が其の生育期なるを以て．通常 9 月上旬．球根を 15 糎（5 寸）鉢ならば 10 球內外又は平箱等に植ゑ込み．「フレーム」の如き降霜の害を被らざる所にて肥培し．3-4 月頃に開花せしむ。自然の開花は概ね 3-4 月頃なれども．冬期溫室內にて促成開花をなさしむるときは 12-1 月頃より開花を見るを得べし。

本種は普通に球根を分取して繁殖せしむるものなれども．又實生法により繁殖せしむるも．極めて容易にして．花も早く且つ往々珍らしき變種を得るを以て．同好者間には此法亦盛に行はる。即ち花後成熟したる種子を採取し．砂に混じ．9 月頃に至りて砂勝ちの輕き土を盛りたる苗床に播種す。（暖地にありての苗床は畑地にて差支なきも．稍寒地にありては．鉢蒔又は「フレーム」內の苗床を良とす）

鉢蒔の場合には．播種後 1 回灌水したる後．鉢の上を紙にて覆ひ．之れを「フレーム」內に入れて．日光の直射を避くべし。斯くするときは數日にして發芽するを以て．發芽後は可成日光に當て．晝間は障子又は紙をとり．夜間は蓆・莚等を覆ひて溫度を保たしめ．亦絕えず水の切れざる樣に保護するときは．翌春末に至れば開花し初むれども．6 月頃に至れば球莖も生育し．且つ十分なる花を見るに至る。凋花・凋葉後は球を掘り上げ．次の鉢植用に供するものとす。

6222. フリージャ・レフラクタ・ピューリティー…アヤメ科
Freesia refracta, Klatt. var. *purity*, Hort.

〔形態〕本種は前種アサギズキセンの一園藝變種にして．米國「ロングアイランド」に於て育成せられたるものなり。種形・性狀等總べてアサギズキセンに酷似すれども．本種は純白・大輪のフリージャとして最も優れたる品種にして．他の白色種なるアルバ種にありては．花瓣內の黃斑を殘留し．且つ强き日光を受くるときは．淺葱色に染むるを普通とすれども．本種は如何なる場所に栽培するも．純白色を保つの特徵を有する種類なり。〔花色〕純白色。〔花候〕春。（栽培種）

6223. フリージャ・アームストロンギー……アヤメ科
Freesia Armstorongii, W. Wats. （17 圖版-156）

〔形態〕本種は現今に於ける赤花系フリージャの原種とも見らるべき南亞弗利加「ヒューマンス・ドロップ」附近に於て初めて發見せられたるものなり。形態・性狀等亦アサギズキセンに似たれども．花は紅色を呈する種類なり。〔花色〕紅色。〔花候〕春。〔原產地〕南亞弗利加。

8. タウシャウブ屬 GLADIOLUS.

6224. タウシャウブ 唐菖蒲・流星花（17 圖版-157）アヤメ科
Gladiolus gandavensis, Houtt.

（異名）ナーガルブルーム 〔形態〕外來の觀賞用として栽培せらるゝ半耐冬性の多年生草本にして．現時に於ける幾多の優良品種の殆んど原種と見らるべきものなり。地下には稍扁平なる球根を有し．其下部より肉質の眞根を出す。此の球根は自己の任務を終るに至れば萎縮し．其上に同大の新球數箇を生じ．尙數多の子球を附屬す。葉は菖蒲に似て．長さ 60-90 糎（2-3 尺）．幅 3 糎（1 寸）內外の劍形にして 2 列に叢生す。夏日葉間に葉より長き花莖を抽出し．上部に長き穗狀花序をなして．鮮赤色に黃采を有する多數の花を．下部より上部に順次開花す。花被は膨らみたる不齊漏斗狀筒形をなし．花被片は長橢圓形・鈍頭或は鋭頭にして．上方の 3 片は下方の 3 片より突出す。雄蕊は 3 箇を有して花被筒に着生し．花柱は長く．柱頭は 3 箇を有す。子房は 3 室にして．花後 3 殼を有する長橢圓形の蒴果を結ぶ。〔花色〕鮮赤色。〔花候〕夏。〔原產地〕亞弗利加（ケープタウン地方）。

人生との關係 普通グラジオラスとして知られ．庭園に栽培し．觀賞用又切花用として愛玩せらる。

タウシャウブの繁殖と栽培法

繁殖法

本種も亦球根なるを以て．繁殖には子球による法と播種法によるの 2 法あり。

（1）**子球による法** 本種は前にも述べたるが如く．親球の上に新球を生ずるものなるを以て．其の新球を取り放ち．親球大のものは 1 球づゝを植ゑ付くるときは．翌年に至りて親球と同樣の開花を見るを得べく．亦周圍に着生せる約大豆大の小球も．種子によりて育成せる小球と同じ操作によりて植込をなすものとす。

（2）**種子による法** 成熟したる種子を採取し．直ちに之を播種す。採取後直ちに播種するときは．發芽歩合最も良好なり。

播種床には砂勝の土を入れて．其上に種子を蒔き．冬季は霜除を施す。葉は冬季に凋萎するも．翌年に至れば再び發生するを以て．其儘に 1 箇年間生長せしめ其間 2-3 回薄き液肥を施し．又除草等の手ぃをなすときは．秋末に至りて大豆大の小球を生ずるを以て．之を植ゑ付くるときは．早きは 2-3 年．遲くも 3-4 年にして．開花するものなり。

栽培法

本種は半耐冬性にして．性强健・病虫害に對する抵抗力强く．且つ土質を選ばざれば．栽培極めて容易なり。然れども栽培の效果を收めんとするには．可成排水よき肥沃の砂質壤土を選ばざるべからず。

次に植込みは通常 3-4 月に之を行ふものなれば．其以前によく深耕し．其上に馬糞或は厩肥に．1 割內外の油粕を混じ．堆積腐熟せしめたるものを撒き込み．十數日を經たる後．其上に砂又は普通土を薄く被土し．球根を並べて後 9 糎（3 寸）許覆土す。斯くするときは 4 月に植込みたるものは．7-8 月頃に至り．又早きものは 5-6 月頃開花し初むるものなり。

普通の土質にありては．別に施肥の要なけれども．萠芽時と終花時に於て．極めて稀薄なる人糞尿或は油粕の腐汁を施すときは．美花を促し．新球を充實して．翌年の開花に好結果を見らるべきなり。尙花後莖葉の黃色を呈するに至れば之を切りとり．球を掘り上げて舊球を捨て．子球を分離して乾燥・貯藏し．次回の植付に供するものとす。

病菌と防除法

本植物の病氣としては．葉及葉柄に黑色の斑點を現はし．後には此の病斑中より黑色粉末を出し．漸次蔓延するに至れば．終に葉は萎凋し．花亦開かざるに至るものなり。之れ「ウロシスチス・グラヂオリー」菌の空氣傳染によりて傳播せるによるものなり。之れが防除法としては（1）6 匁式銅石鹼液・アンモニヤ・ボルドー液又は炭酸アンモニヤ液を撒布したる後．葉の表に汚點を殘さゞる程度迄充分に清澄したるものを時々撒布すること。（2）病菌に犯されたる葉は．摘みとりて之を燒棄すること等なり。

6225. ヒナタウシャウブ （17 圖版-158）……アヤメ科
Gladiolus Colvillei, Sweet.

〔形態〕一般に栽培せらるゝグラジオラスには．夏咲の大輪種と秋植の早咲種との 2 系統ありて．尙早咲種に對し．園藝上にては之をコルビリイ種（G. colvillei）とナナス種（G. nanus）との 2 種に區別せられ．本種は其前者に屬するものなり。花穗は短く．花瓣は橢圓形にして先端尖り．美しき紅色を呈し．下部の花瓣は基脚より先端に亙りて縞を有するものなれども．又本種より育成せられたる幾多の變種を有するを以て．必ずしも一定せざるものとす。〔花色〕紅色。（栽培種）

9. イキシャ屬 IXIA.

6226. モンイキシャ （17 圖版-159）……アヤメ科
Ixia maculata, L.

（英名）クリムソンカップ・イキシャ（Crimson cup Ixia） 〔形態〕牧野博士のヤリズキセンの和名を附せられたる．秋植球根の一種にして．地下に平行纖維を以て被はれたる球狀の球莖を有し．莖は瘠長にして單生或は分枝し．高さ 30 糎（1 尺）內外に達す。葉は細長き劍形にして互生し．肋脈を有する平行脈を具へ．通常 4 葉を 2 縱列に排列し．長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許に達す。4 5 月の候．6 花瓣よりなる黃色にして．花喉に暗紫色の斑點を有する多數の密花を直立せる花莖の上に穗狀花序に排列す。花被は杯形をなし．花筒は薄くして細長く．花被片は長橢圓形・鈍頭をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕春。〔原產地〕亞弗利加。

人生との關係 觀賞用又は切花用として栽培愛玩せらる。園藝變種多し。

10. イボクサアヤメ屬 LIBERTIA.

6227. イボクサアヤメ （白圖-79）……アヤメ科
Lbiertia formosa, Grah.

〔形態〕外來の觀賞用多年生草本にして．地下に塊根を有し．高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達す。葉は剛硬にして跨狀線形をなし．先端尖り．平行脈を有し．2 縱列に排列す。5 月頃より 8 月に亙り葉間に花莖を抽き．イボクサに似て愛らしき白色の花を唇狀をなせる繖形花序に排列す。萼片は長橢圓形にして綠褐色を呈し．花瓣は萼片の倍長ありて倒卵狀楔形をなす。雄蕊は花被の基脚に着生し．花後生ずる蒴は 3 殼を具へ．小球形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕南米（智利）。

人生との關係 庭園に栽培し觀賞に供す。本種は一度植付くるときは．年々宿根より發芽・開花するを以て．植替への必要なく．繁殖は秋季花を終りたる後．親球より子球を分離して植付くるものとす。

11. ニハゼキシャウ屬 SISYRINCHIUM.

79 イボクサアヤメ　　80 ニハゼキシヤウ　　81 ヒメタウシヤウブ　　82 ヒアフギズ井セン

6228. ニハゼキシャウ（白圖-80）…… アヤメ科
Sisyrinchium mucronatum, Michx.

〔形態〕舶來の觀賞用多年生草本にして.庭園に培養せらる。葉はアヤメ・ハナシャウブに似て叢生すれども.彼に比するに頗る小形にして細く.濶く9-12糎(3-4寸)に過ぎず。4-5月の候.葉間より狹き翼を有する花莖を抽きて先端に4-5箇の小葉を着け. 6片の花被よりなれる碧紫色乃至白色の小花を開く。箆狀苞は披針形にして先端尖り.通常紫色を帶び.外苞は基脚抱合す。花被は鐘形をなし.花被片は倒卵形にして.萼は球形なり。〔花色〕碧紫色乃至白色にして紫色の細條あり。〔花候〕春。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　庭園に栽植し愛玩せらる。本種は頗る繁殖力强く. 性質强健なるを以て.一度植附をなすときは.盛に繁殖するものなり。

6229. コバナアヤメ …… アヤメ科
Sisyrinchium iridifolium, H. B. et K.

〔形態〕熱帶原産の觀賞用として栽植せらるゝ多年生草本なり。莖は翼を有し.根生葉は線形・莖葉は劍形をなす。花は通常3箇づゝ箆狀をなせる苞內に包被せられ.花被片は闊卵形にして.淡黃色に褐色線を伴ひ.花後生ずる萼は倒圓錐形をなす。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔原産地〕熱帶亞米利加。

12. スキセンアヤメ屬　SPARAXIS.

6230. スキセンアヤメ（17圖版-160）…… アヤメ科
Sparaxis lineata, Pax.

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして.莖高さ60糎(2尺)餘に達し. 地下に芋塊に似たる橢圓形の塊根を有す。葉は劍形にして長さ12糎(4寸)許. 中肋は最も顯著にしてアヤメの葉に類似す。3-4月の候.花莖を抽きて數葉を互生し.上部に十餘花を着生して.穗狀花序に排列し.花序は偏側生なり。花は箆狀苞1箇を有し.花被は淡黃色にして.中に紫褐色の條脈を有し.形鐘狀をなす。雄蕊は3箇を具へ.子房は3稜を有する橢圓形にして3室を具へ.柱頭は3岐して先端反捲す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕春。〔原産地〕亞弗利加(喜望峰地方)。

人生との關係　庭園に培養し觀賞に供す。本植物は寒地にありても僅に霜雪の防護をなすときは.冬期間と雖も凋萎せざるものなり。

13. トラユリ屬　TIGRIDIA.

6231. トラユリ（17圖版-161）…… アヤメ科
Tigridia pavonia, Ker.

（異名）トラフユリ・チグリジャ　〔形態〕外來の多年生草本にして. 莖高さ30-60糎(1-2尺)に達し.葉は互生し. 劍狀にして細長く平行脈を有す。7月より9月頃に至るまで花莖の上部に3箇づゝ集りて花を生じ.1-2箇の大形なる箆狀苞を有することアヤメに相似たり。萼片は倒卵形にして舷部は鮮赤色をなし.爪部は紫赤色の斑點を有す。花冠は萼片より短く.舷部は卵形・鋭頭にして.橙黃色の斑點を密布す。雄蕊は3箇を具へ.花絲は筒狀に癒着す。子房は3室を具へ.花柱は3岐して著しく長く突出し. 先端更に2岐す。〔花色〕赤色(橙黃色-紫赤色斑點)。〔花候〕夏。〔原産地〕北米「メキシコ」・中央亞米利加・南亞米利加。

人生との關係　觀賞用として. 鉢植又は庭園等に栽培し愛玩せらる。本植物は元來熱帶産のものなれば.寒氣に弱く.從つて花壇作りには相當の防寒設備を要すれども.鉢仕立なれば. 冬季「フレーム」又は溫室の中にて培養するを安全とす。繁殖は實生及株分により.播種は4月の候.株分は9月頃を適期とす。

14. ヒメタウシャウブ屬　TRITONIA.

6232. ヒメタウシャウブ（白圖-81）…… アヤメ科
Tritonia Pottsii, Benth. et Hook. f.

〔形態〕本種も亦外來の多年生園藝草本なれども.未だ普く其栽培の普及せざる種類なり。莖高さ60-75糎(2-2·5尺)許に達し.葉は硬質にして劍狀をなし.先端尖り. 平行脈を有して2縱列に排列す。6-7月の候. 莖上細枝を分ち. 鮮黃色にして赤采を伴へる花を穗狀樣總狀花序に排列す。花梗2糎(6分)內外を有し.花筒は漏斗形にして.花被は十分に展開せざるを特徵とす。裂片は不等長橢圓形にして.雄蕊は舷部より短小なり。〔花色〕鮮黃色にして赤采を伴ふ。〔花候〕夏。〔原産地〕南部亞弗利加。

人生との關係　園藝上にては普通モントブレチア(Montbretia)と呼稱せるものにして.夏季の切花及花壇植として栽培せらる。

6233. ヒメヒアフギズキセン（17圖版-162）…… アヤメ科
Tritonia crocosmaeflora, Lem.

（異名）モントブチア　〔形態〕前種ヒメタウシャウブに近似せる外來の多年生園藝草本にして. 莖高さ60-90糎(2-3尺)に達し. 劍形の葉を互生す。夏日莖上2-3の小枝を岐ち. 多數の花を穗狀に綴り. 花序は偏側生なり。花は前種の十分に展開せざるに反し. 本花は十分に展開するを異りとし.花筒は狹長なり。〔花色〕橙赤色。〔花候〕夏。〔原産地〕亞弗利加。

人生との關係　花壇・池邊等に植込み. 又鉢植或は切花用として. 各地に栽培せらる。性强健なれば.栽培容易なり。

15. ヒアフギズキセン屬　WATSONIA.

6234. ヒアフギズキセン（白圖-82）…… アヤメ科
Watsonia angusta, Ker.

〔形態〕本種も亦近時の舶載にかゝる多年生草本にして.春日宿根より多數の葉を叢生す。葉は硬質・狹長にして梳形アヤメに相似たり。初夏葉間に高さ60-90糎(2-3尺)許ある花莖を抽き.莖上2-3の小枝を岐ち.黃赤色乃至緋紅色を呈する12-20花を疎なる穗狀花序に綴る。箆狀苞は披針形をなし.花被は漏斗形にして.筒部は稍彎曲す。雄蕊は2箇を具へて花筒に癒着し.花柱は花被片と同長.子房は3室を有し.花後生ずる萼は球形をなす。〔花色〕黃赤色或は緋紅色。〔花候〕夏。〔原産地〕南部亞弗利加。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

6235. シロヒアフギズキセン（17圖版-163）　アヤメ科
Watsonia iridifolia, Ker-Gawl. var. *O' Brienii*, N. E. Br.

(英名) ホワイト・ワットソニア (White Watsonia)　〔形態〕グラジオラスに似たる熱帶產の多年生園藝草本にして，地下に球根を具へ，葉は革質にして光澤を有し，且つ其幅廣きことゝは，彼と異る所なりとす。花赤種々の色彩を有し，雌蕊の先端3裂せるは彼と同樣なれども，本種の雌蕊は其先端更に2叉して6箇を有するを異りとす。〔花色〕種々。〔花候〕4-5月。〔原產地〕南部亞弗利加。

人生との關係　本種は秋植球根にして，觀賞用として栽培せらる。大體早咲グラジオラスに準じて可なり。東京の露地にては冬季地上部に相當する霜除を要す。

*　　*　　*
*　　*

2. やまのいも (薯蕷) 科 DIOSCOREACEÆ.

本科の植物は通常草本稀に灌木にして，塊狀の根莖を有し，纏繞性の莖を生ず。葉は單葉にして心臟形の基部を有し，三角形又は掌狀に分裂し，網狀脈ありて，互生或は對生す。花は整齊にして通常單性稀に兩性をなし，花序は總狀・穗狀或は圓錐花序をなす。花被は苞樣なるか或は花冠樣をなし，6箇の結合せる片より成り，2層に排列す。雄花は6箇の雄蕊を有し，凡て花粉を生ずるか或は內側の3箇は花粉を生ぜざるものあり。雌花は1箇の子房を有し，下位にして3室稀に1室を有し，各室に1箇稀に多數の倒生卵子を藏す。花柱は3箇ありて2分するか或は分裂せず。果實は蒴或は漿果にして種子は胚乳を含む。

83 やまのいも

本科には凡9屬，650種の植物を含有し，主として溫帶・熱帶地方に分布す。本邦には自生し又栽培せらるゝもの2屬，33種を產す。

本科所載植物名目次

イガイモ……6240
イチネンイモ……6243
イテフイモ……6242
ウチハドコロ……6246
ウチハドコロ……6251
エドイモ……6243
ヱドドコロ……6249
オニドコロ……6248
オホニガイモ……6251
カリモリドコロ……6246
カシユウイモ……6252
カヘデドコロ……6250
キイルンヤマノイモ……6237
キクバドコロ……6247
キクバドコロ……6250
キネイモ……6241
キンチヤクイモ……6240
グンバイドコロ……6244
ケイモ……6252
コバンドコロ……6251
コブシイモ……6239
ジネンジヤウ……6236
ゼンブ……6252
ダイコクイモ……6240
ダイジヨ……6244
タチドコロ……6245
ツクイモ……6239
ツクネイモ……6239
ツルカメサウ……6254
トイモ……6240
ナガイモ……6238
ナガドコロ……6248
ナリイモ……6252
ニガガシユウ……6253
ヒメドコロ……6249
ベンケイイモ……6252
マルドコロ……6253
マルバドコロ……6253
ミツバドコロ……6251
モミヂドコロ……6247
ヤマノイモ……6236
ラクダイモ……6243

1. ヤマノイモ屬 DIOSCOREA.

6236. **やまのいも**　薯蕷・野山藥　(白圖-83)　‥ヤマノイモ科
Dioscorea japonica, *Thunb.*

(異名) じねんじゃう　〔形態〕山地に自生する多年生の蔓性草本にして，莖は細く左卷をなして他物に卷絡す。地下には長柱形にして，肥厚せる塊根を有し，長さ1·5-1·8米(5-6尺)に達す。葉は長心臟形をなして尖り，長柄によりて對生し滑澤なり。葉腋に肉芽を生じムカゴと稱す。7-8月の候，葉腋に穗狀をなし，淡黃綠白色の單性花を雌雄異株に生ず。果實は翼果にして3箇の翅を有し，房狀をなして下垂す。〔花色〕淡黃綠白色。

〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州・臺灣。

人生との關係　塊根を食用及藥用に供す。主としてトロヽの材料として用ひられ，また煮食・蒸食すべく或は乾燥して粉末となし，又料理材料・菓子材料又は「ハンペン」・「カマボコ」の料に供せらる。藥效としては，(1) 本植物の塊根を乾燥して煎服すれば，盜汗・健胃に效あり。(2) 生根を摺り卸して凍傷・火傷・乳腫・疼痛等の患部に塗布すれば效あり。(3) 塊根を生食すれば，調痢劑・利尿劑・祛痰劑等に效あり。(4) 腫物或は炙跡等に生根を卸し，白蕊を混じて紙にのべ，局部に貼布すれば，內部の膿毒を早期に吸出すの效ありと云ふ。

薯蕷は味淡泊にして粘氣あり，滋養に富むを以て用途廣きものなり，以下料理法の2-3につき少しく記述すべし。

(1) 薯蕷汁　薯蕷をよく洗ひ皮をむき，山葵卸しにて擂り卸して擂鉢にてすり，雞卵を入れて又擂りたる中に，煮汁を少しづゝ垂しては擂り，充分に擂れたる後，青海苔等をかけて食す。醬油の煮汁の代りに味噌汁を用ふるも可なり。

(2) おし長薯　薯蕷を茹でて之を押潰し，甘くして鹽氣を含む樣に砂糖と食鹽とを加へ，四角なる器に入れ，板にて押しかため，適宜に切りて食す。

(3) 薯水團　薯蕷を擂り卸し，汁を煮立たる中に少しづゝ入れて浮き上るをまちて取り上げ，椀盛等の種等に用ふ。味佳なり。

(4) 薯糝薯 (イモシンジヨ)　薯蕷を擂り卸し之に豆腐をすり交ぜ茹でゝ食用に供すると云ふ。或は豆腐と擂り合す外に「メリケン」粉を少量に加へ，金杓子にて掏ひ切りつゝ沸湯中に入れ，浮き上るまで煮沸し，後之にミツバ・ハツタケ等を入れ味噌汁となして食用に供す。

(5) 薯蕷かまぼこ　薯蕷を茹で，裏漉にかけ，之に「メリケン」粉を加へ，食鹽砂糖及味醂等を加へて味をつけ，通常の蒲鉾の如く板に付け竹の皮に包み，茹で上ぐるものなり。

6237. **きいるんやまのいも**　(18圖版-164)　‥ヤマノイモ科
Dioscorea japonica, *Thunb.* var. kelungensis, *Prain.* te *Burkill.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして，葉は長さ6-9糎(2-3寸)許を有し，紙樣・膜質の三角狀卵形にして，尾狀尖頭をなし，基脚耳形を呈す。夏日葉腋に花梗を出し，雌雄同株なり。雄性穗狀花序は輪生し，苞は三角形・凸頭をなし，花柱は球形にして徑6糎(2寸)許を有す。花被は6片より成りて赤點を配し，外3片は大きく，圓長橢圓形をなし，內片は小形なり。雄蕊は6箇を有し，葯は附屬體を有せず。蒴はヤマノイモに比するに遙かに大形なり。〔分布〕臺灣。

84 ながいも　　85 つくねいも

6238. **ながいも**　家山藥・長薯　(白圖-84)　‥‥ヤマノイモ科
Dioscorea Batatas, *Decne.* forma typica, *Makino.*

〔形態〕本種は野生ヤマノイモを，埼玉縣北足立郡大砂土村に於て改良したる一栽培種なり。地下の塊根は其の生育極めて遲く，收穫迄に數年を要すと云ふ。野生種に比するに，塊根は肥大し，外皮は暗褐色を呈し，長さ0·9-1·2米(3-4尺)に達す。莖は細長くして他物に纏絡し，葉は對生にして，葉柄及葉脈は紫色を帶び，葉身は長心臟形にして先端尖り，底耳往々突出す。7-8月の候，穗狀をなして，淡綠白色の單性花を腋出し，雌雄異株なり。

〔花色〕淡綠白色。〔花候〕夏。(栽培種)

人生との關係　本種の塊根は肉質緻密・味淡泊にして．粘氣强く．薯積汁となすに最も適し．其他用途ヤマノイモに同じ。薯の生育は極めて遲き缺點あれども．收量多く．優良の品種なり。

6239. **つくねいも**（白圖-85）……ヤマノイモ科
Dioscorea Batatas, *Decne.* forma Tsukune, *Makino.*

（異名）つくいも・こぶしいも　〔形態〕本種はナガイモを園圃にて培養したる一品種にして．塊根は掌を握れるが如く或は老生薑の如くにして徑21-24糎（7-8寸）許に達し．其質緻密にして．粘氣多き種類なり。
〔花候〕夏。（栽培種）

人生との關係　前種ナガイモに同じ。

6240. だいこくいも　伊賀薯・大黑薯・巾着薯　‥ヤマノイモ科
Dioscorea Batatas, *Decne.* forma Daikoku, *Makino.*

（異名）といも・いがいも・きんちゃくいも　〔形態〕本種も亦ナガイモの一栽培品種にして．三重縣多氣郡多氣村の產なり。塊根は不規則なる團塊狀をなせども大形ならず。外皮は黑褐色にして平滑なり。尙本種には芽を生ぜざるものなり。（栽培種）

人生との關係　ナガイモに同じ．本種は外觀貧弱なれども．肉質緻密にして粘氣强く．品質極めて優良種なり。近年各地に栽培せられ．比較的手數を要せず．收益多き有望の品種なり。

6241. きねいも　……ヤマノイモ科
Dioscorea Batatas, *Decne.* forma clavata, *Makino.*

〔形態〕本種も亦ナガイモの一品種にして．塊根の最も肥大にして長さ30糎（1尺）餘に達するものなり。（栽培種）

人生との關係　ナガイモに同じ。

6242. いてふいも　銀杏薯・扇子薯・鴨脚　……ヤマノイモ科
Dioscorea Batatas, *Decne.* forma flabellata, *Makino.*

〔形態〕本種も亦ナガイモの栽培品種にして．地方によりヤマトイモ・アフギイモとも稱し．關西地方殊に奈良縣地方に多く栽培せらる。塊根は三角狀扇形にして短大．表面に褶曲を有し．恰も扇面を擴げたるに似たり。肉質緻密にして粘氣强く．優良の一品種なり。（栽培種）

人生との關係　ナガイモに同じ。

6243. えどいも　……ヤマノイモ科
Dioscorea Batatas, *Decne.* forma Rakuda, *Makino.*

（異名）いちねんいも・らくだいも　〔形態〕ナガイモの一栽培品種にして．塊根は彼に似て棒狀をなせども．稍短く外皮は淡褐色なり。生育はナガイモに比して頗る早く．一箇年を經過せば．全成に達すれども．長さ漸く75糎（2·5尺）內外に過ぎず。且つ其質鬆疎にして．水分多く粘氣に乏しく．外觀美なれども．品位は遙かに彼に劣れるものなり。（栽培種）

人生との關係　ナガイモに同じ。

6244. **だいじょ**（18圖版-165）……ヤマノイモ科
Dioscorea alata, *L.*

（異名）ぐんばいどころ　〔形態〕臺灣に自生する多年生草本にして．地下に巨大なる根を有し．莖又粗大にして時に塊狀を呈し．又鋸稜或は有翼なり。葉は往々有翼の葉柄を具へ．葉身は略戟形狀或は深心臟狀圓形をなし．5-7脈を具へ稍顯著なり。花は穗狀花序に排列し．花後廣倒心臟形にして徑約3糎（1寸）許ある革質の蒴果を結ぶ。〔分布〕臺灣。

6245. **たちどころ**（18圖版-166）……ヤマノイモ科
Dioscorea gracillima, *Miq.*

〔形態〕山地に自生する上昇性多年生草本なり。莖は强硬にして殆んど直立すれども．上方に至るに從ひ．漸次蔓狀をなして他物に纏絡す。葉は細長き葉柄を具へて互生し．葉身は心臟形にして先端銳く．緣邊皺曲し．底耳は廣大。5月頃葉腋より淡黃色を呈する花を穗狀花序に排列し．花被片は長橢圓形にして．花柱は3箇を具へ．柱頭は分岐せず。花後生ずる果實は蒴にして．圓形・微凹頭をなす。〔花色〕淡黃色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部。

6246. **うちはどころ**（18圖版-167）……ヤマノイモ科
Dioscorea nipponica, *Makino.*

（異名）かうもりどころ　〔形態〕到る處の山地・河邊に自生多き多年生草本にして．根莖は圓柱形をなして肥厚し．莖は細長く蔓性をなして他物に纏繞す。葉は長柄によりて互生し．葉身は圓形にして．通常掌狀に5-11淺裂し．基脚心臟形をなす。中裂片は最も大きく．肋脈は莖と共に毛茸を布く8月頃小形の綠色單性花を疎穗狀花序に綴る。雄花の花被は鐘形にして6裂し．雄蕊は6箇を具へて花被片より短く．雌花も亦花被片6箇を有し．花柱は1箇にして．3箇の柱頭を具ふ。花後生ずる果實は長橢圓形の蒴にして3箇の翅を具へ．頂端は凹頭をなす。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州。

6247. **きくばどころ**（18圖版-168）……ヤマノイモ科
Dioscorea septemloba, *Thunb.*

（異名）もみぢどころ　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして．莖は纏繞性を有して上昇す。葉は長柄を具へ．心臟狀圓形にして通常7中裂をなす。各裂片は概ね銳尖頭・皺緣をなし．無毛にして形稍キクの葉に似たり。夏日葉腋に單性花を穗狀に綴り．雄花穗は多くの枝を分つ。花後稍圓形にして．凹頭をなせる蒴を結ぶ。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

6248. **おにどころ**　山草薢（18圖版-169）‥ヤマノイモ科
Dioscorea Tokoro, *Makino.*

（異名）ながどころ　〔形態〕山野に自生する蔓性の多年生草本にして根莖は横に擴がる。莖葉共にヤマノイモに似たれども．本種の莖は右卷にして．他物に纏繞・上昇し．葉は通常幅廣く．基脚心臟形の凹入稍淺く且つ彼の對生なるに比し．互生なるは其識別の要點なり。雌雄異株なり。7月頃．淡黃綠色6瓣の單性花を腋出し．雄花は單生又は分枝せざる總狀花序に．雌花は單生又は分枝せざる穗狀花序に排列す。雌雄花共に花被は6裂し．各裂片は長橢圓形にして．雄花は雄蕊6箇を有し．假花柱は極めて小さく3起す雌花の花柱は3岐して平開す。子房は下位にして3稜狀圓柱形をなし．細小なる6箇の假雄蕊を伴ふ。花後3翼を有し．凹頭・圓脚の蒴を結ぶ。
〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

6249. **ひめどころ**　佛掌薯（18圖版-170）‥ヤマノイモ科
Dioscorea tenuipes, *Franch.* et *Sav.*

（異名）えどどころ　〔形態〕山地に自生する上昇性多年生草本にして地下に扁平多肉の塊莖を生ず。葉は長き葉柄によりて對生し．披針形或は卵狀披針形にして．尾狀尖頭・基脚心臟形をなし．下面粉白を布き．葉柄の基脚に刺狀2突起を有し．葉腋に肉芽を生ず。夏日雄花は總狀花序に．雌花は穗狀花序をなして深綠色の單性花を着生す。花被片は圓柱狀長橢圓形にして．柱頭は分岐せず。花後生ずる果實は圓形にして微凹頭をなせる蒴なり。
〔花色〕深綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

6250. かへでどころ　……ヤマノイモ科
Dioscorea quinqueloba, *Thunb.*

（異名）きくばどころ　〔形態〕山地に自生する多年生の攀昇性草本にして．莖は細長く．他物に纏絡上昇す。葉は柄脚に小突起を有する長柄によりて互生し．概ね掌狀に5-7中裂し．形狀恰もモミヂの葉に似たり。中裂片は最も大きく先端尖り．他片は銳頭をなし．緣邊に細小なる凹凸を有し．下面脈上に短毛を布く。夏日黃色小形の單性花を．雄花は總狀花序に．雌花は穗狀花序に排列す。花被片は橢圓形にして．柱頭は各2岐し．花後生ずる蒴は倒心臟形をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

6251. **こばんどころ**（18圖版-171）……ヤマノイモ科
Dioscorea triphylla, *L.* var. reticulata, *Prain* et *Burkill.*

（異名）うちはどころ・みつばどころ・おほにがいも　〔形態〕暖地の山野に自生する多年生草本にして．地下に塊狀をなせる根を有す。莖は蔓狀を呈し．稍棘刺を生ず。葉は長柄を有する3出複葉にして．各小葉亦葉柄を具へ．薄膜質・廣楔形狀倒卵形にして．先端尾狀に尖り．下面細網膜を有し長さ12-15糎（4-5寸）に達す。花は單性にして．雄穗は多くの枝を岐ちて密花を撒簇し．雌穗は單生して疎なり。苞は花より短く．萼は圓卵形をなし．花瓣は萼片より長く內捲す。花後紡錐形・圓頭・圓脚にして毳毛を布ける蒴を結ぶ。〔分布〕臺灣。

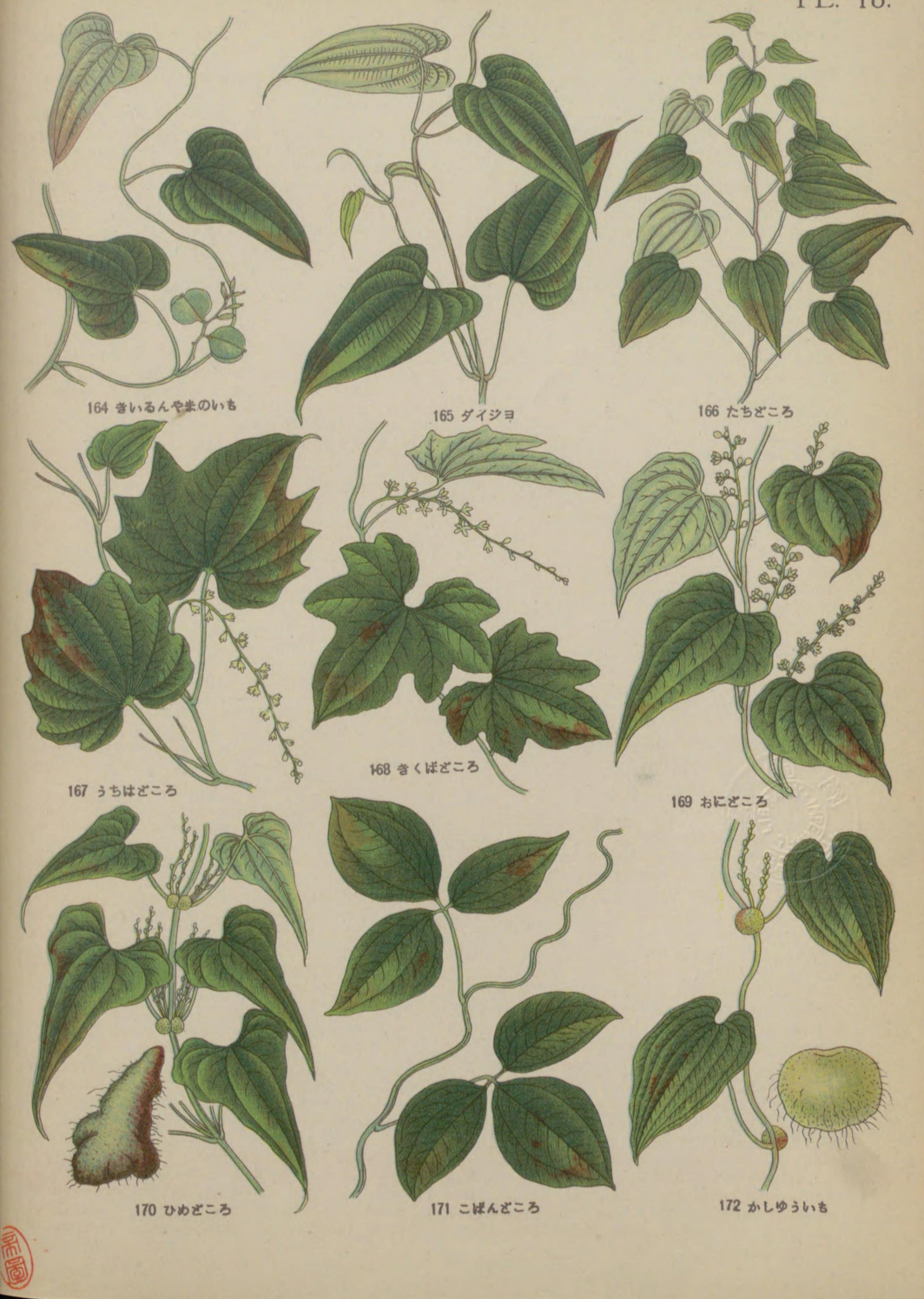
6252. **かしゅういも**（18圖版-172）……ヤマノイモ科
Dioscorea Bulbifera, *L.* forma domestica, (*Makino.*)

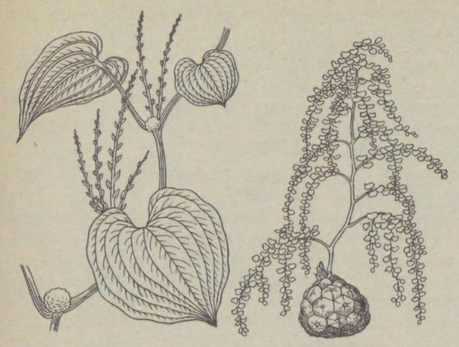
（異名）けいも・べんけいいも・なりいも・ぜんぶ　〔形態〕本種はニガガシュウの栽培品種にして．概形凡て彼に同じけれども．本種の花は稍淡黃綠色を呈すること及地下の塊根は苦味を有せず．零餘子と共に食用に供せらるゝを異る所なりとす。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

人生との關係　塊根及ムカゴは食用に供せらる。

6253. **にががしゅう**　川草（白圖-86）‥‥ヤマノイモ科
Dioscorea Bulbifera, *L.* forma spontanea, (*Makino.*)

（異名）まるばどころ・まるどころ　〔形態〕本州中部以南の山麓・河岸林叢等に自生する多年生草本にして．塊根は球形・豐大す。莖は細長にして蔓狀をなして他物に纏絡上昇す。葉は長き葉柄を有して互生し．心臟形・全





86 にががしゆう　　87 ツルカメサウ

緣にして先端急に尖り，基脚深心臟形をなし，葉腋には球形にして，多數の疣狀突起を有するムカゴを生ず。塊根と共に苦味を帶び食に堪へず。7–8月の候，白色小形の單性花を腋出し，穗狀花序をなす。雄花は白色，既にして紫色に變じ，披針形の3萼片と細長披針形の3花瓣並に6箇の雄蕊とを具へ，雌花は狹長披針形の6花被片と花被片より遙かに短き3箇の花柱とを具へ，柱頭は2岐す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球・臺灣。

2. ツルカメサウ屬 TESTUDINARIA.

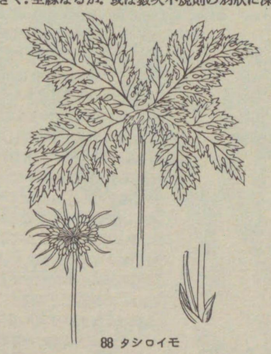
6254. **ツルカメサウ** （白圖-87） ……ヤマノイモ科
Testudinaria Elephantipes. Burch.

〔形態〕外來の多年生草本にして，根莖は稍球形をなして半ば地上に現はれ之より地上莖を生ず。莖は徑30–90糎（1–3尺）許を有し，稍蔓性をなして3米（10尺）内外の高さに達し，葉は心臟形にして互生し全緣なり。花は小さく黄綠色又は白色にして，腋出せる總狀花序に排列し，雌雄異株なり。雄花の花被は廣鐘形にして6裂し，中に6雄蕊と不完全なる花柱とを具へ，雌花の花被裂片は小形にして，中に細小なる假雄蕊を具へ，子房は3室を有す。蒴は3稜を具へ，稜角は翼狀をなす。〔花色〕黄綠色。〔原産地〕南部亞弗利加。

＊　＊　＊　＊　＊

3. たしろいも（田代薯）科 TACCACEÆ.

本科の植物は多年生草本にして，其塊莖は澱粉を多く含有す。葉は形大きく，全緣なるか，或は數次不規則の羽狀に深裂し，地下より生ず。花は整齊3數性の兩性花にして，無葉の莖上に假繖形花序をなし，多數の長き小苞を伴ふ。花被葉は同質・大形にして，6箇の片より成り2層に排列す。雄蕊は6箇を有し，凹形乃至僧帽狀を呈し，內向の葯を具ふ。子房は下位にして1室を有し，多數の倒生又は半倒生卵子を藏す。花柱は6箇の花冠狀裂片をなして短し。果實は蒴又は漿果にして，種子は胚乳を含有す。



88 タシロイモ

本科には2屬，凡18種の植物を含有し，主に熱帶地方に分布す。我國には自生するものなく，栽培種として1屬，1種を產するに過ぎず。

1. タシロイモ屬 TACCA.

6255. **タシロイモ** 田代薯 （白圖-88） ……タシロイモ科
Tacca pinnatifida, Forst.

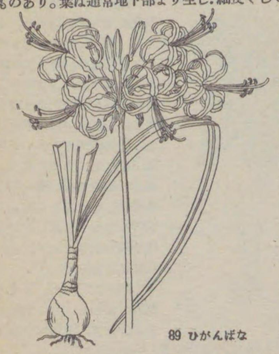
〔形態〕舊熱帶原產の多年生草本なれども，澱粉採取の爲め臺灣地方にては栽培せらる。莖高さ60糎（2尺）以上に達し，地下に徑30糎（1尺）許ある球形の塊莖を有す。葉は長柄を有し，大形にして，通常3裂し，各部は更に不整齊羽狀に深裂し，或は基脚羽狀複葉をなす。花莖は鋭尖にして10–40花の多數を點頭し，帶綠色を呈す。總苞葉は4–12箇を有し，披針形にして紫條を伴ひ，反捲し，花間には多數の絲狀苞を有す。花被は6裂し，裂片は肉質にして紫緣をなす。果實は黄色・球形の漿果にして6肋を有し，鳩卵大なり。〔花色〕帶綠色。〔原產地〕亞細亞南部・濠太利亞。

人生との關係　塊莖は多量の澱粉を含有するを以て，臺灣にては栽培せらる。此澱粉粒は全植物澱粉中最小なるものなりと云ふ。

＊　＊　＊　＊　＊

4. ひがんばな(石蒜)科
AMARYLLIDACEÆ.

本科の植物は通常多年生草本にして,鱗莖又は根莖を有し,稀に木本なるものあり。葉は通常地下部より生じ,細長くして全緣稀に鋸齒を有す。花は兩性にして,整齊又は不整齊をなし,萼と花冠との區別なく,皆花冠狀を呈し,內外3枚づゝの花被より成る花序は1箇の花より成るか或は總狀・繖形・穗狀若しくは圓錐花序をなす。雄蕊は通常6箇稀に多數ありて內外2輪をなし,各3箇より成り,稀に1部假雄蕊をなし,葯は概ね內向し,多くの種類にありては,雄蕊の基部に托葉狀の附屬物を有し結合して副花冠を形成す。心皮は3箇ありて互に癒合して1箇の下位稀に半下位の子房を作り,通常3室稀に1室を有し,多數稀に少數の倒生胚子を2列に着生し,花柱は單體をなす。果實は房裂性蒴果又は漿果にして,多くは少數の種子を藏し,種子は胚乳を含む。


89 ひがんばな

本科は71屬,凡800種の植物より成り,其多數は熱帶及亞熱帶地方に自生す。本邦に自生し,或は栽培せらるゝものは凡20屬,50種あり。

本科所載植物索引目次

アヲノリユウゼフラン6270
アカバナクンレラン…6277
アサギノヒトヘスキセン……6267
アマゾンリリー……6283
アマリリス……6275
アマリリス……6287
イキシオリリオン・モンタヌム……6208
イトザキズキセン……6262
インドハマユウ……6280
ヴアロタ・アルブレア 6293
オホキンバイザサ……6282
オホセンバウ……6282
オホバセンバウ……6282
オホバナクンシラン…6277
オホマツユキサウ……6285
オランダズキセン……6291
カンランズキセン……6269
キズキセン……6268
キツネノカミソリ……6259
ギバウシズキセン……6283
キバナユリズキセン…6274
キンバイザサ……6281
クチベニズキセン……6264
クンシラン……6276
ゲツカカウ……6291
コキンバイザサ……6289
サイザルアサ……6272
サイザルサウ……6272
ササガニユリ……6297
サフランモドキ……6295
シタマガリ……6256
シビトバナ……6256
ジヤガタラズキセン…6286
ジヤガタラユリ……6286
ショウキラン……6258
シロバナマンジユシヤ……6257
タイワンハマオモト…6279
タマスダレ……6294
ツバメズキセン……6292
テンガイバナ……6256
ナツズキセン……6260
スキセン……6261
ハナラン……6277
ハマオモト……6278
ハマモメン……6278
ハマユウ……6278
バンクラチウム・イリリクム……6296
バンクラチウム・スペシオサム……6297
ヒガンバナ……6256
ヒメヒガンバナ……6290
ベニスヂサンジゴ……6288
ボタンズキセン……6266
ホンシロズキセン……6263
マツノユキ……6284
マツユキサウ……6284
マンジユシヤケ……6256
マンネンラン……6270
ヤヘノラツパズキセン6266
ユキノハナ……6284
ユリズキセン……6273
ラツパズキセン……6265
リュウゼツサウ……6271
リュウゼツラン……6271

1. ヒガンバナ屬 LYCORIS.

6256. **ひがんばな** 石蒜 (白圖-89) …… ヒガンバナ科
Lycoris radiata, *Herb.*

(異名) まんじゅしゃけ・したまがり・しびとばな・てんがいばな

〔形態〕山麓・堤塘・墓地等に多く自生する多年生草本にして,地下に水仙に似たる鱗莖を有す。秋季葉に先立ちて30糎(1尺)許ある花莖を抽き,頂端に赤色の美花數箇を繖形に開く。花蓋は筒狀部短く,長き披針形の6裂片に分れて外反す。雄蕊は6箇を有し,雌蕊の花柱と共に長く花被外に挺出す。花後冬の初に至り,鱗莖より線狀にして濃綠色をなせる葉を簇生し,春に至りて此葉は枯死するに至る。故に葉と花とは各其時季を異にするを以て,一に之をハミズハナミズと稱し,又秋の彼岸頃に開花するを以て,ヒガンバナの名ありと云ふ。有毒植物の一なり。〔花色〕赤色。〔花候〕秋。〔分布〕本州各部・九州・琉球。

人生との關係 本植物は全草に有毒成分を含有するを以て注意を要す。尙藥效として(1)根部を乾燥して粉末となしたるものは吐劑として效あり。(2)又その搾汁は腫物・疥癬・頑癬等の患部に塗布すれば效あり。又粉末を書物箱に散布し,又描畫に際して ニカワ の代用とすれば共に除蟲的效果あるべく,又全草の液汁は之れを壁の中へ塗り込む時は防鼠に效果ありといふ。

6257. しろばなまんじゅしゃけ …… ヒガンバナ科
Lycoris albiflora, *Koidz.*

〔形態〕前種ヒガンバナに比するに,花は小形にして白色を呈し,花被片は稍外反す。雄蕊・花柱共に短く,子房は球狀卵形をなし,3深溝を有するものなり。〔花色〕白色。〔分布〕九州。

6258. **しょうきらん** 忽地笑 (19圖版-173) ‥ヒガンバナ科
Lycoris aurea, *Herb.*

〔形態〕暖地の海濱に自生する多年生草本にして,地下の鱗莖は大きく徑9糎(3寸)內外に達するものあり。葉は劔形をなし,黃綠色にして粉白を裝ひ,長さ60糎(2尺),徑1·2-1·8糎(4-6分)許を有す。花葉時を異にし,花は鮮黃色にして,小梗は短く,花被の筒狀部亦短く,先端線形に6裂して皺縮す。雌雄蕊は共に白色をなし,形ヒガンバナに似て,花被外に長く挺出し,葯は3室を有す。〔花色〕鮮黃色。〔分布〕四國・琉球・臺灣。

6259. **きつねのかみそり** (19圖版-174) ‥‥ヒガンバナ科
Lycoris sanguinea, *Maxim.*

〔形態〕往々山麓・原野に自生する多年生草本にして,略ヒガンバナに類するものなれども,葉は彼に比するに稍幅廣く,且つ長くして白綠色を呈し通常花に先んじて枯死す。5-6月の候,花莖を抽くこと30糎(1尺)許にして,莖頂に黃赤色の4-5花を開き,花被片は彼の如く反捲せず。花柱は雄蕊より稍長けれども,共に彼と異り花被片より挺出せざるを普通とす。本種も亦有毒植物の一なり。〔花色〕黃赤色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

人生との關係 本植物は「リコリン」及「セキサニン」と稱する2種の「アルカロイド」を含有し,成分,性狀等ヒガンバナに同じきものなり。

6260. **なつずゐせん** 鹿葱 (19圖版-175) ‥ ヒガンバナ科
Lycoris squamigera. *Maxim.*

〔形態〕山野に自生品を見れども,多くは庭園等に栽培せらるゝ多年生草本なり。地下の鱗莖は大形にして圓く,葉は花に先ちて春季に萌出し,舌形にして比較的幅廣く,淡綠色を呈す。花莖は單生して高さ60糎(2尺)許に達し,8月頃莖頂に5-6箇の淡紅紫色にして,苞を有する花を繖形花序に排列し,花被筒は裂片部より短し。雄蕊は6箇を有して彎曲し花喉部に著生す。花柱は雄蕊より長く花被頂に挺出す。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

人生との關係 庭園又は鉢植となして栽培し,觀賞に供せらる。尙本植物の鱗莖を摺り卸したる液汁を「ソバカス」・「ニキビ」等の局部に塗布するときは,之を除くに效ありと云ふ。

2. スヰセン屬 NARCISSUS.

6261. **すゐせん** 水仙 (19圖版-176) ‥‥‥ ヒガンバナ科
Narcissus Tazetta, *L.* var. chinensis, *M. Roem.*

〔形態〕往々暖地の海岸近くに自生品を見ることありと雖も,通常觀賞用として庭園等に培養せらるゝ多年生草本なり。地下の鱗莖は卵圓形にして徑2·4-3·6糎(0·8-1·2寸)許を有す。葉は鱗莖より叢生し,狹長なる紐狀線形をなして,平行脈を有し,鈍頭にして粉白を布く。12月乃至1月頃に至り,葉と稍同長なる花莖を抽き,高さ21-30糎(0·7-1尺)許に達し,莖頂に總苞を有する數花を繖形花序に排列し,總苞は膜質・披針形にして筒脚をなす。花は純白色を呈し,內に濃黃色杯狀にして全緣なる副冠を有す。花被筒は3稜狀圓筒形にして6裂し,瓣部は平開す。雄蕊は6箇を具へて花筒の上部に着生し,子房は楕圓形にして3室を具へ,柱頭は稍3岐す。〔花色〕純白色。〔花候〕1-2月。〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球。

人生との關係 早春已に花蕾を出し,白色にして佳香を有する愛らしき花を開くを以て庭園・鉢植として愛玩せられ,又生花用として盛に愛用せらるゝものにして,挿花・盛花何れにも雅趣を添ふるものなり。

球根草なるを以て,春の彼岸頃に球根を植付くるときは,3年を經て開花するに至り,其後は其儘にして,年々發芽・開花す。肥料としては,魚の洗汁油粕等を施せば充分なり。花戸は生花用として,溫室に栽培し,12月酷寒中に花蕾を生ぜしむ。

尙本植物の鱗莖は種々藥用に供せらる。即ち(1)根とオホバコの根とを煉り合せ,之を外頰部に貼布すれば齒痛を治するに效あり。(2)婦人の乳腫には,水仙の球根を摺り潰し,「メリケン」粉と煉り合せたるものを紙に伸べ,局部に貼布すれば,患部の熱と痛みとを除去するに效あり。但し「カブレ」性のものは,長く貼布し置かざる樣注意すべきなり。(3)球根を卸して其汁液に白梅酢を混入したるものを,瘡疔等の患部に塗布すれば,何れ

PL. 19.

も效果ありと稱せらる。

6262. いとざきずゐせん …… ヒガンバナ科
Narcissus Tazetta, *L.* var. pancratiformis, *Makino.*

〔形態〕スキセンの一栽培變種にして.花部に於て花筒は之を缺如し且つ花被裂片は線形を呈するものなり。(栽培種)

6263. ホンシロズキセン …… ヒガンバナ科
Narcissus papyraceus, Ker.

〔形態〕支那原產の多年生草本にして.概形スキセンに似たれども.本種は花數多くして香氣亦强く. 且つ副冠は彼の黃色を呈するに比して白色なるを其異る要點とす。(栽培種)

6264. **クチベニズキセン** (19圖版-177) …… ヒガンバナ科
Narcissus poeticus, L.

〔形態〕歐洲原產の多年生草本にして.葉は地下の鱗莖より概ね4葉を叢生し.線形にして粉白を布く。花は白色にして.莖頂に單立し.花被筒は圓筒形にして綠色を呈す。副冠は淡黃色若しくは白色に赤緣を彩り且つ頗る皺縮す。雄蕊及花柱は共に長く.花筒部より挺出す。〔花色〕白色。

〔花候〕春。〔原產地〕歐羅巴。(栽培種)

6265. **ラッパズキセン** (19圖版-178) …… ヒガンバナ科
Narcissus Pseudo-Narcissus, L.

〔形態〕本邦古くより栽培せらるゝ歐洲原產の多年生草本にして.地下の鱗莖より4-6葉を叢生し.劔形にして粉白を布き.高さ30-45糎(1-1·5尺)許に達し.他の水仙類に比して稍大形なり。花は淡黃色にして.徑6糎(2寸)許を有し.花被裂片は倒卵形をなす。副冠は長筒形にして鈍齒牙緣をなし摺折す。雄蕊は副冠より短く.花柱は雄蕊より稍長し。〔花色〕淡黃色。

〔花候〕春。〔原產地〕歐羅巴。(栽培種)

人生との關係 花壇用及切花用として栽培せられ.殊に年次其需要を增すの傾あり。因に本種には其副冠の色彩によりイエロー・トランペット(黃喇叭)(Yellow trampet).ホワイト・トランペット(白喇叭)(White t.)の2種に分つ。尙品種により花容は變化に富む。著名品種としては黃喇叭種には(1)エンペラー(Emperar)(2)ゴールデン・スパー(Golden spur)(3)キング・アルフレッド(King Alfred)(4)オブバラリス(Obvallaris) 又白喇叭種には (1)エンプレス(Empress).ヴイクトリア(Victoria).カンタラ(Kantara)等あり。

本種は一般に病蟲害に侵されざるを以て. 栽培容易なり。繁殖は自然分球に據る。栽培法は一般ヒヤシンスに準ずれば可なり。

6266. **ヤヘノラッパズキセン** (19圖版-179) ヒガンバナ科
Narcissus Pseudo-Narcissus, L. var. *pleno,* Hort.

(異名)ボタンズキセン 〔形態〕ラッパズキセンの栽培變種にして.花の重瓣なるものなり。(栽培種)

6267. アサギノヒトヘズキセン …… ヒガンバナ科
Narcissus incomparabilis, Mill.

〔形態〕南歐原產の觀賞用多年生草本にして.地下の鱗莖より舌形の數葉を叢生し.粉白を布く。花は莖頂に單生し.花被筒は稍圓筒形にして綠色を呈し.裂片は橢圓形をなす。副冠は6裂し.淡黃色にして齒牙緣を有し.雄蕊は花柱と共に閉在す。〔花色〕綠色。〔花候〕春。(栽培種)

6268. **キズキセン** 長壽花 (19圖版-180) ‥ ヒガンバナ科
Narcissus Jonquilla, L.

〔形態〕外來の多年生草本にして.專ら觀賞用として栽培せらる。地下の鱗莖は水仙より概ね小形にして. 之より數葉を總狀に簇生し. 葉面は甚だ狹くして殆んど半圓形の橫斷面を有す。3-4月の候.葉間に花莖を抽き.其頂端に2-5箇づゝ黃色にして6裂し. 芳香を有する美花を繖形に排列す。花被筒は狹圓柱形にして綠黃色をなし.長さ約2·4糎(8分)許を有す。各裂片は倒卵形にして黃色を呈し.副冠は杯形にして齒牙緣をなす。

〔花色〕黃色。〔花候〕春。〔原產地〕南部歐羅巴。

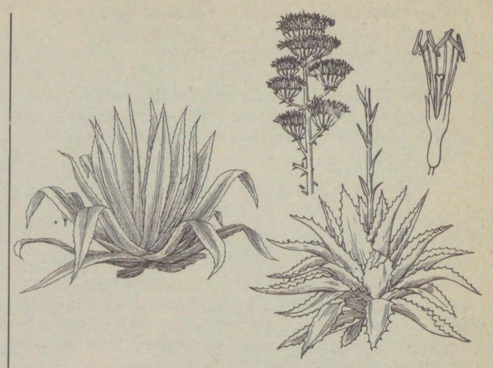
人生との關係 庭園又鉢植として愛玩せらる。一種八重咲種あり。

6269. **カンランズキセン** (19圖版-181) …… ヒガンバナ科
Narcissus odorus, L.

〔形態〕本種も亦外來の觀賞用植物にして.花戸は黃房又黃花房咲水仙と稱す。西班牙原產種にして.概形アサギノヒトヘズキセンに似たれども.本種の葉は更に狹く. 花は鮮黃色を呈し.花被筒は狹長にして.各裂片は倒卵狀長橢圓形をなし.副冠は稍小形なるものなり。〔花色〕鮮黃色。

〔花候〕春。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係 庭園又は鉢植として愛玩すること前種に同じ。其他切花として需要多きものなり。



90 アヲノリユウゼツラン　　91 リユウゼツラン

3. リュウゼツラン屬 AGAVE.

6270. **アヲノリュウゼツラン** (白圖-90) ‥ ヒガンバナ科
Agave americana, L.

(異名)マンネンラン 〔形態〕熱帶亞米利加原產の多年生植物にして地下莖より針頭·刺緣をなせる30-40葉を簇生し.葉身は倒披針狀笹形にして粉白を布き.長さ0·9-1·8米(3-6尺)に達す。花は黃綠色にして長さ4·5-9糎(1·5-3寸)許を有し.高さ6-9米(20-30尺)餘に達する狹長圓錐花序に密簇す。花被は稍漏斗形をなして6裂し.雄蕊は6箇を具へ長く挺出す。花柱は1箇にして柱頭は3岐し.子房は3室を有す。〔花色〕黃綠色。

〔花候〕夏。〔原產地〕熱帶亞米利加。

人生との關係 次種リュウゼツランに同じ。

6271. **リュウゼツラン** 龍舌蘭 (白圖-91) ‥‥ ヒガンバナ科
Agave americana, L. var. *variegata,* Nichols.

(異名)リュウゼツサウ 〔形態〕外來の多年生常綠の大草本なり。葉は多肉·長形にして. 緣邊は黃綠色を呈し針狀の鋸齒を具へ. 先端特に尖りて硬し。夏日叢葉間に花莖を抽き.多數の淡黃色花を生じて.大なる圓錐花序をなす。本種は前種と共に生後數年を經て始めて花を生じ.果實を結びて枯死するものなり。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕熱帶亞米利加。

人生との關係 觀賞用として栽培し. 愛玩に供す。又本植物の葉より纖維を採りて織物及製紙の原料とし.葉の汁液よりは一種の酒を釀造す。

6272. サイザルサウ …… ヒガンバナ科
Agave americana, L. var. *sisalana,* Engelm.

(異名)サイザルアサ 〔形態〕北米原產の多年生草本にして.莖は短く葉は細長くして先端尖り.葉質リュウゼツランより薄く.全緣にして平行脈を有す。花は黃綠色にして6裂し.圓錐花序に排列す。〔花色〕黃綠色。

〔花候〕夏。〔原產地〕北米「メキシコ」。

人生との關係 葉より纖維を採り.織物其他種々の用に供す。

4. ユリズキセン屬 ALSTROEMERIA.

6273. **ユリズキセン** (19圖版-182) …… ヒガンバナ科
Alstroemeria pulchella, L. f.

〔形態〕本邦古くより栽培せられたる外來の多年生草本にして.花戸はオキハナビの俗名の下に呼稱せり。根は球根狀にして白色を呈し. 莖は淡暗赤色にして高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は地下莖より簇出し.卵形にして黃綠色を呈し.葉柄を具ふ。5-6月の候.花莖を抽くこと60-90糎(2-3尺)に達し.莖頂に.外部は暗赤色なるも內部には綠紅色に褐色の斑點を有する特異の花を繖形花序に綴る。花被は漏斗形をなして6裂し. 雄蕊は花被片と同じく.柱頭は3岐す。〔花色〕暗赤色。〔花候〕夏。〔原產地〕南米「ブラジル」。

人生との關係 往々切花用として栽培せらる。

6274. **キバナユリズキセン** (19圖版-183) ‥ ヒガンバナ科
Alstroemeria aurantiaca, Don.

〔形態〕ユリズキセンの一種にして.莖高さ60-90糎(2-3尺)に達する多年生草本にして概形彼に酷似すれども.其異る所は.彼の花梗部21-24糎(7

-8 寸）許の間には葉を着生せざるに反し．本種は花梗部に至るまで着生し．葉形亦狹長なり。花は全體黃色にして．彼に比するに花の開き方廣く．內側は黃色に褐色の斑點を有すれども．彼の如く濃艶ならざるものなり。

〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔原產地〕南米「チリー」。

人生との關係　近年切花として前種よりも盛に栽培．賞用せらる。南米「チリー」の南部には一面に自生し．馬上旅行者を慰安する者の一に數へらるると云ふ。又根よりは葛粉の如きものを採取し．食用に供すと云ふ。

5. アマリリス屬　AMARYLLIS.

6275. アマリリス …… ヒガンバナ科
Amaryllis Belladonna, L.

〔形態〕外來の多年生草本にして．地下に大なる卵形の鱗莖を有す。葉は舌形にして．全緣・鋭頭をなし．溝を有す。花莖は 60-90 糎（2-3 尺）の高さに達し．其頂に淡紅色の花を簇生し．繖形花序に排列す。花序は乾皮質の筴狀苞を伴ふ。花は芳香を有し．花被は短き筒狀をなして 6 裂す。各裂片は披針形・鋭尖頭をなして平開し．雄蕊は 6 箇を有し傾下す。〔花色〕淡紅色。

〔原產地〕南部亞弗利加（喜望峰地方）。（栽培種）

人生との關係　觀賞用として培養せらる。紅色・紅白絞等品種多し．春植球根にして．暖地にては戶外に越冬す。

6. クンシラン屬　CLIVIA.

6276. **クンシラン**（20 圖版-184）…… ヒガンバナ科
Clivia nobilis, Lindl.

〔形態〕外來の多年生草本にして．我國に渡來せしは明治の初年頃ならんと云ふ。葉は革質・舌形にして糙澁緣をなし．12-13 葉を簇生し．2 列に排列す。花は赤色或は赤黃色にして綠暈を伴ひ．1 莖より往々 40-60 花を着生し長梗を有する繖形花序をなす。花被は筒形をなして長さ 4-5 糎（1-5 寸）許を有し．6 深裂す。裂片は筴狀長橢圓形にして正開せず。雄蕊は花被と同長花柱は稍挺出し先端 3 岐す。〔花色〕赤色或は赤黃色にして綠暈を伴ふ。

〔花候〕初夏。〔原產地〕南部亞弗利加「ケープコロニー」地方。

6277. **アカバナクンシラン**（20 圖版-185）‥ ヒガンバナ科
Clivia miniata, Regel.

（異名）オホバナクンシラン・ハナラン　〔形態〕外來の多年生草本にして．地下の塊莖は太く．柔軟なる根を生ず。葉は 16-20 葉を簇生し．劔狀にして先端尖り．長さ 45 糎（1-5 尺）內外に達し．多肉にして濃綠色を呈す。花は上向に正開し．1 花梗上に 12-20 花を着け．鮮紅色にして．花喉部は黃色をなし．花筒部は廣鐘形にして．クンシランより長く．濃綠色の葉叢中より拔き出でゝ開花する狀．氣品に富む。花被の內裂片は廣濶にして．雄蕊は裂片より短く．花柱は挺出す。花後生ずる漿果は卵形・鮮紅色にして長さ 2-4 糎（8 分）許を有す。〔花色〕鮮紅色。〔花候〕初夏。〔原產地〕亞弗利加「ナタール」地方。

人生との關係　切花・鉢花として栽植愛玩せらる。

7. ハマオモト屬　CRINUM.

6278. **はまおもと**　文珠蘭（20 圖版-186）‥ ヒガンバナ科
Crinum asiaticum, *L.* var. japonicum, *Bak.*

（異名）はまゆう・はまもめん　〔形態〕暖國の海岸に自生する常綠の多年生草本にして．大なるものは莖高さ 0-9-1-2 米（3-4 尺）に達す。葉は舌形濶大にして光澤を有し．稍オモトに似たり。夏日叢葉間より花莖を抽き．梢頭に白色．6 瓣にして芳香を有する 10 餘花を開き．繖形花序をなす。花被筒は長さ 4-5-6 糎（1-5-2 寸）許を有し．裂片は線形にして筒部より稍短く．子房は下位にして．花後稍球形をなせる果實を結ぶ。〔花色〕白色。

〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

6279. たいわんはまおもと …… ヒガンバナ科
Crinum asiaticum, *L.* var. sinicum, *Bak.*

〔形態〕海濱に自生する多年生草本にして．前種ハマオモトに酷似すれども．彼に比するに花筒・裂片共に更に長くして．長さ 9-12 糎（3-4 寸）に達するものなり。〔分布〕臺灣。

6280. **インドハマユウ**（20 圖版-187）‥‥‥ ヒガンバナ科
Crinum latifolium, L.

〔形態〕印度原產の多年生草本にして．葉は多數を叢生し．長舌形にして粉綠色を呈し．緣邊糙澁なり。花莖は高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達し．花は白色にして赤條或は赤釆を彩り．1 莖 10-12 花を着け．繖形花序に排列し．披針形にして長さ 7-5-9 糎（2-5-3 寸）許ある筴狀苞を伴ふ。花被筒は細長くして彎曲し．帶綠色にして先端に紅條を有す。裂片は花筒と稍同じく．雄蕊は花喉に着生し．花柱は絲狀をなす。果實は稍球形なり。〔花色〕白色にして赤條又赤釆を彩る。〔花候〕6 月。〔原產地〕東印度地方。

人生との關係　庭園に栽植し觀賞に供す。性强健にして土質を選ばざれば．培養簡易なり。東京附近にありては充分に越冬をなす。

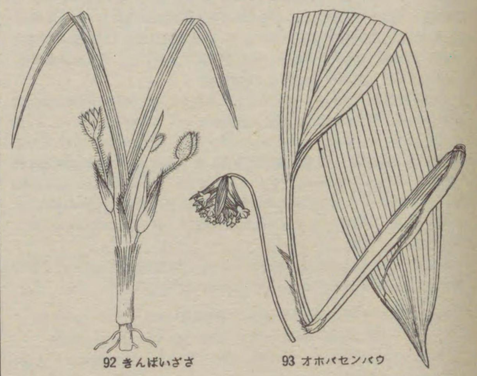
8. キンバイザサ屬　CURCULIGO.

6281. **きんばいざさ**　仙茅（白圖-92）‥‥ ヒガンバナ科
Curculigo orchioides, *Gaertn.*

〔形態〕本邦の暖地に自生する多年生草本にして．地下に圓柱形の根莖を有し．莖高さ 15-30 糎（0-5-1 尺）餘に達す。葉は膜質・細長にして先端尖り平行脈を有し．長毛を散生す。花梗は短く．兩性花は下部に生じ．他は悉く雌花にして．膜質・披針形の苞を有す。花被片は各長絲狀の花被柄を有して披針形をなす。子房は下位にして絨毛を被り．花柱は 3 岐す。花後生ずる果實は蒴にして長橢圓形をなす。有毒植物の一なり。〔花色〕黃綠色。

〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　莖葉の液汁と梅干とを飯粒にて煉りたるものを．齒痛の患部に貼布するときは．これを治し．又莖葉を搗り潰して腫物の膿汁の吸出に貼付すれば效あり．又發泡劑として有效なりと云ふ。



92 きんばいざさ　　93 オホバセンバウ

6282. **オホバセンバウ**（白圖-93）‥‥‥ ヒガンバナ科
Curculigo recurvata, Dryand.

（異名）オホセンバウ・オホキンバイザサ　〔形態〕外來の多年生草本して．根莖は塊狀をなし．莖高さ 60-90 糎（2-3 尺）に達す。葉は廣披針形にして長柄を有し．全緣にして．平行脈具へ長さ 60-90 糎（2-3 尺）に達し．下面に絨毛を布く。5-6 月の候．有毛にして壓扁せられたる多數の花莖を抽き．12-15 糎（4-5 寸）乃至 21-24 糎（7-8 寸）に達し．梢頭に多數の花を短總狀に開き．披針形にして有毛の筴狀苞を伴ふ。漿果は球形にして有毛なり。〔花色〕帶綠黃色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕南部亞弗利加。

人生との關係　庭園に栽培し．觀賞に供せらる。

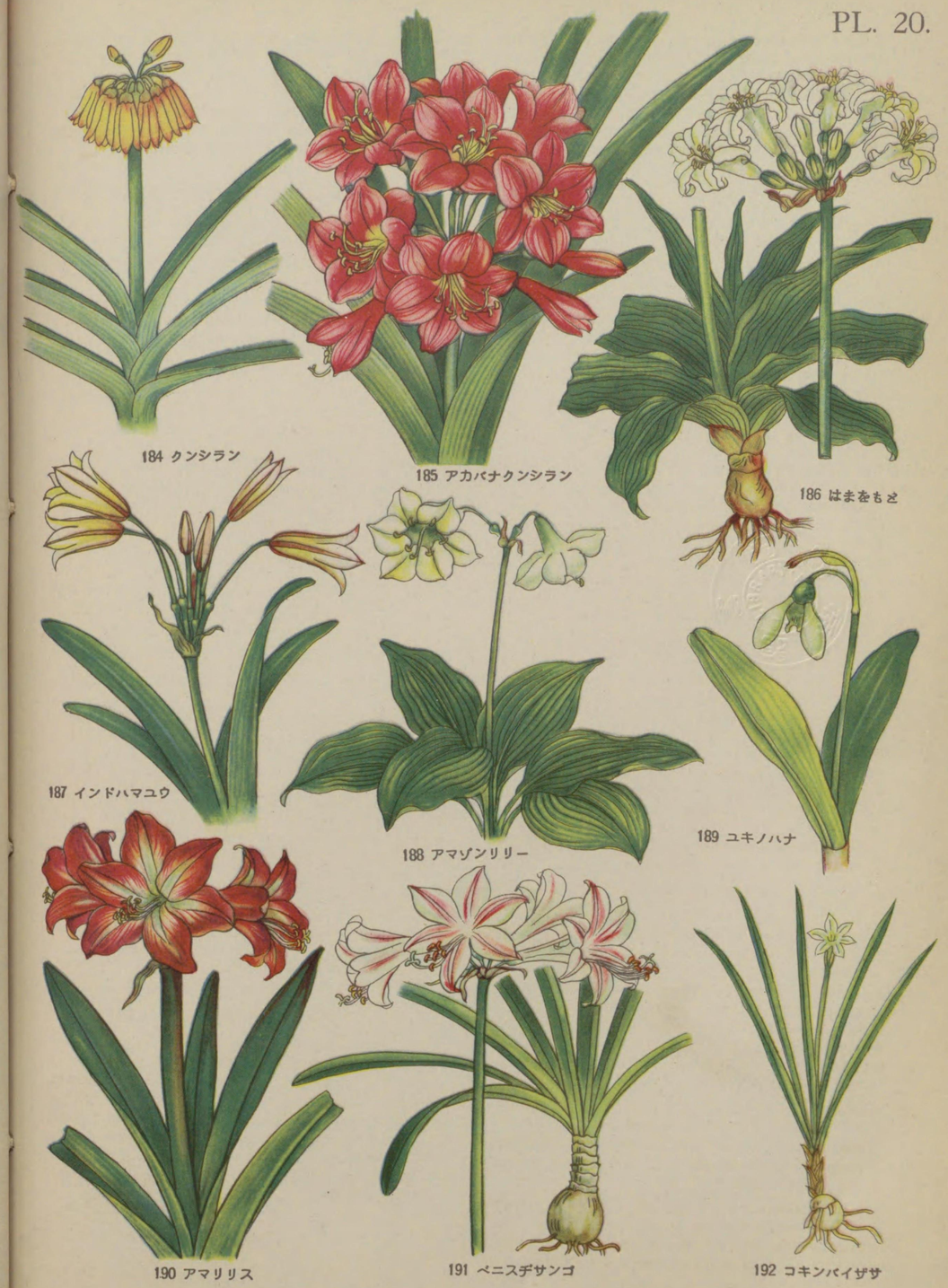
9. アマゾンリリー屬　EUCHARIS.

6283. **アマゾンリリー**（20 圖版-188）‥‥‥ ヒガンバナ科
Eucharis grandiflora, Planch. et Linden.

（異名）ギバウシズキセン　〔形態〕外來の多年生草本なり。地下に徑 4-5 糎（1-5 寸）許ある球形の鱗莖を具へ．これより長柄を有する 3-4 葉を叢生し．葉身は長橢圓形にして長さ 30 糎（1 尺）．徑 12-15 糎（4-5 寸）許を有す。花は徑 9 糎（3 寸）許ありて芳香を有し．30-75 糎（1-2-5 尺）許ある花莖の頂端に繖形花序をなして 5-6 花を着生す。花被裂片は長橢圓形・鈍頂にして．圓柱形をなせる花筒部は稍彎曲す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。

〔原產地〕北亞米利加。

PL. 20.



10. ユキノハナ屬 GALANTHUS.

6284. **ユキノハナ** (20圖版-189) ····· ヒガンバナ科
Galanthus nivalis, L.

(異名) マツノユキ・マツユキサウ　〔形態〕歐洲南部原產の多年生草本にして. 地下に卵形をなせる鱗莖を有し. 莖高さ 9-12 糎 (3-4 寸) 餘に達す。脚鞘は偏側分裂し. 葉は通常 2 葉を生じ. 長さ 15-21 糎 (5-7 寸) 許に達し. 肉質・線形にして. 平行脈を具へ. 粉白を布く。花莖は地下莖より生じ. 花は純白色にして. 莖頂に單生・點頭す。花被は筒狀をなさず. 萼片は長楕圓形にして. 花瓣の內面には綠色線狀を彩る。雄蕊は 6 箇を有し. 蒴は 3 殼を具ふ。〔花色〕純白色。〔花候〕春。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係　通常鉢植として栽培し. 觀賞に供す。一般に英名「スノードロツプ」を以て知らる。

94 オホマツユキサウ　95 ジャガタラズ井セン

11. オホマツユキサウ屬 LEUCOJUM.

6285. **オホマツユキサウ** (白圖-94) ····· ヒガンバナ科
Leucojum aestivum, L.

〔形態〕歐洲原產の多年生草本にして. 地下に球莖を有す。之より生ずる葉は. 其幅 2 糎 (7 分) 許. 長さ 30-40 糎 (1-1·3 尺) 內外に達す。花莖は葉間に出て. 白色の 1 又は數花を繖形に開き點頭す。花は筒狀部なく. 6 片の花被は同大にして. 緣邊に綠斑を有す。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔原產地〕歐羅巴。(栽培種)

人生との關係　比較的寒氣に强きものなれば. 花壇用又は切花用として栽培せらる。10 月頃花壇に植込む時は. そのまゝ越冬して翌春開花す。移植は之を好まず。

12. ジャガタラズキセン屬 HIPPEASTRUM.

6286. **ジャガタラズキセン** (白圖-95) ···· ヒガンバナ科
Hippeastrum Reginae, Herb.

(異名) ジャガタラユリ　〔形態〕本種は遠く嘉永年間に渡來せる多年生草本にして. 地下に徑 7·5 糎 (2·5 寸) 許ある球形の地下莖を有し. これより舌狀形にして深綠色の葉を叢生す。花莖は葉に先んじて抽出し. 高さ 2·4-4·8 糎 (0·8-1·6 尺) 許に達す。花は鮮赤色にして鐘形をなし. 梢頭に 2-3 箇づゝ着生し. 繖形花序に排列す。花被裂片は倒卵形をなし. 長さ 9-12 糎 (3-4 寸) 許。雄蕊は 6 箇を具へて花被片より短く. 花柱は雄蕊より稍長く. 柱頭は 3 岐す。子房は下位にして小さく. 蒴は 3 殼を有す。〔花色〕鮮赤色。〔花候〕春。〔原產地〕北米「メキシコ」。

6287. **アマリリス** (20圖版-190) ····· ヒガンバナ科
Hippeastrum hybridum,

〔形態〕本種は園藝上にてアマリリスと呼稱すれども. 眞正のアマリリスなるものは. アマリリス・ベラドンナ (Amaryllis Belladonna) を稱するものなり。我國に古くより渡來したる春植球根の一種にして. 暖地にありては. 冬季戶外にて越冬す。概形ジャガタラズキセンに似たる園藝品種の一なり〔原產地〕北米「メキシコ」。

6288. **ベニスヂサンジコ** (20圖版-191) ···· ヒガンバナ科
Hippeastrum vittatum, Herb.

〔形態〕南米原產の多年生草本にして. 高さ 30 糎 (1 尺) 餘に達す。葉は地下の塊莖より生じ. 舌形・全緣にして鈍頭をなす。花莖は叢葉間より抽出し. 3-7 箇の向側花を繖形花序に排列す。花は白色にして. 不齊なる 2 赤條を有し. 花被片は 6 箇にして. 倒卵狀長楕圓形・鋭頭をなし. 雄蕊は 6 箇を具へて花被より短し。〔花色〕白色。〔原產地〕南米「ペルー」地方。

人生との關係　庭園に栽植し. 觀賞に供せらる。

13. コキンバイザサ屬 HYPOXIS.

6289. **コキンバイザサ** (20圖版-192) ····· ヒガンバナ科
Hypoxis aurea, L

〔形態〕本邦暖地の山野に自生する有毒の多年生草本にして. 地下に球形の根莖を有す。葉は革質・線形にして互生し. 先端尖り. 長さ 12-15 糎 (4-5 寸) 乃至 30 糎 (1 尺) 許に達し. 鬚毛を散生す。花莖は絲狀にして長く地上に挺出し. 高さ 3-6 糎 (1-2 寸) より 12-15 糎 (4-5 寸) 許に達し. 莖上 1-2 箇の花を着生す。花被は 6 裂し. 花梗と共に絨毛を生じ. 裂片は披針形をなす。雄蕊は 6 箇を有し. 花被より短く. 子房は下位にして 3 室を具へ. 果實は蒴なり。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

14. ヒメヒガンバナ屬 NERINE.

6290. **ヒメヒガンバナ** (21圖版-193) ····· ヒガンバナ科
Nerine undulata, Herb.

〔形態〕南アメリカ原產の多年生球根草本にして. 我邦のヒガンバナに似たる小花を開く。葉はヒガンバナより狹く. 長さ 4-6 糎 (1·3-2 寸) 許. 中肋に白條無く. 濃綠色にして先端尖る。花期は 2 月頃にして. 葉の在る時に開き. 花莖の頂に 10 箇以上の小花を繖形花序に排列す。花徑 2·5 糎 (7 分) 許. 淡紅色なり。〔花色〕淡紅色。〔花候〕2 月。〔原產地〕南亞米利加。

15. ゲッカカウ屬 POLIANTHUS.

6291. **ゲッカカウ** (21圖版-194) ····· ヒガンバナ科
Polianthus tuberosa, L.

(異名) オランダズキセン　〔形態〕外來の多年生草本にして. 地下に水仙に似たる塊莖を具へ. 之より高さ 0·9-1·2 米 (3-4 尺) に達する地上莖を簇出し. 線形をなせる多數の葉を互生す。葉は披針形・全緣にして淡綠色を呈し軟く. 梢頭のものは短くして鱗狀をなし. 每葉腋より 2 花を出し. 疎なる穗狀花序をなす。花は白色にして. 長さ 3·6-6 糎 (1·2-2 寸) 許。花被は 6 裂し. 筒部は長形にして彎曲し. 裂片は披針形にして筒部の半長なり。雄蕊は 6 箇を具へ. 花筒の中部に着生し. 閉在す。子房は 3 室を有し. 柱頭は卵形にして 3 箇を具へ. 果實には宿存花被を伴ふ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕北米「メキシコ」。

16. ツバメズキセン屬 SPREKELIA.

6292. **ツバメズキセン** (21圖版-195) ····· ヒガンバナ科
Sprekelia formosissima, Herb.

〔形態〕明治初年頃より栽培せらるゝ外來の多年生草本にして. 地下の鱗莖は球形をなし. 徑 4·5 糎 (1·5 寸) 許を有す。葉は 3-6 葉を叢生し. 線形・全緣にして平行脈を有し. 長さ 30-45 糎 (1-1·5 尺) 許に達す。花莖は葉に先立ちて抽出し. 中空にして長さ 15-30 糎 (0·5-1 尺) 許に達し. 帶赤色にして先端 2 裂せる赤褐色の箆狀苞を伴ふ。5-6 月の候. 緋紅色にして 6 瓣の筒狀花を梢頭に 1-2 花單生し. 花徑 9 糎 (3 寸) 許を有す。上裂片は廣濶にして. 側裂片は披針形をなし. 下部の 3 片は傾下して 6 箇の雄蕊と花柱とを包む。子房は倒圓錐形をなして 3 室を具へ. 蒴は球狀三角形にして 3 殼を有す。〔花色〕緋紅色。〔花候〕春-夏。〔原產地〕北米「メキシコ」・中米「グッテマラ」地方。

人生との關係　庭園に栽植して觀賞に供す。球根を春植とすれば 6 月頃開花す。半耐冬性なるを以て「フレーム」內又は戶外に越冬す。

17. ヴァロタ屬 VALLOTA.

6293. **ヴァロタ・プルプレア** (21圖版-196)　ヒガンバナ科
Vallota purpurea, Herb.

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ外來の多年生草本にして，水仙に似たる大形の鱗莖を有し，葉は狹き舌狀・全緣にして平行脈を有す。花莖は葉間より抽出し，高さ60-90糎(2-3尺)に達し，頂端に數花を繖形花序に排列す花は漏斗狀をなし，美麗なる紅色にして6箇の雄蕊を具ふ。〔花色〕紅色。〔花候〕夏。〔原產地〕南亞弗利加。

人生との關係　庭園に栽植し，觀賞に供す。

18. タマスダレ屬　ZEPHYRANTHES.

6294. **タマスダレ** (21圖版-197) ……ヒガンバナ科
Zephyranthes candida, Herb.

〔形態〕觀賞用として庭園に栽培せらるゝ多年生草本にして，地下の鱗莖より狹長綠形の葉を多數簇生し，長さ30糎(1尺)許に達す。夏日葉間に花莖を抽き，莖頂に純白色にして，外面往々淡紫采を伴へる1花を着生し，花被は6裂す。裂片は倒卵形・鈍頭にして，柱頭は頭狀をなし3起す。

〔花色〕純白色。〔花候〕夏。〔原產地〕南亞米利加。

6295. **サフランモドキ** (21圖版-198) ……ヒガンバナ科
Zephyranthes carinata, Herb.

〔形態〕外來の多年生草本なれども，現時にては一般に觀賞用として庭園に栽培せらる。地下の鱗莖は卵形にして頸部短く，徑2-4糎(8分)許を有し，外面黑褐色を呈す。葉は1根5-6葉を簇出し，形狹長にして恰もスキセンの葉に似たり。夏日最外の葉間より1花莖を抽き，高さ30糎(1尺)內外に達し，莖頂1花を着生し，2裂せる筴狀苞を伴ふ。花被は漏斗狀をなして6裂し，淡紅色にして，裂片は倒卵狀長楕圓形をなす。雄蕊は6箇を有し，雌蕊の柱頭は3裂し共に花被片より短く，子房は3室を具ふ。蒴は稍球形にして3殼を有す。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔原產地〕中央亞米利加。

19. パンクラチウム屬　PANCRATIUM.

6296. **パンクラチウム・イリリクム** …… ヒガンバナ科
Pancratium illyricum, L. (21圖版-199)

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ外來の多年生草本にして，高さ30-60糎(1-2尺)に達す。葉は青綠色にして細長く，先端尖り，平行脈を有す。花莖は叢葉間より抽出し，長さ30-60糎(1-2尺)に達し，莖頂に白色の3-5花を繖形に排列す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係　庭園に栽培し，觀賞に供せらる。

6297. **パンクラチウム・スペシオサム** …… ヒガンバナ科
Pancratium speciosum, Salisb. (21圖版-200)

(和名) ササガニユリ　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ外來の常綠多年生草本にして，地下に球莖を生じ，徑10糎(3寸)內外に達し，葉は光澤ある綠色にして長さ40-50糎(1·3-1·7尺)許を有す。花梗は扁平にして長さ50糎(1·7尺)內外に達し，1莖10-15花を着生す。花は杯狀をなし花瓣は長さ6糎(1·8寸)，花徑16糎(5·5寸)許を有し，雄蕊は6箇を具へ，葯は大きく黃色にして，雌蕊は雄蕊より短形なり。〔花色〕白色。

〔花候〕夏。〔原產地〕西印度諸島。

人生との關係　花壇又は鉢植として觀賞に供す。繁殖は分球による。冬季霜除を要す。

20. イキシオリリオン屬　IXIOLIRION.

6298. **イキシオリリオン・モンタヌム** …… ヒガンバナ科
Ixiolirion montanum, Herb. (21圖版-201)

〔形態〕觀賞用として庭園に栽培せらるゝ外來の多年生草本にして，莖は地下の鱗莖より生じ，高さ30糎(1尺)以上に達す。葉は常綠にして細長く先端尖り平行脈を有す。花は總狀花序をなして長短不同なる花梗の上に生じ，青紫色にして6箇の雄蕊を有す。〔花色〕青紫色。〔花候〕夏。

〔原產地〕小亞細亞。

人生との關係　庭園に栽植し，觀賞用に供せらる。

*　　*　　*
*　　*　　*

5. ゆり(百合)科　LILIACEÆ.

本科の植物は通常多年生草本にして，總て地下莖を有し，稀に半灌木・灌木或は喬木なるものあり。葉は單葉にして，通常地下部より生ずるか或は互生し，稀に對生又は輪生す。花は通常兩性にして整齊稀に不整齊。花序は無限花序・有限花序等種々あり。花の部分は通常3數性なれども，時に2-4或は5の數より成ることあり。花被は2層に排列せる片より成り，多くは花冠樣又は高蕊狀をなす。花被片は分離するか若しくは結合す。雄蕊は通常花被の片と同數なるか，或は稀に少數なり。心皮は通常3箇稀に2箇，4箇，又5箇ありて，多くは結合し，又稀に分離す。子房は概ね上位，稀に半下位，或は下位にして，通常3室，稀に2室，4室，5室，甚だ稀に1室を有し，各室に中軸胎座性の卵子を多數，稀に1-2箇を含む。花柱は分離するか又は結合し，果實は蒴・漿果稀に蓇葖にして，種子は肉質・若しくは軟骨質の胚乳を含む。

96 やまゆり

本科は單子葉植物中，ラン科，イネ科に次ぎて多くの種類を含み，凡198屬，2600種の植物より成り，熱帶より寒帶の各地方に產し，本邦には自生し，栽培せらるゝもの凡58屬，224種あり。

本科所載植物索目次

アヲヤギサウ……6554
アカバナトリトマ……6457
アカヒメユリ……6305
アキタネギ……6240
アサツキ……6354
アサマクリンザウ……6434
アマドコロ……6490
アマナ……6449
アミガサユリ……6220
イエロー・グローヴ・ダンダアース……6251
イエロー・スキン……6251
イエロー・ダンダアース……6251
ヰズキ……6490
イツボンネギ……6248
イトラン……6558
イヌサフラン……6395
イハギバウシ……6454
イハシヤウブ……6533
イハセキシヤウ……6531
イハツキネギ……6346
イハユリ……6216
イブキワニグチサウ……6501
イヌサンキライ……6524
ウケユリ……6326
ウスフヂイロアマナ……6470
ウツコンカウ……6551
ウバユリ……6337
ウルイ……6442
ウンバイロ……6238
エイザンユリ……6299
エゾウバユリ……6338
エゾスカシユリ……6317
エゾネギ……6252
エゾノソクシンラン……6444
エゾラツキヨウ……6361
エゾクワンザウ……6436
エダウチチゴユリ……6438
エミグサ……6490
エンレイサウ……6545
オキナグサ……6462
オキナユリ……6230
オニクワンザウ……6438
オニユリ……6200
オホアマドコロ……6491
オホアマナ……6481
オホウバユリ……6338
オホチゴユリ……6400
オホツクバネサウ……6487
オホトリトマ……6457
オホネギ……6248
オホネブカ……6348
オホハウチヤクサウ……6412
オホバギバウシ……6451
オホバジヤノヒゲ……6478
オホバタケシマラン……6526
オホバナノエンレイサウ……6546
オホバナゼキシヤウ……6533
オホバユキザサ……6509
オホビル……6305
オホマヒグルサウ……6468
オモト……6503
オランダキジカクシ……6378
オランダネギ……6240
オリヅルラン……6392
オルニソガルム・アラビクチ……6482
カウスゲ……6432
カガユリ……6419
カグラザサ……6414
カサユリ……6233
カタカゴ……6419
カタクリ……6419
カタグリ……6419
カタコユリ……6419
カタバナ……6419
カタユリ……6419
カノコユリ……6320
カバスカシユリ……6318
カバユリ……6337
カラスノススキ……6376
カラスバサンキライ……6523
カラスユリ……6493
カラフトラツキヨウ……6357
カリキ……6345
カレギ……6346
キキヤウラン……6304
キジカクシ……6384
キスカシ……6320
キスゲ……6435
キダサロクワイ……6372
キチジヤウサウ……6502
キツネノヲ……6469
キトビル……6309
キヌガササウ……6488
ギボウシ……6441
ギボウシュ……6441
キバナアマナ……6425
キバナタウチクラン……6415
キバナチゴユリ……6407
キバナテウセンカサユリ……6335
キバナノオニユリ……6301
キバナノキキヤウラン……6405
キバナノギヤウジヤニンニク……6370
キバナノヒメユリ……6307
キバナノホトトギス……6539
キヒメユリ……6305
キフクリンタウギバウシ……6452
ギボウ……6441
ギボウシ……6441
キホトトギス……6539
キミカゲサウ……6377
ギヤウジヤニンニク……6369
ギンエフセンネンサウ……6417
キンブセン……6321
クサアヂサイ……6374
クサフネギカヅラ……6377
クサナギカヅラ……6380
クジヤウネギ……6246
クルマバツクバネサウ……6486
クルマユリ……6233
クロボバウシ……6455
クロバナギバウシ……6447
クロボシオホアマナ……6482
クロミノイハゼキシヤウ……6532
クロユリ……6424
クワンザウ……6431
ケイビラン……6341
ケユリ……6319
コウチク……6400
コオホユリ……6302
コギバウシ……6442
コナルコユリ……6407
コバイケイサウ……6557
コバイモ……6421
コハウチヤクサウ……6411
コバギバウシ……6440
コヒメユリ……6306
コフキギバウシ……6453
コマユリ……6310
コルシクム……6395
サイカチバラ……6521
サイコクバラ……6521
サウチク……6384
サクユリ……6322
ササニンドウ……6304
ササバサンキライ……6520
ササユリ……6324
サジギバウシ……6444
サユリ……6324
サルカキ……6515
サルカキイバラ……6515
サルサバリルラ……6522
サルトリイバラ……6515
サルマメ……6516
サンガイネギ……6249
サンカクニラ……6358

サンキラヒ……6515
サンダイガサ……6507
シシノハバキ……6557
シナクリンザウ……6437
シナラツキヨウ……6356
シノブバウキ……6381
シホデ……6512
シボリナツスカシ…6316
シマセンネンサウ…6416
シモミダネギ……6346
シモミネネギ……6348
シャウジヤウバカマ…6429
ジヤウジユウダイ…6322
ジヤウラウホトトギス6544
シヤグマユリ……6457
ジヤノヒゲ……6476
シヤボンロクワイ…6375
シヤロウト……6347
ジユウダイユリ……6322
ジユマウラン……6558
シユロサウ……6552
ショウイー・リリー…6329
ショウデ……6512
シライトサウ……6391
シラタマユリ……6330
シラヤマアフヒ……6407
シロウマアサツキ…6353
シロカノコユリ……6330
シロバナエンレイサウ6547
シロバナオホバジヤノヒゲ……6479
シロバナシヤウジヤウバカマ……6430
シロバナタマムラサキ6363
シロバナホトトギス…6538
シロバナミヅギバウシ6445
シロバデヤブラン……6461
スカシユリ……6316
スゲユリ……6302
スゲユリ……6336
スズラン……6307
スヂギバウジ……6443
スヂクワンザウ……6439
スヂテツバウユリ……6313
ステゴビル……6368
セイヤウアマナ……6388
セイヤウアマナ……6470
セイヤウスズラン…6396
セツテイクワ……6436
ゼンジヤウ……6369
センジユネギ……6346
ゼンテイクワ……6436
センネンサウ……6400
センネンボク……6400
センネンボクラン……6398
センブキ……6354
センボンワケギ……6354
ソクシンラン……6343
タイワンノギラン……6345
タイワンヒメユリ……6309
タイワンユリ……6313
タウアボン……6374
タウリギバウシ……6451
タウチクラン……6414
タウチサウ……6394
タウネギ……6349
タウロクワイ……6374
タカヲジヤノヒゲ……6477
タカクマホトトギス…6543
タカサゴ……6311
タカサゴユリ……6313
タカネアヲヤギサウ…6555
タケシマユリ……6323
タケシマラン……6525
タタミガラカサ……6450
ダチアフヒ……6545
ダチギバウシ……6449
ダチシホデ……6513
ダチテンモンドウ……6379
タニマノヒメユリ……6397
タマガハホトトギス…6541
タマネギ……6351
タマノカンザシ……6448
タマバハキ……6386
タマブキ……6350
タマブキ……6351
タマムラサキ……6362
タメトモユリ……6311
タモトユリ……6331
チゴユリ……6406
チシマアマナ……6405
チシマゼキシヤウ……6530
チシマラツキヨウ……6360
チトセラン……6505
チ　モ……6376
チモト……6352
チヤウタラウ……6311
チヤボゼキシヤウ……6528
チヤボホトトギス……6540
チユウリツプ……6551
ツクバネサウ……6484
ツバメオモト……6394
ツリガネオモト……6427
ツルボ……6507
テウセンカサユリ……6334
テツバウユリ……6311
テンガイユリ……6421
テンモンドウ……6377
トクダマ……6453
トツクリラン……6475
トナカイサウ……6510
トラノヲラン……6505
トレクレイトラン……6559
ナガバアマドコロ……6492
ナガバミヅギバウシ…6446
ナギイカダ……6504
ナツスカシユリ……6316
ナツネギ……6346
ナルコユリ……6494
ニウサイラン……6489
ニウジイラン……6489
ニウジイランドアサ…6489
ニツクワウキスゲ……6436
ニンニク……6365
ニハシロユリ……6314
ニホヒシユロラン……6398
ニホヒユリ……6328
ニラ……6364
ニラネギ……6350
ニンニク……6365
ネ　ギ……6346
ネズミユリ……6337
ネバリノギラン……6344
ネブカ……6346
ネブカフトネギ……6346
ノクワンザウ……6432
ノシラン……6480
ノヒメユリ……6308
ノビル……6368
バイケイサウ……6556
バイモ……6420
ハウチヤクサウ……6410
ハズミダマ……6476
ハチヂヤウギバウシ…6450
ハツユリ……6420
ハナスゲ……6376
ハナゼキシヤウ……6531
ハナニラ……6288
ハナビムスカリ……6472
ハナホトトギス……6535
ハネヒメズキセン……6473
ハネムスカリ……6473
ハハクリ……6420
ハラン……6357
バラン……6387
ハルスカシユリ……6316
ハルユリ……6420
バレン……6387
ヒトモジ……6346
ヒナユリ……6390
ヒメアマドコロ……6493
ヒメアマナ……6307
ヒメアマナ……6486
ヒメキズキ……6493
ヒメイハシヤウブ……6534
ヒメカカラ……6517
ヒメクワンザウ……6433
ヒメサユリ……6327
ヒメサルトリ……6517
ヒメシヤゲマユリ……6458
ヒメタケシマラン……6527
ヒメツリガネズキセン6508
ヒメナルコユリ……6496
ヒメニラ……6367
ヒメビル……6367
ヒメヤブラン……6493
ヒメユリ……6305
ヒヤシンス……6456
ヒヤシンス・アメシス チナス……6456
ヒヤシンス・オリエンタリス……6456
ヒヤシンス・ローマナス……6456
ヒラトユリ……6315
ヒ　ル……6365
ヒロハオリヅルラン…6303
ヒロハノアマナ……6550
ヒロバムサグワキ……6550
ヒロハヤマユリ……6299
ヒロハユキザサ……6509
フイリロクワイ……6373
フクリンササユリ……6325
フクリンチトセラン…6506
フタモジ……6364
フユキ……6347
フユネギ……6347
ブライズ・テーカー…6351
フランスユリ……6314
ブンダイユリ……6419
ベニクワンザウ……6432
ベニシマセンネンサウ6401
ベルシヤ・ヒヤシンス6456
ホウコトウオモト……6505
ホウライジユリ……6299
ホシセンネンサウ……6418
ホソガタサンキライ…6519
ホソバオホアマナ……6483
ホソバオホハマニラ…6483
ホソバキジカクシ……6385
ホソバシユロサウ……6553
ホソバセンネンサウ…6402
ホソバテツバウユリ…6313
ホソバナコバイモ……6422
ホソバナルコユリ……6490
ホソバノアマナ……6486
ホソバハウチヤクサウ6413
ポテト・オニオン……6351
ホトトギス……6536
ホ　ロ……6350
ホワイト・ポルチュガル……6351
ホンクワンザウ……6437
ホンワスレグサ……6437
マヲラン……6489
マツバウド……6378
マツバセンネンボクラン……6399
マドンナ・リリー……6314
マヒヅルサウ……6487
マルバカノコユリ……6320
マルバサンキライ……6518
マンネンネギ……6349
ミチノクヒメユリ……6304
ミヅギバウシ……6444
ミヅスゲ……6432
ミツバザサ……6510
ミツバタチシホデ……6514
ミドリバハキ……6382
ミドリユキザサ……6511
ミヤマエンレイサウ…6547
ミヤマナルコユリ……6495
ミヤマラツキヨウ……6359
ムギグワキ……6549
ムシトリゼキシヤウ…6533
ムスカリ・パーレンス6472
ムラサキエンレイサウ6548
ムラサキクンシラン…6340
ムラサキセンネンサウ6403
ムラサキハナニラ……6389
ムラサキビル……6358
ヤクシマケイビラン…6342
ヤクシマチヤボゼキシヤウ……6509
ヤグラネギ……6349
ヤナギバハキ……6383
ヤブクワンザウ……6438
ヤブラン……6460
ヤヘクワンザウ……6438
ヤヘテンガイ……6303
ヤマイバラ……6515
ヤマカシユウ……6521
ヤマシ……6376
ヤマヂノホトトキス…6537
ヤマトコロ……6376
ヤマナルコユリ……6498
ヤマニラ……6358
ヤマビル……6369
ヤマホトトギス……6542
ヤマユリ……6299
ヤマラツキヨウ……6358
ユキゲユリ……6339
ユキザサ……6509
ユフスゲ……6435
ユリグルマ……6428
ヨコグラツクバネ……6485
ヨシノキスゲ……6435
ヨシノユリ……6499
ヨレハユリ……6314
ラージ・レツド・ウェザース・フイールド6351
ラツキヨウ……6355
リウキウヤブラン……6464
リウキウユリ……6311
リウノヒゲ……6476
リーキ……6350
ルリムスカリ……6471
レウリユリ……6299
ロクワイ……6371
ワウクワンサウ……6423
ワウセイ……6494
ワケギ……6347
ワスレグサ……6431
ワニグチサウ……6500

1. ユ　リ　屬　LILIUM.

6299. やまゆり　山百合（白圖-96）……ユ　リ　科
Lilium auratum, *Lindl.*

（異名）れうりゆり・ほうらいじゆり・よしのゆり・えいざんゆり

〔形態〕山野殊に海岸に近き山地に自生する多年生草本にして．地下に白色・多肉なる鱗片より成れる球形の鱗莖を有し．莖高さ 1·2-1·5 米（4-5 尺）より 1·8 米（6 尺）以上に達することあり。葉は短き葉柄を有し．廣線形にして互生し．先端尖る。夏日．梢上に數枝を岐ち．6 片の花蓋より成る 1-15 箇内外の大形花を總狀花序に排列す。花は徑 12-24 糎（4-8 寸）許に達し．芳香を放つ。花被片は白色・長楕圓形にして．內面に暗紅色の斑點を有し．先端稍反捲す。雄蕊は 6 箇を具へ．葯は茶褐色にして丁字樣に着生し．雌蕊は 1 箇にして．花柱は長く．柱頭は球形をなし．花後長楕圓形の蒴を結ぶ。

〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　觀賞用又は切花用として栽培せられ．地下の鱗莖は食用に供せらる。藥效として（1）花を乾燥して粉末にしたるものは．創傷の際の止血劑となり．（2）鱗莖を調理すれば．祛痰劑及一般滋養强壯劑となると云ふ。

前種の一品種に屬し．ひろはやまゆり（L. auratum, Lindl. subsp. latifolium, Matum. et Nakai.）と稱するものあり。本種も亦山地に自生し．葉は著しく廣く．莖の上部にありては 2 列に排列する特徴を有す。7-8 月の候．ヤマユリに似たる花を開けども．本種の花被片は彼に比し狹細なるものなり。

97 おにゆり　　98 こおにゆり

6300. おにゆり　卷丹（白圖-97）……ユ　リ　科
Lilium lancifolium, *Thunb.* (*L. tigrinum, Ker.*)

〔形態〕荒野・原頭に自生種ありと雖も．通常食用又は觀賞用として庭園・田圃等に栽培せらるゝ多年生草本なり。地下に白色或は淡黃色又往々赤釆乃至紫釆を有する大なる鱗莖を具へ．每春稍紫色を帶びたる多肉の莖を抽出し．高さ 0·6-1·2 米（2-4 尺）に達し．梢部には白綿毛を布く。葉は葉柄を缺き．披針形にして．長さ 4·5-9 糎（1·5-3 寸）に達し．葉腋に紫黑色の珠芽を生ず。夏日梢上小枝を岐ち．總狀をなして．1-15 箇內外の向地性花を開く。花は大形にして．徑 9-12 糎（3-4 寸）を有し．6 片の花蓋より成り．黃赤色にして反捲し．暗紫色の小點を散在す。本花の有する外花被は毫にして．內花被は花瓣なり。6 雄蕊と 1 雌蕊とは長く花蓋の外に挺出す。

〔花色〕黃赤色にして暗紫色の斑點散在す。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・九州。

人生との關係　觀賞用として栽植し．地下の鱗莖を食用に供す。尙地下莖を煮食するときは．祛痰劑・健胃劑・血液循環促進・脚氣・產後の榮養等に效ありと云ふ。

6301. きばなのおにゆり……ユ　リ　科
Lilium Leichtlinii, *Hook. f.*

〔形態〕山野に自生し．概形オニユリに似たる多年生草本にして．地下の鱗莖は彼に比するに稍小さく．且つ赤・紫色を伴はず。莖は綠色にして稍褐紫色を帶び．高さ 0·6-1·2 米（2-4 尺）許に達す。葉は地平或は稍直生し．長さ 4·5-12 糎（1·5-4 寸）許を有し．概ね 30-40 葉を着生す。夏日莖上小枝を岐ち多數の花を攢簇す。花は鮮黃色にして．紫黑色の斑點を有し．徑 7·5-9 糎（2·5-3 寸）許に達す。花被片は反捲し．葯は赤褐色を呈す。〔花色〕鮮黃色にして紫黑色の斑點を有す。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部・琉球。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

6302. **こおにゆり**（白圖-98）……ユ　リ　科
Lilium Maximowiczii, *Regel.*

（異名）すげゆり　〔形態〕山地殊に火山灰土壤を好みて自生する多年生草本にして．莖高さ0·9-1·2米（3-4尺）に達し．細き披針形葉を密に互生す。概形殆んどオニユリに酷似すれども．本種は珠芽を生ぜず。夏日莖梢小枝を岐ち．通常5-6花なれども．時に20箇内外の花を着生す。花はオニユリよりも稍小さく．赤黄色にして．暗色の細斑を散布し．先端反捲せる6片の花被を有す。〔花色〕赤黄色にして暗色の小點を散布す。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州・朝鮮。

人生との關係　觀賞用として栽植し．鱗莖を食用に供す。

6303. **やへてんがい**　八重天蓋（22圖版-202）　ユ　リ　科
Lilium Maximowiczii, *Regel. subu.*

〔形態〕前種コオニユリに似たる品種なれども．本種は重瓣なるものなり。（栽培種）

6304. みちのくひめゆり……ユ　リ　科
Lilium concolor, *Salsb.* var. mutsuanum, *Makino.*

〔形態〕山地・原野に自生する多年生草本にして．莖は直生し．高さ30糎（1尺）許に達す。葉は線形にして先端尖り密生せず。6月の候．莖梢に開出せる3糎（1寸）許ある小梗を岐ち．濃紅色の上向花を着生し．花被は開出す。3片の外花被は卵狀披針形にして．長さ3糎（1寸）許．基脚急に楔形をなし．内面に溝を具へ．中部以下は暗赤色の隆起點を布く。3片の内花被は披針形にして楔脚をなし．内面亦溝を具へ．中部以下に暗點を布く。雄蕊は6箇．葯は廣線形にして濃赤色を呈し．子房は綠色にして3稜を有し．圓柱形なり。花柱の頂端は擴大し．濃赤色を呈し．柱頭は3起す。

〔花色〕濃紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部。

6305. **ひめゆり**　山丹（22圖版-203）……ユ　リ　科
Lilium concolor, *Salisb.* var. partheneion, *Bak.*

（異名）きひめゆり・あかひめゆり　〔形態〕山地に自生するものあれども．多く庭園に栽培せらるゝ多年生草本にして．地下の鱗莖は小さく．卵形をなして數多集合し．鱗片は其數少く白色なり。產地によりて大小異れども．概ね30-60糎（1-2尺）の高さを有し．綠色にして紫采を伴ひ．稍毛茸を生ず。葉は細長にして平行脈を具ふ。春日莖梢分叉して數花を開き．花被片は狹くして且つ反捲せず。花には黃色・赤色の2種ありて．花瓣内に紫黑色の細點を有するものと．有せざるものとあり。葯は赤色を呈す。

〔花色〕黃色又赤色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

（附記）本花の地色黃色にして紫黑色の斑點を有するものを．黃山丹と稱し．之なきものを眞黃山丹．又赤色地に斑點を有するものを赤山丹．なきものを眞赤山丹と稱す。

99 こひめゆり　　100 きばなのひめゆり

6306. **こひめゆり**（白圖-99）……ユ　リ　科
Lilium concolor, *Salisb.* var. pulchellum, *Bak.*

〔形態〕本種も亦觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして．元來「シベリヤ」の東部．蒙古地方の原產なり。莖高さ30糎（1尺）内外に達し．地下の鱗莖は白色にして概ね卵形乃至廣橢圓形をなす。葉は葉柄を具へ．莖の上部にあるものは．一般に大形にして幅廣く．表面濃綠色・裏面蒼白色をなす。花は朱色にして紫紅色の斑點を有し．稍小形なり。通常1莖1花を生ずれども．又時に2-3花を着生す。外花蓋は先端硬く．淡綠色の乳頭狀をなす。〔花色〕朱色にして紫紅色の斑點を有す。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部。

人生との關係　觀賞用として栽培せられ．又切花用として愛玩せらる。

6307. **きばなのひめゆり**（白圖-100）……ユ　リ　科
Lilium flaviflorum, *Koidz.*

〔形態〕暖地の山野に自生する多年生草本にして．莖は直生し．高さ30糎（1尺）内外に達す。葉は白質・狹長にして先端尖る。花は黃色を呈し頂生點頭し．花被片は箆形或は線狀箆形をなし．内面の下部に2條の毛茸を生じ．中部より反捲す。子房は圓柱形にして先端6出し．柱頭は2岐す。

〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕九州・琉球・臺灣。

6308. のひめゆり……ユ　リ　科
Lilium callosum, *Sieb.* et *Zucc.*

〔形態〕本種も亦暖地の山野に自生する多年生草本にして．地下に白色乃至淡黃色の球形をなせる鱗莖を具へ．徑3-4·5糎（1-1·5寸）許を有す。莖高さ30-60糎（1-2尺）に達し．線形の葉を生ず。總狀花序は1-8花を排列し．各花に硬端を有し．肥厚せる小苞2箇を伴ふ。花は徑3-4·5糎（1-1·5寸）許を有し．花被片は披針形・鈍頭にして反捲す。外面紫色．内面は濃紅色にして．通常紫黑色の斑點を布き．葯は赤色或は濃紅色をなす。〔花色〕紫色にして内面濃紅色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部・九州・琉球・臺灣。

人生との關係　觀賞用として栽植せらる。

6309. たいわんひめゆり……ユ　リ　科
Lilium talanense, *Hayata.*

〔形態〕臺灣の山野に自生する多年生草本にして．地下に扁卵形乃至扁球形の鱗莖を有し．鱗片は肉質・卵形にして急漸鋭頭をなす。莖は細長く直生し．長さ30糎（1尺）許に達す。葉は線形にして先端尖り．長さ4·5糎（1·5寸）許．上部の葉は鱗狀をなして小形なり。花は莖頂に單生し．往々1-2花を總狀に綴る。花色帶赤色にして．外花被は3箇を有し．線狀箆形をなし．内花被は稍廣濶なり。〔花色〕帶赤色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

6310. **こまゆり**（22圖版-204）……ユ　リ　科
Lilium amabile, *Palibin.*

〔形態〕朝鮮の各地に自生する多年生草本にして．鱗莖は外部稍黃色を帶べる白色をなし．卵圓形乃至卵形にして先端尖り．鱗片は緊接し．高さ3-4糎（1-1·3寸）許を有し．幅稍狹し。莖は灰白毛を生じ．高さ30糎（1尺）内外に達し．葉も亦小梗及蕾蕾と共に微毛を被り．葉の裏面殊に著し。花は鮮紅色にして必ず側方に向ひて全開し．上向することなし。花徑5-6糎（1·5-2寸）許．内面には淡褐紫色の斑點を有し．且つ反捲す。〔花色〕鮮紅色。〔分布〕朝鮮。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

（附記）本植物は花屋にては俗に受咲朝鮮赤姫百合と稱し．コマユリ（高麗百合）の名稱を用ふること殆んど聞かざるなり。

6311. **ためともゆり**（22圖版-205）……ユ　リ　科
Lilium longiflorum, *Thunb.* (*L. japonicum, Houtt.*)

（異名）てっぱうゆり・りうきうゆり　〔形態〕本種も亦觀賞用として各地に栽培せられ．又盛に海外に輸出せらるゝ多年生草本にして．地下の鱗莖は徑4·5-9糎（1·5-3寸）許を有し．概ね廣卵形にして．白色又は黃色を呈す。莖高さ30-90糎（1-3尺）許に達し．鮮綠色にして．基脚屢ば赤褐采を伴ふ。葉は披針形にして平行脈を有し．長さ7·5-12糎（2·5-4寸）に達し．互生す。初夏莖頂に白色にして．基脚に綠采を有し．香氣强き1-10箇内外の花を側方に向けて．喇叭狀に開き．葯は黃色をなす。〔花色〕白色。

〔花候〕初夏。〔分布〕琉球・臺灣。（146頁鐵砲百合の栽培法參照）

人生との關係　觀賞用及外國輸出向として各地に栽培せらる。

尙ほ本種の一栽培種にして．葉に白色覆輪をなせる**チャウタラウ**（一名高砂）（22圖版-206）あり。概形テッパウユリに似たれども稍小形なり。

6312. おきなはてっぱうゆり……ユ　リ　科
Lilium longiflorum, *Thunb.* var. insulare, *Hort.*
(*L. tigrinum, Ker.*)

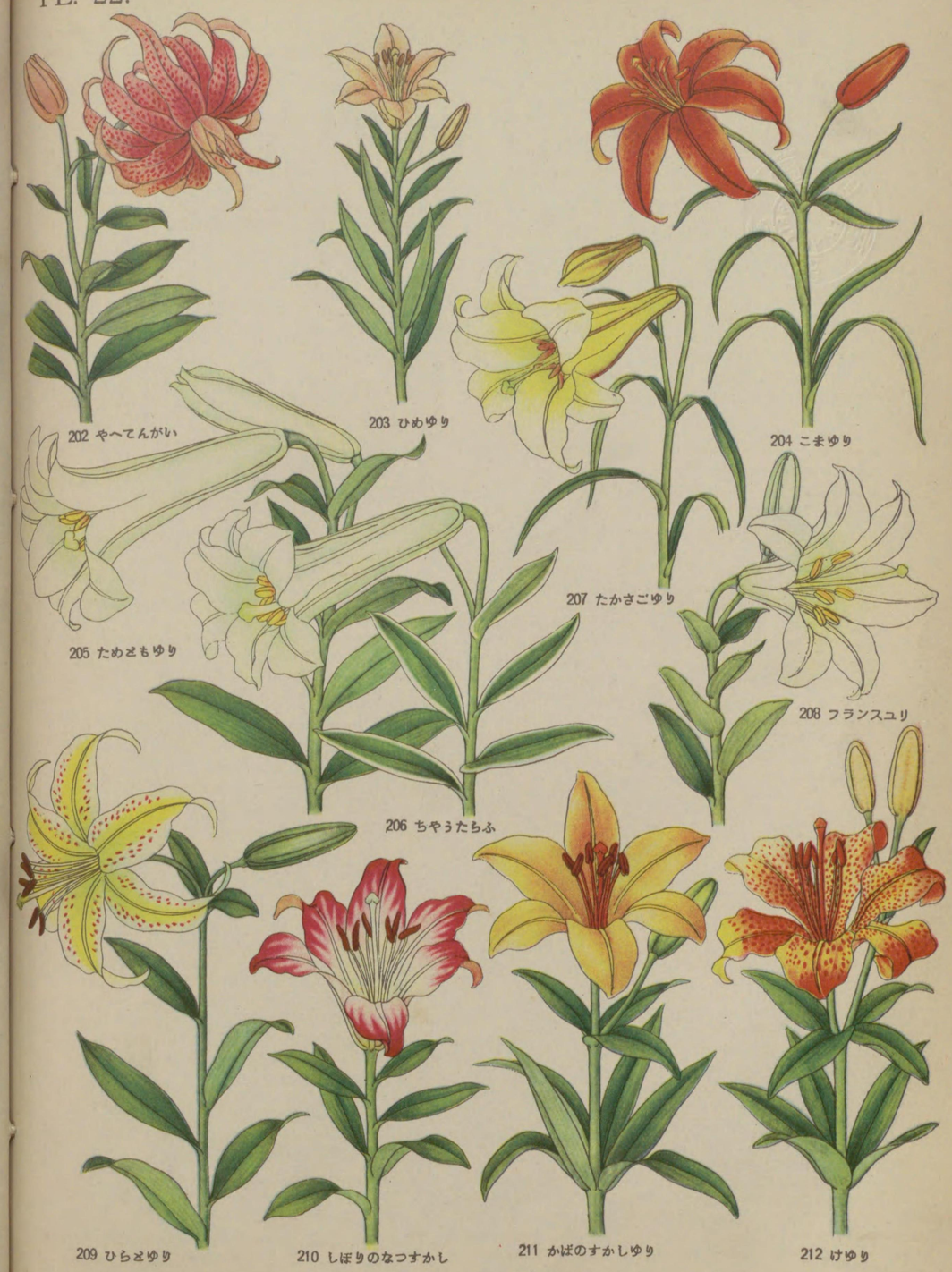
〔形態〕タメトモユリに酷似せる品種にして．本種の花被は彼に比して更に長形なるものなり。（培栽種）

6313. **たかさごゆり**（22圖版-207）……ユ　リ　科
Lilium philippinense, *Bak.* var. formosanum, *Wils.*

（異名）ほそばてっぱうゆり・たいわんゆり・すぢてっぱうゆり

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして．地下の鱗莖は徑4·5糎（1·5寸）内外を有する球形にして．白色を呈し．往々黃采を伴ふ。莖は細長く．

PL. 22.



綠色にして往々紫點を彩り．高さ30-60糎（1-2尺）に達す。葉は狹線形にして．長さ7·5-12糎（2·5-4寸）許を有し．鎌狀をなす。春夏の候．莖梢上に白色にして．基脚稍綠來を有し．芳香馥郁たる1-5花を側方に向けて喇叭狀に開き．花被片は倒披針形をなす。〔花色〕白色にして黃來を伴ふ。〔花候〕春-夏。〔分布〕臺灣。

人生との關係　庭園に栽培し觀賞に供せらる。尙本種には花色の純白種と黃褐種とありて．繁殖は實生による。

6314. **ふらんすゆり**　（22圖版-208）……ユ　リ　科
Lilium candidum, *L.*

（異名）よれはゆり・にはしろゆり　（英名）マドンナ・リリー（Madonna Lily）　〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ外來の多年生草本にして鐵砲百合に類すれども．本種は冬期尙根生葉を有すると．當の先端に綠色の斑點を有するを特徴とす。地下の鱗莖は白色又は帶黃色にして．徑6糎（2寸）內外の球形をなす。莖は高さ1米（3尺）內外に達し．葉は倒披針形にして．1莖100葉內外の多數を着生し．下部に至るに從ひ多葉を着け．上部の葉は狹長なり。7月の候．莖梢に5-20花を穗狀に排列す。花は徑7·5-9糎（2·5-3寸）許を有し．純白色にして香氣を放ち點頭し．葯は黃色を呈す。花被は廣漏斗形をなし．花被片は披針形にして．頂端に毛芒を生ず。〔花色〕純白色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。繁殖は分球により．植付は1月頃を適期とす。

6315. **ひらとゆり**　（22圖版-209）……ユ　リ　科
Lilium maculatum, *Thunb.*

〔形態〕本種も亦觀賞用として栽培せらるゝ種類にして．莖高さ0·9-1·2米（3-4尺）に達す。地下の鱗莖は扁球形にして．多數の鱗片を具へ．各片は短小なり。葉は互生にして．密に着生する狀オニユリに似たれども．本種の葉は扭捩するの傾あり。6月の候．莖頭梗上に數花を着生し．向天して開く。花はスカシユリに似て．普通赤色なれども斑點を有せず。花被は鐘狀をなし．葯は紫褐色を呈す。〔花色〕赤色。〔花候〕夏。（栽培種）

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。花色に黃色をなせるものと．紅色をなせるものとあり。

6316. **すかしゆり**　（22圖版-210）……ユ　リ　科
Lilium maculatum, *Thunb.* var. elegans, *Koidz.*

（異名）なつすかしゆり・はるすかしゆり・いはゆり　〔形態〕各地の海濱に自生品を見れども．亦多く觀賞用として園地に培養せらるゝ多年生草本なり。地下の鱗莖は球形にして．白色或は淡黃色をなし．往々赤來又は紫來を伴ふ。每春地下莖より莖を抽くこと30糎（1尺）以上に達し．長橢圓狀披針形の厚質・無柄の葉を互生し．梢部には稍微毛を生ず。初夏莖頂及上部葉腋上に．分岐せる枝梢上に濃赤褐色の1乃至數花を開き．葯は赤色なり。花は上方に向ひ．花蓋片はオニユリの如く反捲せず。花被片は基部狹くして隙間を有し．內部の兩蕊を覗見することを得るを以て．スカシユリの和名ありと云ふ。〔花色〕濃赤褐色にして紫黑色斑點を有す。〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

尙本種の培栽品種に．絞り樣の花色を呈するシボリノナツスカシと稱する一種あり。

6317. **えぞすかしゆり**……ユ　リ　科
Lilium davuricum, *Ker-Gawler.*

〔形態〕寒地の山野に自生する多年生草本にして．地下に球形の鱗莖を有す。莖高さ60-90糎（2-3尺）に達し．梢部には稍毛芽を生ず。葉は線狀披針形にして．長さ7·5-12糎（2·5-4寸）許を有す。花は黃赤色にして．黃心並に紫色の斑點を彩り．莖梢上に1-5花を着生し．葯は赤色を呈す。〔花色〕黃赤色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道。

6318. **かばすかしゆり**　（22圖版-211）……ユ　リ　科
Lilium davuricum, *Ker-Gawler.* var. Wallacei, *Wilson.*

〔形態〕本種はエゾスカシユリの一園藝變種にして．莖高さ60糎（2尺）內外に達す。5-6月頃．莖頂に橙黃色の花を上向して開けども．花色濃豔ならざる種類なり。〔花色〕橙黃色。〔花候〕初夏。（栽培種）

6319. **けゆり**　毛百合　（22圖版-212）……ユ　リ　科
Lilium davuricum, *Ker-Gawler.* subsp. Thunbergianum, *Wilson.*

〔形態〕近時鐵砲百合に次ぎ．促成切花として多量に栽培せらるゝ多年生草本にして．莖高さ60糎（2尺）內外に達す。花は橙黃色にして．花被片の內部には無數の褐色斑點を有す。本種は花瓣の裏面より萼瓣・莖葉に至るまで著しく白毛を被れるを以て．毛百合の稱あり。〔花色〕橙黃色にして褐色斑點あり。（栽培種）

人生との關係　花戶は單に毛百合と稱し．鐵砲百合と同じく．冬季にても隨時促成開花をなさしむることを得るを以て．切花としての需要多く．從て盛に栽培せらる。東京梅島附近を主要なる產地とす。

6320. **きすかし**　黃透　（22圖版-213）……ユ　リ　科
Lilium davuricum, *Ker-Gawler.* subsp. Thunbergianum, *Wilson.* forma Alice, *Wilson.*

〔形態〕本種も亦觀賞用として栽植せらるゝ一種にして．莖高さ45-60糎（1·5-2尺）許に達し．葉は廣披針形を呈し．莖を抱くが如く．稍上方に向ひて着生す。花は純黃色にして．裏面淡黃色を呈し．高雅の色彩をなす。花被內の斑點は極めて細小にして．顯著ならず。花被片は圓くして短く．基脚急遽狹細となり．よく透百合の特徴を表はすものなり。〔花色〕鮮黃色。（栽培種）

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。尙本種には鮮黃色種と淡黃色種との2種ありと稱せらる。

6321. **きんぶせん**　（22圖版-214）……ユ　リ　科
Lilium davuricum, *Ker-Gawler.* subsp. Thunbergianum, *Wilson.* forma maculatum, *Wilson.*

〔形態〕本種も亦觀賞用として培養せらるゝ多年生草本なり。莖高さ60糎（2尺）內外に達し．性質强健なり。花は橙赤色にして．上方に向ひて開き．花瓣の中央より花心に向ひて斑條を彩り．小斑點を有すれども明瞭ならず。〔花色〕橙赤色。〔花候〕初夏。（栽培種）

人生との關係　赤樺系の百合類中美觀を呈するものゝ一種なるを以て．庭園等に栽培し．觀賞に供せられ．又切花として盛に使用せらる。尙鉢栽培にも適す。栽培法は一般百合類に準ず。

6322. **じゅうだいゆり**　（22圖版-215）……ユ　リ　科
Lilium davuricum, *Ker-Gawler.* subsp. Thunbergianum, *Wilson.* forma fulgens, *Wilson.*

〔形態〕本種も亦觀賞用として栽培せらるゝ透百合の一種にして．莖高さ45糎（1·5尺）內外に達し．葉は稍短く．圓形にして先端尖る。花は當の時にありては稍帶黃色を呈すれども．開花するときは．紅黃色を呈し．大輪の受咲なり。花徑約18糎（6寸）に及び．花被內には黑色の斑點を有す。〔花色〕紅黃色。〔花候〕5-6月。（栽培種）

人生との關係　觀賞用及切花用として栽培せらる。尙本種の栽培品種にじゅうじゅうだい（23圖版-216）と稱する一種あり。

6323. **たけしまゆり**　（23圖版-217）……ユ　リ　科
Lilium Hansoni, *Leicht.*

〔形態〕概形クルマユリに類似せる種類にして．山地に自生することあれども．多くは觀賞用として栽培せらる。地下の鱗莖は卵狀球形をなし．鱗片は淡白色を呈す。每春鱗莖より高さ1·2-1·5米（4-5尺）許に達する地上莖を抽き．葉は輪生して往々8-12層をなし．花梗部には小葉を互生す。輪生葉を有することはクルマユリに似たれども．車百合は花色黃赤色にして．莖高さ60糎（2尺）內外の全體小形種にして．且つ彼の鱗片は有節なる等を其異る所なりとす。5-6月の候．梢上に2-3の花梗を出し．總狀花序を綴る。花序は疎生して．4-10花を着け．小梗は直生開出す。花は橙黃色を呈し．花被片は披針形をなして肥厚し．基部に暗黃色の細點を具へ．鎌狀に反捲す。〔花色〕橙黃色。〔花候〕5-6月。〔分布〕樺太・千島・北海道。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

6324. **ささゆり**　笹百合　（23圖版-218）……ユ　リ　科
Lilium Makinoi, *Koidz.*

（異名）さゆり　〔形態〕各地の低き山地に自生する多年生草本にして．莖高さ60糎（2尺）內外に達し．綠色にして紫色斑點を布く。地下に徑3-4·5糎（1-1·5寸）許ある球形の鱗莖を具へ．鱗片は白色にして往々紫來を伴ふ。葉は產地によりて其狹廣を異にすれども．概ね笹の如くにして．短柄を有し．銳尖狹脚の披針形なり。夏日莖梢に長徑共に12-15糎（4-5寸）許ある淡紅色乃至白色の芳香を有する1花或は數花を着生す。花被は漏斗狀をなして反捲し．葯は赤色なり。〔花色〕淡紅色乃至白色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

人生との關係　切花用として花戶の店頭を飾れども．多くは山地の自生品にして．栽培は未だ多く行はれざるものゝ如し。

6325. **ふくりんささゆり**　覆輪笹百合 …… ユ　リ　科
Lilium Makinoi, *Koidz.* var. albomarginatum, *Koidz.*

〔形態〕前種ササユリの矮性變種にして．葉緣に白色の覆輪をなし．花は淡紅色をなす種類なり。〔分布〕四國。

6326. **うけゆり**　受百合・請百合・玉請百合 …… ユ　リ　科
Lilium Makinoi, *Koidz.* var. Alexandrae, (*Bak.*)

〔形態〕本種も亦ササユリの一變種にして．莖高さ1米(3尺)內外に達し．葉は笹の葉に似て幅廣く．花は白地に淡綠色を帶び．夏の半に開花し．香氣馥郁として．容姿淡雅なる種類なり。花被は大きく筒狀をなして．空に向ひて受咬をなすを以て此名ありと云ふ。〔花色〕白色地に帶淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球。

6327. **ひめさゆり**　姫笹百合 (23圖版-219) ……ユ　リ　科
Lilium Makinoi, *Koidz.* var. rubellum, (*Makino.*)

〔形態〕本種も亦ササユリの一變種にして．莖高さ30糎(1尺)內外の稍小形種なり。地下の鱗莖は徑3糎(1寸)內外にして白色を呈す。葉は稍圓味を有し．短き葉柄によりて莖に互生す。5月頃．莖頂にササユリに似て小形なる1-5花を着生す。花は淡紅色にして．徑7·5糎(2·5寸)內外を有し優美にして芳香を有す。本種は花期早く．爲めに皐月百合の別名あり。

〔花色〕淡紅色。〔花候〕5月。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　花戸は乙女百合の名稱を以て呼稱す。切花用として愛用せらる。促成開花も自由に行はるゝを以て．冬季中も開花を見るを得べけれども．市場等の品は主に東北地方の野生品なるが如し。

6328. **にほひゆり**　香百合 (白圖-101) …… ユ　リ　科
Lilium Makinoi, *Koidz.* var. angustifolium, *Koidz.*

〔形態〕花戸は楊貴妃百合と稱する笹百合の一變種にして．葉は披針狀線

101 にほひゆり　　102 かのこゆり

形にして．花は深紅色をなし．芳香特に高きを以て此名ありと云ふ。

〔花色〕深紅色。〔分布〕本州中部(紀州)。

6329. **かのこゆり**　鹿の子百合 (白圖-102) ……ユ　リ　科
Lilium speciosum, *Thunb.*

〔英名〕ショウィー・リリー(Showy Lily)　〔形態〕暖地の山地懸崖等に自生する多年生草本なり。莖は綠色にして紫色の斑點を有し．高さ0·9-1·2米(3-4尺)に達し．鱗莖は徑7·5-9糎(2·5-3寸)許。苦味多く．赤紫色或は褐色．稀に橙黃色を呈す。葉は短き葉柄を有し．幅廣く圓味を帶び．長さ7·5-15糎(2·5-5寸)許を有し．水平或は稍垂れて莖に互生す。夏日．梢上に小枝を分ち．下向せる美麗な1-10花を開く。花徑9-15糎(3-5寸)を有し．花被片は披針形をなし．白色地の中央に紫紅采を彩り．且つ濃紅色の突起を有し．著しく反捲す。花蕊は突出し．葯は赤色なり。〔花色〕白色。

〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州・臺灣。

人生との關係　切花及花園用として栽培せらる。

(附記) 一種葉の卵圓形をなせる．**まるばかのこゆり** (23圖版-220)と稱する品種あり。

6330. **しらたまゆり**　白鹿子百合 (白圖-103) …ユ　リ　科
Lilium speciosum, *Thunb.* var. Tametomo, *Sieb.* et *Zucc.*

〔異名〕しろかのこゆり・おきなゆり　〔形態〕前種カノコユリの一變種にして．概形彼に似たれども．本種は莖葉共に細小・軟弱にして淡綠色を呈し．花形も亦稍小さく．純白色の地色に僅かの黃色斑點を具へ．基部近くに瘤狀突起ありて．花被片は特に著しく反捲するものなり。〔花色〕純白色。〔花候〕夏。(栽培種)

103 しらたまゆり　　104 たもとゆり

6331. **たもとゆり**　(白圖-104) …… ユ　リ　科
Lilium nobilissimum, *Makino.*

〔形態〕琉球に自生する稀有の品種にして．莖高さ30-90糎(1-3尺)に達す。葉は卵圓形にして先端尖り．短き葉柄によりて莖に互生し．滑澤なり。夏季梢頭に短梗を出し．上向せる2-3花を開く。花被は漏斗狀をなし．白色にして芳香を有し．長徑共に約9糎(3寸)許を有し．花被片は長楕圓狀披針形にして．苞は披針形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球。

6332. **さくゆり**　(23圖版-221) …… ユ　リ　科
Lilium platyphyllum, *Makino.*

〔形態〕八丈島に自生する多年生草本にして．高さ1·5-1·8米(5-6尺)に達し．地下の鱗莖は扁卵形をなし．黃色にして徑12糎(4寸)許を有す。葉は披針形或は長楕圓形にして先端尖り．短柄を有し．多數着生す。7月の候．白色にして清香を有する廣鐘形の大花を稍點頭し．5-20花を總狀に綴る。花徑18-24糎(6-8寸)許を有し．ヤマユリよりも大きく．花蓋は內外各3片より成り．中部は淡黃色．深部は濃黃色をなし．內面に瘤起點を散生す。雄蕊は6箇．子房は三角柱形をなし．長さ3糎(1寸)許に達し．花後結ぶ蒴は長楕圓狀圓柱形にして6稜を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。

〔分布〕本州(八丈島)。

6333. **くるまゆり**　車百合 (23圖版-222) …… ユ　リ　科
Lilium medeoloides, *A. Gray.*

〔異名〕かさゆり　〔形態〕高山に自生すれども．亦往々觀賞用として栽培せらるゝ多年生草本にして．地下の鱗莖は卵狀球形をなし．鱗片は關節を有す。短奉鱗莖より莖を抽くこと30-60糎(1-2尺)許にして．下部には必ず輪生葉を着生す。葉は披針形或は卵狀披針形にして．長さ9-15糎(3-5寸)許に達す。夏日．莖頭に1-6箇の黃赤色にして．暗紫色の斑點を有する6瓣花を開く。花は通常下方に傾きて開き．花被片は反捲す。〔花色〕黃赤色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及び

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

6334. **てうせんかさゆり** …… ユ　リ　科
Lilium Miquelianum, *Makino.*

〔形態〕本種も亦栽培種にして．クルマユリに比し全形大なり。花は黃赤色或は橙黃色にして暗點を伴ひ．通常莖頂に2-5花を向天開花す。

〔花色〕黃赤色又は橙黃色。〔原產地〕朝鮮。

6335. **きばなてうせんかさゆり** …… ユ　リ　科
Lilium Miquelianum, *Makino.* var. flavum, *Makino.*

〔形態〕前種テウセンカサユリの一變種なり。花は黃色にして．黑點を有するものなり。〔花色〕黃色。(栽培種)

6336. **スゲユリ** …… ユ　リ　科
Lilium tenuifolium, Fisch.

〔形態〕外來の園藝用多年生草本にして．地下に白色或は淡黃色の長楕圓形をなせる鱗莖を有し．長さ4·5糎(1·5寸)內外を有す。鱗片は少數にし

PL. 23.

213 ささすかし　214 きんぶせん　215 じゆうだいゆり
216 じやうじゆうだい　217 たけしまゆり　218 ささゆり　219 ひめさゆり
220 かのこゆり　221 さくゆり　222 くるまゆり　223 うばゆり

て，往々淡紅米を伴ひ．大形にして堅く抱合す。莖は細長く．高さ 30-60 糎 (1-2 尺) に達し．葉は狹線形にして．長さ 3-4·5 糎 (1-1·5 寸) を有す。花は 1 莖 1-15 花を着生し．通常濃紅色にして．稀に紫色の斑點散生す。花梗は 3-5 糎 (1-1·5 寸) 許を有し．花被片は反捲す。〔花色〕濃紅色。（栽培種）

2. ウバユリ屬 CARDIOCRINUM.

6337. うばゆり 姥百合・蕎麥葉貝母 (23 圖版-223) ユ リ 科
Cardiocrinum cordatum, *Makino.*

（異名）かばゆり・ねずみゆり 〔形態〕山地・籔澤等の陰地に自生する多年生草本にして．鱗莖は卵形をなし．鱗片は小數にして黄白色を呈す。葉は莖の中部に數葉を簇生し．橢圓狀卵形或は長橢圓狀心臟形をなし．鈍頭・心脚にして．長き葉柄を有す。夏日莖梢に總狀花序をなして．2-5 花を開く。花に各 1 箇の苞を有し．淡黄綠白色にして．內面に暗紫色の細點を有す。花被は漏斗狀をなして．長さ 15-18 糎 (5-6 寸) に達し．花被片は箆形にして 6 片を有し．先端僅かに反捲す。雄蕊は 6 箇ありて長短齊しからず．葯は淡褐色にして灰白粉を吐く。蒴は橢圓形にして 3 瓣を有し．中に有翼種子多數を有して飛散す。〔花色〕淡黄綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部・九州(對馬)。

6338. おほうばゆり …… ユ リ 科
Cardiocrinun Glehni, *Makino.*

（異名）えぞうばゆり・うんばいろ 〔形態〕本州中部以北の山野に自生する多年生草本なり。莖は直生し．葉は圓卵形にして．先端急に銳尖頭をなし．長き葉柄を具ふ。總狀花序は 8-10 花を着生し．苞は花より短く．花被片は倒卵狀楔形にして．雄蕊及花柱は花被と同長なり。〔花色〕白綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

105 ユキゲユリ　106 けいびらん

3. ユキゲユリ屬 CHIONODOXA.

6339. **ユキゲユリ** (白圖-105) …… ユ リ 科
Chionodoxa Luciliae, Boiss.

〔形態〕外來の多年生草本にして．地下の鱗莖は褐色・卵形をなす。葉は 2-3 葉を生じ．披針形にして．長さ 12 糎 (4 寸) 許を有し．花莖高さ 7·5-15 糎 (2·5-5 寸)．花は淺色或は往々花心に白色を彩り．點頭して總狀花序に排列す。〔原產地〕西部亞細亞。

4. ムラサキクンシラン屬 AGAPANTHUS.

6340. **ムラサキクンシラン** (24 圖版-224) …… ユ リ 科
Agapanthus umbellatus, L. Her.

〔形態〕外來の多年生草本にして．地下には長さ 9 糎 (3 寸) 許ある塊根を有し．根の發生極めて旺盛なり。莖高さ 90 糎 (3 尺) 許に達し．葉は多數を簇生し．劒形にして肥厚し．長さ 60 糎 (2 尺) 許を有す。6-7 月の候．葉間より花莖を抽くこと 60-90 糎 (2-3 尺) に達し．莖頂多くの花梗を岐ち．20-30 花を繖形花序に綴る。苞は 2 箇を具へ．花は青藍色と白色との 2 種あれども．青藍色が本種の特徴を現はせるものなり。花被は筒狀漏斗形をなし長さ 3-4·5 糎 (1-1·5 寸) 許を有して．6 深裂し．各裂片は倒披針形をなす。雄蕊は 6 箇を具へ．花絲は下方に傾向す。〔花色〕青藍色又白色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部亞弗利加。

人生との關係 花壇植又は切花として賞用せらる。本種は春植球根なるを以て．4 月頃．鉢又は花壇に栽植す。性質强健にして寒氣に耐へ．充分に肥培するときは．よく開花する種類なり。

5. ケイビラン屬 ALECTORURUS.

6341. **けいびらん** (白圖-106) …… ユ リ 科
Alectorurus yedoensis, *Makino.*

〔形態〕本邦西南暖地の岩上に自生する多年生草本にして．地下に肥厚せる根莖を有す。葉は鋒狀劒形にして根出・簇生し．長さ 12-45 糎 (0·4-1·5 尺) 許に達し．1 側に向ふの特性あり。夏日葉間より扁平なる花莖を抽くこと 30 糎 (1 尺) 以上に及び．梢端 3-4 に分岐し．白色にして．背面赤紫色暈ある鐘形花を圓錐狀をなして片側に排列す。花被片は 6 箇を有し．長橢圓形をなす。雄蕊も亦 6 箇を具へ．概ね花被と同長なるか或は挺出す。子房は 3 溝を有して球形をなし．花後 3 起ある球形の蒴を結ぶ。〔花色〕白色にして背面赤紫暈を伴ふ。〔花候〕夏。〔分布〕四國・九州。

6342. やくしまけいびらん …… ユ リ 科
Alectorurus yedoensis, *Makino.* var. platypetalus, *Masamune.*

〔形態〕前種ケイビランの一變種にして．花は紅色を呈し．花瓣は廣濶なる一種なり。〔分布〕九州（屋久島）。

107 そくしんらん　108 ねばりのぎらん

6. ソクシンラン屬 ALETRIS.

6343. **そくしんらん** (白圖-107) …… ユ リ 科
Aletris spicata. *Franch.*

〔形態〕本邦南部の溫暖なる山野に自生する多年生草本にして．高さ 30 糎 (1 尺) 以上に達す。葉は地下莖より生じ．鋒狀をなして細長く．先端尖る。春夏の候．叢葉間より花莖を抽き．多數の花を總狀花序に排列す。花序は疎生し．毛茸を密生す。花は小形にして稍鐘形をなし．淡褐色にして 5 列し．花後有毛の蒴果を結ぶ。〔花色〕淡褐色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・琉球・臺灣。

6344. **ねばりのぎらん** (白圖-108) …… ユ リ 科
Aletris foliata, *Franch.*

（異名）えぞのそくしんらん 〔形態〕高山草本帶又は灌木帶に自生する多年生草本にして．葉は宿根より叢生し．廣披針形をなす。8 月頃．叢葉間より擡長なる花莖を抽くこと 30-60 糎 (1-2 尺) 許に達し．莖梢上部に黄色の小花多數を穗狀様總狀花序に排列し．花序は粘質なり。苞は披針形にして花より長く．花被は筒形をなして 6 裂す。雄蕊は 9 箇を具へ．花被の基部に着生し．子房は下位にして．花柱は 3 岐す。〔花色〕黄色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

6345. たいわんのぎらん …… ユ リ 科
Aletris formosana, (*Hayata.*)

〔形態〕臺灣に自生する多年生草本にして．莖高さ 45 糎 (1·5 尺) 內外に達す。葉は根生し．膜質にして線狀披針形をなし．先端尖る。穗狀花序は粘

質にして，長さ4·5糎(1·5寸)内外を有す。蕚は筒狀鐘形にして，上部は偏側膨出し，先端6裂す。子房は半下位にして，蕚筒の中部まで合生し，雌生部は三角狀圓錐形をなす。雄蕊は6箇を具へて蕚筒に着生し，花柱の先端3裂す。〔分布〕臺灣。

7. ネ　ギ屬 ALLIUM.

6346. ネ　ギ 葱（白圖-110）……ユ リ 科
Allium fistulosum, L.

（異名）ネブカ・ヒトモジ　〔形態〕畑地に栽培せらるゝ多年生草本にして，通常叢生し，地下に堅く短縮せる地下莖を有し，多數の鬚根を生ず。地味・培養法の如何により大小種々あれども，通常高さ60糎(2尺)許に達す。葉は中空の筒狀をなして先端尖り，鞘脚を具へ：其地下にある部分は多數相重りて1本となり，白色を呈す。俗に白根と稱す。初夏の候，葉間に略葉に似て，中空なる圓柱形の花軸を抽き，長小梗を有する帶白色の小花を多數簇生して傘狀を呈し，初めは膜質の囊狀苞に包まる。花被は鐘形にして6片の花蓋より成り，披針形にして充分展開するに至らず。雄蕊は6箇を具へて挺出し，雌蕊は1箇，子房は3起し，朔は3室を有す。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔原産地〕西比利亞。

人生との關係　四時採りて煮食し，又生にて食すべきも，冬月を最柔軟，美味の時季とす。培養の巧拙によりて葱白に多少あり。尙本種は揮發油を含有するを以て，よく神經を刺戟して消化液の分泌を促し，消化器に寄生虫の發生を豫防し，「リウマチス」・腦の壯健劑として卓效あるものなり。

葱の栽培品種

葱は栽培品種頗る多く，其主なるものを擧ぐれば概ね次の如し。

（イ）**イハツキネギ**（岩槻葱）　埼玉縣南埼玉郡岩槻町近在の產にして，早生種に屬す。莖身短くして太く基部屈曲し，分蘖强し。軟白部は稍短きも，甘味に富み，柔軟にして且つ豐產なり。

（ロ）**センジュネギ**（千住葱）　東京市附近の市場を占有せるものにして，元來東京市城東區砂町近在の原產なりしが，殊に千住町附近より良品を產するを以て此名を得たりと云ふ。本種は分蘖少く，所謂太葱に屬し，一名一本葱と稱せらる。伸長力强く，葉は充分に成育し，軟白部は60糎(2尺)許に達するものあり。質柔軟・純白にして香味頗る佳良なる優良種なり。赤柄・黑柄・合柄の3變種あり。

（ハ）**シモニダネギ**（下仁田葱）　一名上州一本葱と稱せらる。群馬縣北甘樂郡西牧村附近の產なるも，下仁田附近に多く集散するを以て此名あり。本種は耐寒力弱きの缺點あれども，殆んど分蘖することなく，著しく肥大し，莖の直徑6糎(2寸)に及ぶものありと云ふ。軟白部は短く，漸く24糎(8寸)内外なり。早生種に屬す。

（ニ）**クジャウネギ**（九條葱）　京都府九條村附近の產にして，分蘖强く，從つて軟白部は細く且つ短し。日本種の葉は淡綠色・柔軟にして，蓬の立つこと晩く，又豐產なるを以て，所謂葉葱として關西地方にては賞味せらるゝ最優良種なり。

（ホ）**ネブカフトネギ**（根深太葱）　本種も亦京都府下九條村近在の產にして，軟化部長く且つ太く，從つて分蘖力弱し。味佳良にして且つ豐產なるを以て，彼の地方には盛に栽培せらる。晩生種なり。

（ヘ）**アキタネギ**（秋田葱）　秋田縣の產にして，莖は千住葱よりも肥大して短く，品質佳良なり。

（ト）**カリギ**　又カレギ・ナツネギと稱す。夏月刈りて食用に供す。刈れば愈盛に繁茂するを以て此名あり。葉は稍細小なる品種なり。

ネギの栽培法

風土と土質　葱は何れの種類にありても，概ね强健にして且つ耐寒性に富み，さして耕土を選ばざれども，一般に排水佳良にして，適當の溫度を含み，稍重き粘土質壤土を最も適當とし，停滯水あるが如き所は不適當なり。即ち砂質の土壤にありては肉質粗鬆となり，根の白色部に黃味を帶び，火山灰土の如き土壤にありては，軟白部軟く膨らみて緊縮せざるのみならず，色澤亦不良なり。又壤土・埴土にありては，軟白部に赤味を帶ぶる傾向を有すれども，粘質壤土にありては，軟白部純白色を呈して充實し，而も柔軟にして，收穫後容易に凋萎せざるなり。

葱は前にも述べたるが如く，四時採りて或は煮食し，或は生食すべき重要なる蔬菜の一種なれども，地方によりて其食用の部分を異にす。即ち關東地方にありては，多く軟白部を嗜食すれども，關西方面にありては，主に綠葉部を賞味するが如し。從つて之れが栽培するにも，各其地方・用途等により，夫々其栽培法を異にせざるべからざるは勿論なり。以下2法を區別して，其栽培法の大要を略記すべし。

白葱の栽培法

播種期　葱は一般に春の彼岸頃種子を下して苗を作り，之れを一定の畑地に定植し，12月頃より翌年2月頃迄に收穫するを普通とすれども，又秋の彼岸頃に播種して育成せる苗を，翌年5月頃迄に定植し，10月頃より年内に收穫する方法と，又5月頃播種して秋季に定植し，翌春に至りて收穫するの3方法あれば，各其需要・用途等につき研究し，以て有利の栽培を講ぜざるべからず。

播種法　元來葱の幼苗は，其の生育極めて遲きものにして，殊に秋蒔にありては越冬困難なるを以て，床播法一般に行はるれども，亦土地によりて，平床播作條播仕立等も行はる。而して葱苗は，一般に粗播を好み，密播は苗の發育著しく不良にして，且つ發育の不齊を來すことあるを以て，春蒔は勿論，秋蒔にありても，吸地にては，平床に密播するよりも，寧ろ作條を作り，畦幅30-60糎(1-2尺)位に條播し，以て施肥・中耕に便するをよしとす。而して其の種子量は10アール(1反歩)當0·5-0·75立(3-4合)を要す。

苗床　苗床は豫め充分肥沃土とするの必要あるを以て，基肥として堆肥・人糞尿・木灰等を施すの外，補肥として稀薄なる人糞尿を5-6回施すを可とす。

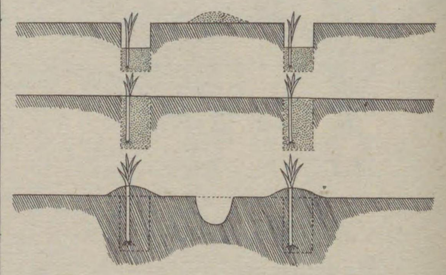
假植　平床又苗床に育成したる苗の18-21糎(6-7寸)内外に生育したるとき之を掘り取りて，苗の大小を區別し，畦幅と同樣の幅に假植すべし。此假植の目的は，苗の虛弱を防ぐと共に，本圃の都合にて植付の出來ざる場合，苗の徒長を防ぐために行ひ，又秋蒔の場合には抽薹の虞あるを以て，之れが抑壓するために行ふものとす。

本圃の準備　葱は前にも述べたるが如く，連作を厭ふものなるを以て，2-3年間は休耕するを可とす。前作物を採收し終りたれば，雜草を充分に除去し，75-90糎(2·5-3尺)内外の畦幅に，鍬の幅丈の廣さにて15-18糎(5-6寸)位の深さに掘りて，土を一方に揚げて後に兩壁を眞直にするため鋤を用ふ。而して此作業は1畦掘りては植付け，次の畦を掘りては植付くるが如く，順次片付くるを便利とす。

植付法　通常秋蒔は4-5月頃，春蒔は7-8月頃本圃に定植す。先づ苗を取りて大小に分類し，貧弱のもの或は葉の1箇所より多く簇出せるもの等を除きて最も佳良と認むる苗を取り，其の上皮を刺ぎて，溝壁に6-12糎(3-4寸)内外の株間を以て植付く。而して其の位置は，夏の場合にありては，溝壁が東西の畦ならば南側に，南北の畦ならば兩側に配置して，幾分なり其乾燥を防ぐ樣にし，春の場合にありては之と反對にして，幾分暖かにする樣に植付くべし。而して葱の根は地中に深く進入せず，反つて上方に伸長する性質を有するを以て，溝壁の底は6糎(2寸)内外に淺く耕し，之に基肥を施し，充分によく混和し，其の上へ苗を1側の壁に接して直立せしめ，根は壁の反對の方に横げて，淺く倒れざる程度に覆土し，それより極めて稀薄なる人糞尿を施し，尙ほ此の溝中へ枯草・藁等を敷きて乾燥を防ぐ樣になすを要す。

以上記述したる苗の栽植距離は勿論品種・採收期によりて，多少の廣狹あれども，概して千住葱は畦幅60-75糎(2-2·5尺)，株間9-12糎(3-4寸)に1本の苗を配し，九條葱は畦幅60-75糎(2-2·5尺)，株間12-15糎(4-5寸)として，之に2-3本の苗を配するを普通とす。

尙定植に當り，苗を陽干にし，根葉を萎凋せしめ，若しくは根及葉の先端を切り取るときは，發育を良好にし，病害に罹ること少く，且つ翌春抽薹すること遲く，殊に九條葱・葉葱等にありては，要するところの分蘖力著しく增大し，大に收益を擧げ得らると云ふ。

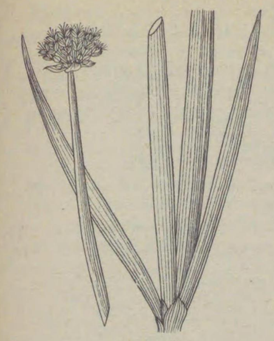


109 ネギの土寄順序

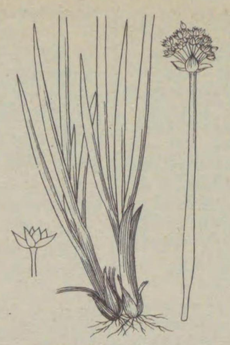
土寄　土寄は白葱を作る作業中，最も重要なる操作の一にして，之れが時期の適否は，其の成品に重大なる關係あるものなり。元來適當の時季に於ける土寄は，莖の伸長は之を促せども，決して莖は肥大せざるものなるを以て，充分に生育肥大したる頃を見計らひ，而も一回に之を行はず，何回にも之を行ふを可とす。即ち第一回は植付後60日内外にして，此時は（イ圖）に示すが如く，溝の半分位迄を埋め，次に第二回は約30日前後に（ロ圖）に示すが如く，約地表に達する程度に土寄をなし，爾後30日前後に至り第三回の土寄として，地表より約15糎(5寸)許（ハ圖）高く土寄をなす。されど又晩生種にありては，以後20日内外にして，更に1回の土寄を行ふことあり。

要するに，本作業は常に葉の分岐點を境として之を行ひ，其の點の生長に從ひ順次に之を行へば可なるものなり。若し餘りに早きに失するときは，軟白部の肥大せざるのみか，反つて痩小となり，又餘りに晩きに過ぐるときは，其伸長を妨げて，爾後發育せざるの虞あるものなれば，以上の要領を考慮して之を行はざるべからず。

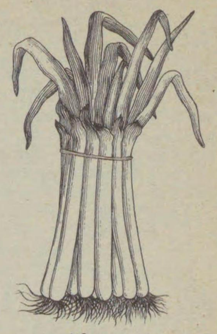
施肥と管理　葱の栽培には，出來得る限り多量の肥料を施す方，好結果を得らるゝものにして，通常10アール(1反歩)當標準施肥量を示せば大約次の如し。



110 ネ ギ

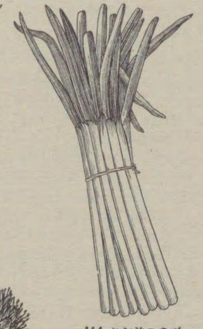


111 ワケギ



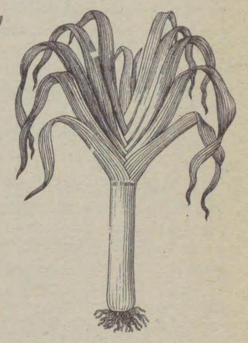
112 イツポンネギ

113 イハツキネギ

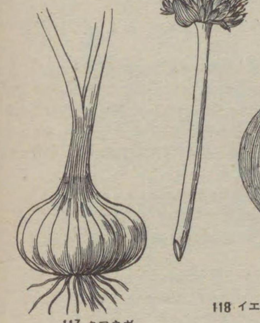


114 センジユネギ

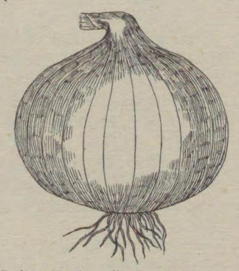
115 ヤグラネギ



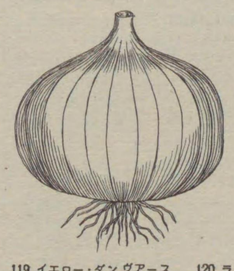
116 リーキ



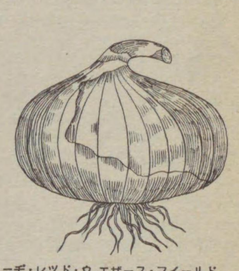
117 タマネギ



118 イエロー・グローヴ・ダンヴアース



119 イエロー・ダンヴアース



120 ラーヂ・レツド・ウエザース・フイールド

121 ねぎねぎ

122 しろうまあさつき

123 あさつき

堆　肥	938 瓩（250 貫）	鱶　粕	37　瓩（10·0 貫）
木　灰	94 瓩（25 貫）	過燐酸石灰	32·5 瓩（8·6 貫）

尙補肥として．人糞尿 933 瓩（250 貫）を稀薄にしたるものを．3-4 回施すべし。而して施肥の時期は．栽植後 30 日內外にして第一回を施し．次は第一回の土寄の時に．根元より 6-9 糎（2-3 寸）隔りたる處へ．葉に掛らざる樣に施して土を寄せ．第三回は前回の要領によりて．第二回の土寄と同時に施すを良とす。

採　收　收蒔は 11 月頃より翌春 3 月頃迄．秋蒔は 6 月頃より 10 月頃迄に採收す。採收時期に至りたれば．畑の 1 隅より土を崩して掘り取り．大小を選別し．小刀を以て根を切り去り．其の儘洗はずして 1 本づゝ皮を剝ぎ取り．布切を以て丁寧に拭ひ．100 本づゝ簡單なる把器にて圓形に把ね．葉の分岐點と．根の方との 2 箇所を繩にて束ね．葉先は 1 部分切斷して．市場に出すものなり。若し遠地は輸送する場合には．掘り取りたる後．根も土も除かずして．莚包として出すなり。收量として 10「アール」（1 反歩）當 3750 瓩（1000 貫）內外を普通とすれども．乾燥せし年にては稍目方の輕減は免れざるなり。

葉葱の栽培法

葉葱は全國一般的に栽培せらるれども．殊に京都・關西地方にては．需要の關係上一層盛に栽培せらる。通常 10 月中旬頃播種し．翌年 4 月上旬頃假植し．9 月に定植せらる。播種量は白葱の時より多くを要し．概ね彼の倍量を使用せらる。

苗の仕立方等は．白葱の場合と同樣にて上けれども．定植のとき苗を 2-3 日間日光に晒し．10 株位づゝ葉の端を藁にて束ね．矢來にかけて 2-3 週間其の儘に放棄しおくときは．葉は褐色を呈するに至るを以て．こゝに葉を 15-18 糎（5-6 寸）に切り捨て．之を定植するなり。之等の操作は．何れも分蘗力を旺盛にして收量の增加することは確實なれども．此の作業は相當熟練を要することにして．往々活着せずして．全く枯死せしむることあれば注意して行はざるべからず。

定植と管理　定植せんとする畑地は充分によく耕作し．45 糎（1·5 尺）の畦幅に淺く作條を設け．株間を 9-12 糎（3-4 寸）位にして定植し．肥料は白葱と同樣にて可なり。定植後は時々雜草を除去し．補肥と中耕とは．生育の狀況に應じて 3-4 回之を行ひ．最初は畦の 1 方に土を寄せ．次は反對の方向に中耕し．最後には兩方へ土寄をなす。

收　穫　收穫はなるべく柔軟なる內に收取するをよしとす。植付後 40-50 日も經過したれば漸次掘り取り．根元に附着せる枯葉を除き．又土を落して．近くに販賣する場合は奇麗に洗ひて小さく束ね．若し又遠くに出す場合には．根元を適宜の大きさに束ね．根を半ば切り落し．50 把位宛を裝包として發送するものなり。

採種法　葱の種子は古くなるときは發芽力を失ふを以て．可成自家採收の種子を用ふるを安全なりとす。即ち採種は．12 月頃採收せんとするものゝ中より．大體形態の正しきものを擇り出し．更に收穫の際．嚴密に調査したるものを．別の畑地に幅 60 糎（2 尺）內外の淺き畦を立て．之に堆肥・人糞尿等を施し．18-21 糎（6-7 寸）位の距離に植込み．深く半分位迄土寄し．其後時々人糞尿を施すときは．4 月頃に至り抽臺するを以て．支柱を設け倒垂を防ぐ。かくするときは花蕾は漸次發育し．開花結實するに至る。最も頂端に出づるものを一番花と稱し．此一番花より成育したる種子は．發芽力弱きものなれば．之を捨て去り．二番花種子を採取するを良とす。而して此種子の成熟期は．恰も梅雨時に當るを以て．勉めて濕氣に犯されざる樣に注意し．尙成熟に至れば．直ちに花梗を僅かつけて剪り取り．之を蓆の上に横げて充分に乾燥し．以て優良なる種子を得るものなり。

病害蟲　葱の病害の主なるものは．露菌病・赤斑病・腐敗病等にして．害虫としては．葱の蓟馬・蛾虫・赤條椿虫等なり。

6347. ワケギ　分葱（白圖-111）……ユ　リ　科
Allium fistulosum, L. var. *caespitosum*, Makino.

（異名）フユネギ・フユキ　（英名）シャロット（Shallot）〔形態〕ネギの一栽培變種にして．自生品なし。高さ 30 糎（1 尺）許に達し．莖は叢生して株をなす。形態殆んど葱と同形なれども．全體に細く．臭氣も葱より少なく．根には細長き鱗莖を有す。3-4 月の候．花莖を抽き上端に花を開く。花はアサツキの如くにして稍小形なり。〔花色〕白色。〔花候〕春。

〔原產地〕北部亞細亞。

人生との關係　葱と同じく葉を食用に供するに．彼より又一種の風味ありて賞味すること足るものなり。

栽　培　法

分葱は 2-3 月頃最も繁茂し．初夏の候に至れば．衰ふるものなれば．この時期に根を掘り取り．軒下等に掛け置き．8 月頃に之を植ゑ付くるを良とす。若し此操作を行はず．畑地に其儘放置し置くときは．反つて繁殖せざるものとす。分葱は結實せざるを以て．之れが繁殖は．子球を分ちて植ゑをなすものとす。蓋しワケギ（分葱）の名稱のある所以なるべし。畑地はアサツキと同じく．日蔭の濕地に適す。

6348. イッポンネギ（白圖-112）……ユ　リ　科
Allium fistulosum, L. var. *giganteum*, Makino.

（異名）シモニタネギ・オホネブカ・オホネギ　〔形態〕群馬縣北甘樂郡西牧村附近に產するネギの一栽培變種にして．各部大形．且つ鱗莖は常に單立す。（葱の品種參照）（栽培種）

6349. ヤグラネギ（白圖-115）……ユ　リ　科
Allium fistulosum, L. var. *viviparum*, Makino.

（異名）サンガイネギ・タウネギ・オランダネギ・マンネンネギ

〔形態〕本種も赤ネギの一栽培變種にして．支那に產す。葉は普通のネギと同じく．夏日．梢上に一葉を出し．其腋より數本の幼植物を胎生し．數花を開き．其中に一葉更に成長して葉を分ち．幼植物及花を生じて層をなす樣．恰も樓子の如き觀を呈するを以て此名あり。（栽培種）

人生との關係　葱と同じく嫩莖をとりて食用に供す。

6350. リーキ（白圖-116）……ユ　リ　科
Allium Porum, L.

（異名）ホロ・ニラネギ・タマブキ　〔形態〕外來の多年生草本にして性質强健．且つ耐冬性亦强し。分蘗力極めて弱く．綠葉は舌形をなし．硬質にして粉白を粧ひ．扁平にして恰もニンニクの葉の如く．軟白部は何れの葱類よりも短大なり。花莖は高さ 60 糎（2 尺）以上に達し．莖梢頂端に白色或は赤色の花を着生し．球形をなせる繖形花序をなす。花被片は披針形にして先端尖り襞質なり。〔花色〕白色亦赤色。〔原產地〕歐羅巴（瑞西）。

人生との關係　軟白部は甘味に富み風味佳良なれば．主として洋食に使用せらるゝ外．和食にも葱と同じ用途に使用せられ．風味反つて彼より嗜好せらる。尙本植物は性極めて强健にして．冬の野菜となし栽培極めて容易にして．且つ手數と經費とを要せざるを以て．之れが栽培を大に推奬する價値あるものなり。

リーキの栽培法

リーキは性質頗る强きものなるを以て．葱と同じく氣候の影響少く．土質も亦葱と同じく．腐植質に富みたる粘質壤土を最も良とす。

リーキは種子によりて繁殖せしむるものにして．2 月中旬より 4 月下旬迄の間なれば．何時播種するも可なり。されど其收穫を早からしむるには．苗床仕立によるを可とす。即ち播種前に播土を粉の如く碎き．其土の下 12-15 糎（4-5 寸）許の處へ．少量の腐熟したる厩肥．若しくは腐植土を敷き込みたる苗床に播種し發芽後込み合ひたる所の間引を行ふ。斯くして苗の 12-15 糎（4-5 寸）に生育する頃は．恰も早生豌豆の收穫を終りし頃なるを以て．理想としては其の跡作を最良とす。植付に際しては．相當株間の距離を保たしむるを要す。

植込の土地は可成深く耕し．厩肥を相當施すべし。而して成育中は頗る水分を要するを以て時々灌水し．9 月頃に至りて液肥を施すときは．最も良好なる結果を得らるべきなり。品種も數種あれども．リヨン（The lyon）種は最も普通に栽培せられ且つ優良の品種なり。

6351. タマネギ　葱頭・玉葱（白圖-117）……ユ　リ　科
Allium Cepa, L.

（異名）タマブキ　〔形態〕園地に栽培せらるゝ多年生草本にして．鱗莖は球形或は扁球形をなし．莖高さ 30-60 糎（1-2 尺）に達す。葉は細く圓柱形をなして中空なり。秋日．葉と同じく圓柱形にして．葉より遙かに長き花軸を葉間に抽出し．頂端に白色又は淡碧色の小花を叢生し．繖形花序を綴り內に珠芽を交ふ。花序は球形をなす。〔花色〕白色又は淡碧色。〔花候〕秋。

〔原產地〕「ベルシャ」。

人生との關係　地下莖及嫩葉を食用に供す。

葱頭の類別

類　別　タマネギは之れが取扱上．球の形態及色澤等によりて．次の 2 種に分類せらる。

（甲）**形態による分類**（1）扁平種（2）楕圓種（3）球形種（4）卵形種（5）扁球種等に分類せらるれども．普通一般に栽培せらるゝものは楕圓種・球形種・扁球種等なり。

（乙）**色澤による分類**（1）赤色種（2）黃色種（3）白色種等に分類せらる。一般に白色種は品質優良なれども．性頗る弱く．且つ貯藏に耐へ得ざるの缺點を有し．赤色種は豊產にして貯藏に耐ふれども．品質劣惡の缺點を免れず。然るに黃色種にありては其中間にあるを以て．最利的栽培に適す。

以下廣く一般に栽培せらるゝ 1-2 の優良品種を列擧すれば．

（1）**イエロー・グローヴ・ダンヴァース**（Yellow Globe Danver's）（黃色種）（白圖-118）本種は普通に黃玉葱と稱する種類にして．本邦にては古くより栽培せらるゝ米國原產の中生種に屬す。球は大きく扁球形なれども．殆んど球形を呈し．根盤は細く．外皮は黃褐色にして．比較的强靭なり。肉質は堅く緊り．甘味と香味とに富み．收量亦多く且つよく貯藏に耐ふれども．割合に多く抽臺するの缺點を有す。

（2）**イエロー・ダンヴァース**（Yellow Danver's）（黃色種）（白圖-119）前種の一變種とも見るべき品種にして．彼に比するに球は一層扁平なるを特徵とし．收穫亦多き中生種に屬す。尙前種を改造したる優良品種に大阪黃玉葱あり。大阪府泉南郡地方にて盛に栽培せらる。

（3）**ラーヂ・レッド・ウエザース・フィールド**（Large Red Weathers field）（黃色種）（白圖-120）本種は普通赤玉葱と稱し．各地に栽培せらる。形狀前種に似て．

球狀扁球形をなせども．表皮は赤色を呈し．よく貯藏に耐ふる優良品にして．晚生種に屬す。

（4）**プライズ・テーカー**（Prize Taker）（黃色種）米國原產の晚生種にして．球は大きく紡錘形を呈し．外皮は黃白色にして內白く．甘味に富み柔軟なり。根盤は太く．外觀稍粗惡の感を免れざるも頗る豊產なり。

（5）**イエロー・スキン**（Yellow Skin）（黃色種）本種も亦米國の原產にして．又丸玉と稱す。球は頗る大きく長球形をなし．外皮は淡綠色にして．性强健・豊產且つ栽培容易なれども．根盤太く．貯藏に耐へざる種類なるを以て．葉附玉葱として早くより市場に現はるゝものなり。殊に本種は早生種に屬するを以て．水田の裏作等に最も適し．推奬に値するものなり。

（6）**ホワイト・ポルチュガル**（White Portugal）（白色種）本種は品質優良なれども．一般白色種と同じく性頗る弱く．且つ貯藏力に乏しき品種なるを以て．一般家庭用としてのみ利用せらる。

負上記述したるものゝ他に

（7）**ポテト・オニオン**（Potato Onion）と稱し．6 月頃地中に小鱗莖をジャガイモの如く形成する珍奇の一品種あり。

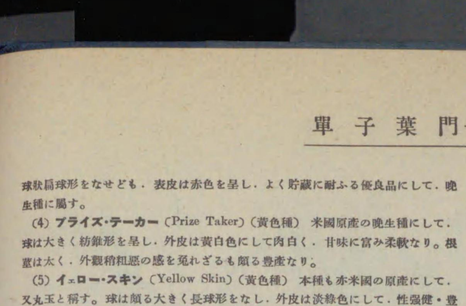
風土と土質　玉葱は寒暖何れにても栽培なし得れども．概して涼冷なる氣候に適するものゝ如し。即ち北海道・東北地方にありては．春播種にて優良品を產出すれども．關西地方にありては．秋播にあらざれば良品を產せざるなり。土質は肥沃に過ぎざる壤土又は砂質壤土にして．稍水濕多き處に適し．輕鬆なる火山灰土又は酸性土等には絕對に適せざるものなり。

栽　培　法

寒地にありては．春秋二期に播種し．又 4 月中・下旬に直播することあれども．暖地にありては．9 月中・下旬頃．葱と同樣に床蒔をなし．12 月上・中旬或は翌春 3 月上旬頃．苗の 20 糎（7 寸）位に伸長し．鱗莖の稍膨大したる頃本圃に定植をなす。

本圃は叮嚀に整地し．畦幅 45 糎（1·5 尺）又は 60 糎（2 尺）內外として基肥を施し．株間を 12-15 糎（4-5 寸）にして．1 列又は 2 列植とするか．或は平床形に整地して 18 糎（6 寸）乃至 26 糎（8·5 寸）內外の距離に淺植す。但し水田の裏作とする場合には．高畦を作りて定植をなし．又直播栽培の場合は．苗の成長に從つて間引を行ひ．最後に株間を 12-15 糎（4-5 寸）にたすべし。而して畑地の前作には菜菽・白菜．後作には里芋・甘藷等の栽培を適當とす。

定　植　苗床より掘り取りたる苗を．先づ大・中・小に 3 別し．本葉 4-5 葉を出し．鉛筆大の太さのものを選定し．餘りに太きに失するものは之を除くべし。次に苗の選定を終りたれば．苗は根葉共に ⅓ 位切り捨て．整地後畦立てし之に基肥を施し．足にて輕く覆土したる處に 2-3 糎（0·7-1 寸）の深さに眞直に淺植し．深植又は苗を斜に曲げて植ゑ付くべからず。



124 タマネギ苗の植ゑ方

定植後の管理　斯くして定植を終りたれば．寒地にては根元に稻殼を撒布し．2 月中旬頃．補肥と同時に 1 方へ淺く中耕し．其後 4 月下旬頃に至り第三回の補肥を施し．同時に淺く土寄をなす。若し根元の土の固まるが如き場合には．手を以て之を撫き除き．球を露出する樣になすべし。斯くするときは．球は漸次肥大すれども往々旺盛に過ぎて．莖葉の繁茂することあるを以て．5 月頃に至り根元より 4·5 糎（1·5 寸）內外の上部を捻り曲げて．球の肥大を助長せしむるを可とし．又花梗を抽出するものは．球の硬化せざる前に採取するか．或は之を除去するを要す。

肥　料　玉葱は肥料の多き程．好結果を得らるゝものにして．今普通 10「アール」（1 反歩）當の施肥の割合を表示すれば大要次の如し。

	基　肥	2 月中旬頃施すべき第 1 回補肥	3 月中旬頃施すべき第 2 回補肥	4 月下旬に施すべき第 3 回補肥
堆　肥	750瓩（200貫）	0	0	0
大 豆 粕	37·5瓩（10貫）	28瓩（7·5貫）	28瓩（7·5貫）	0
過燐酸石灰	22·5瓩（6貫）	0	0	0
藁　灰	75 瓩（20貫）	0	0	0
人 糞 尿	187·5瓩（50貫）	187·5瓩（50貫）	187·5瓩（50貫）	187·5瓩（50貫）

採收及貯藏

玉葱は未熟のものは莖葉と共に．葉玉葱として市場に出し．其他は莖葉の黃枯したる時に拔き取り．約半日許畑地にて其儘乾燥し．葉を 5 糎（1·5 寸）許殘して切り去り．貯藏せんとするものは繩にて結束するか．或は葉を束ねて．屋根裏又は室內に懸垂するか．又は俵に詰めて乾燥せる室內に貯ふ。然れども餘り長く貯藏し置くときは．往々發芽し初むるを以て．可成速に販賣するを良とす。

採　種

收穫の際鱗莖を選擇して貯へ置き．10 月頃採種圃に植ゑ付け．翌春抽臺し初めたれば．風雨の爲に倒れざる樣に支柱を設け．又開花中屢ば降雨ある地方にありては．油紙にて袋を作り之を被包するか．或は簡單なる屋根を設けて之を防ぐをよしとす。斯くして種子の完全に成熟したる頃を見計らひ．花梗より刈り取り．陰干になしたる後．種子を精選し．更に充分に乾燥して貯藏するものとす。

水田裏作の栽培法

水田の裏作とするには．第一に早く栽培するを必要の條件とするものなれば．育苗法としては前述の方法にて可なれども．定植期の 12 月中旬頃迄に健康なる苗を作り出し．本田は稻の刈取り後耕起して．60 糎（2 尺）許の平畦を作り．これに基肥を施し．15-18 糎（5-6 寸）の株間に 2 列に植付をなす。然れども本圃の濕潤地なる場合は．90 糎（3 尺）內外の高畦となし．畦幅 60 糎（2 尺）許の橫溝を作り．株間 12 糎（4 寸）の 1 列植とするも可なり。肥料及管理等は畑植と同じけれども．たゞ收穫が稻の挿秧に差支なき樣に．可成早く晴天の日に掘り取るを肝要とす。

6352. えぞねぎ（白圖-121）……ユ　リ　科
Allium Schoenoprasum, *L.* var. typicum, *Regel.*

（異名）ちもと　〔形態〕本州中部以北の各地に自生する多年生草本にして．地下に長卵形の鱗莖を有し．年々細長にして中空なる圓柱形の小葉を根生す。夏日．葉の中央より 18-21 糎（6-7 寸）乃至 60 糎（2 尺）內外の花莖を抽出し．其頂端に 6 片の花蓋よりなれる淡紅色の小花を短梗により．稍球形をなせる繖形花序に綴る。花被片は長楕圓狀披針形にして．雄蕊は花被片より短し。〔花色〕淡紅色。〔花候〕夏。〔分布〕千島・北海道・本州北部及中部。

人生との關係　根及葉を食用に供することネギに同じ。

6353. しろうまあさつき（白圖-122）……ユ　リ　科
Allium Schoenoprasum, *L.* var. orientale, *Regel.*

〔形態〕エゾネギによく似たる多年生草本にして．花は疎なる繖形花序に排列し．花被片は披針形或は線狀披針形をなし．雄蕊は花被と稍同長なり。

〔分布〕本州中部。

6354. あさつき　麥葱・絲葱（白圖-123）……ユ　リ　科
Allium Ledebourianum, *Schult. f.*

（異名）せんぼんわけぎ・せんぶき　〔形態〕各地の山野に自生品あれども．多くは畑地に栽培せらるゝ多年生草本にして．莖高さ 30 糎（1 尺）許に達し．地下にラッキョウに似て小なる鱗莖を有す。葉は細長くして圓柱形をなし．長さ 30 糎（1 尺）許に達し．淡綠色を呈す。初夏花軸を抽き．淡紫色をなす多數の小花を繖形花序に排列し．花序は半球形をなす。花被片は卵狀披針形にして．雄蕊は花被と同長なり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕初夏。

〔分布〕本州各部。

人生との關係　鱗莖及葉を食用に供す。

6355. ラッキョウ　薤（白圖-125）……ユ　リ　科
Allium Bakeri, Regel.

（異名）オホニラ　〔形態〕元來支那原產の多年生草本なれども．廣く各地に栽培せらる。地下に稍卵形をなせる白色の有被鱗莖を有し．之れより 5 稜を有する細き葉を叢生す。秋日．叢葉間に 30 糎（1 尺）有餘の稍硬き花莖を抽き．其の頂端に 10 箇許の花梗を繖形に分ち．紫色の小花を綴りて稍下垂す。花被片は長楕圓形にして鈍頭をなし．雄蕊は花被より著しく挺出し．花絲の基脚に齒又を有するは本種の特徵なり。花後ニラに似たる種子を結ぶ。球莖は其傍に幼球莖を多數に繁殖す。〔花色〕紫色。〔花候〕秋。

〔原產地〕支那。

人生との關係　夏日指頭大の球莖をとりて煮食し．又鹽漬・蜜漬又は酢漬等となし．嗜好品として賞味せらる。尙本種は一種の臭氣を有すれども．之を常食とするときは．消化不良者には消化補助劑として有效なり。

6356. しならっきょう……ユ　リ　科
Allium chinense, *Don.*

〔形態〕本州中部以南暖地の山野に自生する多年生草本にして．地下に卵形をなせる鱗莖を有し．年々之より狹線形の葉を叢生す。花は紅紫色にして．繖形花序に排列し．花序は直生して多花を密簇す。花被片は長楕圓狀披針形にして先端尖り．花絲は鑿形をなす。〔花色〕紅紫色。〔花候〕夏。

125 ラッキョウ

126 やまらっきょう

127 たまむらさき

128 しろばなたまむらさき

〔分布〕本州中部及南部・九州・琉球。

6357. **からふとらっきょう**……ユ　リ　科
Allium lineare, *L.*

〔形態〕樺太に自生する多年生草本にして．地下の球形より半圓柱狀線形をなせる葉を簇生す。花は繖形花序に排列して球形をなす。花被片は鈍頭にして．花絲は花被片より長く．花絲間の齒片は鋭尖頭をなす。〔分布〕樺太。

6358. **やまらっきょう**　山韮　（白圖-126）……ユ　リ　科
Allium japonicum, *Regel.* (*A. Thunbergii, Don.*)

（異名）やまにら・さんかくにら・むらさきびる　〔形態〕本州中部以南の山麓・渓邊等に多く自生する多年生草本にして．　概形ラッキョウに似たり。地下に小さき有被鱗莖を有し．之れより30糎（1尺）許ある細葉を叢生すること亦彼に似たれども．彼の葉より細く且つ彼の5稜なるに反し．本種の葉は3稜なるを異れりとす。10月頃．圓柱形をなせる花莖を抽くこと30糎（1尺）許に達し．其頂に紫色の小花を繖形花序に綴り．花序はラッキョウに比して更に密なり。花被は6片より成り．雄蕊は6箇を有し．花絲間の齒片は往々不明なり。〔花色〕紫色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州・臺灣。

6359. **みやまらっきょう**……ユ　リ　科
Allium strictum, *Schrad.*

〔形態〕北地の深山に自生する多年生草本にして．葉は圓柱狀線形をなし花は球形をなせる繖形花序に排列す。花被片は鈍頭にして．花絲は花被片と稍同じく．花絲間の齒片亦鈍頭にして花被の凡⅓なり。〔分布〕樺太・千島・北海道。

6360. **ちしまらっきょう**……ユ　リ　科
Allium splendens, *Willd.*

〔形態〕カラフトラッキョウ・ミヤマラッキョウに相似たれども．本種の繖形花序は更に大きく．且つ多くの花を着生す。雄蕊は長く挺出し．花絲間の齒片亦稍大きく．先端細裂するを異れりとす。〔分布〕樺太・千島・北海道。

6361. **えぞらっきょう**……ユ　リ　科
Allium yesoense, *Nakai.*

〔形態〕本種も亦カラフトラッキョウ・ミヤマラッキャウに相似たれども．彼に比するに葉は廣く．花被は白色にして．花絲は短き種類なり。〔分布〕北海道。

6362. **たまむらさき**　（白圖-127）……ユ　リ　科
Allium pseudo-japonicum, *Makino.*

〔形態〕山麓・渓間等の陰地に自生する多年生草本にして．地下の根莖は3-4塊相集り．圓長にして扁平なり。葉は幅稍廣く．基脚鞘狀をなして互生し．ラッキョウよりも太く．且つ長く．正三角形にして淡綠色を呈し．長さ18-21糎（6-7寸）許に達す。葉心より花莖を抽くこと30糎（1尺）許に達し．莖頂にラッキョウに似たる多數の花を繖形花序に排列し．花序は疎にして半球形をなす。花絲は匙狀線形にして．花絲間に齒片を有せず。本種はニンニクに似たる臭氣を有すれども．彼に比して甚だしからず。〔分布〕九州（對島）。

6363. **しろばなたまむらさき**　（白圖-128）……ユ　リ　科
Allium japonicum, *Regel.* var. albiflorum, *Makino.*

〔形態〕山麓・渓間等の陰地に自生する多年生草本なり。葉脚鞘狀をなして互生し．12-15糎（4-5寸）に達す。葉は深綠色にして．キズキセンの葉の如く．形はラッキョウの葉に似て5稜を有し．鈍三角形をなす。秋季圓柱形にして60糎（2尺）許の花軸を抽き．頂端に白色の小花を繖形花序に綴る。〔花色〕白色。〔花候〕秋。〔分布〕

6364. **に　ら**　韮・（白圖-129）……ユ　リ　科
Allium odorum, *L.*

（異名）ふたもじ　〔形態〕亞細亞原產なれども．各地の山野に自生品を見．又廣く園圃に栽培せらるゝ多年生草本なり。地下にラッキョウに似て小形なる球莖を有し．毎春この球莖より葉を叢生す。葉は肉質にして稍細長く．長さ30糎（1尺）許を有し．扁平にして柔軟なり。夏日葉間より30糎（1尺）餘の花莖を抽き．莖頂に大さ9粍（3分）許にして．6片の花被よりなる白色の小花を多數に攢簇し．繖形花序をなす。花被片は披針形をなし．雄蕊は花被より短形なり。花後蒴果熟すれば．自ら開きて小黑子を出す。之れ藥用に供する韮子なり。本種は全體に一種の強臭を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・本州各部・九州・琉球。

人生との關係　夏秋の候．適宜其葉を刈取りて食用に供す。調理法としては．味噌汁を以て煮ることあり．或は燦でゝ胡麻味噌に和へ．或は生蓋を加へて食するも可なり。多食すべからず。臺灣の土人は好みて．この葉を生食す。尙本植物は全草に保溫の作用を有するを以て．冷え性の人は其の少量を常用するときは．體溫を保つに效あり。又衄血・吐血を止むるに用ひらる。其他莖葉を食用すれば．下痢を止むるに卓效あるものなれば．古來ニラの雜炊と稱し．味噌汁に韮を煮込み．鰹節を入れて粥の如くに飯を炊ぎて食するなり。

129 に　ら

130 ニンニク

本種の栽培は極めて容易なるものにして．土質は別に選定するの必要もなく．只餘りに乾燥する場所には適せざるを以て．日陰地を利用して栽培すること肝要なり。植付は9月頃を適期とし．15糎（5寸）平方に1株を．各株4-5本植とすれば可なり。

224 ムラサキクンシラン

225 のびる

226 すてこびる

227 ぎやうじやにんにく

228 きばなのぎやうじや にんにく

229 ロクワイ

230 シヤポンロクワイ

231 ハナスゲ

232 たちてんもんざう

233 クサナギカヅラ

6365. **ニンニク** 蒜・葫 (白圖-130) ……ユ リ 科
Allium Scorodoprasum, L. var. *viviparum*, Regel.

(異名) ヒル・オゥビル・ニンニク 〔形態〕歐洲原產の草本なれども、廣く畑地に栽培せらゝ强き臭氣を有する多年生草本にして、地下に大なる鱗莖を有し、葉は細長き舌形をなす。夏日、葉間に花莖を抽出し、白色にして紫釆を有する小花を繖形に綴り、花間に往々珠芽交ふ。花被片は卵狀披針形或は披針形にして肉質をなし、外面に扶疎を有す。〔花色〕白色にして紫釆あり。〔花候〕夏。〔原產地〕歐羅巴。(栽培種)

人生との關係 本植物の特性として、烈しき異臭を有すれども、古來偉大なる效果ある藥草として珍重せらる。即ち球根は食物を消化せしむる效あり。食するにはホド燒にして、フックリ燒き、醬油又は味噌にて食す。又生にて卸し刺身につけて食するもよし。腹腔內部の異常時又は寒夜就寢時に食すれば、體溫作用を起して溫まり、又煎服すれば、吐血・吐瀉等に卓效あり。又近時ニンニク灸と稱し、疔・癰の如き惡性腫物の未だ化膿せず、疼痛激烈の際、其の患部へ葫を大根卸にて卸したるものを、紙にのべて之を貼附し、其の中央部へ、1回の灸點に數箇の灸點を反覆するときは、忽ち其の腫物の散亂すること妙なりといふ。又近時其藥效を失はずして、而も其强臭を取除きて製劑せられたる「無臭葫精」なるものあれども、臭氣の除去に際し、幾分藥效を減じ且つ高價にして、實用的ならざるは甚だ遺憾とする所なり。

葫の栽培法も亦頗る簡單容易にして、普通3月頃、種球の植込をなすものなり。又種子による場合には、秋の彼岸を中心として播種し、翌年夏時に至りて肥大成熟したるものを採取し、葱頭と同じく充分に乾燥せしめたる後貯藏するものなり。方法其他彼に同じければ省略す。

6366. **のびる** 山蒜 (24圖版-225) ……ユ リ 科
Allium nipponicum, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして、地下に白色・廣卵形の鱗莖を有す。葉は根生し、細長き管狀をなして微稜を有し、長さ30糎(1尺)許に達し、ネギに似て臭氣を有す。夏日、葉間に30-60糎(1-2尺)許ある花莖を抽き、莖頂に黑紫色の多數の珠芽を交ゆる花を繖形花序をなして攢簇し、膜質・卵形の總苞2箇を伴ふ。花は小形にして、白色なれども背線に濃紫色を帶び、花被片は卵狀披針形・鈍頭なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州各部・九州・琉球。

人生との關係 (1)全草を煎服するときは、補血・腸「カタル」・胃癌・不眠症等に效あり。(2)毒虫に螫傷せられたる時、根莖を潰して局部に塗布すれば解毒に效あり。(3)打撲傷には、根莖を大根卸にて卸し、麥粉と煉り合せたるものを患部に塗布すれば卓效ありと云ふ。

6367. ひめびる ……ユ リ 科
Allium monanthum, *Maxim.*

(異名) ひめあまな・ひめにら 〔形態〕本州中部以北の山野に自生する多年生草本にして、地下に卵形の鱗莖を有し、1-2の根生葉を生じ、半圓柱狀披針形をなす。花は白色にして淡紫釆を有する1-2花を葉より短き花莖の頂端に着生し、透明質の苞を伴ふ。花被片は卵形にして6箇を有し、雄蕊亦6箇にして、花被片に着生し、雌蕊は1箇を有し、柱頭は3岐す。

〔花色〕白色にして紫釆を伴ふ。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

6368. **すてごびる** (24圖版-226) ……ユ リ 科
Allium inutile, *Makino.*

〔形態〕稀少なる野生の多年生草本にして、地下にラッキョウに似て殆んど球形をなせる鱗莖を有し、晩秋の候、扁三角狀狹線形の葉を生じ、長さ30糎(1尺)許に達し、背面に稜條を具へ、盛夏の候に至りて凋枯す。初秋の候、葉後瘠長にして鋭き稜を有する花莖を抽き、梢頭に5-8條の花梗を繖形に分ち、6箇の花被より成り、白色にして屢ば紅釆を伴へる小花を開き、狹長にして楕圓形の苞を有す。雄蕊は6箇を具へ、花被より短く、子房は扁圓形にして3條線を有し、柱頭は僅かに3裂す。〔花色〕白色にして紅釆を有す。〔花候〕初秋。〔分布〕本州中部。

6369. **ぎゃうじゃにんにく** 茗葱 (24圖版-227) ユ リ 科
Allium Victorialis, *L.*

(異名) やまびる・きとびる・ぜんじゃう 〔形態〕深山の樹下等に自生する多年生草本にして、高さ30糎(1尺)餘に達し、地下に外面纖維網を纏へる長楕圓形の鱗莖を有す。葉は長柄を具へ、長倒卵形或は長楕圓形・全緣にして、平行脈を有す。夏日、綠白色乃至淡紫色の小花を高さ30-60糎(1-2尺)許ある花莖の頂端に簇生し、繖形花序をなす。〔花色〕綠白色又は淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

6370. **キバナノギャウジャニンニク** ……ユ リ 科
Allium Moly, L. (24圖版-228)

〔形態〕園藝上にては單に「アリウム」(Allium)と稱せらる。歐洲原產の栽培草本にして、莖高さ30糎(1尺)許に達し、葉は廣披針形を呈す。4-5月の候、30糎(1尺)許ある花莖を抽き、鮮黃色の小花を密簇し、繖形花序をなす。「キバナノギャウジャニンニク」の和名は、本邦山野に自生する「ギャウジャニンニク」に似て黃色の花を開くを以て與へられたる名稱なれども、本邦の自生種は、行者の深山に於て其塊根を食用としたるより、命名せられたるものなるが、本種の球根は食用にならざるものなるを以て、適切の命名ならざるが如し。〔花色〕鮮黃色。〔花候〕春。〔原產地〕歐羅巴。(栽培種)

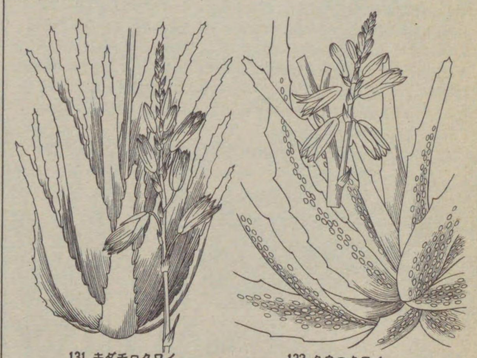
人生との關係 切花・庭園用として栽培せらるれども、需要多からず。

8. ロクワイ 屬 ALOE.

6371. **ロクワイ** 蘆薈 (24圖版-229) …… ユ リ 科
Aloe ferox, Mill.

〔形態〕亞弗利加喜望峰原產の常綠植物にして、莖は分枝し、高さ0·9-3米(3-10尺)に達す。葉は多數を叢生し、肉質劒狀にして肥大し、長さ60糎(2尺)、幅9-12糎(3-4寸)許に達す。兩面には稍刺棘を疎生し、緣邊は綠色にして、赤褐色の棘針狀鋸齒を有す。花は長き花莖の上部に穗狀をなして着生し、花徑は3糎(1寸)許、綠黃色にして邊緣赤褐色をなせる花冠を有し、花筒部は狹長にして、裂片より短小なり。〔花色〕綠黃色にして邊緣赤褐色。〔原產地〕南亞弗利加。

人生との關係 本植物の葉より滲出せる汁液を煎稠したるものを、蘆薈と稱し藥用に供す。葉の搾汁の成分は「プロイン」と稱する苦味質にして、瀉下劑・健胃劑として效あり。藥局方の製品は、蘆薈越幾斯・蘆薈丸・蘆薈丁幾等なり。



131 キダチロクワイ　132 タウロクワイ

6372. **キダチロクワイ** (白圖-131) …… ユ リ 科
Aloe arborescense, Mill. var. *natalensis*, Berger.

〔形態〕亞弗利加「ナタール」地方原產の常綠木本にして、莖は1·5-3米(4·5-10尺)の高さに達し、枝を有せず。葉は肉質・粉綠色にして、上面は凹入し、下面は凸形をなし、披針形にして、緣邊に白刺尖鋸齒を有すれども、稍微かく、先端に至るに從ひ其數を減ず。長さ60糎(2尺)、徑4·5糎(1·5寸)許に達し互生す。花は分岐性にして長く、紅色を呈し、總狀花序に排列す。花被は筒形をなし、裂片は離生す。〔花色〕紅色。〔原產地〕南部亞弗利加。

人生との關係 葉より搾集せる汁液を以て、藥用蘆薈を製す。尙性質强健にして繁殖は挿木により、低溫室栽培に適す。

6373. フイリロクワイ …… ユ リ 科
Aloe variegata, L.

〔形態〕本種も亦亞弗利加原產の常綠植物にして、高さ15-21糎(5-7寸)許に達す。葉は密生し、披針形にして鮮綠色を呈し、兩面に灰白色斑點を密に布き、邊緣は白色にして、細齒列生し、龍骨を有す。花は赤色にして、長さ3-3·6糎(1-1·2寸)許を有し、總狀花序に排列す。筒部は圓筒形をなし、裂片は短く、綠脈を有す。〔花色〕赤色。〔原產地〕南部亞弗利加。

6374. **タウロクワイ** 草蘆薈・龍舌草 (白圖-132) ユ リ 科
Aloe vera, L. var. *chinensis*. Haw.

(異名) クサアダン・タウアダン　〔形態〕支那原產の常綠草本にして莖は短く. 葉は簇生し肥厚す。淡綠色にして綠白色の斑紋を彩り. 披針狀劍形にして先端尖り. 基脚廣く. 邊緣に短き軟齒疎生し. 長さ 1-1・2 米(3-4 尺) に達す。夏秋の候. 葉間に 稍分岐性の圓形なる 花軸を抽き. 高さ 60-90 糎 (2-3 尺) に達し. 黃色或は更に赤色斑點を有する花を點頭. 總狀花序に排列す。花被は筒形をなして 6 裂し. 裂片は長楕圓形にして筒部と同じく. 雄蕊は 6 箇を具へ. 花被と同長なり。〔花色〕黃色或は更に赤色斑點を有す。
〔花候〕夏-秋。〔分布〕琉球・臺灣。

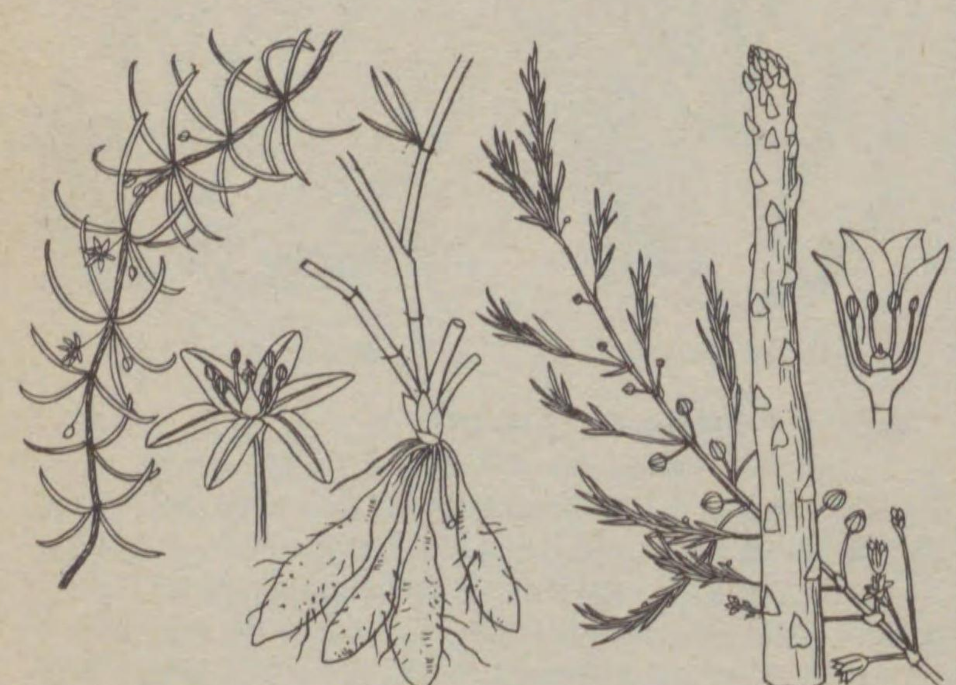
6375. **シャボンロクヮイ** (24 圖版-230) ……… ユ リ 科
Aloe saponaria, Haw.

〔形態〕リウゼツランと共に. 我國にも普通に栽培せらるゝ外來の觀賞用多年生草本にして. 莖は極めて短く. 葉は 12-20 葉內外を密生し. 綠色・披針形にして. 無數の不齊白斑を具へ. 緣邊には三角形をなせる角質の細刺を有し. 先端赤褐色をなす。長さ 15-24 糎 (5-8 寸). 幅 4-6 糎 (1・3-2 寸) 許を有し. 上面扁平なれども. 下面膨滿す。5 月より 7 月頃に亙り花梗を抽き. 赤黃色の花を總狀に排列す。〔花色〕赤黃色。〔花候〕5-7 月。〔原產地〕亞弗利加(喜望峰)。
人生との關係　觀賞用として栽培せらる。內地にては鉢栽培をなし. 多季溫室內に保護するを要す。越冬溫度攝氏 4・5 度。

9. ハナスゲ屬 ANEMARRHENA.

6376. **ハナスゲ** 知母 (24 圖版-231) ………… ユ リ 科
Anemarrhena asphodeloides, Bunge.

(異名) チモ・カラスノスヽキ・ヤマシ・ヤマトコロ　〔形態〕往時支那より輸入せられたる多年生草本にして. 莖は橫走し. 60-90 糎 (2-3 尺)に達す。葉は細長にして先端尖り. 基脚鞘狀をなし. 平行脈を具へ叢生す。夏日. 葉間より卵形絲頭の小形鱗片を散在せる花莖を抽くこと 0・9-1・2 米 (3-4 尺) に達し. 上部に疎なる穗狀花序を出し. 淡紫色にして. 6 箇の花被片より成れる花を 2-3 箇着生す。花被は 短筒形をなし. 6 裂せる裂片は 線狀長楕圓形にして. 雄蕊は 3 箇を具へ. 花被片に着生す。子房は卵形にして 3 室を具へ蒴は長楕圓形にして 6 稜を有し. 3 殼より成る。〔花色〕淡紫色。
〔花候〕夏。〔原產地〕北支那。
人生との關係　觀賞用として庭園に栽培す。尙根莖を採りて藥用に供す。



133 くさすぎかづら　　134 オランダキジカクシ

10. クサスギカヅラ屬 ASPARAGUS.

6377. **くさすぎかづら** 天門冬 (白 圖-133) ……ユ リ 科
Asparagus lucidus, *Lindl.*

(異名) てんもんどう　〔形態〕海濱に自生する多年生草本なれども. 亦往々園養せらるゝことあり。地下に長楕圓形にして. 長さ 3-6 糎(1-2 寸) 許ある數箇の塊根を有す。莖は蔓性にして. 他物に纏繞し. 往々分枝して長さ 1・8-3 米 (6-10 尺) に達す。葉は 鱗片狀にして小さく. 葉腋より 彎曲せる針の如き 3-5 箇の葉狀枝を簇生し. 一見葉の如き觀あり。夏日. 淡黃色の小花を 2-4 箇腋出し. 小梗は長さ 4・5 粍 (1・5 分) 許を有し. 中央に關節を具ふ。花被は 7 分裂し. 雄蕊は花被片の基部に着生して 6 箇を具へ. 子房は 3 室. 柱頭は 3 岐す。花後小豆大にして球形の漿果を結び. 徑 1 糎 (3 分)餘淡紅色時に白熟す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州・四國・九州・琉球・臺灣。
人生との關係　根部を乾燥して煎服するときは. 解熱・喘息・鎭咳・利尿に效あり。又吐血を治し. 肺疾・止渴劑に用ひらる。
塊根には「マスパラギント」と稱する 成分を 含有す。秋末塊根を採りて水煮して苦味を去り. 砂糖漬又は菓子を製す。又澱粉採取に用ひらる。

6378. **オランダキジカクシ** 石刁柏 (白 圖-134) ユ リ 科
Asparagus officinalis, L.

(異名) マツバウド　〔形態〕外來の多年生草本にして. 莖は多くの枝を分ち. 高さ 1・2-2・4 米 (4-8 尺)に達す。葉は形小さく鱗片狀をなし. 基脚に軟質の短距を伴ひ. 葉腋より數本の綠色にして細長き葉狀枝を叢生し. 高さ 6-12 粍 (2-4 分) に達す。夏日. 淡綠白色にして鐘形をなせる數花を. 長き花梗により簇生し. 花後生ずる果實は漿果にして赤熟し. 徑 6-9 粍 (2-3 分) を有す。〔花色〕淡綠白色。〔花候〕夏。〔原產地〕亞細亞。
人生との關係　嫩莖を食用に供す。西洋料理には缺くべからざるものなり。尙嫩葉を煮食するときは. 利尿・緩下劑の作用あるを以て. 腎臟病患者に應用して偉效ありと云ふ。

6379. **たちてんもんどう** 特生天門冬 ………… ユ リ 科
Asparagus pygmaeus, *Makino.* (24 圖 版-232)

〔形態〕庭園に栽培せらるゝ多年生草本なり。根は多數簇生し. 肉質にして肥厚し. 長楕圓狀紡錐形をなす。莖亦多數簇生し. 細くして 3 稜を有し. 濃綠色を呈す。枝條は斜上或は直生開出し. 高さ 30 糎 (1 尺) 餘に達し. 無毛なり。葉は鱗形にして膜質・三角狀鑿形をなし. 基脚小刺をなせども. 莖の下部にては楕圓狀卵形にして刺をなさず. 葉狀枝は 3 4 簇出し. 針形にして長短不等なり。花につきては未詳なれども. 曾て花實を生ぜずと稱せらる。(栽培種)

6380. **クサナギカヅラ** (24 圖 版-233) ………… ユ リ 科
Asparagus medeoloides, Thunb.

〔形態〕觀葉植物として. 溫室栽培せらるゝ外來の多年生草本にして. 地下に塊形狀の根を有す。莖は蔓性にして細長く. 長さ 2 米 (6 尺) 以上に及び. 通常多くの枝を分ちて 他物に纏絡す。葉狀枝は長さ 2・4 糎 (8 分) 許. 卵形にして平行脈を具へ. 光澤ある鮮綠色を呈し. 鱗狀葉に腋出互生す。花は葉腋に着生し. 極めて小さく. 綠白色にして單生或は双生し. 花被片は中部より反捲す。漿果は熟すれば暗紫色に變じ. 內に 3-4 箇の種子を藏す。
〔花色〕綠白色。〔原產地〕南部亞弗利加。
人生との關係　觀葉用として溫室內に栽培せらる。繁殖は實生及根分による。實生後數年を經過すれば分蘖するを以て分株によりて繁殖す。溫室又は「フレーム」に栽培す。越冬溫度攝氏 4・5 度內外とす。

6381. **シノブバハキ** (25 圖 版-234) …………… ユ リ 科
Asparagus plumosus, Bak. var. nanus, *Nichols.*

〔形態〕觀葉「アスパラガス」中最も普通に栽培せらるゝ外來の小藤本なり。莖は圓柱形にして鱗狀葉は白色をなし. 下方に三角刺を生ず。葉狀枝は細杵形をなし. 長さ 6 粍 (2 分) 許を有して. 8-20 を叢生し. 葉狀小枝は正しき羽狀を呈し地平に排列す。花は白色にして. 枝の 1 部に生じ. 1-4 花を着生す。花後黑紫色の漿果を結び. 中に黑色の種子數箇を藏す。〔花色〕白色。〔原產地〕南部亞弗利加。
人生との關係　切花・鉢仕立として. 花卉裝飾上重要なるものなり。繁殖は實生により. 通常 3 月頃播種する時は. 秋に至り相當の株となる。苗は强光を遮り. 充分施肥するを要す。株分によりても繁殖せしむるを得べし。

6382. ミドリバハキ …………………………………… リ 科
Asparagus plumosus, Bak. var. *tenuissimus*, Hort.

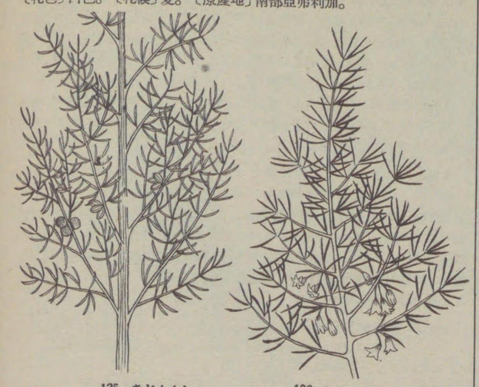
〔形態〕外來の多年生の觀葉草本にして. シノブバハキに近似せるものなり。通常シノブバハキより稍大きく藤本性を現はす。又彼に比して葉狀枝は稍長く. 共排列も正しき羽狀ならず。
人生との關係　通常鉢植として觀賞し. 又生花用切花として用ふ。繁殖は通常株分法によれども. 本種は插芽にて殊の外容易く繁殖せしむることを得べし。

6383. **やなぎばはき** (25 圖 版-235) …………… ユ リ 科
Asparagus crispus, *Lam.*

〔形態〕本種も亦觀葉用として. 溫室栽培せらるゝ外來の多年生草本にして. 根は塊狀をなして密簇す。莖は軟弱にして梢捩れ. 多くの枝を分ち. 蔓狀をなして他物に纏絡上昇し. 長さ 0・9-1・8 米 (3-6 尺) 許に達す。鱗狀葉は基脚軟距を伴ひ. 葉狀枝は 3 出し. 3 稜を有して反捲し. 莖葉共に帶白綠色を呈す。8 月頃. 葉腋に細梗を出し. 白色にして芳香を有する小花を多數

PL. 25.

に着生すれども著しからず。花後白色或は淡紅色をなせる漿果を結ぶ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕南部亞弗利加。



135 きじかくし　　136 たまばはき

6384. **きじかくし**（白圖-135）……ユ　リ　科
Asparagus schoberioides, *Kunth.*

（異名）さうちく　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして．莖高さ60糎（2尺）許に達す。莖は圓くして線狀をなし．多くの枝極を分ち．基部にありては6-7葉．他は3葉或は2葉1箇所に攢りて互生し．枝端にありては．概ね4葉を冠す。葉は鱗狀にして．葉狀枝は3稜を有し先端尖り．且つ微に鉤曲す。雌雄異株なり。春日．葉腋に黄白色の稍無梗花を4-5箇づゝ着生し．花後赤熟せる果實を結ぶ。〔花色〕黄色。〔花候〕春。〔分布〕樺太・北海道・本州各部・四國・ヵ州。

6385. **ほそばきじかくし** ……ユ　リ　科
Asparagus schoberioides, *Kunth.* var. subsetaceus, *Franch.*

〔形態〕前種キジカクシの一變種にして．葉狀枝は彼に比して一層痩長なるものなり。〔分布〕北海道。

6386. **たまばはき**（白圖-136）……ユ　リ　科
Asparagus Tamaboki, *Yatabe.*

〔形態〕外來の多年生草本にして．根莖は横に擴がり．莖は多くの枝を分ちて．高さ30糎（1尺）許に達す。葉は鱗狀三角形をなし．葉腋より．長さ1·2-1·8糎（4-6分）許ある4-6箇の葉狀枝を簇出す。秋日．暗紫綠色をなせる花を點頭・双生或は單生し．花被は鐘形をなして．先端6裂す。〔花色〕暗紫綠色。〔花候〕10月。（栽培種）

11. ハ　ラ　ン　屬　ASPIDISTRA.

6387. **はらん** 一葉・葉蘭・蜘蛛抱蛋 ……ユ　リ　科
Aspidistra elatior, *Blume.*（25圖版-236）

（異名）ばらん・ばれん　〔形態〕暖地に自生する常綠の多年生草本なれども．亦觀賞用として普く庭園に栽植せらる。地下莖は地表に接して横走し．之れより葉柄を高く地上に挺出し．剛硬にして長楕圓狀披針形・鋭頭をなせる大形の葉を開展し．長さ30-45糎（1·1-1·5尺）許に達す。4月頃．根莖に接して．短き花莖を有する壺狀の花を頂生單立す。花は暗紫色にして．花被は短鐘形をなして8裂し．中に1箇の雌蕊を有し．柱頭は大きく微かに8裂して雄蕊を被ふ。雄蕊は小さく花被の内面に附着し8箇を有す。花後球形の子實を結ぶ。〔花色〕暗紫色。〔花候〕春。〔分布〕琉球。

人生との關係　觀葉用として庭園等に栽植せらる。殊に生花用として需用多く．愛玩せらる。尙藥效として．（1）根及花・果實を煎服するときは．肺病・肋膜・鎖咳に效あり。（2）根を卸して酒にて飲用すれば．痳病を治するに效あり。其他葉を黑燒にして油にて煉り合せたるものを．腫物の患部に塗布すれば效あるべく．果實の黑燒は小兒の引付けの際食用せしむれば效ありと云ふ。

12. ハナニラ屬　BRODAIEA.

6388. **ハナニラ** 花韮（25圖版-237）……ユ　リ　科
Brodiaea uniflora, Engl.

（異名）セイヤウアマナ　〔形態〕南米原産の多年生草本にして．地下に球根を有し．高さ30糎（1尺）内外に達す。本種は次種ムラサキハナニラと同じく．莖葉共に葱頭に似たる强臭を有す。葉は地下莖より7-8葉を根生し．粉綠色を呈し．扁平にして細長く．先端尖り．平行脈を有す。ムラサキハナニラの葉の上向性なるに反し．本種の葉は先端下向し往々地面に着く。4-5月の候．叢葉間より花莖を抽出し．稍青紫色を帶べる白色の花1箇．稀に2箇を開く。花被は漏斗形をなし．6裂して平開し．裂片は廣卵形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔原産地〕南米「アルゼンチン」。

6389. **ムラサキハナニラ**（25圖版-238）……ユ　リ　科
Brodiaea grandiflora, Sm.

〔形態〕外來の多年生草本にして．莖高さ30糎（1尺）内外に達す。葉は根生して細長く．稍圓柱形をなして．平行脈を有し．稍上向性なり。4-5月頃．葉間より花莖を抽くこと9-24糎（3-8寸）許に達し．其頂端に鮮碧色をなせる3-10花を繖形に綴る。花被は漏斗形をなし．内に雄蕊3箇を有し尙3箇の假雄蕊を伴ふ。〔花色〕鮮碧色。〔花候〕春。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　前種ハナニラと同じく．觀賞用として庭園・草地・樹下等の植込にて栽植せらる。又鉢植として「フレーム」又は溫室に栽培し．冬季より春季に亙りて花を見ることを得べし。繁殖は普通子球によれども亦播種によるも可なり。實生によるものは．通常3-4年間は花を開かざるものなり。子球は9-10月頃植付をなし．一旦植付たれば數年間は植替を要せずして．年々開花すれども．繁殖するを以て適當の時期に子球を分割するを要す。栽培簡易なり。

13. ヒナユリ屬　CAMASSIA.

6390. **ひなゆり**（25圖版-239）……ユ　リ　科
Camassia esculenta, *Rob.*

〔形態〕北米原産の多年生草本にして．地下に球根を有し．莖高さ15-18糎（5-6寸）に達す。葉は毎年球根より叢生し．薄質・線形にして一見軟弱の觀を呈す。花は4月中旬頃開花し．觀賞又は切花に用ひらる。〔花候〕春。る。〔花候〕春。〔原産地〕北亞米利加。

人生との關係　秋植球根の觀賞草本にして．鉢仕立又は切花用として栽培せらる。性寒氣に耐へ．强健なるを以て栽培容易なり。一般栽培法ヒヤシンスに準じて可なり。

14. シライトサウ屬　CHINOGRAPHIS.

6391. **しらいとさう**（25圖版-240）……ユ　リ　科
Chinographis japonica, *Maxim.*

〔形態〕山間の陰地に自生する多年生草本にして．地下に直立せる短き根莖を有し．年々之より高さ30糎（1尺）許ある直立莖を抽出す。葉は根葉と莖葉と互に其形狀を異にし．根葉は有翼柄をなし．長楕圓形にして鈍頭．基脚漸く狹まり．緣邊皺狀を呈す。莖葉は披針形にして葉柄を缺き．兩葉共に平滑なり。5-6月の候．莖頂に穗狀花を綴り．初めは花穗短く稠密なれども．後伸長して疎となり．9-12糎（3-4寸）に達す。花は純白色にして花被片は篦狀線形をなし．3-4箇を有す。雄蕊は5箇にして通常兩性花なれども．上稍部の花は往々雄性花なることあり。子房は3起し．花柱は3箇を有す。〔花色〕純白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州中部及南部・四國・九州。

15. オリヅルラン屬　CHLOROPHYTUM.

6392. **オリヅルラン**（25圖版-241）……ユ　リ　科
Chlorophytum comosum, Bak.

〔形態〕元來外來の多年生常綠の草本なれども．廣く栽培せらる。葉は多數を根生し．細長くして先端尖り．時に葉面に白色線狀を有する變種あり。莖は多くの匐枝を出し．其先端に葉を叢生し．又其部より根を出す。春日．葉間より花莖を抽き．白色にして6片の花被と．6箇の雄蕊とを有する花を通常4箇簇出し．花被は開出す。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔原産地〕南部亞弗利加。

人生との關係　鉢植として栽培し．愛玩に供せらる。

6393. **ヒロハオリヅルラン**（25圖版-242）……ユ　リ　科
Chlorophytum elatum, R. Brt.

〔形態〕前種オリヅルランによく似たる外來の多年生草本にして．莖は彼に比するに．匐枝を出すこと少く．葉は幅廣くして．黄白色地に綠色の斑條

を有するものなり。葉斑によりて中斑種及覆輪種の2品種に分類せらる。〔原産地〕南亞弗利加（喜望峰附近）。

人生との關係　前種と同じく、繁殖は共に株分による。

16. ツバメオモト屬　CLINTONIA.

6394. **つばめおもと**（25圖版-243）……ユ　リ　科
Clintonia udensis, *Trautv.* et *Mey.*

（異名）たうちさう・ささにんどう　〔形態〕山地に自生する多年生草本なり。葉は膜質にして短き葉柄を有し、橢圓形或は長倒卵形にして急遽鋭尖頭をなし、幅6糎（2寸）、長さ15糎（5寸）許に達し總て根生す。5-6月の候、葉間より花莖を抽くこと30糎（1尺）許に達し、綠狀若しくは分叉狀をなして白色小形の6瓣花を總狀花序に排列す。花序は毛茸を密布し、少數花を着生す。花被は長橢圓形をなせる6花被片より成り、雄蕊は6箇を有し花被片の基部に着生す。花後暗色をなせる球形の漿果を結ぶ。〔花色〕白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

17. イヌサフラン屬　COLCHICUM.

6395. **イヌサフラン**　古爾矢屈謨（26圖版-244）　ユ　リ　科
Colchicum autumnale, L.

（異名）コルシクム　〔形態〕外來の園藝用として栽培せらるゝ多年生草本にして、地下に水仙に似たる球莖を有し、披針形をなせる3-4葉を根生す。花莖は葉に先立ちて抽出し、高さ6-15糎（2-5寸）許に達し、其頂端に白色或は淡桃色の筒狀花を單生す。花被は長橢圓形・鈍頭をなせる6花被片より成り、中に雄蕊6箇を具へ、花被片に着生す。子房は3室を有し、花後卵狀長橢圓形の蒴を結ぶ。〔花色〕白色乃至淡桃色。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。本種は日本藥局方所定の藥用植物にして、本品の主成分は「コルシテン」と稱する「アルカロイド」及脂肪油・糖分を含有す。種子は「リウマチス」に飲用して效あり。通常「コルシクム」丁幾・「コルシクム」酒として販賣せらる。

18. スズラン屬　CONVALLARIA.

6396. **セイヤウスズラン**（26圖版-245）……ユ　リ　科
Convallaria majalis, L.

〔形態〕本種は歐洲の北部より英國に至るまで廣く分布し、殊に世界的産地としては獨逸なるを以て、花戸は「ドイツスヾラン」と稱す。縱形スヾランに似たれども、本種の葉は本邦種の2-3葉なるに比し、多數を簇生して丸味强く、其色濃綠色にして且つ光澤を有す。花亦本邦種より稍大形にして小花梗亦長く、香氣馥郁たること遙かに本邦種に勝るものなり。促成開花に適す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕歐羅巴。

人生との關係　後種に同じ。

6397. **すずらん**　鈴蘭・君影草（26圖版-246）…ユ　リ　科
Convallaria Keiskei, *Miq.*

（異名）きみかげさう・たにまのひめゆり　〔形態〕朝鮮東北地方より北海道の山野には普通なれども、本州中部地方殊に日光・山梨縣・長野縣其他奈良・廣島等の諸縣の山野にも自生品を見る多年生草本にして、地下に横走せる長き根莖を有す。葉は2-3葉を根生し、長き葉柄を具へ、黃綠色にして廣楕圓形をなし、表裏共に稍粗糙なり。長さ12-21糎（4-7寸）許を有し、相抱擁す。6-7月の候、葉間に花莖を斜に抽くこと15-18糎（5-6寸）に達し、白色鐘狀の小花を偏側性に綴り、總狀花序をなす樣、鈴の形に相似たり。花被は短形にして6裂し、裂片は卵形・鈍頭なり。雄蕊は6箇を有し閉在す。花柱は1箇にして、花後球形の漿果を結び、8-9月頃に至りて赤熟す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州各部。

人生との關係　往々觀賞用として栽培せらるれども、本邦産のものは根付惡く、花期短かく、前種殊に獨逸産のものは栽培容易なり。尙藥效として、根部は心臟病の妙藥なりとし、樺太の土人はヂキタリスの代用に根部を煎用すると云ふ。

19. センネンボク屬　CORDYLINE.

6398. **ニホヒシュロラン**　朱蕉・鐵樹・朱樹　……ユ　リ　科
Cordyline australis, Hook. f.（26圖版-247）

（異名）センネンボクラン　〔形態〕外來の亞喬木にして、細莖を有し、自生地にては高さ15米（50尺）、幹の直徑1-1·5米（3-4·5尺）以上に達す。葉は頂生密簇し、葉柄を缺き、剛硬にして長橢圓狀披針形をなし、先端尖る。全緣にして平行脈を具へ、綠色或は帶紫色を呈して互生し、長さ60-90糎（2-3尺）に達す。夏日、白色短梗の鐘形花を大なる圓錐花序に排列し、三角形の苞を伴ふ。花被は6裂し、各裂片は反捲す。花後白色又は碧紫色の漿果を結ぶ。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原産地〕「ニュージーランド」。

人生との關係　觀賞用として栽培し、鉢に植ゑ、又暖地にては庭園に植ゑて愛玩に供す。老木にならざれば開花せず、東京附近にては、低溫度溫室内に越冬すること容易なり。

6399. アツバセンネンボクラン　……ユ　リ　科
Cordyline indivisa, Steud.

〔形態〕本種も亦外來の觀葉亞喬木なり。葉は厚革質をなし、長橢圓狀披針形にして、長さ0·6-1·8米（2-6尺）に達す。花は白色にして、長さ6-7·5糎（2-2·5寸）を有し、圓錐花序に排列す。小苞は披針形にして、花被は鐘形をなし、花後碧色の漿果を結ぶ。〔花色〕白色。〔原産地〕「ニュージーランド」。

人生との關係　前種に同じ。

6400. **センネンサウ**　朱蕉・鐵樹・朱樹　……ユ　リ　科
Cordyline terminalis, Kunth. var. *typica*, Bak.（26圖版-248）

（異名）センネンボク・コウチク　〔形態〕琉球・臺灣等に自生する木質の常綠灌木にして、細莖を有し、高さ0·9-2·4米（3-8尺）餘に達す。葉は橢圓形或は橢圓狀披針形・全緣にして先端尖り、平行脈を具へ、通常綠色或は帶紫色を呈し、葉柄によりて互生し、長さ30-75糎（1-2·5尺）に達す。夏日白色・淡紫色或は赤色の6裂花を圓錐花序に排列し、膜質・三角形の小苞を有す。花被は筒形をなし、雄蕊は6箇、子房は3室を有し、花後紅色の漿果を結ぶ。〔花色〕白色・淡紫色又は赤色。〔花候〕夏。〔原産地〕印度。

6401. **ベニシマセンネンサウ**（26圖版-249）…ユ　リ　科
Cordyline terminalis, Kunth. var. *rubro-striata*, Hort.

〔形態〕外來のセンネンボク（センネンサウ）の一種にして、園藝變種極めて多く、一般に從來ドラセナと誤稱せられたるものなり。本種は葉の長さ30糎（1尺）内外、幅10糎（3·5寸）許ある品種にして、其色帶紫綠色の地に、赤紫色の刷毛目絞りを配し、夏より秋に亙り、其色彩特に鮮明にして美麗なるものなり。〔原産地〕印度。

6402. ホソバセンネンサウ　……ユ　リ　科
Cordyline terminalis, Kunth. var. *Bella*, Hort.

〔形態〕本種も亦センネンボクの一種にして、一般に鉢植として觀賞用に供せらる。葉は長披針形にして、其色桃紅色を呈し、比較的狹長なるを以て、此の名を得たり。普通に見る本種の幹は指頭大なり。〔原産地〕印度。

人生との關係　本種は舊くよりドラセナと呼稱せらるれども、それは誤りなり。ドラセナは一卵子なるも、本種は多卵子なれば、直に區別し得べし。繁殖は幹を3糎（1寸）位に切りて砂挿となす時は、容易に發根す。越冬溫度攝氏10度。

6403. ムラサキセンネンサウ　……ユ　リ　科
Cordyline terminalis, Kunth. var. *ferrea*, Bak.

〔形態〕本種も亦センネンボクの一種にして、觀賞用として栽植せらる。葉は短柄を具へ倒披針形にして、其色多くは暗紫色をなし、又時に斑紋を具ふ。〔原産地〕印度。

20. キキャウラン屬　DIANELLA.

6404. ききゃうらん　水葉蘭　……ユ　リ　科
Dianella ensifolia, *Red.*（*D. nemorosa*, *Lam.*）

〔形態〕暖地の山野に自生する多年生草本にして、葉は24-27糎（8-9寸）許の長さを有し、革質・狹長にして先端尖り、跗脚・滑澤なり。夏日、葉間に長き花莖を抽き、梢頭多數に分岐し、6片より成れる桔梗色の花被を有する小花を圓錐花序に排列す。苞は笹形をなし、雄蕊は6箇を具へ、花絲の頂端は著しく肥厚す。子房は3室を有し、花柱は絲狀をなし、柱頭は細小なり。花後青紫色の漿果を結び、指頭大に達す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州南部・九州・小笠原島・琉球・臺灣。

6405. きばなのききゃうらん　……ユ　リ　科
Dianella straminea, *Yatabe*.

〔形態〕暖地に自生する常綠の多年生草本にして、地下に短形の根莖を有し、莖は綠色・扁平にして、高さ30糎（1尺）内外に達す。葉は劒形をなし、

244 イヌサフラン
245 セイヤウスズラン
246 スズラン
247 センネンボク
248 センネンサウ
249 ベニシマセンネンサウ
250 ちごゆり
251 はうちやくさう
252 たうちくらん

糙澁にして邊緣に硬齒を有す。夏秋の候.淡黄色の花を圓錐花序に綴り.廣披針形乃至三角形の苞を伴ふ。花被片は6箇を有して2列に排列し.雄蕊は6箇.子房は3室を有し.花後碧色にして稍球形をなせる漿果を結ぶ。〔花色〕淡黄色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕琉球。

21. チゴユリ屬 DISPORUM.

6406. **ちごゆり** (26圖版-250) ……………………ユリ科
Disporum smilacinum, *A. Gray.*

〔形態〕各地の林中に自生多き多年生の小草本にして.莖高さ15-18糎(5-6寸)より30糎(1尺)許に達す。葉は長卵形にして先端尖り.平行脈を有し稍無柄なり。4月頃.莖頂に淡黄綠白色にして.有梗の1-2花を直生し.通常下垂し可憐なるものなり。〔花色〕淡黄綠白色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州各部・九州・琉球。

6407. きばなちごゆり ……………………………ユリ科
Disporum smilacinum, *A. Gray.* var. lutescens, *Maxim.*

〔形態〕前種チゴユリの一變種にして.花は黄色を呈するものなり。〔分布〕九州。

6408. えだうちちごゆり ……………………………ユリ科
Disporum smilacium, *A. Gray.* var. ramosum, *Nakai.*

〔形態〕前種チゴユリの一變種にして.莖は多くの枝を分ち.枝端に1-2花を開く品種なり。〔分布〕本州中部。

6409. おほちごゆり ……………………………………ユリ科
Disporum viridescens, *Nakai.*

〔形態〕山中陰地に自生する多年生草本にして.形態共にハウチャクサウに酷似す。4月頃.莖頂に淡黄綠色の可憐なる1花を下垂する狀チゴユリに相似たり。〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

6410. **はうちゃくさう** 寳鐸草 (26圖版-251) …ユリ科
Disporum sessile, *D. Don.*

〔形態〕各地の山中陰地に自生多き多年生草本にして.莖高さ30-60糎(1-2尺)に達し.多くの枝を分つ。葉は葉柄を缺き.長楕圓形にして先端尖り.長さ9糎(3寸)許に達す。5月の候.莖頂に綠白色にして有梗の1-3花を腋出・點頭す。花被は筒狀をなして集り.長さ1·8糎(6分)許を有し.6片より成る。雄蕊は6箇を具へ.子房は3室を有し.花後球形の漿果を生じ.黑熟す。〔花色〕綠白色。〔花候〕春-夏。〔分布〕樺太・北海道・本州各部・四國・九州・琉球。

6411. こはうちゃくさう ……………………………ユリ科
Disporum sessile, *D. Don.* var. minus, *Miq.*

〔形態〕前種ハウチャクサウの一變種にして.概形彼に似たれども.全體小形にして.高さ7·5糎(2·5寸)內外に過ぎず。葉亦小形なれども.花は稍大きく單生するものなり。〔分布〕本州中部及南部・九州。

6412. おほはうちゃくさう ……………………………ユリ科
Disporum sessile, *D. Don.* var. macrophyllum, *Koidz.*

〔形態〕ハウチャクサウの一變種にして.概形彼に似たれども.本種の葉は彼に比し稍大きく.卵形或は廣楕圓形にして.長さ15糎(5寸).幅9糎(3寸)內外に達し.且つ短柄を有するを異る要點とす。〔分布〕本州北部。

6413. ほそばはうちゃくさう ……………………………ユリ科
Disporum sessile, *D. Don.* var. stenophylla, *Franch. et Sav.*

〔形態〕ハウチャクサウの一變種にして.葉は狹披針形を呈し.先端鋭尖頭をなせるものなり。〔分布〕本州中部。

6414. **たうちくらん** 萬壽竹 (26圖版-252) ……ユリ科
Disporum pullum, *Salisb.*

(異名) かぐらささ　〔形態〕暖地に自生する多年生草本にして.莖は綠色を呈して直立し.高さ60-90糎(2-3尺)に達し.基脚鞘片に被包せらる。葉は短き葉柄を具へ.卵狀披針形にして先端尖る。5月頃.葉腋に3-4花を簇生して下垂し.ハウチャクサウに似て小さく.淡黄綠色にして紫釆を伴へる花を開く。〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。

6415. きばなたうちくらん ……………………………ユリ科
Disporum Shimadai, *Hayata.*

〔形態〕暖地に自生する多年生草本にして.ハウチャクサウに酷似す。莖は直生して上部に2-3の枝を分ち.高さ30糎(1尺)許に達す。葉は稍葉柄を缺き.披針形にして.ハウチャクサウより更に狹く.3行脈を有す。花は頂生或は腋出し.花被裂片は全く展開し.基脚距を有す。雄蕊は6箇.子房は倒卵形をなし.花柱の先端3裂す。〔花色〕黄色。〔花候〕春。〔分布〕臺灣。

22. リュウケツジュ屬 DRACAENA.

6416. **シマセンネンサウ** (27圖版-253) ………ユリ科
Dracaena fragrans, Ker. var. *Massangeana*, Hort.

〔形態〕牧野博士の新稱にかゝる品種にして.「ドラセーナ」類中の1基本種に屬す。莖高さ75糎(2·5尺)許に達し.單生して枝を分たず。常綠なれども.落葉したる莖は淡褐色を呈す。葉は多數を簇生し.通常綠色をなせども.又斑條を彩るものあり。概ね葉柄を缺き.長さ30-60糎(1-2尺).幅10糎(3·5寸)內外に達し.新葉には鮮明なる黄色斑を有すれども.老成せる葉にありては.單なる黄綠色を呈するものなり。〔原產地〕「ギニア」。

人生との關係　觀葉植物として栽培せらる。

6417. ギンエフセンネンサウ ……………………………ユリ科
Dracaena Sanderiana, Sander.

〔形態〕高溫室內に於て普通に栽培せらるゝ外來の觀葉植物なり。莖は直立・單生にして枝を分たざれども.老株にありては根株より數條の莖を直生す。葉は披針形にして先端尖り.長さ10-20糎(3·5-7寸)に達し.長き葉柄の基脚莖を包む。葉色は綠色地に邊緣及中肋部に銀白色の條斑を彩り甚だ美なり。〔原產地〕亞弗利加(コンゴー國)。

人生との關係　觀賞用として高溫室內に栽培せらる。葉は稍下垂氣味なれども.粗着なるを以て.數本の寄植を可とす。

6418. ホシセンネンサウ ……………………………ユリ科
Dracaena Godseffiana, Sander.

〔形態〕本種も亦外來の觀葉草本にして.高さ1米(3尺)內外の矮性種に屬し.分岐性にして.細く棒狀をなし.結節を具へ.節毎に竹皮樣の鞘苞を有す。最初は淡綠色を呈すれども.後黄褐色に變ず。葉は每節に數葉を互生し.恰も輪生葉の觀あり。葉身は長楕圓形にして.長さ9-12糎(3-4寸).幅4·5糎(1·5寸)內外を有し.濃綠色地の全葉に.不正圓形の白斑點を有し.頗る美なり。花は黄綠色にして總狀に綴る。〔花色〕黄綠色。

〔原產地〕「ギニア」。

人生との關係　觀葉植物として溫室栽培せらる。繁植は挿芽・株分による。高溫栽培を要し.越冬溫度攝氏10度內外を要す。

23. カタクリ屬 ERYTHRONIUM.

6419. **かたくり** 片栗・車前葉・山慈姑 ……………ユリ科
Erythronium japonicum, *Makino.* (27圖版-254)

(異名) かたこゆり・ぶんだいゆり・かたぐり・かたゆり・かたかご・かたばな・かがゆり　〔形態〕山地の樹蔭に自生する多年生草本にして.地下に卵狀圓柱形の鱗莖を有し.每春之より地上に2葉を出す。葉は長き葉柄を具へ.卵狀長楕圓形にして.長さ6-9糎(2-3寸)許に達し.上面暗綠色を呈す。4-5月の候.葉間より花莖を抽くこと18-30糎(0·6-1尺)許にし.莖頂に紅紫色の花を單生・點頭す。花被は廣鐘形にして.6片の花被片より成り.花被片の基脚は3叉狀暗紫色釆を伴ひ.其前面には斗出せる2耳を有して子房を圍む。雄蕊は6箇を具へ.長短不同なり。子房は倒卵狀楕圓形にして3鈍稜を有し.柱頭は3岐す。蒴は廣楕圓形にして.長さ1·8糎(6分)許を有す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

人生との關係　地下莖より澱粉を製し.嫩葉を食用に供す。

24. バイモ屬 FRITILLARIA.

6420. **バイモ** 貝母 (27圖版-255) …………ユリ科
Fritillaria verticillata, Willd. var. *Thunbergii*, Bak.

(異名) アミガサユリ・ハルユリ・ハツユリ・ハハクリ　〔形態〕通常觀賞用又は藥用として園養せらるゝ多年生草本にして.地下に相對して肥厚せる2片の圓鱗より成れる鱗莖を有す。莖は高さ30-60糎(1-2尺)に達し.葉は長披針形にして3-4葉を輪生し.梢葉は狹小にして先端卷鬚に終る。3-4月の候.上葉腋に短梗を出し.各1箇の鐘形花を點頭す。花被は外

面淡紫色にして綠條を具へ,內面は淡黃色にして,淡綠の線狀に紫色の細點を交へ網狀をなす。〔花色〕外面淡紫色。〔花候〕春。〔原產地〕支那。

人生との關係　鉢植となして觀賞用に供し,愛らしきものなり。鱗莖は藥用に供せらる。即ち藥效として,(1)根を乾燥して之を煎服するときは祛痰・鎭靜・咳嗽・吐血・瘰癧等を治するに效あり。(2)根莖を擦り潰して,惡瘡・瘡口に塗布するか,又は黑燒として油にて煉りて塗布するときは特效あり。(3)球莖を生のまゝ煎用するときは,乳汁の出の惡しきを治するに效ありと云ふ。

6421. **こばいも**　(27圖版-256) ……ユ　リ　科
Fritillaria japonica, *Miq.*

〔異名〕てんがいゆり　〔形態〕溪間の陰地に自生する多年生草本にして,莖高さ9-12糎(3-4寸)に達し,莖頂に狹披針形をなせる4-5葉を互生す。3月頃,莖梢葉間に短梗の1花を點頭す。本花は6片の花被片より成り,廣鐘形にして,長さ1·5-1·8糎(5-6分)許,花色淡黃色にして,內面に紅紫色の細點を滿布し,花柱は深く3裂す。〔花色〕淡黃色。〔花候〕春。〔分布〕四國・九州。

6422. **ほそばなこばいも** ……ユ　リ　科
Fritillaria amabilis, *Koidz.*

〔形態〕山地の陰地に自生する多年生草本にして,莖は細長く,15-18糎(5-6寸)に達し無毛なり。葉は梢上に數葉を散生し,綠形或は披針形をなす。花は頂生・單立し,花被は狹鐘形にして,長さ7·5粍(2·5分)許を有し,帶黃色をなし,裂片は狹長橢圓形にして5脈を有す。雄蕊は花被より短く,子房は花柱の另長ありて,柱頭は淺く3裂す。〔花色〕帶黃色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部。

6423. **ワウクヮンサウ**　王冠草　(27圖版-257)　ユ　リ　科
Fritillaria imperialis, L.

〔形態〕外來の觀賞用多年生草本にして,莖高さ0·9-1·2米(3-4尺)に達す。葉は披針形又は廣披針形にして輪生し,鮮綠色を呈す。花は莖の頂端に簇生する葉の下部に,繖形をなして下垂し,赤色又は橙黃色にして頗る美なり。〔花色〕赤色又は橙黃色。〔原產地〕「ペルシャ」。

6424. **クロユリ**　黑百合　(27圖版-258) …… ユ　リ　科
Fritillaria camschatcensis, Ker.

〔形態〕本州中部以北地の高山に自生する多年生草本なれども,近時高山植物の愛養盛なるに從ひ,往々觀賞用として栽培せらる。地下に扁球形の鱗莖を有し,莖高さ30糎(1尺)內外に達す。葉は長卵形にして,通常3葉宛を輪生す。初夏の候,莖頂に花梗を出し,外面淡綠色にして,暗紫色の綠狀を有し,內面暗紫色にして,長さ3糎(1寸)許ある側向生の1-3花を點頭す。花被は鐘形をなして,長橢圓形をなせる6箇の花被片を有し,6箇の雄蕊と1箇の雌蕊とを有すること一般のユリに似たり。花後廣卵形の蒴を結ぶ。〔花色〕外面淡綠色にして暗紫色の綠條を有し,內面暗紫色。〔花候〕初夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。又鱗莖は煮食し,或は搗きて餅を製す。

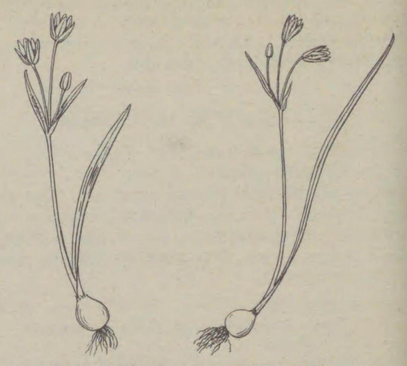
25. キバナアマナ屬　GAGEA.

6425. **きばなあまな**　(白圖-143) ……ユ　リ　科
Gagea lutea, *Ker.*

〔形態〕本州中部以北の山地に自生する多年生草本にして,地下に小形なる鱗莖を有し,之より線形の1葉を根生し,長さ15-30糎(0·5-1尺)許に達す。花は黃色にして,花被は6片より成り,長橢圓狀披針形にして背面綠色を呈し,複繖形花序に排列す。苞は2-3箇を有し,小梗は不同なり。雄蕊は6箇,子房は3室にして,花後生ずる蒴は膜質・短小なり。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

6426. **ひめあまな**　(白圖-144) ……ユ　リ　科
Gagea nipponensis, *Makino.*

〔形態〕本邦中部地方の山野に自生する多年生草本なり。地下に白色有被の鱗莖を生じ,卵狀球形にして,徑6-9粍(2-3分)に達す。根葉は1葉を生じ,狹線形にして先端尖る。花莖は疳長にして,高さ9-18糎(3-6寸)許に達し,外片は大きく線狀披針形にして,內片は線狀鑿形をなせる小形なる2苞と小形の小苞とを伴ふ。花は黃色にして,徑9-12粍(3-4分)を有し,2-7花を繖形花序に排列す。花被片は線狀長橢圓形にして,6箇の雄蕊を具へ,花被片より短く,子房は倒卵形にして鈍頭をなす。〔花色〕黃色。〔原產地〕本州中部。



143 きばなあまな　　144 ひめあまな

26. ツリガネオモト屬　GALTONIA.

6427. **ツリガネオモト**　(27圖版-259) ……ユ　リ　科
Galtonia candicans, Decne.

〔形態〕外來の觀賞用多年生草本にして,地下に球狀をなせる球莖を具へ舌狀披針形にして,長さ75糎(2·5尺)許を有する4-6葉を叢生す。花莖は往々1·2米(4尺)許に達し,花は芳香を有し,純白色にして,20-30花を點頭し,總狀花序をなす。花被は鐘形にして先端6中裂し,6箇の雄蕊を有す。花後長橢圓形にして,3殼を有する蒴を結ぶ。〔花色〕純白色。〔原產地〕南部亞弗利加。

27. ユリグルマ屬　GLORIOSA.

6428. **ユリグルマ**　(27圖版-260) ……ユ　リ　科
Gloriosa superba, L.

〔形態〕外來の觀賞用多年生草本にして,莖高さ1·5-3米(5-10尺)許に達し,葉は卵狀披針形にして,先端卷鬚に終る。花は黃色或は深紅色にして,腋出・單生し,長梗を有す。花被片は6箇を有し,披針形にして邊緣皺曲す。雄蕊は6箇を具へ,子房は3室にして,柱頭は長く延び彎曲す。〔花色〕黃色或は深紅色。〔原產地〕熱帶亞細亞。

139 しやうじやうばかま　　140 のくわんざう

28. シャウジャウバカマ屬　HELONOIPSIS.

6429. **しやうじやうばかま**　(白圖-139) …… ユ　リ　科
Helonoipsis orientalis, *Koidz.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして,莖高さ30糎(1尺)餘に達す。根出葉は地に擴がりて叢生し,葉身は細長き倒卵形を呈す。春日,叢葉間よ

PL. 27.

253 シマセンネンサウ　　254 かたくり　　255 バイモ

256 こばいも　　257 ワウクワンサウ　　258 クロユリ

259 ツリガネオモト　　260 ユリグルマ　　261 わすれぐさ

り花莖を抽くこと21-24糎(7-8寸)許に達し．上端に紅紫色の多花を短總狀花序に排列す。雄蕊は花被と長さ稍同じく．種子は長楕圓形にして．兩端に長形の附屬體を伴ふ。〔花色〕紫紅色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・四國・九州。

人生との關係　觀賞用として栽植せらる。

6430. しろばなしゃうじゃうばかま……ユ　リ　科
Helonoipsis japonica, *Maxim.*

〔形態〕山麓・險地等に自生する多年生草本にして．葉は根生し．葉身は細長き倒卵形をなす。春日．白色又は淡紅色をなせる筒狀花を點頭し．總狀花序に排列し．花序は小數花なり。花被は鐘形にして．花被片は6箇を有し披針形をなす。雄蕊は花被より遙かに長くして．赤6箇を具へ．子房は長楕圓形にして3起し．花柱は雄蕊より長く．柱頭亦3起す。種子は線狀長楕圓形にして．兩端に長形の附屬體を伴ふ。〔花色〕白色又は淡紅色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部・四國・九州。

29. クヮンザウ屬　HEMEROCALLIS.

6431. **わすれぐさ**　萱草　(27圖版-261)……ユ　リ　科
Hemerocallis aurantiaca, *Bak.*

(異名) くゎんざう　〔形態〕山地・原野等に自生する多年生草本にして葉は細長く硬質なり。夏日．漏斗形の花被より成る卵黃色にして芳香を有する6-8花を房狀花序に綴り．披針形の苞を伴ふ。花被の筒部は短く．先端6裂し．各裂片は長楕圓形にして反捲す。雄蕊は6箇を具へて花喉に着生し．子房は長楕圓形にして3室を有し．花柱は單一なり。花後3瓣を有する蒴を結ぶ。〔花色〕卵黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部。

141　ひめくわんざう　　142　ぜんていくわ

6432. **のくゎんざう**　(白圖-141)……ユ　リ　科
Hemerocallis disticha, *Don.*

(異名) べにくゎんざう・かうすげ・みづすげ　〔形態〕山林・草叢間等に自生する多年生草本なり。葉は地下莖より叢生し．葉身は狹舌形をなして質柔く．淡綠色にして稍彎曲する傾を有し．長さ45-60糎(1・5-2尺)許に達す。夏日．葉間に花莖を抽くこと60糎(2尺)許に達し．赤黃色にして香氣を有せざる筒狀花を總狀花序に排列し．花序は概ね2岐す。本花は概ねユリの花に似たれども．オニユリの花に比するに稍小さく．且つ彼の如く花被片の反捲せざるものとす。〔花色〕赤黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州・琉球。

6433. **ひめくゎんざう**　金萱　(白圖-142)……ユ　リ　科
Hemerocallis Dumortierii, *Morr.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして．概形ヤブクヮンザウに似て小形なり。高さ45-60糎(1・5-2尺)內外．葉は狹舌形にして．長さ30-45糎(1-1・5尺)．徑1・2-1・5糎(4-5分)を有し．花莖と稍同長なり。3-4月の候．葉間より花莖を抽き．卵黃色にして芳香を有する筒狀花を2-3箇着生し．房狀花序に排列す。花は長さ4・5-6糎(1・5-2寸)許を有し．花筒部は極めて短形なり。〔花色〕卵黃色。〔花候〕春。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

6434. あさまくゎんざう……ユ　リ　科
Hemerocallis esculenta, *Koidz.*

〔形態〕本州中部高山地帶に自生する多年生草本にして．葉は多數を根生し．概ね2列に排列し．基脚鞘狀をなして互に相抱擁す。葉身は鮮綠色を呈し．線形にして先端尖る。初夏の候．葉間より花莖を抽くこと葉より長く．梢頭に淡赤黃色の筒狀花を3-4箇着生し．房狀花序に排列す。苞及小苞は乾皮質にして．卵形或は卵狀披針形をなし．先端尖る。花被筒は圓筒形にして6裂し．各裂片は長楕圓形をなす。〔花色〕淡赤黃色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州中部。

6435. **ゆふすげ**　麝香萱　(28圖版-262)……ユ　リ　科
Hemerocallis minor, *Mill.*

(異名) きすげ・よしのきすげ　〔形態〕各地の山野に自生する多年生草本にして．概形ヤブクヮンザウより小さく．高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は狹舌形にして．暗綠色を呈し．長さ36-39糎(1・2-1・3尺)．幅6-15粍(2-5分)許を有す。5-6月の候．葉間に細長き花莖を抽き．高さ90糎(3尺)以上に達し．分枝せる花梗上に．淡黃色の芳香を有せる3-6箇の筒狀花を房狀花序に排列す。本花は夕刻に開き．翌朝に至りて凋萎するを以て．ユフスゲ又マツヨヒグサの名あり。花筒は瘠長にして裂片の約半長なり。〔花色〕淡黃色。〔花候〕春-夏。〔分布〕本州中部及南部・九州。

人生との關係　庭園に栽植し．觀賞に供せらる。藥效として(1)本植物の根を煎服すれば利尿に效あり。(2)花を煎服すれば肺病を治するに大效ありと云ふ。

6436. **ぜんていくゎ**　(白圖-142)……ユ　リ　科
Hemerocallis Middendorfii, *Trautv.* et *Mey.*

(異名) せっていくゎ・にっくゎうきすげ・えぞくゎんざう　〔形態〕本邦北部の山地に自生する多年生草本にして．概形ヤブクヮンザウに似て小形なり。莖高さ30-45糎(1-1・5尺)許に達し．葉は狹舌形にして．長さ3・6-3・9糎(1・2-1・3寸)．徑1・5-2・4糎(5-8分)許を有す。初夏の候．葉間より葉と稍同長なる花莖を抽出し．卵黃色にして芳香を有する2-4箇の筒狀花を房狀花序に排列し．花は稍花梗を缺く。〔花色〕卵黃色。〔花候〕初夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部及中部。

6437. シナクヮンザウ……ユ　リ　科
Hemerocallis fulva, L.

(異名) ホンクヮンザウ・ホンワスレグサ　〔形態〕支那原產の多年生草本にして．莖は宿根より直生し．長さ30-60糎(1-2尺)に達し．下面稍粉白を布く。花は高さ60-90糎(2-3尺)許を有する花莖の頂端に6-12花を點頭し．圓錐花序をなす。苞は膜質・小形にして．花被は長楕圓形をなし橙黃色にして．內面には濃色の斑紋を伴ひ．外片より廣し。〔花色〕橙黃色。〔花候〕夏。(栽培種)

6438. **やぶくゎんざう**　千葉萱草　(28圖版-263)　ユ　リ　科
Hemerocallis fulva, *L.* var. kwanso, *Hort.*

(異名) おにくゎんざう・やへくゎんざう　〔形態〕各地の原野に自生する多年生草本にして．他種に比して全株大形なり。葉は總て根生し．狹長にして．長さ60-90糎(2-3尺)に達し．平行脈を具へ．先端鋭尖なり。夏日．葉間より花莖を抽くこと60-90糎(2-3尺)許に達し．概形百合に似たれども稍小形にして．重瓣をなせる黃赤色の香氣ある花を開き．花後蒴果を結ぶ。〔花色〕黃赤色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道・本州各部・九州・臺灣。

人生との關係　往々庭園に栽植し．觀賞に供せらる。藥效として(1)根を生又は乾燥したるものを適量に煎服するか．若しくは液汁にて局部を洗滌すれば．腫瘍・潰瘍を治するに效あり。(2)花の香氣あるものを煎服すれば．興奮作用を起すに有效なり。

尙嫩葉は花と共に茹でゝ水に浸し．調理して食用に供する地方あり。根莖よりは澱粉を採取することを得べしと云ふ。

6439. すぢくゎんざう……ユ　リ　科
Hemerocallis fulva, *L.* var. kwanso, *Hort.* forma variegata, *Makino.*

〔形態〕本種はシナクヮンザウの一品種にして．葉に白條を彩れる一種なり。(栽培種)

30. ギバウシ屬　HOSTA.

6440. こばぎばうし……ユ　リ　科
Hosta japonica, *Asch.* et *Graebn.*

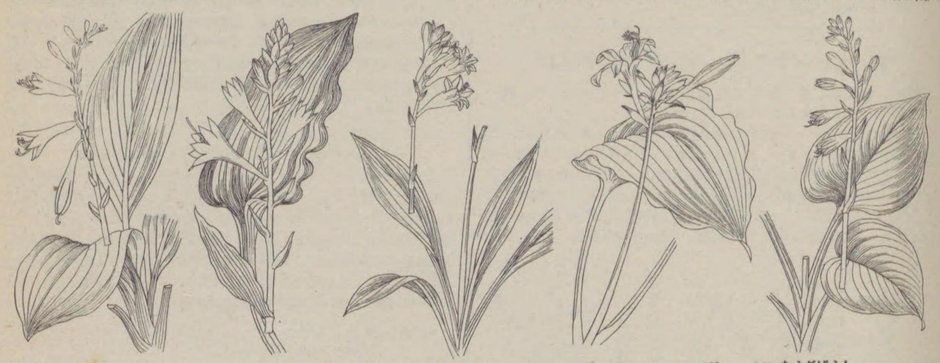
〔形態〕各地に自生する多年生草本にして．コギバウシに相似たり。莖高さ30糎(1尺)許に達し．葉は卵形或は廣卵形にして．花は淡紫色を呈する種類なり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部。

6441. **ぎばうし** 紫萼 (28圖版-264) …… ユ リ 科
Hosta japonica, *Asch.* et *Graebn.* var. coerulea, *Makino.*

〔異名〕ぎばうしゅ・ぎぼ・ぎば・ぎぼし　〔形態〕地方によりてギバウシュ、又單にギボと稱す。深山又は原野に自生する多年生草本にして、莖高さ60糎(2尺)以上に達す。葉は卵圓形或は心臟形・全緣にして、5-6條の側脈を具へ、長柄によりて叢生す。夏日、叢葉間より花莖を抽き、上部に總狀花序をなして、淡紫色の筒狀花10-15箇を開き、花筒部は先端6裂す。

〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州。

人生との關係　庭園に栽培し、觀賞に供せらる。藥效としては根部を揺り下ろし、又は粉末となし、之を酒に和して服用するときは、癰腫に效あるべく、又莖・葉の搾汁を服用するときは、腫毒を解するに有效なり。尙莖・葉を淘ぎて乾燥するときは純白となるを以て、之を貯へ置き、時に煮食するに味佳なり。俗に山干瓢と稱せらる。



143 こぎばうし　144 すぢぎばうし　145 みづぎばうし　146 タマノカンザシ　147 たうぎばうし

6442. **こぎばうし** (白圖-143) …… ユ リ 科
Hosta japonica, *Asch.* et *Graebn.* var. intermedia, *Makino.*

〔異名〕うるい　〔形態〕前種コバギバウシの一變種にして、彼に比するに葉は稍廣き種類なり。其他概形彼によく相似たり。〔分布〕北海道・本州北部及中部。

6443. **すぢぎばうし** (白圖-144) …… ユ リ 科
Hosta japonica, *Asch.* et *Graebn.* forma fol. albo variegatis. undulata, *Makino.*

〔形態〕觀賞用として栽培せらるゝ宿根草本にして、コバギバウシの一品種なり。葉は根際より叢生し、稍卵形にして、數條の白線を有す。春日、葉間に30-60糎(1-2尺)許ある花莖を抽き、淡紫色の愛らしき小形の筒狀花を總狀花序に排列す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。(栽培種)

人生との關係　庭園に栽培し觀賞に供せらる。

6444. **みづぎばうし** (白圖-145) …… ユ リ 科
Hosta japonica, *Asch.* et *Graebn.* var. angustifolia, *Asch.* et *Graebn.*

〔異名〕さじきばうし　〔形態〕各地の水濕地に自生するコバギバウシの一變種にして、莖高さ30糎(1尺)以上に達す。葉は彼に比するに、更に一層狹長にして、先端尖り、平行脈を有し互生す。夏日、叢葉間より長さ60-90糎(2-3尺)に達する花莖を抽き、紫色或は白色の筒狀花を總狀花序に排列す。〔花色〕紫色或は白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州。

人生との關係　庭園に栽培し、專ら觀賞に供せらる。

6445. **しろばなみづぎばうし** …… ユ リ 科
Hosta japonica, *Asch.* et *Graebn.* var. angustifolia, *Asch.* et *Graebn.* forma albiflora, *Makino.*

〔形態〕本種も亦コバギバウシの一品種にして、花は白色を呈する種類なり。〔分布〕邦內。

6446. **ながばみづぎばうし** …… ユ リ 科
Hosta japonica, *Asch.* et *Graebn.* var. longifolia, *Honda.*

〔形態〕本種も亦コバギバウシの一變種にして、莖高さ90糎(3尺)內外に達す。根生葉は披針形或は線狀披針形にして先端尖り、基脚狹形をなし、長さ18-24糎(6-8寸)許を有する種類なり。〔分布〕本州中部。

6447. **くろばなぎばうし** …… ユ リ 科
Hosta atropurpurea, *Nakai.*

〔形態〕寒地の高山・雪溪等に自生する多年生草本にして、地下の根莖は短く横走す。葉は通常3葉を根生し、葉柄は長さ6-18糎(2-6寸)許に達し、中部以上に翼を伴ふ。葉身は廣披針形、或は卵狀長橢圓形にして先端尖り、長さ葉柄と稍同じく、上面粉白を布く。花莖は45-60糎(1·5-2尺)許に達し、花は總狀花序に排列す。花序は1筒の帶綠色にして、披針形の苞を伴ひ、花被片は廣披針形をなして6箇を具へ、黑紫色にして粉白を裝ふ。

〔花色〕黑紫色。〔分布〕北海道。

6448. **タマノカンザシ** (白圖-146) …… ユ リ 科
Hosta plantaginea, Asch.

〔形態〕支那原產の多年生草本にして、葉は長き葉柄を具へ、心臟狀卵形にして、短銳尖頭・心脚をなし、上面光澤を有す。總狀花序は短形にして、苞は廣大なり。花は純白色にして、花徑9糎(3寸)以上に達し、本屬中最大花形を有するものなり。花被は筒狀漏斗形をなし、長さ9-15糎(3-5寸)許に達す。(栽培種)

人生との關係　庭園に栽植し、觀賞に供せらる。

6449. **たちぎばうし** …… ユ リ 科
Hosta rectifolia, *Nakai.*

〔形態〕寒地高山の稍濕潤地に自生する多年生草本なり。葉は通常4-5葉を根生し、深き溝を有する長柄を具ふ。葉身は長橢圓形或は廣橢圓形にして、長さ15-24糎(5-8寸)許を有す。花莖は高さ0·9-1·1米(3-3·5尺)許に達し、長橢圓形にして、白色若しくは綠色を呈する2-3の苞を伴ふ。花は莖色にして、花被片は廣披針形・狹脚をなし、長さ3-4·5糎(1-1·5寸)許を有す。〔花色〕莖色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道。

6450. **はちぢゃうぎばうし** …… ユ リ 科
Hosta rupifraga, *Nakai.*

〔形態〕岩上に生ずる多年生草本にして、肥厚せる根莖より葉を叢生す。葉柄は剛硬にして、長さ3-6糎(1-2寸)許を有し、葉身は稍革質・廣卵形にして、緣邊波狀を呈し、上面は滑澤なり。花莖は壯大にして褐紫色の斑點を有し、帶紫色の筒狀花を多數着生す。苞は稍革質にして白色を呈し、緣邊に紫色を彩る。花筒部は狹長にして、長さ1·2糎(4分)許を有し、裂片は長橢圓狀卵形をなす。〔花色〕帶紫色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州(八丈島)。

6451. **たうぎばうし** 玉簪 (白圖-147) …… ユ リ 科
Hosta Sieboldiana, *Engl.*

〔異名〕おにばぎばうし　〔形態〕山地に自生すれども、亦往々觀賞用として庭園に培養せらるゝ多年生草本にして、莖高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は根莖より叢生して葉柄を具へ、廣卵形にして先端尖り、基脚心臟形をなす。其色濃綠色にして粉白を裝ひ、12-13對の側脈は顯著なり。春夏の候、葉間より花莖を抽くこと30-60糎(1-2尺)許に達し、淡紫色又は白色をなせる多數の筒狀花を總狀花序に排列す。花被は漏斗狀鐘形をなし、花絲は離生して彎曲し、葯は丁字形に着生す。花後線形をなせる蒴を結び、種子は扁平にして翼を具へ、黑色を呈す。〔花色〕淡紫色又は白色。

〔花候〕春-夏。〔分布〕本州各部。

人生との關係　庭園に栽植し、專ら觀賞に供せらる。

6452. **キフクリンタウギバウシ** …… ユ リ 科
Hosta Sieboldiana, Engl. var. *aureo-marginata*, Makino.

〔形態〕前種タウギバウシの一變種にして、葉緣に黃色の覆輪をなせる一種なり。(栽培種)

148 とくだま　149 いはぎばうし

6453. **とくだま** (白圖-148) …… ユ リ 科
Hosta Sieboldiana, *Engl.* var. glauca, *Makino.*

〔異名〕こふきぎばうし　〔形態〕前種タウギバウシの一變種にして、往々山地に自生品を見れども、多くは栽培せらる。莖高さ30糎(1尺)內外に達し、葉は彼に比するに質厚くして小さく、且つ粉白を布く。4-5月の候、純白色の花を短矮なる花穗に攢簇す。〔花色〕純白色。〔花候〕春。

〔分布〕邦內。

6454. **いはぎばうし** (白圖-149) …… ユ リ 科
Hosta Sieboldiana, *Engl.* var. longipes, *Matsum.*

〔形態〕山中礫地又は岩石樹上等に自生する多年生草本なり。葉は長き葉柄を具へ、膜質・卵形にして、銳尖頭・稍心脚をなし、概形ギバウシに似たれども、彼より短小にして、裏面平行脈間に有する橫皺は著しく、且つ柄脚に暗紫色の斑紋を有するは、蓋し其異る所なり。7-8月の候、叢葉間に花莖を抽き、上部に總狀をなして、紫暈を伴へる筒狀花を稍疎生し、形狀ギバウシに似たれども概ね小形なり。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・九州。

6455. **くろぎばうし** …… ユ リ 科
Hosta Sieboldiana, *Engl.* var. nigrescens, *Makino.*

〔形態〕前種トクダマに酷似せる多年生草本にして、葉は彼より質厚く、且つ一層狹小にして、葉脚は稍回旋す。葉色は深綠色にして、黑色を帶べるを以て、クロギバウシの名あり。夏秋の候、白色にして淡紫暈を有する花を開く。〔花色〕白色にして淡紫暈を伴ふ。〔花候〕夏-秋。〔分布〕邦內。

---

31. ヒヤシンス屬 HYACINTHUS.

6456. **ヒヤシンス** (28圖版-265) …… ユ リ 科
Hyacinthus orientalis, L.

〔形態〕近時舶來せる耐寒性の多年生草本にして、地下に球狀をなせる大形の鱗莖を有す。葉は狹披針形にして厚く、濃綠色にして先端尖り、溝を有し、長さ18-30糎(0·6-1尺)許に達し、直立生なり。春日15-30糎(0·5-1尺)許ある中空の花梗を根生し、上部周圍に鐘狀をなせる密花を總狀花序に排列す。花は芳香を有し、花色種々あり。花徑は2·4糎(8分)許を有し、花被の筒部は基脚膨出し、長く6裂せる裂片は長橢圓狀楕形をなして廣く開張し又は先端反捲す。雄蕊は6箇を具へて花被筒に着生し、花後生ずる果實は蒴にして、稍球形をなし3起す。〔花色〕白・紅・紫・黃色等種々。

〔花候〕春-夏。〔原產地〕南部歐羅巴。

人生との關係　觀賞用として庭園・花壇又鉢植となし廣く栽培せらる。花は通常一重なれども亦重瓣のものあり。何れも一種の芳香を放ち、假令1本の切花としてもよく1室中に芳香を充たす程なるを以て、現時は盛に切花として愛玩せらる。以下ヒヤシンスの種類、栽培法等につき概記すべし。

ヒヤシンスの種類

本屬には凡そ30種以上の品種あれども、概ね人工的に改良せられたるものにして、就中其主なるものは次の3種を數ふべきなり。

(1) **ヒヤシンス・オリエンタリス** (Hyacinthus Orientalis)　本種は普通にヒヤシント又はヒヤシンスと稱する單瓣種にして、4月頃青色の花を總狀に開く種類なり。

(2) **ヒヤシンス・ローマナス** (H. romanus)　英名ローマン・ヒヤシンス (Roman hyacinth) は「ギリシヤ」原產にして、前種に比するに、球・莖・花何れも小さく、香氣も亦前種に及ばず。普通花戶に切り花として飾らるゝヒヤシンス中花の細長くして、蕚に着けるものは多く本種なるか或は又之れより變化したるものと見て可なり。要するに本種は、開花期早く且つ花梗を多く抽出するを以て切花として栽培せらるゝ品種なり。

(3) **ヒヤシンス・アメシスチナス** (H. amethystinus)　英名ペルシヤ・ヒヤシンス (Persia hyacinth) 本種は南部歐羅巴原產にして、葉は細く叢生するを特徵とす。花梗は短く花亦小形なる種類なり。

ヒヤシンスの繁殖法

ヒヤシンスを繁殖せしむるには、實生法と分球法との2法あれども、實生法によるときは、苗の發育極めて遲緩なるものにして、少なくも5-6年を經過せざれば開花を見る能はざるを以て、變種を得るの目的に非らざれば、分球法によるを良とす。

分球法　本法は親株に生じたる子球を9-10月頃に分割して植付くる方法にして、其の手當・管理等は一般球根類に準ず。されど本種の親株は子球を生ずること少く、1球漸く4-5球內外なれば、多數繁殖せしめんとするには、現今種苗商或は一般園藝家の間に實際に行はれつゝある子球增殖法を利用するを可とすべし。

子球增殖法　本法を行はんとするには、先づ休眠中の優良種と認むべき球を掘り出し、其の球の底部より球の中央に達する程度に、最もよく研ぎすましたる小刀を以て、十文字の切れ目を入れ、之れを土中に埋め置く。然るときは須臾にして切れ目は裂開し、晩夏の候に至り多くの子球を生ず。此の子球は其儘1年間培養して結局切れ目を入れたる翌々年に至りて、之れを掘り出し、子球を分離して、栽培するものなり。斯くして3-4年間養成するときは、完全なる球を得らるゝものなり。

尙一法としては、8月頃、快晴にして、空氣の乾燥せる時を見計らひ、前と同じく、球の底部より深き匁內外と思ふ程度に、其中央部を小刀にて刻る。勿論此時球の外緣は薄く殘し置く樣にすべし。

刻りたる箇所には手は勿論、何物をも觸れざる樣注意し、次に砂を入れたる箱の中に斷面を上向にして(頭を下向にす)植込み、少しづゝ日光にあてゝ乾燥せしむるときは、暫時にして中央の刻りたる所は日光の爲めに乾きて自然に分離するを以て、「ピンセット」にて挾み出すべし。かくして爾後秋の植付迄日當りよき、乾燥の場所に置くときは、斷面に多くの子球を生ずるに至る。此方法によるときは、前の方法よりも多くの子球を得らるべきも、子球は稍小形なるを以て、開花を見るは前者に比し約1ケ年位長く費さゞるべからざるも亦止むを得ざることなるべし。

ヒヤシンスの栽培法

露地栽培　露地栽培をなさんとするには、先づ第一に日當りよく且つ排水佳良なる土地を選ばざるべからず。土質は可成夏季中に、粘土質なれば、砂と馬糞とを充分に混和し、若し又砂土質なれば、反對に粘土と牛糞とを充分に混和し、攪め土質を改良して、植付の準備をなし置かざるべからず。9-10月頃に至り6-9糎(2-3寸)許の穴を掘り、其の底に少しく砂を入れ、其の上に球を置きて土を覆ふべし。(砂を入るゝは球の腐敗を防ぐ爲めなり)球の植付を終りたれば、其の上に稍厚く木の葉若しくは藁を蔽ひ、春季花の出づる頃に至りて之を除くべし。

肥料は開花中に施す必要はなけれども、來年の開花に有效ならしむる爲め、花後一回稀薄にしたる液肥を施すを要す。而して莖・葉の全く枯凋したる後、球を掘り出して表面を充分に乾たしたる上貯藏し置くべきなり。

鉢栽培　鉢栽培をなさんとするには、9-10月頃に至り、排水裝置をなしたる鉢へ砂混りの腐葉土を膠ひ込み、5寸鉢なれば5-6球を植付込む。植込みを終りたれば、約1ケ月間暗き所に安置して、充分に根を伸長せしめ、其後は日當りのよき所に出し、冬季は簡單なる霜除を施す。若し根の充分に伸長せざる內に發芽を促すが如きときは、必ず開花するに當り好結果を得られざるを以て、注意せざるべからず。尙植込みを終りたれば、直ちに鉢を地中に埋め藁等を被ひ置きて、開花に至り鉢を掘り出すも可なり。其他の手當等に至りては一般球根類栽培法に準ずれば可なり。

其他ヒヤシンスは、クローカス・コルシクム等の球根種に行はるゝ方法によりて水栽培も容易なるものなり。

ヒヤシンスの病氣と其豫防法

ヒヤシンスは往々其塊莖を黴菌に犯さるゝことあり。この病菌は晩春又は初夏の候、其の葉に黃色の條痕又は斑點多く現はる。而して氣溫高く濕氣多き時には淡青色の黴を生じ、後に至り小形の黑色菌核を現はすに至るものなり。此の病

原は「スクロチニア•ブルボールム」菌の塊莖に寄生によるものにして．之れが防除法としては．

（1） 發芽の初に於て石灰「ボルドー」液．6 匁式銅石鹼液又は「アムモニヤボルドー」液を撒布すること。

（2） 病害に犯されつゝあるの疑ある種球は植付けざること。

（3） 排水佳良の地を選び．連作を避くること。

（4） 發病の惡ある土地に栽培せんとするときは．蹂め次の操作を施して植付をなすを安全なりとす。卽ち

植付をなさんとする植穴 徑 30 糎（1 尺）內外に石灰窒素 37•5 瓦（10匁）許を施すか．或は 3•3 平方米（1 坪）に付 675 瓦（180 匁）內外の「フォルマリン」液を撒布し．土と充分よく洗和して後．2 週間許經過したる時植付くるを良とす。（石灰窒素にて消毒したる．場合は窒素肥料を施すの必要なきものなり）。 或は石灰硫黃劑を 3•3 平方米（1 坪）に付 5•4 立（3 升）の割合に地面に撒布し．土とよく混合して．約 1 日を經過したる後植付くるも可なり。 尙發芽後再び同液を地際に撒布すれば更に有效なり。

32. シャグマユリ屬 KNIPHOFIA.

6457. **シャグマユリ** （28 圖版-266） …… ユ リ 科
Kniphofia aloides, Moench. (*Toritoma Uvaria, Ker-Gawl.*)

（異名）アカバナトリトマ・オホトリトマ　〔形態〕園藝上にてはトリトマとして一般的に栽培せらるゝ外來の多年生草本にして．葉は叢生し長さ 60-90 糎（2-3 尺）に達し．線狀劔形にして細鋸齒緣を有し．先端尖り．平行脈を有す。 此葉は葉の中途より折れて垂下するをその特徵とす。 6 月頃叢葉間より太き花莖を抽出し．梢頭に赤色の圓柱狀をなして．花と同長なる短き花梗を有する密花を下向に開き．總狀花序をなし．花序は長さ 15 糎（5 寸）許に達す。花は初め赤色を呈すれども旣にして黃色に變じ．花被は筒形にして長さ 3-6 糎（1-2 寸）許を有し．裂片は卵形．鈍頭なり。雄蕊は 6 箇を具へ．1 種は花被と同長．他種は花被より超出せる 2 種より成り．子房は 3 室花糸は糸狀にして．柱頭は小球形をなし．蒴は 3 殼を有す。〔花色〕赤色旣にして黃色に變ず。〔花候〕夏。〔原產地〕南部亞弗利加（喜望峯地方）。

人生との關係 觀賞用又切花用として用ひらるれども．多くは花壇植として栽培愛玩せらる。 尙本種の花は 6 月頃より秋季に至るまで隨時開花し．一時に全部を開花し終らざるを以て．比較的花期長きものなり。尙耐多性宿根草本なるを以て．繁殖は株分による。 早春株分をなして植ゑ付くるときは．其年の夏より開花を見るを得べし。

6458. **ヒメシャグマユリ** （28 圖版-267） …… ユ リ 科
Kniphofia triangularis, Kunth.

〔形態〕本種は花戸のトリトマと呼稱する外來の多年生草本にして．莖高さ 60 糎（2 尺）內外に達し．葉は劔狀をなして先端尖り．後種タタミガラカサに比するに．莖葉共に著しく小形なり。5-6 月の候．9-12 糎（3-4 寸）許ある花穗をなして黃色の花を開く。〔花色〕黃色。〔花候〕春-夏。

〔原產地〕西部亞弗利加。

人生との關係 觀賞用又切花用として栽培せらる。宿根草なるを以て繁殖は株分により．早春之を行ふ。

6459. **タタミガラカサ** （28 圖版-268） …… ユ リ 科
Kniphofia Uvaria, Hook. var. *Maxima*, Kunth.

〔形態〕本種は往々前種シャグマユリと同一視せられ．花戸も亦同一種として取扱ふを常とすれども．本種は葉及花梗共に粉白を裝ひ．花梗は著しく太く．且つ剛直にして．花穗には小花を密に接着し．順次上部に咲き上る等を著しく異る所とす。花亦被に比して淡く．通常 6 月頃一齊に開花し．時としては秋季にも開花を見ることあれども．花期は彼に比して長からざるものなり。〔花色〕淡橙赤色。〔花候〕夏。〔原產地〕南部亞弗利加。

33. ヤブラン屬 LIRIOPE.

6460. **やぶらん** 麥門冬 （28 圖版-269） …… ユ リ 科
Liriope graminifolia, *Bak.*

〔形態〕各地の樹林中．殊に陰濕の地に自生多き多年生草本なり。地下の根部は黃白色にして．連珠狀をなし．多くの鬚根を生ず。葉は根生し．長さ 30-60 糎（1-2 尺）．線形或は線狀披針形にして鈍頭をなし．緣邊糙澁なり。夏日叢葉間より細長き花莖を抽くこと 30-45 糎（1-1•5 尺）許に達し．紫色若しくは莖色をなせる花を 3-5 花づゝ小花團をなして攢簇し．密生せる穗狀花序をなす。花被は鐘形をなし．蕚片は 3 箇を具へ．長橢圓狀披針形にして．花瓣も亦 3 箇を有し．廣橢圓形をなす。 雄蕊は 6 箇．子房は 3 室を有し．花柱は單一なり。花後球形にして．ジャノヒゲに似たれども．其色碧黑色をなし．漿果を結ぶ。〔花色〕紫色又は菫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部•四國•九州•琉球•臺灣。

人生との關係 庭園等に栽植し．觀賞に供せらる。地下の球根は藥用に供す。卽ち藥效として（1）球根を煎服するときは．解熱•祛痰•咳嗽•心臟病等に效あるのみならず．肺病患者の元氣を恢復するに效あり。（2）球根をおろして「アカギレ」の患部に摺り込むときは之を治するに效あり と云ふ。

6461. しろばなやぶらん …… ユ リ 科
Liriope graminifolia, *Bak.* var. albiflora, *Makino.*

〔形態〕前種ヤブランの一變種にして．花は白色なる一種なり。

〔分布〕本州中部。

6462. おきなぐさ …… ユ リ 科
Liriope graminifolia, *Bak.* var. praealba. *Makino.*

〔形態〕本種も亦ヤブランの一栽培變種にして．葉は初め白色を呈すれども．旣にして綠色をなす一種なり。（栽培種）

6463. ひめやぶらん …… ユ リ 科
Liriope minor, *Makino.*

〔形態〕原野に自生する多年生草本にして．概形ジャノヒゲに類すれども全形稍小さく且つ叢生せざるを常とす。葉は狹線形にして．漸く 9-12 糎（3-4 寸）許に過ぎず。 初夏葉間より高さ 18-21 糎（6-7 寸）許ある花莖を抽き．淡紫色にして 6 瓣より成れる小花を穗狀花序に綴り．花序は直生にして少數花を排列す。花後黑色．球形の漿果を結ぶ。〔花色〕淡紫色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道•本州•四國•九州•琉球•臺灣。

6464. りうきうやぶらん …… ユ リ 科
Liriope gracilis, *Nakai.*

〔形態〕琉球に自生する多年生草本にして．地下の根莖は長く橫走し．概形ヤブランに似たれども．彼に比するに．葉は狹小にして．花亦小形なる種類なり。〔分布〕琉球。

150 ちしまあまな　　151 ほそばのあまな

34. チシマアマナ屬 LLOYDIA.

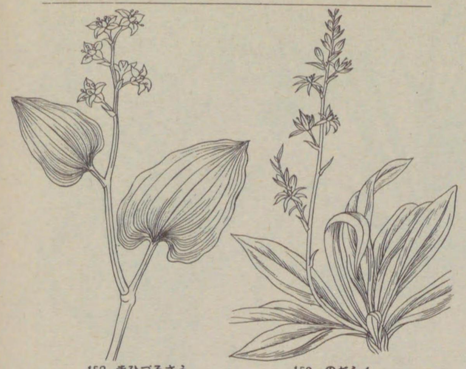
6465. **ちしまあまな** （白圖-150） …… ユ リ 科
Lloydia serotina, *Sweet.*

〔形態〕本邦中部以北の高山草本帶に自生する多年生草本にして．莖高さ 12-15 糎（4-5 寸）に達し．地下に鱗莖を有せず。 春日線形をなせる 3-4 葉を根生し．葉間より高さ 6-7•5 糎（2-2•5 寸）許ある花莖を抽出し．莖上に短小なる莖葉 2-3 箇を着生す。7 月頃白色にして．基脚黃紫色を呈する 6 瓣花を花莖の頂端に單立•直生す。 花被片は長橢圓形にして．雄蕊は 6 箇を具へ蒴は倒卵形なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太•千島•北海道•本州北部及中部。

6466. **ほそばのあまな** （白圖-151） …… ユ リ 科
Lloydia triflora, *Bak.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして．地下に豌豆大の鱗莖を有す。春日 1 葉を根生し．線形にして莖と稍同長なり。莖は軟弱にして．高さ 15-18 糎（5-6 寸）に達し．長橢圓狀線形をなせる 1-2 の莖葉を生ず。花は白色にして 3-5 條の綠線を伴へる鐘形をなし．總狀樣房狀花序をなして 3-5 花を排列し．苞は線狀劔尖形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太

千島・北海道・本州・九州。



152 まひづるさう　　153 のぎらん

35. マヒヅルサウ 屬 MAIANTHEMUM.

6467. **まひづるさう** (白圖-152) …… ユ リ 科
Maianthemum bifolium, *DC.* (*M. convallaria, Wigg.*)

〔異名〕しらやまあふひ　〔形態〕高山の喬木帶に自生する多年生草本にして.莖高さ 12-15 糎(4-5 寸)より 21-24 糎(7-8 寸)許に達す。葉は長き葉柄を具へ.心臟形にして先端尖り.深心脚をなし.概ね 2-3 葉を着生す。7 月頃梢上に花梗を分ち.白色の小花を疎生せる總狀花序に排列す。花被片は 4 箇を有し.倒卵形にして先端反捲す。雄蕊亦 4 箇を具へ花被より短く.子房は卵形にして. 花柱は短く柱頭は 2 起す。花後生ずる果實は帶褐色にして.球形をなせる漿果なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州・四國・九州。

6468. **おほまひづるさう** …… ユ リ 科
Maianthemum dilatatum, *Nels.* et *Macbr.*

〔形態〕前種マヒヅルサウに酷似せる草本なれども.本種は彼に比するに莖葉共に壯大にして.花亦大形なるものなり。〔分布〕樺太・千島・北海道・本州北部。

36. ノギラン 屬 METANARTHECIUM.

6469. **のぎらん** (白圖-153) …… ユ リ 科
Metanarthecium luteo-viride, *Maxim.*

〔異名〕きつねのを　〔形態〕山地原野等の濕地に多く自生する多年生草本なり。葉は簇生し. 1 束十數葉を着け恰もシャウジョウバカマの如し。葉身は長楕圓形或は箆形にして先端銳く尖り. 黃綠色を呈す。夏日葉心より 30 糎(1 尺)許ある花莖を抽出し. 短梗花を以て穗をなすこと 18-21 糎(6-7 寸)に達し.總狀をなす。 毎花には大小 2 箇の針狀葉を有して之を護る。花は白質にして.花被片の中央に黃綠の 1 條と.先端に茶褐色暈を伴ふ。花被は鐘形にして 6 裂し. 裂片は鑿狀線形をなして平開す。雄蕊は 6 箇を具へ. 花被片より短く. 子房は卵形にして.花柱は雄蕊より長し。〔花色〕白質。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部・四國・九州。

37. セイヤウアマナ 屬 MILLA.

6470. **セイヤウアマナ** …… ユ リ 科
Milla biflora, Cav.

〔異名〕ウスフヂイロアマナ　〔形態〕外來の多年生草本にして地下に小形の鱗莖を有し. 葉は根生して稍圓柱形をなす。 3-4 月の候.高さ 15-45 糎(0·5-1·5 尺)許ある花莖を抽出し.外面帶綠色.內面雪白色にして.芳香を有し.花徑 4·5-6 糎(1·5-2 寸)許ある 1-5 花を繖形花序に排列す。花被は盆形をなし. 花被片は長楕圓狀披針形をなす。雄蕊は 6 箇を具へ.概ね花糸を缺如す。花後.長倒卵形をなせる蒴を結ぶ。〔花色〕外面帶綠色にして內面は雪白色。〔花候〕春。〔原產地〕北米「メキシコ」。

38. ムスカリ 屬 MUSCARI.

6471. **ルリムスカリ** (28 圖版-270) …… ユ リ 科
Muscari botryoides, Mills.

〔形態〕外來の多年生草本にして.地下に鱗莖を有し. 葉は肉質.線狀舌形にして平行脈を具へ.徑 6-7·5 粍(2-2·5分)許を有す。花は淡碧色をなし.無香にして.往々 12-20 花を密生せる總狀花序に排列す。 花被は壺形にして花口は稍窄縮し. 6 齒緣を具へ.齒片は三角形にして反捲す。 雄蕊は楕圓柱形をなし.子房は 3 室を具へ.花後球形の蒴を結ぶ。〔花色〕淡碧色。〔花候〕初夏。〔原產地〕歐羅巴。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。秋植球根にして庭園用に適し性强健なるを以て栽培容易なり。

6472. **ムスカリ・パーレンス** …… ユ リ 科
Muscari pallens, Fisch.

〔形態〕高加索地方原產のルリムスカリ. 又はシロムスカリの一種にして. 莖高さ漸く 9 糎(3 寸)內外の極矮性種なり。春日花穗に 17-18 花を着生すれども.ムスカリ種として著しからざる種類なり。〔花色〕白色。〔花候〕春。〔原產地〕高加索地方。

6473. **ハナビムスカリ** …… ユ リ 科
Muscari comsum, Mill. var. *monstrosum*, Hort.

〔異名〕ハネヒメズキセン・ハネムスカリ　〔形態〕本種も亦外來の多年生草本にして.莖高さ 30 糎(1 尺)內外に達し.地下に鱗莖を具へ. 之より 3-4 葉を出す。葉は線狀舌形にして先端尖り. 平行脈を有し.長さ 30-45 糎(1-1·5 尺).徑 1·2-2·4 糎(4-8 分)許を有す。 花莖は高さ 30 糎(1 尺)許に達し.花序は無數に羽狀細裂す。花は中性にして雌雄蕊を缺き. 碧紫色を呈し.不登生なり。〔花色〕碧紫色。〔花候〕初夏。〔原產地〕歐羅巴。

人生との關係　庭園に栽培し.觀賞に供せらる。

6474. **クロムスカリ** …… ユ リ 科
Muscari racemosum, Mill.

〔形態〕外來の多年生草本にして.地下の鱗莖より肉質にして.稍圓柱形をなせる長さ 12-15 糎(4-5 寸)許の 5-6 葉を根生す。 花莖は根葉間より抽出し.長さ 12 糎(4 寸)に達し. 莖上に暗碧色にして芳香を有する壺形の小花を密生せる總狀花序に排列す。〔花色〕暗碧色。〔花候〕春。〔原產地〕南部歐羅巴(高加索地方)。

39. トックリラン 屬 NOLINA.

6475. **トックリラン** (28 圖版-271) …… ユ リ 科
Nolina recurvata, Hemsl.

〔形態〕外來の多年生草本にして.自生地にありては. 莖高さ 2-5 米(6·5-16 尺).直徑 5-8 糎(1·7-2·7 寸)內外に達し. 基部は塊莖狀に膨大して奇形を呈し.直徑 10 糎(3·5 寸)以上に達す。 之れ雨なき不毛の地に自生する植物なるを以て. 乾燥時に備ふる爲めなりといふ。 葉は長さ 1-2 米(3·3-6·5 尺). 幅 2 糎(7 分)內外を有すれども先端基脚共に殆んど同幅をなし.緣邊は滑澤にして反捲す。花は白色にして小形なり。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔原產地〕北米「メキシコ」。

人生との關係　形態の奇なるを以て. 觀葉植物として栽培せらる。繁殖は種子によれども.溫室內にありては結實せざるものとす。 越冬溫度攝氏 10 度內外を要す。

40. ジャノヒゲ 屬 OPHIOPOGON.

6476. **じゃのひげ**　沿階草・小葉麥門冬 …… ユ リ 科
Ophopogon japonicus, *Ker.* (白圖-154)

〔異名〕りゅうのひげ・はずみだま　〔形態〕山林・樹蔭等に自生する多年生草本なれども.亦庭園.籬墻等の下草として栽培せらる。 地下に連珠狀の瘤起ある根を有し.之れより細長き葉を叢生す。初夏葉間に花軸を抽き. 高さ 4·5-9糎(1·5-3 寸)許に達し.淡紫色の 6 瓣花を總狀花序に排列し.花序は稍偏側性にして稍彎曲し.下部にありては 2-3 花を簇生す。 花被片は披針形にして外反し.雄蕊は 6 箇を具へ.花糸は短く.子房は 3 室を有す。 花後球形をなせる碧紫色の漿果を結ぶ。〔花色〕淡紫色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道・本州・九州・琉球・臺灣

人生との關係　庭園・籬墻其他の下草として栽培せらる。尙藥效として
(1) 本植物の根を煎服すれば.緩和滋養劑・祛痰劑・暑氣中り等に效あり。
(2) 吐血の際.此の果實 1-2 粒を搗き碎きて蜜を入れ. 水 0·18 立(1 合)を煎出し.之を 2 回に服用するときは.特效ありと云ふ。

154 じやのひげ　155 おほばじやのひげ　156 のしらん　157 ニウサイラン

6477. たかをじゃのひげ …… ユ リ 科
Ophiopogon japonicus, *Ker.* var. umbraticola, *C.H. Wright.*

〔形態〕 暖地に自生するジャノヒゲの一種にして.葉は細長く.緣邊に細刺を有す。花は白色にして3花を簇生し. 疎生せる總狀花序に排列す。苞は披針狀鑿形にして.小梗と稍同長なり。〔花色〕白色。〔花候〕春。
〔分布〕臺灣。

6478. おほばじゃのひげ （白圖-155）…… ユ リ 科
Ophiopogon planiscapus, *Nakai.*

〔形態〕 ジャノヒゲと同じく山林樹下等に自生する多年生草本にして.根莖は長く伸びて横走す。葉は線形.鈍頭にして.ジャノヒゲに比するに更に幅廣く.長さ 9-40 糎（0·3-1·3 尺）許に達す。6-7 月の候.鑿狀扁平なる花莖を抽くこと 18-24 糎（6-8 寸）許に達し. 莖上に淡紫色の小花を總狀花序に排列す。苞は稍透明質にして.廣披針形をなし.花は束生. 點頭し徑 9 粍（3 分）許を有す。花被片は 6 箇を具へ.基脚合生し.花糸は概ね之を缺く。 葯は箭狀披針形にして紫色を呈す。〔花色〕淡紫色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·四國·九州·琉球。

6479. しろばなおほばじゃのひげ …… ユ リ 科
Ophiopogon planiscapus *Nakai.* var. leucanthus, *Nakai.*

〔形態〕 前種オホバジャノヒゲの一變種にして.花は純白色を呈する種類なり。〔花色〕純白色。〔分布〕本州中部。

6480. のしらん （白圖-156） …… ユ リ 科
Ophiopogon Jaburan, *Lodd.*

〔形態〕 本邦南部の暖地に自生する多年生草本にして.地下の根莖より十數葉を生ず。葉は細長く.長さ 45-90 糎（1·5-3尺）.徑 9-12 粍（3-4分）餘に達し.平滑にして.多くの脈を有す。 秋日葉間より扁平なる花莖を抽くこと 30 糎（1 尺）許に達し.梢上穗をなして.白色地に淡紫暈を有する花を下垂して總狀花序に排列す。花序は稍密生し.下部にありては 6-9 花を簇生す。 花被は半披針形狀の 6 裂片をなして外反し.果實は漿果にして.碧色に成熟す。
〔花色〕白色。〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州·琉球。
人生との關係　庭園又は鉢植として栽培し.觀賞に供せらる。

41. オホアマナ 屬　ORNITHOGALUM.

6481. おほあまな （29 圖版-272）…… ユ リ 科
Ornithogalum umbellatum, *L.*

〔形態〕 外來の多年生草本にして.葉は地下の球莖より 6-9 葉を叢生し.形狹線形にして深き溝を有し.長さ 15-30 糎（0·5-1 尺）許に達し. 白色斑點を布く。春日葉叢間より花莖を抽出し.高さ 9-15 糎（3-5 寸）許に達し. 莖頂に白色を呈する 12-20 花を繖形狀をなして房狀花序に排列す。 花被片は 6 箇を具へ平開し.外面綠色縱條を有す。雄蕊は 6 箇を具へ閉在し. 子房は 3 室を有し.蒴は膜質にして 3 殼を有す。〔花色〕白色。〔花候〕春。
〔原產地〕歐羅巴。
人生との關係　庭園に栽培し.觀賞に供せらる。

6482. オルニスガルム・アラビクム …… リ 科
Ornithogalum arabicum, L.

（和名）クロボシオホアマナ（松崎氏命名）　〔形態〕外來の秋植球根植物にして.地下に大なる楕圓形の鱗莖を具ふ。葉は粉綠色を呈し.幅 2·1-2·4 糎（7-8分）許に達す。花は白色にして香氣を有し.雌蕊は黑色にして.其周圍を繞る葯の淡黃色を呈する樣. 純白色の花被とよく調和して頗る美麗なるものなり。即ち本花の雌蕊が黑色を呈するによりクロボシオホアマナの和名を附せられたるものなり。〔花色〕純白色。〔花候〕5-6 月。
〔原產地〕亞弗利加。
人生との關係　東京地方にありては. 近時切花として相當生產多きものゝ一種なり。露地性の秋植球根なるを以て. 10 月頃栽植す。土質は壤土·砂質壤土の何れにても可なり。一般手當はヒヤシンスに準ず。

6483. ホソバオホアマナ …… ユ リ 科
Ornithogalum tenuifolium, Guss.

（異名）ホソバオホハマニラ　〔形態〕本種も亦外來の秋植球根にして莖高さ 15-18 糎（5-6 寸）より 30 糎（1 尺）許に達し.葉は細長く. 花は白色にして.背面稍淡綠色を帶ぶ。 花被片は 6 箇を有し.其狹細なるは本種の特徵とす。〔花色〕白色。〔花候〕4 月。〔原產地〕歐羅巴。

42. ツクバネサウ 屬　PARIS.

6484. つくばねさう 王孫 （29 圖版-273）……ユ リ 科
Paris tetraphylla, *A. Gray.*

〔形態〕 山地に自生する多年生草本にして. 莖高さ 30 糎（1 尺）內外に達す。葉は莖の上部に 4 葉を輪生し.各葉は廣楕圓形にして先端尖る。5-6 月の候. 莖頂に淡黃綠色の花を單生す。本花の花被は廣披針形をなせる 4 箇の萼片にして.先端反捲し.花瓣は之れを缺く。 雄蕊は 8 箇を具へ.子房は球形にして. 花柱は 4 箇を有し挺出す。 花後生ずる果實は紫黑色を呈する漿果にして. 球形をなす。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

6485. よこぐらつくばね……ユ リ 科
Paris tetraphylla, *A. Gray.* var. sessiliflora, *Makino.*

〔形態〕 前種ツクバネサウの一變種にして.概形彼に類すれども.本種の花は花梗を有せざるを特徵とす。〔分布〕四國。

6486. くるまばつくばねさう （29 圖版-274）… ユ リ 科
Paris quadrifolia, *L.* var. obovata, *Regel.* et *Til.*

〔形態〕 山地に自生する多年生草本にして. 地下に橫走せる地下莖を有し結節狀をなす。莖は地下莖より生じ.高さ 30 糎（1 尺）許に達し. 莖頂に通常 6-8 箇の淡綠色を呈する廣披針形の葉を輪生し.7 月頃葉間に高さ 6-9 糎（2-3 寸）許ある花梗を抽き. 淡黃色の 1 花を頂生す。 花被は稍廣披針形をなせる 4 箇の萼片と. 線形をなせる 4 箇の花瓣とより成り.葯隔は抽出す。花後紫黑色の漿果を結ぶ。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島北海道·本州·四國。

6487 おほつくばねさう …… ユ リ 科
Paris arisanensis, *Hayata.*

〔形態〕 暖國の山地に自生する多年生草本にして. 地下の根莖は肥厚し橫

272 おほあまな　273 つくばねさう　274 くるまばつくばねさう
275 きぬがささう　276 あまどころ　277 なるこゆり
278 みやまなるこゆり　279 きちじやうさう　280 ナギイカダ

走す。莖は高さ 30-40 糎 (1-1·3 尺) 許に達し. 基脚に 2-3 の鱗片を具ふ。葉は膜質,披針形又は倒披針形にして鋭尖,鈍脚をなし,短柄によりて 8 葉を輪生す。夏日葉間に花莖を抽き. 其頂に 1 花を單生す。花は披針形をなせる萼片と,黄綠色にして線狀糸形をなせる瓣片とより成り. 何れも 4-6 片を有し,共に長さ 5-4 糎 (1·8 寸) 許あり。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。
〔分布〕臺灣。

6488. **きぬがささう** (29 圖版-275) …… ユ　リ　科
Paris japonica, *Franch.*

〔形態〕深山草本帶に自生する多年生草本にして. 高さ 60-90 糎 (2-3 尺) 許に達し. 莖頂に 9-10 箇の長倒卵形をなせる長さ 30 糎 (1 尺) 許ある大葉を輪生す。7-8 月の候,葉間に 6 糎 (2 寸) 許ある花梗を抽き. 其頂端に 1 花を着く。本花は白色にして. 微に黄色を帶べる萼片と. 7-9 片の花被片とを有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

43. ニウサイラン 屬 PHORMIUM.

6489. **ニウサイラン** (白圖-157) …… ユ　リ　科
Phormium tenax. Forst.

〔異名〕ニウジイラン·ニウジイランドアサ·マヲラン　〔形態〕外來の多年生草本にして. 葉は硬剛なる劔形をなして先端 2 裂し. 長さ 2·7 米 (9 尺) 許に達し. 暗綠色にして. 緣邊並に龍骨は赤色或は褐色を呈す。夏日葉間より花莖を抽くこと 1·5-3 米 (5-10 尺) 許に達し. 暗赤色又は黄色の花を大形なる複總狀花序に排列す。苞は線形をなし. 花被は筒形にして. 長さ 3-4·5 糎 (1-1·5 寸) 許を有し 6 裂す。花瓣は 3 箇を具へ. 長形にして先端開展す。雄蕊は 6 箇を有して花被片より長く. 子房は 3 稜長楕圓形にして. 3 室を具へ. 花後長楕圓形の蒴を結び. 胞背裂開す。〔花色〕暗赤色又は黄色。〔花候〕夏。
〔原産地〕「ニウジイランド」。

44. アマドコロ 屬 POLYGONATUM.

6490. **あまどころ** 萎蕤 (29 圖版-276) …… ユ　リ　科
Palygonatum japonicum, *Morr.* et *Decne.*
(*P. officinale, Maxim.*)

〔異名〕ゐずゐ·からすゆり·ゑみぐさ　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして. 根莖は圓柱形をなし. 少數の結節を具ふれども顯著ならず。莖は稜を有し. 高さ 45 糎 (1·5 尺) 許に達し. 斜に地上に曳く。葉は楕圓形或は卵形にして平行脈を有し. 下面に粉白を裝ひ. 長さ 4·5-7·5 糎 (1·5-2·5 寸) 許を有し. 互生す。初夏葉腋より 1 花梗を出し. 時に 2-3 分枝し小形の筒狀花を下垂す。本花は白色にして. 先端綠色を帶び. 其形細長き風鈴の如く頗る愛らしきものなり。雄蕊は 6 箇を有し. 花糸は花筒の上部に着生し. 子房は 3 室を具へ. 漿果は球形にして黑熟す。〔花色〕白色。〔花候〕春。
〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州。

人生との關係　根莖より澱粉を製し. 又藥效として. 根部を摺り下したる汁液を塗布するときは. 腰痛·打撲傷を治するに效あり。

6491. おほあまどころ …… ユ　リ　科
Polygonatum japonicum, *Morr.* et *Decne.* var.
Maximowiczii, *(Maxim.)*

〔形態〕前種アマドコロの一變種にして. 全形彼に比し大きく. 葉亦廣く下面に剛毛を生ずる一種なり。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·九州·臺灣。

6492. ながばあまどころ …… ユ　リ　科
Polygonatum arisanense, *Hayata.*

〔形態〕濕地に自生する草本にして. 莖は中部以上に膜質. 長披針形をなせる葉を着生し. 高さ 1 米 (3 尺) 許に達す。夏日葉腋に下垂せる 1 花梗を抽きて 2-4 花を繖形花序に排列す。花被は圓筒形にして先端 6 裂し. 各裂片は三角形をなす。雄蕊は 6 箇を具へ. 花被の中部に着生し. 子房は楕圓形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

6493. ひめあまどころ …… ユ　リ　科
Polygonatum humile, *Fisch.*

〔異名〕ひめゐずゐ　〔形態〕深山又は瀨海の砂地等に自生する多年生草本にして. 地下に細長き根莖を有し. 莖高さ 15-21 糎 (5-7 寸) 許. 葉は長楕圓形をなす。花は筒形にして. 長さ 1·5-1·8 糎 (5-6 分) を有し. 葉腋に單生點頭す。花後球形にして黑熟せる果實を結ぶ。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。
〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部。

6494. **なるこゆり** 黄精 (29 圖版-277) …… ユ　リ　科
Polygonatum falcatum, *A. Gray.*

〔異名〕わうせい　〔形態〕山野に自生する多年生草本なり。地下に短形. 粗縐にして多くの結節を有する根莖を具ふ。莖は概形アマドコロに似たれども. 彼の莖の稜狀をなせるに比し. 本種は無稜にして. 單に圓柱狀をなすものなり。葉は線狀披針形にして. 下面に粉白を布く。初夏葉腋に 1 花梗を出し. 通常更に 2-3 岐して. 風鈴狀の愛らしき 2-4 花を下垂す。本花は白色地に綠彩を伴ひ花後黑色にして大豆大の果實を結ぶ。〔花色〕白色。
〔花候〕初夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

6495. **みやまなるこゆり** (29 圖版-278) …… ユ　リ　科
Polygonatum lasianthum, *Maxim.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして. 地下に結節狀の根莖を有し. 莖高さ 30 糎 (1 尺) 許に達す。葉は短き葉柄によりて互生し. 葉身は楕圓形又は卵形にして先端稍尖り. 下面粉白を布く。初夏葉腋に花梗を抽き. 2 叉して綠白色の筒狀花を下垂す。本花被は圓筒形をなし. 内面に毛茸を密布す。雄蕊は 6 箇を具へて花被内に潛む。〔花色〕綠白色。〔花候〕初夏。
〔分布〕北海道·本州各部。

6496. ひめなるこゆり …… ユ　リ　科
Polygonatum lasianthum, *Maxim.* forma amabile,
Makino.

〔形態〕前種ミヤマナルコユリの一品種にして. 概形彼に酷似すれども. 本種の葉には紫白色の斑紋を有するを以て. 容易に區別せらる。〔花色〕綠白色。〔花候〕5 月。〔分布〕本州中部。

6497. こなるこゆり …… ユ　リ　科
Polygonatum multiflorum, *Allioni.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして. 莖葉共に無毛なり。葉は長楕圓形. 鈍頭にして. 下面に粉白を布く。花は圓筒形にして. 中部は稍緊縮し. 内面無毛なれども裂片の先端には細毛を布く。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。
〔分布〕邦内。

6498. やまなるこゆり …… ユ　リ　科
Polygonatum silvicolum, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして. 地下に肥厚せる根莖を有す。莖は圓柱形. 綠色にして. 高さ 1 米 (3 尺) 許に達し. 葉は長楕圓形にして 3 主脈を具へ. 兩面綠色を呈し. 2 列に排列す。花は綠色. 筒形にして. 腋出せる花梗に懸垂し. 双生. 單生又時に 3 出し. 花後球形の漿果を結ぶ。〔花色〕綠色。
〔分布〕本州中部。

6499. ほそばなるこゆり …… ユ　リ　科
Polygonatum tenuiflorum, *Koidz.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして. 莖高さ 48-50 糎 (1·6-1·7 尺) 許に達し. 葉は膜質にして細長く. 鈍頭或は鋭頭をなし. 基脚急に狹まり. 下面粉白を裝ふ。花梗は 2 花を着け. 花被は淺く 6 裂し. 各裂片は卵形にして. 先端毛茸を布く。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

158 わにぐちさう　　159 いぶきわにぐちさう

6500. **わにぐちさう** (白圖-158) …… ユ　リ　科
Polygonatum involucratum, *Maxim.*

〔形態〕各地の山野に自生する多年生草本にして. 地下に横走せる細長の根莖を曳き. 莖高さ 21-24 糎 (7-8 寸) に達し. 莖葉共に無毛なり。葉は楕圓形或は廣披針形にして互生し. 葉間に 1·5-1·8 糎 (5-6 分) 許ある花梗を出し淡黄綠色を呈する 2 花を着く。本花は卵狀大形の 2 苞を伴ふ。花被は筒形

にして6裂し.各裂片は三角形をなす。〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕夏。
〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州。

6501. **いぶきわにぐちさう**（白圖-159）……ユ　リ　科
Polygonatum ibukiense, *Makino.*

〔形態〕前種に似たる多年生草本にして.多く紀州伊吹山に產するにより本和名を有す。莖は圓柱形にして稍彎曲し.高さ30糎(1尺)以上に達す。葉は橢圓形にして.葉柄を缺き.5條脈は稍顯著.下面には粉白を布き.長さ9-12糎(3-4寸)許に達す。本種は前種ワニグチサウに比し.莖葉共に細毛を被る。夏日每葉腋より1花梗を出し.2-5花を着生して下垂し.花下に2-5片の苞を伴ふ。總苞片は4-5箇を有し.披針形にして.先端銳尖なり。
〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

45. キチジャウサウ屬　REINECKIA.

6502. **きちじゃうさう**　吉祥草　（29圖版-279）…ユ　リ　科
Reineckia carnea, *Kunth.*

〔形態〕本州中部以南暖地の藪澤.樹蔭等の稍陰濕の地を好んで自生する多年生草本なれども.亦時に觀賞用として.庭園等に栽培を見ることあり。莖は地下及地上を匍匐して.處々に葉を叢生し.下部に根を生ず。葉は狹舌形にして先端尖り.長さ30糎(1尺)許に達し頗るヤブランに似たり。秋日葉間に花軸を抽き.淡紫色を呈する多數の花を疎なる穗狀花序に排列す。本花の有する苞は卵形にして淡紅色を呈す。花被は6裂し.各裂片は先端反捲し.通常兩性花並に雄性の單性花を混生す。雄蕊は6箇を具へ.子房は3室にして花後紅紫色の球形をなせる漿果を結ぶ。〔花色〕淡紫色。
〔花候〕秋。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。
人生との關係　時に觀賞用として庭園等の一隅に栽植せらる。

46. ナギイカダ屬　RUSCUS.

6503. **ナギイカダ**　（29圖版-280）……ユ　リ　科
Ruscus aculeatus. L.

〔形態〕觀賞用として庭園等に培養せらるゝ外來の常綠小灌木にして.莖高さ30糎(1尺)許に達し.雌雄異株なり。葉は細小にして苞狀をなし.其の葉腋より卵狀披針形にして.刺頭を有する長さ1·2-3·6糎(0·4-1·2寸)許ある綠色の葉狀枝を生じ.外觀甚だよく尋常葉に相似たるものなれば一般に通常葉と誤認せらる。夏日葉狀枝の中央に短梗を抽き.帶白色を呈する1-2箇の小花を着生し.花後赤色の漿果を結ぶ。〔花色〕帶白色。
〔花候〕夏。〔原產地〕歐羅巴。
人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

47. オモト屬　RHODEA.

6504. **おもと**　萬年青　（白圖-160-174）……ユ　リ　科
Rhodea japonica, *Roth.*

〔形態〕本植物には變種頗る多く.園養して觀賞に供すれども.原種として見るべきは.本州中部以南.暖國山地の樹下等に自生する多年生の常綠草本にして.地上莖を有せず。葉は通常9-12葉を根生し.倒披針形にして肥厚し長さ15糎(5寸)內外より45糎(1·5尺)に及ぶものあり。春日葉間より12-15糎(4-5寸)許ある花莖を抽き.淡綠白色の細花を穗狀花序に攢簇す。花被は短壺形にして.雄蕊は花糸を缺く.柱頭は稍形にして.花柱は稍缺如す。花後圓形豆粒大の漿果を結び.赤色或は黃色を呈す。〔花色〕淡綠白色。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。
人生との關係　觀葉植物として古くより盆栽用又は園地に栽培せらる。從つて栽培變種頗る多く.葉の大小.斑紋の種類等により種々の名あり。又藥效として.根·莖を掘り取り大根卸にて擂り卸し.之に酢と「ウドン」粉とを混じたるものを紙に延べ.足の土踏まずの所へ貼布し置くときは.過性肋膜の水を除去すること妙なりと云ふ。

オモトの繁殖と栽培法大要

繁　殖　元來本種は其葉を觀賞する所謂觀葉植物の一種なるを以て.從つて其變種頗る多く.或は葉の大小.或は斑紋の種類等種々ありて.各其名稱を附せられたるものなり。繁殖は通常根を切りて萌芽せしむれども.亦珍奇の變種を得んとするには播種法によらざるべからず。
栽培法　本植物を栽培せんとするには.赤土又は砂に栽植するを可とす。元來本植物は特に排水に注意すべきものにして.鉢栽培せんとするには.穴に木炭を用ひて土の漏るゝを防ぎ.鉢底には凡徑2·4糎(8分)大の礫又は土塊を入れ.漸次細かきものを用ふ。肥料は春の初頃極めて薄き液肥を曉1回施せば可なり。移植は秋末又は3月初旬頃を適期とす。近時愛好家の栽培する重なる品種を圖示し參考に供すべし。

48. チトセラン屬　SANSERVIERIA.

6505. **チトセラン**　（30圖版-281）……ユ　リ　科
Sanservieria zeylanica. Willd.

（異名）ホウコトウオモト·トラノヲラン　〔形態〕熱帶地方に產する多年生草本にして.本邦に移植栽培せらる。高さ30-60糎(1-2尺)以上に達し.葉は細長く肉質にして先端尖り.凹面をなし.帶白色の橫斑を具へ.8-15葉を根生す。春日叢葉間より花莖を出し.白綠色にして長さ3·6糎(1·2寸)許ある花を開き總狀をなす。本花は多數の苞を伴ふものあり。
〔花色〕白綠色。〔花候〕春。〔原產地〕印度·熱帶亞弗利加。
人生との關係　觀賞用として庭園に栽培し.又葉の纖維を採りて.種々の纖維工業の原料に供す。

6506. **フクリンチトセラン**　（30圖版-282）……ユ　リ　科
Sanservieria zeylanica, Willd. var. *Lanrentii,* N.E. Br.

〔形態〕本種は極めて最近（昭和三年頃）に輸入せられたるチトセランによく似たる多年生草本にして.彼に比するに葉は多肉にして肥厚し.葉は稍少く.覆輪を有する種類なり。〔花色〕淡黃綠白色。〔花候〕夏。
〔原產地〕熱帶亞弗利加。
人生との關係　專ら盆栽的に栽培觀賞せらるゝものなり。

49. ツルボ屬　SCILLA.

6507. **つるぼ**　（30圖版-283）……ユ　リ　科
Scilla Thunbergii, *Miyabe.* et *Kudo.*

（異名）さんだいがさ　〔形態〕原野.路傍等に自生する多年生草本にして.莖高さ30糎(1尺)內外に達す。春日地下の鱗莖より細長にして.平行脈を有する2-3葉を根生し.長さ15-30糎(0·5-1尺)許に達し.初秋の候に至れば30糎(1尺)許ある花莖を抽き.上部に6-9糎(2-3寸)許の穗をなし.淡紅紫色を呈する20-60花を綴る。本花の小梗は斜上性なり。花被片は鎧形にして6箇を有し.雄蕊も亦6箇を具へ.花柱と合着す。蒴は圓錐形をなす。〔花色〕淡紅紫色。〔花候〕初秋。〔分布〕北海道·本州·九州·琉球·臺灣。

6508. **ヒメツリガネズキセン**（30圖版-284）……ユ　リ　科
Scilla nutans, Sm.

〔形態〕外來の觀賞用多年生草本にして.地下に球根を有し.莖高さ15-18糎(5-6寸)に過ぎざる矮小なる種類なれども.草姿可憐にして性質强健なり。春季の花壇用又は切花用として栽培せらる。〔原產地〕歐羅巴。

50. ユキザサ屬　SMILACINA.

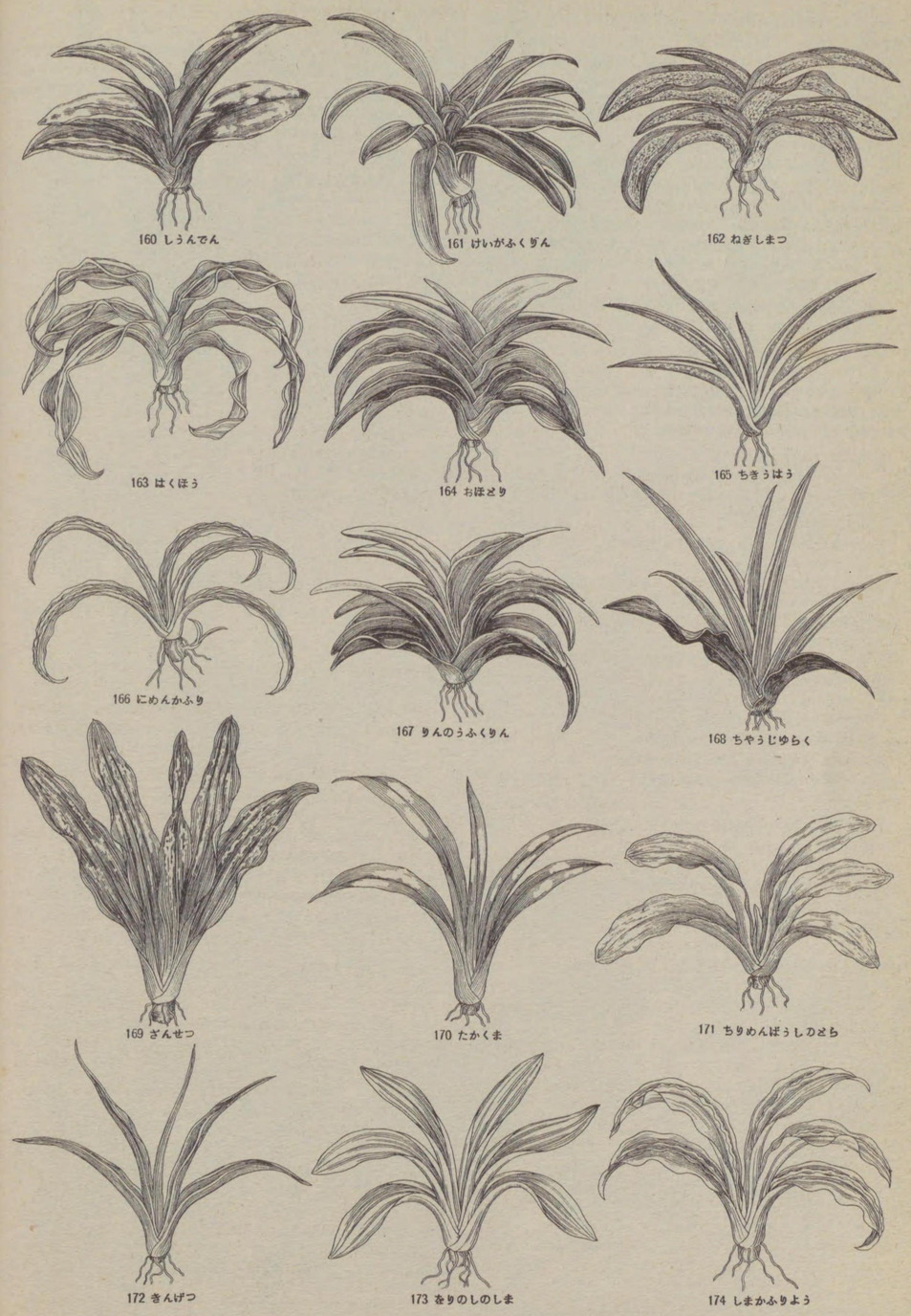
6509. **ゆきざさ**　鹿藥……ユ　リ　科
Smilacina japonica, *A. Gray.*

（異名）おほばゆきざさ·ひろはゆきざさ　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして.每年宿根より莖を抽くこと15-18糎(5-6寸)より30-60糎(2-3尺)に達し.長橢圓狀披針形をなせる膜質の短柄葉數箇を互生し.莖葉共に灰白色の毛茸を生ず。初夏梢上分岐して.圓錐花序を頂生し.白色花を排列す。花被片は6箇より成り綠狀披針形にして平開し.內に6雄蕊と1雌蕊とを具へ.子房は卵形にして.柱頭は3岐し.花後赤色の小球形をなせる漿果を結ぶ。〔花色〕白色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州(對馬)。

6510. **みつばざさ**……ユ　リ　科
Smilacina trifolia, *Desf.*

（異名）となかいさう　〔形態〕北地に自生する多年生草本にして.地下に細長き根莖を有す。每年宿根より4·5糎(1·5寸)乃至36糎(1·2尺)許の莖を出し.廣橢圓形或は長橢圓狀披針形をなせる無柄の葉を出し.莖葉共に無毛なり。花は小形.綠白色にして.往々5-11花を總狀花序に排列し.花後暗赤色にして球形をなせる漿果を結ぶ。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。
〔分布〕樺太。

6511. **みどりゆきざさ**……ユ　リ　科
Smilacina viridiflora, *Nakai.*



160 しうんでん
161 けいがふくぎん
162 ねぎしまつ
163 はくぼう
164 おほどり
165 ちきうはう
166 にめんかふり
167 りんのうふくりん
168 ちやうじゆらく
169 ざんせつ
170 たかくま
171 ちりめんばうしのとら
172 きんげつ
173 をりのしのしま
174 しまかふりよう

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして.概形ユキザサに似たれども.本種は雌雄異株をなし.雄性花序は圓錐形にして綠色を呈し. 雌性花序は細長にして長さ 15 糎(5 寸)許に達するものなり。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

51. シ ホ デ 屬 SMILAX.

6512. **しほで** 牛尾菜 (30 圖版-285) …… ユ リ 科
Smilax nipponica, *Miq.* var. typica, *Makino.*

(異名) しょうで　〔形態〕山野に自生する多年生の攀緣草本にして.雌雄異株をなす。葉は互生し.葉身は卵狀長楕圓形にして.綠色を呈し. 卷鬚に變じたる膨長なる托葉を具ふ。 初夏葉腋に 6 糎 (2 寸) 許ある花軸を出し黃綠色の小花を長梗によりて繖形花序に排列す。花被片は雌雄花共に 6 箇を有し.線形にして反捲し.雌花は後に黑色·大豆大の果實を結ぶ。〔花色〕黃綠色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道·本州·九州。

人生との關係　嫩芽を煮食又浸物·味噌和或は三杯酢となして食用に供す。味蕨に似て佳なり。

6513. **たちしほで** …… ユ リ 科
Smilax Oldhami, *Miq.*

〔形態〕概形シホデに類すれども.本種は全株黃綠色をなし.莖は蔓性を呈せず。葉の下面には顯著なる網狀紋を有するものなり。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·九州·臺灣。

6514. **みつばたちしほで** …… ユ リ 科
Smilax Oldhami, *Miq.* forma subtrifoliata, *Honda.*

〔形態〕前種タチシホデの一品種にして.葉は 3 片を叢生するを彼と異るところとす。〔分布〕本州中部。

6515. **さるとりいばら** 菝葜 (30 圖版-286) …… ユ リ 科
Smilax China, *L.*

(異名) さるかき·さるかきいばら·さんきらひ·やまいばら　〔形態〕山野に自生する木質の多年生蔓性植物にして. 多くの鉤刺を生ず。莖は細く節毎に歪み雁木狀をなして高さ 60-90 糎 (2-3 尺) より 1·8-2·1 米 (6-7 尺) に達す。葉は楕圓形或は卵形にして.5-7 行脈を具へ.長さ 6-9 糎 (2-3 寸) に達し.葉柄の基脚に托葉の變形せる 2 本の卷鬚を生じ以て他物に纏絡す。初夏葉腋に花梗を抽き黃綠色の小花を繖形花序に排列す。花序は有梗にして葉柄より遙かに長く.雌雄異株にして.雌雄花共に 6 花被片を有し. 雄花に於ては 6 雄蕊.雌花に於ては 3 假雄蕊を具へ. 子房は長楕圓形にして花柱は短く.花後紅色小球狀の漿果を結び.8 月頃成熟す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕初夏。〔分布〕北海道·本州·四國·九州·琉球·臺灣。

人生との關係　根を煎服すれば黴毒·痛風「リウマチス」·關節炎·下痢等に有效なりと云ふ。

6516. **さるまめ** (30 圖版-287) …… ユ リ 科
Smilax japonica, *A. Gray.*

〔形態〕前種サルトリイバラに類似せる種類なれども.彼に比するに全株痩細.莖は直生して鉤刺なく.葉は狹長楕圓形或は卵圓形をなし.鈍頭·鋭脚にして 3 行脈を有し.子房の各室には 1 箇の卵子を包藏す。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州各部。

175 ひめかから　　176 まるばさんきらい

6517. **ひめかから** (白圖-175) …… ユ リ 科
Smilax biflora, *Sieb.*

(異名) ひめさろとり　〔形態〕暖地の山野に自生する矮小なる木質の多年生草本にして. 地下には細長き根莖を有す。 莖はサルトリイバラに似て雁木狀をなし.上部は枝を分ち撒開す。葉は短柄を有し. 葉身は圓卵形にして長さ 4·5-21 粍 (1·5-7 分) 許を有し. 托葉の變形せる卷鬚は細小なり。花後徑 5·4 粍 (1·8 分) 許ある球形の漿果を結ぶ。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕九州(屋久島)。

6518. **まるばさんきらい** (白圖-176) …… ユ リ 科
Smilax stans, *Maxim.*

〔形態〕山野に自生する亞灌木にして.莖は直生し.強硬にして鉤刺を有せず。葉は膜質の卵形或は長楕圓狀卵形にして 5-7 行脈を具へ.葉柄を有す。花は繖形花序をなして 3-5 箇を排列し.花梗は葉柄より遙かに長形なり。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

177 ほそがたさんきらい　　178 やまかしゆう

6519. **ほそがたさんきらい** (白圖-177) …… ユ リ 科
Smilax gracillima, *Hayata.*

〔形態〕暖國に自生する亞灌木にして.枝條は細長く枝を分たず。葉は薄質の長楕圓形或は長楕圓狀卵形にして. 3 行脈を具へ.下面粉白を裝ひ. 長さ 6 糎 (2 寸) 許に達す。托葉は披針形にして卷鬚をなさず柄脚に合着す。〔花色〕黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

6520. **ささばさんきらい** …… ユ リ 科
Smilax nervo-marginata, *Hayata.*

〔形態〕本種も亦暖地に自生する亞灌木にして.枝條は雁木狀をなし.鉤刺を有せず。 葉は葉柄を具へ.革質にして線狀又は卵狀長楕圓形をなし.3 行脈を具へ. 長さ 9 糎 (3 寸) 許に達し. 緣脈並に網脈は著しく. 3-6 糎 (1-2 寸) 許ある卷鬚を伴ふ。雌雄同株にして.花は往々 20 箇許を繖形に排列す。雄花は長楕圓形をなせる 6 箇の花被片と 9 雄蕊とを具へ. 花後生ずる漿果は球形にして赤熟す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕琉球。

6521. **やまかしゆう** (白圖-178) …… ユ リ 科
Smilax Sieboldi, *Miq.*

(異名) さいこくばら·さいかちばら　〔形態〕本州中部以南の暖地に自生する蔓性草本にして. 莖面に鉤刺を有す。葉は有柄. 圓卵形にして.緣邊に細齒牙を有し.3-5 行脈を具へ.細長なる卷鬚を伴ふ。 花は繖形をなして少數を排列し.花梗は葉柄より稍長形なり。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

6522. **サルサパリルラ** 撒兒沙·撒爾沙 …… ユ リ 科
Smilax medica, Sch. et Cham. (30 圖版-288)

〔形態〕北米原產の多年生草本にして.莖は强く稜角を有し.反覆屈曲し稍雁木狀をなす。葉は心臟形或は卵圓形にして.長き葉柄を具へ互生し. 細長にして卷鬚に變じたる托葉を伴ふ。花は腋出し. 雄花は長圓狀披針形にして綠色を呈し.雌花は長卵形をなす。果實は漿果にして. 中に 3 種子を藏す。〔花色〕綠色。〔花候〕夏。〔原產地〕北米「メキシコ」の東部。

人生との關係　根部は「サルサ」根と稱し.藥用に供せらる。 專ら黴毒療法に用ひらる。通常複方「サルサ」含利別及複方「サルサ」煎として應用せらる。

281 チトセラン　　282 フクリンチトセラン　　283 つるぼ

284 ヒメツリガネズ井セン　　285 しほで　　286 さるとりいばら　　287 さるまめ

288 サルサパリルラ　　289 からすばさんきらい　　290 たけしまらん

52. カラスバサンキライ 屬 HETEROSMILAX.

6523. **からすばさんきらい** (30圖版-289) …… ユ リ 科
Heterosmilax japonica, *Kunth.*

〔形態〕 暖地に自生する木質の上昇性植物にして. 莖高さ 0·9-1·2 米 (3-4 尺) に過ぎず。葉は卵形或は長卵形にして. 5-7 行脈を具へ先端尖り. 基脚心臟形をなし.細き葉柄によりて互生し. 卷鬚に變形したる托葉を具ふ。夏日筒狀の花被を有する 8-9 花を腋出し.繖形花序に排列す。花被は花瓣を缺き.雄花にありては.蕚は肥厚し.長楕圓形にして.淡黃綠色地に紅紫色の細點を布き.3 齒緣をなし基脚合着す。雄蕊は單體にして閉在生なり。雌花にありては蕚は卵形にして 3 齒緣をなし.子房は卵形にして花柱は短く. 柱頭は 3 岐す。花後豌豆大の漿果を結び黑熟す。〔花色〕淡黃綠色地に紅紫色の細點を布く。〔花候〕夏。〔分布〕琉球·臺灣。

6524. **いぬさんきらい** …… ユ リ 科
Heterosmilax arisanensis, *Hayata.*

〔形態〕暖國に生ずる藤本にして. 葉は薄き膜質の長楕圓狀心臟形又は披針形にして.尾狀鋭尖頭をなし.長さ 17 糎 (5·5 寸) 許に達し. 卷鬚に變形したる托葉を具ふ。花は繖形花序をなして.往々 30 花を着生し.黑褐色にして廣圓形をなせる苞を伴ふ。雄花は紡錐形にして先端 3 裂せる花被と 3 雄蕊とを具ふ。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

53. タケシマラン 屬 STREPTOPUS.

6525. **たけしまらん** (30圖版-290) …… ユ リ 科
Streptopus ajanensis, *Tiling.* var. japonicus, *Maxim.*

〔形態〕山地喬木帶に自生する多年生草本なり。 莖高さ 30 糎 (1 尺) 內外に達し.通常叉狀に分裂すれども叉時に 3 叉す。 葉は廣披針形にして先端鋭く尖り.平行脈を具へ. 長さ 4·5 糎 (1·5 寸) 許に達し.互生す。花は白黃色にして.莖の上部 1 葉每に腋出せる細長き花梗に單生懸垂す。 花被は杯形をなし.花被片は披針形にして反捲す。雄蕊は 6 箇を具へ. 子房は 3 室を有し.花後球形の漿果を結びて紅熟す。〔花色〕白黃色。〔花候〕夏。

〔分布〕北海道·本州北部及中部。

6526. **おほばたけしまらん** …… ユ リ 科
Streptopus amplexifolius, *DC.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして.莖は通常小枝を岐ち.高さ 60-90 糎 (2-3 尺) に達す。葉は心臟形にして先端鋭く.平滑にして互生し.基部莖を抱く。 夏日梢上葉腋每に綠白色の鐘形花を單生し. 長梗によりて懸垂す。花被片は狹披針形にして反捲す。本花の有する子房は上位にして 3 室を有し.成熟して紅色の漿果を結ぶ。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。

〔分布〕北海道·本州北部及中部。

6527. **ひめたけしまらん** …… ユ リ 科
Streptopus streptopoides, *Ners.* et *Macb.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして.莖は稍雁木狀をなし.葉は卵形或は卵狀披針形にして先端尖り.無柄にして互生し. 莖と共に毛を有せず。花は葉より短く且つ彎曲せる花梗により葉の側方に單生す。〔花色〕綠白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

54. チャボゼキシャウ 屬 TOFIELDIA.

6528. **ちゃぼぜきしゃう** (白圖-179) …… ユ リ 科
Tofieldia gracilis, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕山地の喬木帶及灌木帶に自生する多年生草本にして.地下に細長き根莖を具へ.莖高さ 15-18 糎 (5-6 寸) に達す。莖は葉より稍長く.葉は根際より叢生し.狹線形にして先端鋭く尖り.縕澁緣をなし.3-5 行脈を具ふ。6-7 月の候.莖の上部に白色にして外面稍綠色を帶べる小花を短形なる總狀花序に排列す。苞は卵形をなし. 副蕚は 3 裂す。 花被片は長楕圓形にして雄蕊は花被と稍同じく.葯は莖色をなす。〔花色〕白色。〔花候〕夏。

〔分布〕北海道·本州北部及中部。

6529. **やくしまちゃぼぜきしゃう** …… ユ リ 科
Tofieldia Yoshiiana, *Makino.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして.莖は細長く匐枝を曳く。葉は線形にして 3 行脈を具へ.長さ 4·5-7·5 糎 (1·5-2·5 寸) 許に達し. 2 列に排列す。花は帶綠色にして平開し.通常多數を總狀花序に綴る。 苞は三角狀鑿形にして小さく.副蕚は杯形をなし 3 裂す。 花被片は 6 箇を有し. 雄蕊亦 6 箇を具へ稍挺出し.蒴は紡錐狀楕圓形なり。〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。

179 ちやぼぜきしやう

180 ちしまぜきしやう

〔分布〕九州(屋久島)。

6530. **ちしまぜきしゃう** (白圖-180) …… ユ リ 科
Tofieldia nutans, *Willd.*

〔形態〕 本州中部以北の高山草本帶に自生する常綠の多年生草本なり。莖は狹長にして.高さ 15-24 糎 (5-8 寸) 許に達し.葉は根際より叢生すれども.亦莖にも小形なる 1-2 葉を着生す。7 月頃莖の頂端に 6 瓣の白質にして淡紅色を帶べる小花を叢生し.密生せる總狀花序をなす。苞は卵形. 花は點頭し.副蕚は 3 裂す。花被片は長楕圓形にして.單行脈を具へ.花後黃白色の蒴を結ぶ。〔花色〕白質にして帶淡紅色をなす。〔花候〕夏。〔分布〕樺太千島·北海道·本州北部及中部。

6531. **はなぜきしゃう** (白圖-181) …… ユ リ 科
Tofieldia nuda, *Maxim.*

〔異名〕いはぜきしゃう　〔形態〕 濕潤なる溪間の岩上に叢生する多年生草本にして.地下に短小なる根莖を有し. 之れより毛茸を有する鬚根を生ず。葉は平滑.深綠色にして. 狹線形をなし 3-5 行脈を具へ. 2 列に排列す。6-7 月の候.高さ 15-18 糎 (5-6 寸) 許ある花莖を抽出し. 梢上に短く疎なる總狀花序をなし白色にして背部に濃紫色を帶びたる花を直生し. 小梗は花より遙かに超出す。花被片は 6 箇を有し.稍箆形をなし. 緣邊は內方に彎曲す。雄蕊は 6 箇を具へて花瓣より稍長く.中央に 3 箇の短き花柱を具へたる 1 雌蕊を有す。〔花色〕白色にして背部に濃紫色を帶ぶ。〔花候〕6-7 月。

〔分布〕本州中部。

6532. **くろみのいはせきしゃう** …… ユ リ 科
Tofieldia fusca, *Miyabe.* et *Kudo.*

〔形態〕本州中部以北の高山に自生する多年生草本にして.根莖は古葉に覆はれて宿存す。葉は細長く.基脚長鞘をなし.5-9 條の行脈を具へ.上下兩面共粗澁にして.緣邊亦縕澁す。花莖は直生或は斜上生にして.葉より遙かに長く超出し.上部に 2 箇の小葉を伴ふ。總狀花序は稍疎生にして. 長さ 1·5-1·8 糎 (5-6 分) を有して.密花を綴り.苞は綠色.細小なり。副蕚は 3 裂し.花被裂片は箆狀長楕圓形或は倒卵形にして宿存し. 上部は黑褐色乃至黃白色にして下部は濃綠色を呈す。 蒴は褐色或は黑紫色にして. 稍球形をなし 3 室を有す。〔花色〕 黑褐色乃至黃白色にして. 下部濃綠色を呈す。

〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

6533. **いはしゃうぶ** (白圖-182) …… ユ リ 科
Tofieldia japonica, *Miq.*

〔異名〕むしとりぜきしゃう·おnばはなぜきしゃう　〔形態〕山地又は原野に自生する多年生草本にして.莖高さ 30 糎 (1 尺) 餘に達す。葉は線形にして先端尖り.セキシャウに似たれども. 其質稍柔く 2 列に排列す。夏日叢葉間に花莖を抽き.白色の小花を少數總狀に開き. 花軸及花梗には毛茸を密生し.花軸の上部よりは粘液を分泌し以て虫を捕へ. 其花部に至るを防ぐものゝ如し。蕚片は楕圓形にして.鱗片は稍箆形をなし. 雄蕊は 6 箇を具へ蒴は 3 室を有す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

人生との關係　觀賞用として栽培せらる。

0534. **ひめいはしゃうぶ** (白圖-183) …… ユ リ 科
Tofieldia Okuboi, *Makino.*

〔形態〕高山の草本帶及灌木帶に自生する多年生草本にして.根莖は往々

181 はなぜきしやう　182 いはしやうぶ　183 ひめいはしやうぶ　184 きばなほととぎす　185 ちやぼほととぎす

古葉の殘遺せる纖維に覆はる。莖は高さ僅々6-9糎(2-3寸)許に達し.毎年宿根より綠狀の莖·葉とを生じ.莖には革質にして長さ3-6糎(1-2寸)許を有し.緣邊縺濃せる小葉數箇を着生す。花莖は6-15糎(2-5寸)許に達し上部に鞘狀苞を着生し. 夏日に至り花莖上に白色にして小形なる疎花を短穗狀をなせる總狀花序に排列す。副萼は3箇を有し.花被は鐘形にして.筐狀長橢圓形に6裂し.雄蕊は6箇を具へ. 子房は圓柱狀卵形にして3-4室を有す。果實は卵狀長橢圓形にして.宿存花被より稍挺出す。〔花色〕白色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道·本州北部及中部。

55. ホトトギス屬　TRICYRTIS.

6535. **はなほととぎす**　(31圖版-291) …… ユ　リ　科
Tricyrtis hirta, *Hook.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして.莖葉共に軟毛を布き撒開生なり。葉は卵狀長橢圓形にして先端鋭く.基脚莖を抱く。 總狀花序は腋出して短く.少數の花を排列し.子房は有毛にして.長き花柱を有す。〔花色〕淡紫色にして紫色の斑點を布く。〔花候〕秋。〔分布〕本州各部。

6536. **ほととぎす**　油點草　(31圖版-292) …… ユ　リ　科
Tricyrtis hirta, *Hook.* var. parviflora, *Masamune.*

〔形態〕山間陰濕の地に自生する多年生草本なれども.亦觀賞用として廣く栽培せらる。莖高さ30-60糎(1-2尺)に達し. 長橢圓形にして先端鋭く剛毛緣をなせる抱莖を有し.長さ4-5-12糎(1-5-4寸)許に達し.莖葉共に有毛にして.葉には叉斑紋あるを常とす。夏秋の候.梢葉腋に白色にして.暗紫色の斑點を有する花概ね4-5箇を着生す。小梗は細長にして直生し. 氈毛を密布す。花被外片は披針形にして.基脚嚢狀をなし.背面粗毛を布き.內片は長披針形にして.基脚耳形をなす。子房は長圓錐形にして. 鈍3稜を有し毛を生ぜず。〔花色〕白色地に暗紫色の斑點あり。〔花候〕夏-秋。

〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

人生との關係　觀賞用として栽植せらる。

6537. **やまぢのほととぎす** …… ユ　リ　科
Tricyrtis japonica *Miq.* (*T. affinis*, *Makino.*)

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして. 莖は細長く雁木狀をなして直生し.通常單一なれども.往々疎枝を分岐し. 高さ0·3-1·2米(1-4尺)許に達し.逆毛を生ず。葉は長橢圓形乃至卵狀長橢圓形にして.7-11條の行脈を具へ.基脚莖を抱く。兩面には細毛を散生し.且つ緣邊に毛茸を布き. 長さ4·5-12糎(1·5-4寸)許に達す。花は頂生或は腋出し.小梗は有毛にして. 苞は鑿形なり。花被片は白色にして紫點を有すれども. 往々之を有せざるものあり。何れも反捲.展開す。雄蕊は花被片より長く基脚毛を生ず。 子房は3稜を有し.花柱は3裂し.蒴亦3稜をなして先端鋭く尖る。 〔花色〕白色地に紫點あり.又なきものあり。〔花候〕夏-秋。〔分布〕北海道·本州各部·四國·九州。

6538. しろばなほととぎす …… ユ　リ　科
Tricyrtis japonica, *Miq.* var. albida, *Masamune.*
(*T. affinis*, var. *albida*, *Makino.*)

〔形態〕山地に自生する前種ヤマヂノホトトギスの一變種にして.花は白色をなす種類なり。〔分布〕四國·九州。

6539. **きばなのほととぎす**　(白圖-184) …… ユ　リ　科
Tricyrtis yatabeana, *Masamune.*

(異名) きほととぎす　〔形態〕山地に自生する多年生草本にして.全株毛茸を散生す。葉は長橢圓狀披針形にして.先端長く尖り. 明瞭なる平行脈を有し.基脚莖を抱く。 夏より秋に亙りて黃色の花被より成れる有梗の鐘形花を梢上葉腋に着生し. 花被片は倒卵形にして直生す。 花後細長なる蒴果を結ぶ。〔花色〕黃色にして紫色の細點を布く。〔花候〕夏-秋。

〔分布〕九州。

6540. **ちゃぼほととぎす**　(白圖-185) …… ユ　リ　科
Tricyrtis flava, *Maxim.*

〔形態〕各地の山野に自生する小形の多年生草本なり。 葉は叢生し披針形にして先端尖り.平行脈を有し.基脚莖を抱き.上面には暗點を彩る。 8月頃梢上葉腋に花梗を抽き.鐘形にして黃色をなせる花を開く。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

6541. **たまがはほととぎす**　(31圖版-293) …… ユ　リ　科
Tricyrtis latifolia, *Maxim.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして.全株稍無毛種に屬し.莖は雁木狀をなして直生し. 高さ60-90糎(2-3尺)に達す。 葉は短くして基脚莖を抱き.其色帶黃色をなす。花は黃色にして正開せず. 內面に暗紫色の細點を密布し.房狀花序をなす。花序は頂生し細毛を布き. 花後細長き蒴を生ず。

〔花色〕黃色にして內面に暗紫細點を有す。〔分布〕本州各部·四國·九州。

6542. **やまほととぎす**　(31圖版-294) …… ユ　リ　科
Tricyrtis macropoda, *Miq.*

〔形態〕山野に自生する多年生草本にして. 莖高さ45-75糎(1·5-2·5尺)許に達し.莖葉共に毛茸を散生す。葉は長卵形にして先端尖り. 基脚莖を抱く。夏より秋に亙り淡紫色にして. 暗紫色の粗大なる斑點を有する花を頂生せる疎房狀花序に排列す。花被片は反捲し. 花柱は柱頭の約半長なり。花後細長き蒴果を結ぶ。〔花色〕淡紫色にして暗紫色の斑點を有す。

〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州各部·四國·九州。

6543. **たかくまほととぎす** …… ユ　リ　科
Tricyrtis ohsumiensis, *Masamune.*

〔形態〕豉國の山地に自生する多年生草本にして. 莖高さ18-45糎(0·6-1·5尺)許に達し.毛を有せず。 莖の下部に生ずる葉は長橢圓狀披針形にして.上葉は長橢圓形をなし基脚莖を抱き. 長さ4·5-18糎(1·5-6寸)許に達し無毛なり。夏日黃色にして點紋を伴はざる2·4糎(8分)許あるも1-2花を稍房狀花序に排列す。〔花色〕黃色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。

6544. **じゃうらうほととぎす** …… ユ　リ　科
Tricyrtis macrantha, *Maxim.*

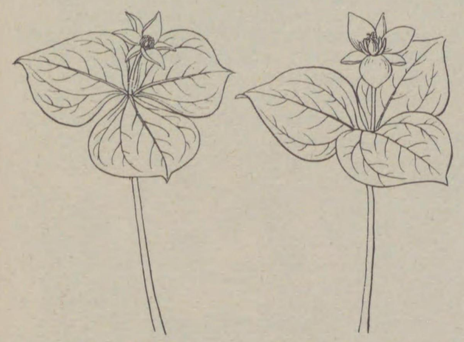
〔形態〕本州南部以南の山野に自生する多年生草本にして.莖葉共に毛を有せず。莖は高さ60-90糎(2-3尺)に達し. 往々枝を分つ。葉は卵狀披針形にして先端尖り基脚莖を抱く。花は黃色にして腋出し. 花被片は長橢圓形をなす。〔花色〕黃色。〔花候〕夏-秋。〔分布〕本州南部·四國。

56. エンレイサウ屬　TRILLIUM.

6545. **えんれいさう**　延齡草　(31圖版-295) … ユ　リ　科
Trillium apetalon, *Makino.*

(異名) たちあふひ　〔形態〕各地の溪間.樹蔭等に自生する多年生草本にして.莖高さ15-30糎(0·5-1尺)許に達す。 葉は莖頂に廣卵形の3葉を輪生し.長さ6-15糎(2-5寸)許を有す。5-6月の候.葉間に1花梗を抽き紅紫色の花を頂生單立す。本花の花瓣と見ゆるは3箇の萼片にして花冠を有せざるものとす。萼片は長橢圓形にして直生.平開し. 雄蕊は6箇を具へ雌蕊と稍同長なり。子房は卵狀球形にして6稜をなし3室を有す。花後紫黑色にして球形の漿果を結び.7月頃成熟す。〔花色〕紅紫色。〔花候〕5-6月。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·四國·九州。

人生との關係　本種の花は愛らしきものにして. 一種の野趣ある園藝植物として慣植あるを以て. 往々移植栽培せらる。養土としては輕き赤土混りのものを可とす。尙本植物の地下莖を陰干して貯藏しこれを煎服するときは.腹痛を治し.健胃劑として特效あるものなり。



186 おほばなのねんれいさう　187 しろばなねんれいさう

6546. **おほばなのえんれいさう**　(白圖-186) … ユ　リ　科
Trillium kamts-haticum, *Pall.*

〔形態〕本種も亦前種と同じく溪間.樹蔭等稍濕潤なる地に自生する多年生草本にして.概形亦彼に似たれども.葉は卵狀菱形をなし.全體稍大形なり 5月頃葉間に花軸を抽きて1花を頂生すれども.前種と異り本種は長橢圓形の萼片3箇を有し.花瓣も亦3箇を具へ.白色.倒卵形或は橢圓形にして.長さ3糎(1寸)許を有す。葯は花糸より遙かに長く。子房は頂端暗紫色を呈す。本花はエンレイサウ中最大なる花を有するを特徴とす。〔花色〕白色。

〔花候〕5月。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部。

6547. **しろばなえんれいさう**　(白圖-187) …… ユ　リ　科
Trillium Tschonoskii, *Maxim.*

(異名) みやまえんれいさう　〔形態〕本種も亦前2種と同じく山地の溪間.樹蔭等稍濕潤なる土地に自生する多年生草本にして. 地下の根莖は短く直生す。莖は1-3箇を直生簇出し.高さ15-45糎(0·5-1·5尺)許に達し莖頂に3葉を輪生すること亦前2種に相似たり。5月頃.葉間に花梗を抽き.3箇の萼片と3箇の花瓣とを有する白色の1花を頂生す。花は長さ1·2-2·4糎(4-8分)許を有し.花被は宿存生なり。雄蕊は6箇を具へ. 子房は卵形にして3室を有し.果實は漿果にして. 圓錐形をなす。〔花色〕白色。〔花候〕5月。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·臺灣。

6548. **むらさきえんれいさう**　(白圖-188) …… ユ　リ　科
Trillium Tschonoskii, *Maxim.* forma violaceum, *Makino.*

〔形態〕前種シロバナエンレイサウの一品種にして.形態·性狀等彼に酷似すれども.本種は彼の花色白色なるに比し. 紫色を呈するを異るところなりとす。〔花色〕紫色。〔分布〕本州北部。

57. アマナ屬　TULIPA.

6549. **あまな**　山慈姑　(31圖版-296) …… ユ　リ　科
Tulipa edulis, *Bak.*

(異名) むぎぐわる　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして. 莖高さ21-24糎(7-8寸)許に達す。春日地下の鱗莖よりニラの如き綠形. 軟質にして粉白を布ける2-3葉を出し.長さ12-15糎(4-5寸)より24-27糎(8-9寸)許に達し.葉間より柔き花莖を抽き.莖頂に狹鐘形をなせる1-2花を着生す。本花は披針形にして. 白色地に暗紫色の線狀を有する6片の花被片より成り.通常正開せざれども天日を受くれば正開す。 雄蕊は6箇を具へ閉在す。子房は狹卵形にして.花柱は短し。〔花色〕白色地に暗紫色の線條あり。〔花候〕春。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

188 むらさきねんれいさう　189 ひろはのあまな

人生との關係　根を食用に供し.又澱粉を製し.葉亦茹でゝ食用に供す。

6550. **ひろはのあまな**　(白圖-189) …… ユ　リ　科
Tulipa latifolia, *Makino.* (*T. edulis*, var. *latifolia*, *Makino.*)

(異名) ひろばむぎぐわる　〔形態〕山野に自生する多年生草本にして前種アマナの一變種なり。莖高さ21-24糎(7-8寸)に達し. 地下に白色球形の鱗莖を有す。葉は地下の鱗莖より2葉を生じ. 短濶にしてアマナに比するに幅廣く往々徑1·8糎(6分)許に達し.通常淡紅色を帶び.上面中央に1條の白縱道を有す。 花被片は雄蕊と共に各3箇を具へ. 雌蕊は1箇を有す。〔花色〕白色にして淡紅采を有す。〔花候〕春。〔分布〕本州中部。

6551. **チュウリップ**　鬱金香　(31圖版-297-299)　ユ　リ　科
Tulipa Gesneriana, L.

(異名) ウッコンカウ　〔形態〕外來の多年生觀賞用草本にして.高さ15-45糎(0·5-1·5尺)許に達す。葉は通常3-4葉を生じ.廣披針形にして粉白を布く。4-5月の候.葉間に花莖を抽きて.大形なる6瓣花を單立. 頂生す。花被は鐘形にして.黃色·赤色·白色其他重瓣花等種々あり。〔花色〕黃·紅·白等種々。〔花候〕春。〔原產地〕歐羅巴。

人生との關係　庭園又は鉢植として栽培し.觀賞·愛玩せらる。

以下本種の種類·繁殖法·栽培法の一般につき概說すべし。

繁　殖　法

1. 播　種　法

チューリップの繁殖法も亦一般球根類と同じく播種による法と. 子球による法との2法あれども.播種による繁殖は.開花を見るに至る迄早きも4年. 遲きは6年も經過せざれば之れを見るに至らざるものなれば.新らしき品種を得んとする目的以外には.多く行はれざるものなれども. 以下其大要を記述すべし。卽ち種子を採取したれば.砂に混じて貯へ置き. 春秋の彼岸頃箱又は鉢等へ播種するものなれども.春季にありては彼岸より稍遲く. 秋季にありては稍早く播種するを可とす。其方法としては. サフランの播種法に準ずれば可なり。翌年6月頃に至れば葉は自然に枯死し.根部に小なる球を生ずれども. 秋季に至るまで其儘になし置き.秋季に至りて初めて掘り出し. 親球と同樣に扱ふときは4·6年の後に至りて開花するに至る。然れども最初の開花は貧弱なるもの多けれども.決して失望せず.尙2·3年間培養して開花せしめたる結果により淘汰するものなり。

2. 子球による法

培養充分に行き屆き.優良に栽培せられたる株を翌年に至りて掘り上ぐるときは親球は影形なきに至れども. 新に殆んど親球と同大の子球 2·3箇及夫れより小なる2·3箇の子球を着生するものなれば.親球大のものは親球として取扱ひ小球も亦親球と同樣に取扱ふものなり。 されど小球の場合にありて花梗を出したれば.速に之れを切り取り以て根の勢力の充實を計り. 翌年の開花を大ならしむる樣になすを得策なりとす。

概して球根類は.球の形狀大なりとて. 必ずしも大形花を開くものにあらずして.要するに前年に球の受けたる榮養の如何によりて決せらるゝものなれば. 須らく前年より其手當を施すことを肝要なる行事とし.殊に本種にありては痛切に之を感ぜしむるものなり。

栽　培　法

（1）**花壇栽培法**　土質は砂質壤土を最も適當とすれども.亦排水佳良にして日當りよき場所なれば普通の土質にても充分に栽培することを得べし。場所の選定を終りたれば.任意の形に區劃し.成るべく深く鋤して通常下底に腐熟したる厩肥を施すべけれども.尚優秀なる栽培をなさんとするには.基肥として馬糞或は堆肥と油粕とを等量に混じたるものに.少量の過燐酸石灰を充分に混和したるものを敷き込み.よく土塊を碎きて.其の上に藁又は莚の類を蔽ひて.約1週間許其儘に寝したる後植込をなすものとす。而して植込は9-10月頃を適期とするを以て.此の操作も亦その少しく前に行はざるべからず。植込の深さは凡そ9糎(3寸)許を程度とし.一般球根類の植込と同じく.此際球の直接肥料に接せざる樣に砂を入るゝこと.並に開花の時花壇の色取り等を考へて植込をなすこと肝要なり。斯くして植込を終りたれば.6-9糎(2-3寸)許覆土し.其の上に藁を被ひ.翌年3月頃に至りて之を除去するものとす。而して花を終りたれば.稀薄なる液肥を施し.球を充實せしめて翌年植付の準備をなし.莖葉凋枯したれば.晴天の日を選びて球を掘り上げ.乾燥して貯蔵し置くものとす。但し球の貯蔵には乾燥の程度.貯蔵室の乾度.通風等には特に充分の注意を肝要とす。

鉢　栽　培

本種は最初より鉢栽培をなすこと頗る困難なるものにして.園藝專門家にありても.之を行はざると云ふ。通常花卉賣店等に鉢植として販賣せらるゝものはアネモネ.ガランサスと同じく.初め淺き箱に於て數多の球根を植付け.之を培養して.漸次蕾を出し.開花に近づくに從ひ一々鉢に移植したるものなり。されば玆には其鉢栽培法としては之を省略せり。

水栽培法　本種も亦ヤツシジス等と同じく水栽培をなすことを得るものにして.一般水栽培法に準ずれば可なり。

190 しゆろさう　191 あをやぎさう　192 ばいけいさう　193 こばいけいさう

58. シュロサウ 屬　VERATRUM.

6552. **しゆろさう**　藜蘆（白圖-190）……ユ　リ　科
Veratrum nigrum, *L.* var. japonicum, *Bak.*

〔形態〕到る處の山野に自生する多年生草本にして.莖高さ60-90糎(2-3尺)に達す。葉は長楕圓形或は披針形にして.平行脈を有し.莖及根には棕櫚樣の纖毛を生ずるを以て此名あり。春日莖の上部に小梗を抽き黑紫色を呈する小花を.疎生せる總狀花序に排列す。小梗は花被より長く.花被片は6箇を有し.長楕圓形をなし.雄蕊亦6箇を具へ.子房は廣楕圓形にして.花後生ずる蒴は3室を有す。有毒植物の一なり。〔花色〕黑紫色。〔花候〕春。

〔分布〕北海道·本州·四國·九州·臺灣。

人生との關係　元來本植物は激烈なる毒分を含有する植物の一種なれども.抽出報告に乏しきを以て.內服用とするは稍危險なれども.本種の根部の藥湯は疥癬·疝痛に效あり。又根の煎汁或は粉末は虱·諸虫驅除劑等として特效あるものなり。

6553. **ほそばしゆろさう**……ユ　リ　科
Veratrum Maackii, *Regel.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして.葉は線形或は披針形をなして先端尖り.基脚鞘狀をなす。花は黑褐色にして.總狀花序に排列し.花序は單生或は複生し.短毛を布く。苞は短く.花被片は廣披針形をなす。〔花色〕黑褐色。〔分布〕本州中部及南部。

6554. **あをやぎさう**（白圖-191）……ユ　リ　科
Veratrum Maximowiczii, *Bak.*

〔形態〕山地に自生する多年生草本にして.年々宿根より莖葉を生じ.莖高さ60-90糎(2-3尺)許に達し.上部に短毛を布く。葉は長楕圓形或は披針形にして.平行脈を有し互生す。春日花軸を抽き綠色にして平開せる小花を疎なる圓錐狀繖狀花序に排列す。苞は披針形にして小梗と稍同じく花被片は長楕圓形にして.稍鋭頭をなす。〔花色〕綠色。〔花候〕春。

〔分布〕本州各部·九州。

6555. **たかねあをやぎさう**……ユ　リ　科
Veratrum longebracteatum, *Takeda.*

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして.莖は通常30糎(1尺)許なれども.亦稀に60糎(2尺)以上に達し.上部に稍毛茸を生ずることあり。下葉は披針形にして先端尖り.長さ9-15糎(3-5寸)許を有すれども.莖葉は小形にして細長なり。花は褐綠色にして徑7-5粍(2-5分)許を有し.總狀花序或は稍圓錐花序に排列し.苞は披針形なり。花被片は長楕圓形にして.雄蕊は花被片より短く.花後9粍(3分)許ある蒴果を生ず。〔花色〕褐綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

6556. **ばいけいさう**　蒜藜蘆（白圖-192）……ユ　リ　科
Veratrum album, *L.* var. grandiflorum, *Maxim.*

〔形態〕深山の稍陰濕地に自生する多年生草本なり。地下の根莖は倒圓錐形にして肥厚し.激毒を有す。毎春宿根より莖を出し.高さ0-9-1-2米(3-4尺)に達す。葉は卵狀楕圓形又は長楕圓形にして多くの脈を具へ互生し.下面に短毛を布く。7月頃葉梢に小枝を岐ち.淡黃色にして花瓣に綠暈と黃綠色の線狀を有する6瓣花を圓錐花序に排列す。花序は大形にして赤褐色の短毛を布き.苞は長楕圓形にして小梗より長し。本種は雄花.雌花の別を有すれども.亦往々兩性花を交ゆるものなり。〔花色〕淡黃色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·九州。

人生との關係　神經系諸症に有效なれども.元來有毒植物なるを以て.乾燥せしもの約7-5瓦(2匁)を0-18立(1合)の水にて煎服する位に止め.之れ以上は用ひざるを安全なりとす。

6557. **こばいけいさう**（白圖-193）……ユ　リ　科
Veratrum stamineum, *Maxim.*

（異名）ししのはばき　〔形態〕通常深山に自生する多年生草本にして全形前種バイケイサウに似たれども.稍小形なり。春日宿根より肥厚せる莖を出し.高さ90糎(3尺)許に達し.無毛なる密葉を互生す。下葉は圓楕圓形にして.上葉は楕圓形をなす。初夏高さ60糎(2尺)許ある花莖を抽き梢上小枝を分ちて.綠色6瓣の花を開き.苞は膜質.大形の長楕圓形をなす。有毒植物の一なり。〔花色〕綠色。〔花候〕初夏。〔分布〕本州北部及中部。

59. イトラン 屬　YUCCA.

6558. **イトラン**（31圖版-300）……ユ　リ　科
Yucca filamentosa, L.

（異名）ジュマウラン　〔形態〕外來の常綠多年生草本にして莖は短く.多數の葉を叢生す。葉は細長くして先端尖り.緣邊に細き纖維を雜生す。夏日葉間より花莖を抽出し.1-5-1-8米(5-6尺)の高さに達し.莖頂に白色或は淡黃色の美麗なる花を點頂し.圓錐花序に排列す。花被は杯形をなし花被片は長楕圓形にして長さ4-5糎(1-5寸)許.雄蕊は6箇を直生して柱頭は3岐し.各頭に縱溝を有す。〔花色〕白色或は淡黃色。〔花候〕夏。

〔原產地〕北亞米利加。

291 はなほととぎす　292 ほととぎす　293 たまがはほととぎす
294 やまほととぎす　295 ねんれいさう　296 ゑまな　297 チユウリツプ
298 チユウリツプ　299 チユウリツプ　300 イトラン

人生との關係 觀賞用として庭園に栽植し．葉より纖維を採りて織物の原料に供す。

194 トレクレイトラン

6559. **トレクレイトラン** （白圖-194） …… ユ リ 科
Yucca Treculeana, Carr.

〔形態〕外來の小喬木にして．幹は多くの枝を岐つ。葉は密生し．革質・劍形にして．長さ 0·6-1·3 米（2-4 尺）．徑 4·5-9 糎（1·5-3 寸）許を有し．糙澁にして凹面をなし．緣邊は初め全緣或は稍細齒牙緣をなせども旣にして疎糸緣となる。花は白色．鐘形にして．長さ 4·5-6 糎（1·5-2 寸）許を有し．密生して長さ 0·6-1·2 米（2-4 尺）許ある圓錐花序に排列し．基脚に白色大形の苞を伴ふ。〔花色〕白色。〔原產地〕北米「メキシコ」。

* * * * *

6. びゃくぶ(百部)科 STEMONACEÆ.

本科の植物は根莖を有する多年生草本にして．莖は直立又は蔓性叉稀に他物に纏繞して上昇す。葉は單葉にして互生或は輪生す。花は兩性．整齊にして 2 の數より成り．花被に萼と花冠との區別なく內外 2 輪にして各 2 箇を有す。花序は 1 箇若しくは數箇の花より成りて葉腋に生ず。花被は 1 樣にして苞樣をなし．4 箇の分離或は結合せる片より成りて 2 層に排列す。雄蕊は 4 箇を具へ．雌蕊は 2 箇の結合せる心皮より成り．子房は上位又は半上位にして．1 室を有し．內に 2 乃至數箇の直立性又は懸垂性の倒生卵子を含む。花柱は之を缺き柱頭は小なり。果實は蒴にして 2 裂し．長形の種子は胚乳を含む。

195 ビヤクブ

本科は 3 屬．凡そ 10 種の植物より成り．亞細亞・濠洲・北亞米利加等に產す。本邦に自生し或は栽培せらるゝものは 2 屬．5 種あり。

1. ビャクブ屬 STEMONA.

6560. **ビャクブ** 百部 （白圖-195） …… ビヤクブ科
Stemona japonica, Miq.

（異名）ホドヅラ・ツルビャクブ 〔形態〕享保年間支那より渡來せる多年生の蔓性草本にして．地下に多くの連結せる黃白色の塊根を有す。莖高さ 60 糎（2 尺）以上に達し．葉は葉柄を具へ卵狀披針形にして．平行脈を有し．3-4 葉づゝを輪生す。夏日葉腋に淡綠色の花を單生或は双生し．梗脚は葉柄に沿着す。花被片は披針形にして 4 箇を有し．雄蕊の葯隔には線狀披針形の附屬體を具へ．花後生ずる果實は蒴にして．廣卵形をなす。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔原產地〕熱帶亞細亞。

人生との關係 根部を乾燥して煎服すれば．鎭嗽．驅風．肺病．腹中諸蟲の驅除等に效あり。又外用として殺蟲劑殊に毛虱を撲滅するに効ありといふ。

196 タチビヤクブ　　197 なべわり

6561. **タチビャクブ** （白圖-196） …… ビヤクブ科
Stemona sessifolia, Miq.

〔形態〕本種も亦外來の多年生草本にして．莖は直生し．高さ 30 糎（1 尺）許に達す。葉は短き葉柄を具へ．葉身は卵狀披針形にして．平行脈を有し．3-4 葉を輪生することビヤクブに相似たり。春日細梗を有する花を腋出し．小苞は細小にして披針形をなし．花被片は 4-6 箇を有し．雄蕊亦 4-6 箇を具ふ。葯隔は厚質にして著しく葯頭に超出して暗紫色を呈し．內面には線形をなせる淡綠色の鱗片を有し．葯隔の超出部より短し。子房は小さく柱頭は無

柄にして.毛茸を生ず。〔花色〕淡綠色。〔花候〕春。〔原産地〕支那。

6562. たまぴゃくぶ …… ビャクブ科
Stemona tuberosa, *Lour.*

〔形態〕暖地に自生する多年生の蔓性草本にして.地下に長さ 21-24 糎(7-8 寸)許ある圓柱形の塊根を有す。葉は葉柄を有し.葉身は膜質.廣心臓形にして先端尖り.長さ 9-24 糎(3-8 寸)許を有し. 通常對生すれども亦輪生稀に互生す。花は細梗を有し.綠色にして紫色の線條を彩り. 通常 2 花を腋出す。 花被片は披針形にして長さ 3-4·5 糎(1-1·5 寸)許を有す。〔花色〕綠色。〔分布〕臺灣。

2. ナベワリ屬 CROOMIA.

6563. なべわり 黄精葉鉤吻 (白圖-197) …… ビャクブ科
Croomia japonica. *Miq.*

〔形態〕深山陰地に自生する多年生草本にして.有毒植物の一なり。莖高さ 30 糎(1 尺)許に達し.根莖は細長にして横走し. 相接近して多くの結節を有す。莖は通常直立し.脚部に膜質の鱗片少數を伴ひ. 上部に有柄の 3-4 葉を互生す。葉身は膜質. 楕圓狀卵形にして先端尖り圓脚をなし.5 箇の縱脈は著しく. 緣邊皺波紋をなせる樣恰も細鋸齒を有するに似たり。夏日葉腋に 6 糎(2 寸)許の長き細梗を單生し.其の頂端に淡黄綠色にして.下垂せる 1-2 花を綴る。 花被片は廣卵形にして.4 箇を有し.1 片は大きく他片は小なり。雄蕊は 4 箇を具へ.花糸は肥厚し.葯は長楕圓形にして斜在し.子房は花柱を欠き球狀卵形にして.柱頭は細小なり。〔花色〕淡黄綠色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部及南部·四國·九州。

6564. ひめなべわり …… ビャクブ科
Croomia kiusiana, *Makino.*

〔形態〕暖地に自生する多年生草本にして. 根莖は細長く横走し. 莖高さ 30 糎(1 尺)許に達す。 葉は短き葉柄を有して莖の上部に 5-6 葉を着生し葉身は長楕圓狀披針形にして先端尖り.圓脚をなして. 長さ 4·5-10 糎(1·5-3·5 寸)許に達す。花は總狀花序をなして腋出し. 帶綠色の 2-4 花を綴る。花被片は 4 箇を有し.何れも長楕圓形をなす。〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。〔分布〕九州。

*　　*　　*
*　　*　　*

7. ゐ (燈心草) 科 JUNCACEÆ.

本科の植物は草本にして. 通常多年生稀に一年生なり。 葉は單葉にして互生し.狹長なるか或は鱗狀をなす。花は小形.整齊にして.通常兩性なり。

198 ゐ

花の諸器官は 3 の數より成り. 花序は通常複生にして多數の花より成り. 又稀に 1 箇の花より成る。花被は一樣にして苞樣をなし. 6 箇の片より成りて 2 層に排列す。雄蕊は 6 箇若しくは 3 箇あり。花粉粒は 4 箇づゝ結合す。雌蕊は 3 箇の結合せる心皮より成り. 子房は上位にして.1 室又は 3室を有し. 各室に 1 箇乃至多數の倒生卵子を含む。花柱は單體にして. 3 箇の糸狀をなせる柱頭を具ふ。果實は蒴にして. 種子は胚乳を含む。

本科は 7 屬.凡そ 290 種の植物を含み. 主に溫帶及寒帶地方に產す。本邦に自生するもの 2 屬.凡そ 45 種あり。

本科所載植物索目次

アヲカウガイ……0587
キ……0565
キグサ……0565
キゼキシヤウ……0580
イトキ……0571
イヌキ……0569
エゾイトキ……0574
エゾノミクリゼキシヤウ……0593
エゾホソキ……0573
オホイヌキ……0570
カウガイゼキシヤウ……0582
カラフトホソキ……0576
クサキ……0580
クモマスズメノヒエ……0595
クモマスズメノヒエ……0600
クロボシサウ……0605
クロミクリゼキシヤウ……0592
コヒゲ……0568
シバイモ……0594
シマスズメノヒエ……0601
シラネキ……0580
スズメノヒエ……0594
スズメノヤリ……0594
セキシヤウキ……0593
タイワンスズメノヒエ……0601
タカネキ……0577
タカネスズメノヒエ……0597
タチカウガイゼキシヤウ……0588
タマキ……0566
タマカウガイゼキシヤウ……0585
チシマスズメノヒエ……0599
トウシンサウ……0565
ドロキ……0579
ニヒタカイトキ……0575
ニヒタカヌカボシ……0604
ヌカボシサウ……0602
ネヂキ……0569
ハナビゼキシヤウ……0581
ハヒカウガイゼキシヤウ……0584
ハマキ……0570
ハリカウガイゼキシヤウ……0583
ヒメキ……0567
ヒメカウガイゼキシヤウ……0589
ヒラキ……0569
ヒロバノカウガイゼキシヤウ……0586
ホソキ……0572
ホソカウガイゼキシヤウ……0590
ホソバノカウガイゼキシヤウ……0587
ミクリゼキシヤウ……0594
ミヅキ……0579
ミヅバナキ……0577
ミヤマキ……0578
ミヤマクロボシサウ……0606
ミヤマスズメノヒエ……0598
ミヤマヌカボシサウ……0603
ミヤマホソカウガイゼキシヤウ……0591
ヤマスズメノヒエ……0596
リシリキ……0573

1. キ 屬 JUNCUS.

6565. ゐ 蘭·燈心草 (白圖-198) …… キ 科
Juncus effusus, *L.* var. decipiens, *Buch.*

(異名) ゐぐさ·とうしんさう 〔形態〕元來原野.濕地等に自生する多年生草本なれども.亦多く水田等に栽培せらる。根莖は匍匐横走し. 全株淡綠或は濃綠色を呈し.莖は圓く滑澤にして細長く. 基部に淡黄或は黑褐色の葉鞘を伴ひ.高さ 0·9-1·2 米(3-4 尺)に達し.多數を叢生し. 中に接續星形の白髓を有す。 夏日莖の上部に花梗を側生して多く分岐し. 淡褐色の細花を疎生の凹形聚繖花序に排列す。花被片は線狀披針形にして. 雄蕊は花被片より短く.葯は花絲と稍同長なり。果實は倒卵形. 鈍頭にして長さ花被片と同じ。〔花色〕淡褐色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國·九州。

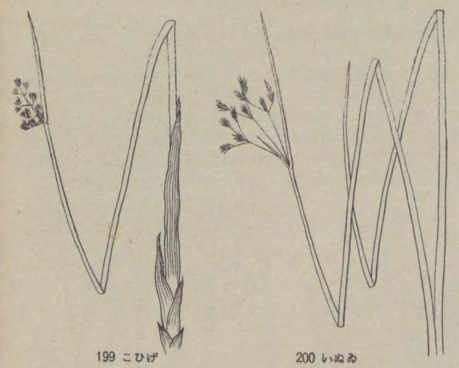
人生との關係 本植物は園草と稱し.之を栽培して. 疊表を作る材料に供し.有用植物の一なり。又莖. 根を細切し乾燥したるものを煎服すれば利尿劑として痳病を治するに効あり。

6566. たまゐ …… キ 科
Juncus effusus, *L.* var. decipiens. *Buch.* forma glomeratus, *Makino.*

〔形態〕前種キの一品種にして. 本種は花穗の密に團結して小毬形をなす種類なり。〔分布〕邦內各地。

6567. ひめゐ …… キ 科
Juncus effusus, *L.* var. decipiens, *Buch.* forma gracilis. *Buch.*

〔形態〕稍寒地に生ずるキの一品種にして. 彼に比するに全形甚小なるものなり。〔分布〕千島·北海道·本州北部及中部。


199 こひげ　　200 いぬゐ

6568. こひげ (白圖-199) …… キ 科
Juncus effusus, *L.* var. decipiens, *Buch.* forma urilis, *Makino.*

〔形態〕主に水田中に栽植せらるゝキの一品種にして. 全株甚長なる多年生草本なり。莖は細長くして凹く.高さ 60-90 糎(2-3 尺)許に達す。葉は莖の下部に茶褐色の鱗片葉を有するのみとす。夏日梢頭より 6-9 糎(2-3 寸)下りて花梗を分岐し.硬質にして淡綠色のキの花に似たれども. 中に白穗を缺ける少數の小花を着生す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。(栽培種)

人生との關係 本植物の莖を刈り取りて.筵を織る. 備後表とは卽ち之れなり。

6569. いぬゐ (白圖-200) …… キ 科
Juncus balticus, *Willd.* var. japonicus, *Buch.*

(異名) ひらゐ·ねぢゐ 〔形態〕山野の濕地に自生する多年生草本にして莖は綠色を呈して細長く. 側扁にして高さ 30-60 糎(1-2 尺)に達し.內に不明星形の髓を有す。葉は小形にして莖を包み互生す。夏日莖の頂部より稍下方に細き花軸を出し.先端叉岐し. 鱗片狀の尖りたる片より成れる數箇の小花を凹形聚繖花序に綴り.最下苞は細長く往々 9 糎(3 寸)許に達す。雄蕊は花被より短く.葯は花糸の 5-6 倍長し。 花後生ずる果實は 3 稜卵形をなす。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·九州。

6570. はまゐ …… キ 科
Juncus balticus, *Willd.* var. Haenkei, *Buch.*

(異名) おぬいぬゐ 〔形態〕稍北地の海濱に多く自生するイヌキに似たる多年生草本にして.概形彼に比して大形なり。髓は不明星形にして. 最下部の苞は長く.花は濃色にして.長さ 5·4 粍(1·8 分)許を有し.數花を攢簇す。花被片は線狀披針形にして葯と稍同じく.果實は 3 稜倒卵形にして. 花被と稍同長なり。〔花色〕淡褐色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部。

6571. いとゐ (32 圖版-301) …… キ 科
Juncus Maximowiczii, *Buch.*

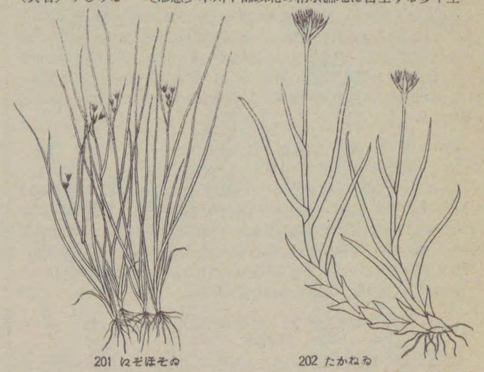
〔形態〕深山の岩上等に自生する多年生草本にして.莖は簇生し.葉と共に剛毛狀を呈し.高さ 12-15 糎(4-5 寸)に達するを常とす。 夏日葉間に殆んど葉と同長なる花莖を抽き. 其の頂に淡黄色又往々帶赤色の小花を 1-4 箇合着し.最下部の苞は花より超出す。花被片は膜質. 線形にして雄蕊は長く挺出し.花絲は花被片より長し。果實は 3 稜倒卵形にして. 花被片の倍長あり。〔花色〕淡黄色若しくは帶赤色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

6572. ほそゐ …… キ 科
Juncus pauciflorus, *R. Br.*

〔形態〕各地の水邊.濕地等に多く自生する多年生草本にして.全株綠色を呈す。莖は細圓柱形にして. 鮮明なる縱溝を具へ. 高さ 18-60 糎(0·6-2 尺)許に達し.基脚の鱗片は概ね淡黄色なり。花は通常蒼白色にして. 長さ 2 粍(7 厘)許を有し.疎生の凹形聚繖花序に排列し. 最下部の苞は花序より超出す。花被片は卵狀披針形にして.雄蕊は花被片より短く. 葯は花被片と同長なり。果實は 3 稜を有し.卵形をなす。〔花色〕蒼白色。〔花候〕夏。〔分布〕本州各部·九州。

6573. えぞほそゐ (白圖-201) …… キ 科
Juncus curvatus, *Buch.*

(異名) りしりゐ 〔形態〕本州中部以北の稍水濕地に自生する多年生


201 えぞほそゐ　　202 たかねゐ

草本にして.根莖は横走し.節間は短く.莖は稍側扁にして細長く簇生し.基脚の鱗片は暗褐色を呈し.高さ 48-90 糎(1·6-3 尺)許に達す。 花序は莖の中部以上に抽出し.單生又稀に複生をなし.3-5 花を綴り.最下部の花は有梗なれども.他は何れも之を缺く。最下苞は細長にして. 長さ約 30 糎(1 尺)許花被片は狹綠形にして外片は遙かに長し。雄蕊は內花被片より短く. 葯は花糸の半長にして.花後生ずる果實は內花被片と稍同長なり。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州北部及中部。

6574. えぞいとゐ …… キ 科
Juncus luzuliformis, *Franch.* var. Potaninii, *Buch.*

〔形態〕イトキに似たる一種にして.花序は 1-2 花稀に 3 花を着け.側花は無梗にして.苞に腋出し假葉を伴はす。葯は線狀長楕圓形にして. 花絲より遙かに短形なり。〔分布〕北海道。

6575. にひたかいとゐ …… キ 科
Juncus modicus, *N. E. Br.*

〔形態〕臺灣に自生するイトキに似たる草本にして. 莖葉共に絲狀をなして簇生し.莖の基部に蒼白色或は稍暗褐色の鱗片葉を伴ひ.莖高さ 6-12 糎(2-4 寸)許に達す。頭花は 3-8 箇を着生し.長さ 6 粍(2 分)許を有し.苞は披針形にして花より短く.花被片は線形にして.白色又稀に帶綠色を呈し.內花被片は遙かに長形なり。花絲は花被より超出し. 葯は花絲より短し。果實は楕圓狀 3 稜形にして.長嘴を具ふ。〔花色〕白色稀に帶綠色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

6576. からふとほそゐ …… キ 科
Juncus filiformis, *L.*

〔形態〕樺太に自生する多年生草本にして.根莖は横走し.莖は圓柱形或は側扁し.長さ 0·9-45 糎(0·3-1·5 尺).徑 6-9 粍(2-3 厘)に達し.內に蛛網狀の髓を藏し.基脚帶黄色稀に暗褐色の鱗片葉を伴ふ。 花序は單生或は複生にして.4-10 花を簇生又は疎生し.最下部の苞は概ね莖より長し。花被片は線狀披針形にして.外片は內片より稍長し。雄蕊は內片より短く. 葯は花絲の約半長許。果實は外片と同長なり。〔分布〕樺太。

6577. たかねゐ (白圖-202) …… キ 科
Juncus triglumis, *L.*

(異名) みつばなゐ 〔形態〕高山地帶に自生する多年生草本にして.莖は細長く高さ 3-18 糎(1-6 寸)許.葉は概ね莖より短く.鈍頭をなし. 耳垂は大きく亦鈍頭なり。花序は密生して 1-5 花を綴り.苞は花より遙かに短く.花被片は長楕圓狀披針形にして鈍頭なり。雄蕊は花被と稍同じく. 葯は花絲より遙かに短形なり。果實は 3 稜圓柱形をなす。〔分布〕本州中部。

6578. みやまゐ (32 圖版-302) …… キ 科
Juncus béringensis, *Buch.*

〔形態〕北部の山地に自生する多年生草本にして.莖は密簇し.不明縱溝を具へ內に蛛網狀の髓を藏す。鱗片葉は莖の基脚に伴ひ. 滑澤にして黑褐色或は淡黄色を呈し.莖高さ 18-30 糎(0·6-1 尺)許に達す。 花は莖の上部に

2-6 花を稍繖形に綴り.最下苞は長さ 2-4 糎 (0·6-1·3 寸) 許を有す。花被外片は披針形にして.內片は短濶なり。雄蕊は 6 箇を具へ. 葯は花糸より遙かに長く.果實は 3 稜卵形をなす。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

6579. どろゐ …… ヰ 科
Juncus compressus, *Jacq.* var. gracillimus, *Buch.*

(異名) みづゐ　〔形態〕各地の水邊·濕地等に自生すち多年生草本にして.全株綠色を呈し.粉白を裝ふ。 根莖は橫走し. 莖は細長く. 高さ 75 糎 (2·5 尺) 許に達す。葉は線形にして莖より短く. 花は長さ 3 粍 (1 分) 許を有し.球なる大形の聚繖花序に排列す。 花被片は披針狀卵形にして鈍頭をなし.脊線は綠色.側部は赤褐色をなし.邊緣は膜質をなす。〔分布〕樺太·北海道·本州·九州。

6580. くさゐ (32 圖版-303) …… ヰ 科
Juncus tenuis, *Willd.*

(異名) しらねゐ·ゐぜきしゃう　〔形態〕莖は細長く高さ 9-30 糎 (0·3-1 尺) 許に達し. 莖葉共に綠色を呈す。葉は細線形を呈し.莖より短きか或は稍同長にして.耳垂は長橢圓形をなす。花は淡黃綠色にして. 凹形聚繖花序をなして多花を排列し. 2 箇の苞を具ふ。 花被片は披針形にして雄蕊より長く.葯は花絲より短く.果實も亦花被より短し。〔花色〕淡黃綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州中部及南部。

6581. はなびぜきしゃう (32 圖版-304) …… ヰ 科
Juncus alatus, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕山野·水邊等の濕地に自生する多年生草本にして.根莖は橫走し節間は短く.莖は稍長にして直生し.高さ 30 糎 (1 尺) 餘に達す。 葉は細長く先端尖りて平行脈を有し.基脚莖を抱く。春夏の候. 藻色にして褐色を帶べる小花を.複生凹聚繖花序に排列し. 最下の苞は葉狀をなして概ね花序より短し。花被片は披針形或は線狀披針形をなし. 雄蕊は 6 箇を具へ.蒴は 3 稜錐形にして花被片より遙かに超出す。〔花色〕藻色にして褐色を帶ぶ。〔花候〕初夏。〔分布〕本州各部·四國·九州。

6582. かうがいぜきしゃう (32 圖版-305) …… ヰ 科
Juncus prismatocarpus, *R. Br.* var. Leschenaultii, *Buch.* subv. pluritubulosus, *Buch.*

〔形態〕水田·濕地等に自生する一年生草本にして.莖は側扁し往々 2 稜形をなし.高さ 18-30 糎 (0·6-1 尺) 許に達し.耳垂は小なり。 葉は級形にして往々彎曲し.多管質にして.不完全なる隔壁を有す。 5-6 月の候.頂端の葉間より 2-3 軸を被出し.數箇に分岐し. 數花づゝ密集して略球形をなし. 淡綠褐色の花を開く。〔花色〕淡綠褐色。〔花候〕5-6 月。〔分布〕北海道·本州四國·九州·琉球。

6583. はりかうがいぜきしゃう …… ヰ 科
Juncus prismatocarpus, *R. Br.* var. Leschenaultii, *Buch.* subv. unitubulosus. *Buch.*

〔形態〕各地の濕地に自生する草本にして. 莖は細長く稍圓柱形或は側扁し.高さ 30-45 糎 (1-1·5 尺) 許に達し.底耳は大形なり。葉は概ね直生し.稍側扁形又は圓柱形をなし. 單管質にして隔壁は完全なり。〔分布〕樺太·北海道·本州·九州。

6584. はひかうがいぜきしゃう …… ヰ 科
Juncus prismatocarpus, *R. Br.* var. Leschenaultii, *Buch.* subv. unitubulosus, *Buch.* forma radicans, *Buch.*

〔形態〕前種ハリカウガイゼキシャウに酷似せる一品種にして. 莖は伏臥生又は匍匐生なり。〔分布〕本州各部。

6585. たまかうがいぜきしゃう …… ヰ 科
Juncus prismatocarpus, *R. Br.* forma multiflora, *Buch.*

〔形態〕 カウガイゼキシャウに酷似せる草本にして.花序に分枝少なく.花叢は多くの花を着生して球形をなす。〔分布〕本州中部。

6586. ひろばのかうがいぜきしゃう …… ヰ 科
Juncus diastrophanthus, *Buch.*

〔形態〕前種カウガイゼキシャウに似たる草本にして.彼に比するに. 莖は屢ば壯大にして.花序亦大きく.枝條は疎に分岐す。頭花は稍球形をなし.花は鱗狀に隔離し.花被內片は長大なり。果實は狹 3 稜錐形·銳尖頭をなし.花被より遙かに超出す。〔分布〕北海道·本州·四國·九州。

6587. ほそばのかうがいぜきしゃう …… ヰ 科
Juncus papillosus, *Franch* et *Sav.*

(異名) あをかうがい　〔形態〕水田等の濕地に自生する概形カウガイゼキシャウに似たる雜草にして.根莖は匐枝を曳き.高さ 30-60 糎 (1-2 尺) に達し.通常簇生す。莖は稍圓柱形をなし.莖葉は細長く 2-3 葉を生じ.隔壁は稍隆起す。夏日梢上分岐し.帶綠色の小花を散生し.凹形聚繖花序に排列す。花被片は線狀披針形にして.內片は遙かに長く.雄蕊は外片より短く.葯は卵形をなして花絲より短く.果實は內片の 2 倍長し。〔花色〕帶綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·九州。

6588. たちかうがいぜきしゃう (32 圖版-306) …… ヰ 科
Juncus krameri, *Franch.* et *Sav.*

〔形態〕水田其他水邊濕地等に自生する草本にして.根莖は短く.莖は剛硬にして.稍圓柱形をなし.高さ 18-60 糎 (0·6-2 尺) 許に達し. 多數叢生して直立す。葉は互生にして.稍細長き線形を呈し. 隔壁は稍顯著なり。 8 月頃莖梢葉腋に花莖を抽き. 淡綠褐色の小花を稍球狀に攢簇す。 花被內片は稍長く. 雄蕊は花被の半長なり。 果實は卵狀 3 稜錐形にして.花被より超出す。〔花色〕淡綠褐色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州·九州·琉球。

203 ひめかうがいぜきしやう　204 みくりぜきしやう

6589. ひめかうがいぜきしゃう (白圖-203) …… ヰ 科
Juncus bufonius, *L.*

〔形態〕平野の稍水濕に富める地に自生する一年生草本にして.莖高さ 6-12 糎 (3-4 寸) より 24-27 糎 (8-9 寸) に達し. 葉は細長なるも稍扁く.先端尖り.大小不同にして 3 縱列に排列し.莖と共に綠色或は淡黃色をなし.莖の基部は屢ば赤色を呈す。夏日蒼白色にして. 脊線綠色をなせる小花を凹形聚繖花序に排列し.1 乃至多數花を着生す。花被は 6 片より成り. 外花被片は鑿形.內片は銳形或は鈍形にして短く.雄蕊は 6 箇を具へ.花被片より短く.葯は概ね花絲と同じく.果實は卵狀 3 稜柱形をなす。〔花色〕蒼白色.脊線綠色。〔花候〕夏。〔分布〕樺太·千島·北海道·本州·九州。

6590. ほそかうがいぜきしゃう (32 圖版-307) …… ヰ 科
Juncus Fauriensis, *Buch.*

〔形態〕稍北地に自生する多年生草本にして. 莖は稍圓柱形をなし. 高さ 18-30 糎 (0·6-1 尺) 餘に達す。 脚葉は鱗狀をなして 2-3 箇を着生し.之に次ぐ 1-2 葉は尋常葉狀を呈し.莖より短く. 底耳は長橢圓形にして大形なり。頭花は 2-4 箇を抽出し.各 3-5 花を着生す。最下部の苞は花序より短く. 花は長さ 3 粍 (1 分) 許を有す。花被外片は披針形.銳頭をなし.內片は卵形.鈍頭にして廣白緣をなす。雄蕊は花被片より短く. 果實は橢圓狀錐形にして花被より遙かに超出す。〔花色〕淡綠色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

6591. みやまほそかうがいぜきしゃう …… ヰ 科
Juncus Fauriensis. *Buch.* var. kamtschatensis, *Buch.*

〔形態〕深山水濕地に多く自生する前種ホソカウガイゼキシャウの一變種にして.花は黑褐色を呈し.雄蕊は 6 箇を具へ.葯は卵形にして花絲より數倍長し。〔分布〕本州北部及中部。

6592. みくりぜきしゃう (白圖-204) …… ヰ 科
Juncus xiphioides, *E. Mey.* var. montanus, *Engelm.*

(異名) くろみくりぜきしゃう　〔形態〕北地の稍水濕ある地に自生する草本にして.莖は翼を具へ.2 稜形をなして高さ 45 糎 (1·5 尺) 內外に達す。葉は稍級形にして先端尖り.平行脈を有す。夏日上梢分叉し赤褐色又は帶黑褐色をなせる花を. 少數若しくは多數を圓錐花序に排列し.3 箇の花叢をなす。花被內片は往々短く.雄蕊は屢ば 3 箇を具ふ。〔花色〕赤褐色又帶黑褐色。〔花候〕夏。〔分布〕北海道·本州北部及中部。

301 いさゐ　302 みやまゐ　303 くさゐ　304 はなびぜきしやう　305 かうがいぜきしやう　306 たちかうがいぜきしやう　307 ほそばのかうがいぜきしやう　308 すずめのひね　309 みやますずめひね

6593. えぞのみくりせきしゃう …… キ　科
Juncus prominens, *Miyabe*. et *Kudo*.

（異名）せきしゃうる　〔形態〕寒地に自生する多年生草本にして.地下の匐枝は鱗片を被り横走す。莖は圓柱形にして.高さ 20-40 糎（0·7-1·3 尺）許に達し.下葉は鍼形. 莖葉は凹形をなして 1-2 葉を着生す。花は通常半球形をなせる 3 頭花を抽出し.各 6-10 花を着生して聚繖花序をなす。最下苞は花序より短く. 花は長さ 6 粍（2 分）許を有す。花被内片は長楕圓形にして.中部は肥厚し.黑褐色を呈し.外片は稍短楕圓形をなす。雄蕊は内片より短く.葯は花絲と稍同長なり。果實は 3 稜卵形にして. 花被より遙かに超出す。〔花色〕褐色.〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道。

2. スズメノヒエ屬 LUZULA.

6594. **すずめのひえ** 地楊梅 （32 圖版-308）…… キ　科
Luzula campestris, *DC*. var. capitata, *Miq*.

（異名）しばいも.すずめのやり　〔形態〕山林·原野又芝地等に自生多き多年生草本にして.早春球形をなせる根莖より莖葉を簇生し.高さ 9-30 糎（0·3-1 尺）許に達す。葉は線形にして.長毛緣をなし.徑 3-5·5 粍（1-1·8 分）許を有す。春夏の候.莖頂葉間より 15-18 糎（5-6 寸）の花軸を抽き.卵形又は分裂せる頭花を穗狀に綴る。花被片は披針形にして. 背面淡褐色を呈し蒼白色.膜質緣をなす。果實は花被と同長なり。 本種は地下に小形なる澱粉塊を有するを以てシバイモの異名ある所以なり。〔花色〕褐色。

〔花候〕春-夏。〔分布〕樺太·北海道·本州·四國·九州·小笠原島。

人生との關係 莖·葉·果實を共に煎服すれば.赤痢其他一般的下痢止劑として効あり。又種子を粉末とし糯米に交へて.煎餅を造るに用ふ。

6595. くもますずめのひえ …… キ　科
Luzula campestris. *DC*. var. debilis, *Vel*.

〔形態〕高山に自生するスズメノヒエの一變種にして.概形ミヤマスズメノヒエに酷似すれども.彼に比するに.花被の基脚は茶褐色にして.上部は白色膜質緣をなし.果實は花被片より遙かに短し。〔分布〕北海道·本州北部。

6596. やますずめのひえ …… キ　科
Luzula campestris, *DC*. var. intermedia, *Koidz*.

〔形態〕山地に自生するスズメノヒエの一變種にして.タカネスズメノヒエに比するに.頭花は廣楕圓形にして.花は彼より大きく.果實は花被より短く.苞は著大なり。〔分布〕樺太·本州北部及中部。

6597. たかねすずめのひえ …… キ　科
Luzula campestris, *DC*. var. pauciflora, *Buch*.

〔形態〕高山に自生するスズメノヒエの一變種にして.莖は疎に簇生し細長にして高さ 15-40 糎（0·5-1·3 尺）許に達す。葉は徑 1 粍（3 厘）より 3 粍（1 分）許を有し.緣邊に疎毛を生ず。頭花は球形にして 3-8 花を着生し. 複生花序を綴る.最下苞は花序より概ね短く. 花被片は同形にして.蒼白色緣をなし.果實は花被と稍同長なり。〔花色〕淡褐色。〔花候〕夏。〔分布〕本州北部及中部。

6598. **みやますずめのひえ** （32 圖版-309）…… キ　科
Luzula campestris, *DC*. var. sudetica, *Celak*.

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして.高さ 21-24 糎（7-8 寸）許ある細莖を抽き.白色の毛茸を有する細長き葉を互生し. 莖葉共に濃綠色又往々赤色を帶ぶ。7-8 月の候.梢頭に數梗を岐ち.殆んど球形をなせる 1-5 箇の頭花を小穗狀に綴り。スズメノヒエに比するに花序は小形にして其數多く花被片は彼の淡褐色なるに反し. 本種は黑色若しくは黑褐色を呈するを異りとす。頭花は概ね 5-8 花を着生し.最下苞は花序より長く. 花被片は概ね上部膜質緣をなし.內片は外片より短し.果實も亦黑色又は黑褐色を呈し.種子は倒卵形なり。〔花色〕黑色或は黑褐色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道本州北部及中部。

6599. ちしますずめのひえ …… キ　科
Luzula Kjellmannia, *Miyabe*. et *Kudo*.

〔形態〕千島に自生する多年生草本にして.根莖は短く.叢生す。莖は高さ 12-18 糎（4-6 寸）許に達し粗大なり。根葉は線形にして基脚長毛緣をなし長さ 4·5-15 糎（1·5-5 寸）許.莖葉は 2-3 箇を着生し.上葉は花序より超出す。頭花は小形にして 2-6 箇を着け.花は黑褐色をなして.長さ 3 粍（1 分）許を有す。最下苞は花序より長く.花被片は披針形にして. 上部は稍齒牙緣を有す。雄蕊は花被より半短く.葯は花絲と稍同長なり。〔花色〕黑褐色。

〔花候〕夏。〔分布〕千島。

6600. くもますずめのひえ …… キ　科
Luzula Wahlenbergii, *Rupr*.

〔形態〕高山に自生する多年生草本にして.莖高さ 15-24 糎（5-8 寸）許に達し.脾葉は徑 3 粍（1 分）許を有す。花枝は細長く往々彎曲し.花は相接して 3-4 箇を着生す。苞は細裂して毛緣をなし.花被片は黑褐色にして. 果實は概ね花被と同長なり。〔分布〕本州北部及中部。

6601. たいわんすずめのひえ …… キ　科
Luzula spicata. *DC*.

（異名）しますずめのひえ　〔形態〕高山乾地に自生する多年生草本にして.根莖は短く.莖高さ 21-24 糎（7-8 寸）に達す。葉は長毛緣をなし.長さ 3-6 糎（1-2 寸）.徑 1·5-4·5 粍（0·5-1·5 分）許。 脾葉は鈍頭にして.梢葉は鑿形をなす。穗狀花序は密生し.短形にして. 單生稀に分裂し.最下部の苞は花序より短し。花被片は披針形にして.黑褐色を呈し.先端膜質緣をなす。 雄蕊は花被より短く.果實は 3 稜球形をなし.黑褐色又は赤褐色を呈す。

〔花色〕黑褐色。〔花候〕夏。〔分布〕臺灣。

205 ぬかぼしさう　　206 みやまぬかぼしさう

6602. **ぬかぼしさう** （白圖-205）…… キ　科
Luzula plumosa. *E. Mey*.

〔形態〕本邦各地の山麓·原野に自生する草本にして.莖は細く且つ柔く高さ 6-9 糎（2-3 寸）より 30 糎（1 尺）內外に達し. 葉は廣綠形にして長毛緣をなす。4-5 月の候.梢頭に纖細なる花莖を抽き.時としては更に分岐して其頂に淡褐色の 1 小頭花を着け.概ね複生花序に排列す。花は隔離し.長さ 3 粍（1 分）强.花被片は卵狀披針形にして內片は微凸頭をなし. 葯は花絲より稍長く.果實は鋭頭なり。〔花色〕淡褐色。〔花候〕春。〔分布〕本州各部·九州。

6603. **みやまぬかぼしさう** （白圖-206）…… キ　科
Luzula rostrata, *Buch*.

〔形態〕 本州中部以北の山地に自生する草本にして. 莖葉共に綠色を呈す。莖は細長にして高さ 15-18 糎（5-6 寸）に達し. 葉は徑 3-6 粍（1-2 分）許を有す。花は纖細にして直生せる花莖の頂に着生し.茶褐色を呈し. 花序は複生なり。花被內片は遙かに長く.葯は花絲の半長. 果實は 3 稜錐形にして嘴頭をなす。〔花色〕茶褐色。〔花候〕夏。〔分布〕千島·北海道·本州北部及中部。

6604. にひたかぬかぼし …… キ　科
Luzula effusa, *Buch*.

〔形態〕高山乾地等に自生する草本にして.莖高さ 75 糎（2·5 尺）內外に達す。葉は長さ 12 糎（4 寸）. 徑 6-12 粍（2-4 分）許を有し. 緣邊に疎毛を生ず。花は長さ 1·8 糎（6 分）許を有し.蒼白色にして. 背面概ね帶綠色を呈し細長の花梗により複繖形花序を綴る。花被片は披針形にして. 內片は稍長く. 雄蕊は花被より. 又葯は花絲より共に稍短く.果實は廣卵狀 3 稜形をなす。〔花色〕蒼白色。〔花候〕初夏。〔分布〕臺灣。

6605. くろぼしさう …… キ　科
Luzula rufescens. *Fisch*.

〔形態〕邦內各地に自生する草本にして.全株淡綠色を呈し.莖は稍長く.高さ 9-18 糎（3-6 寸）に達し.基脚に暗褐色の鱗片葉を伴ひ.脚葉は長さ 7·5-9 糎（2·5-3 寸）.徑 1·8-4·5 粍（0·6-1·5 分）. 莖葉は長さ 3-6 糎（1-2 寸）に達し葉面·基脚毛緣をなす。花は淡黃色にして.背面赤褐色を呈し 長さ 0·9-3·9 糎

(0·3-1·3寸)許ある剛毛狀の花梗により.概ね單一なる繖形花序に排列す。果實は稍3稜卵形をなし.淡黃色を呈し.花被と同長なり。〔花色〕淡黃色。〔花候〕春-夏。〔分布〕邦內各地。

6606. みやまくろぼしさう……………………… キ　科
　　Luzula japonica. *Buch.*

〔形態〕本州中部地方の高山地帶に自生する草本にして.莖高さ15糎(5寸)許に達し.匐枝を曳き.葉は徑3-6粍(1-2分)許を有す。花序は概ね單一にして.花被片は細長く.先端鈍齒牙緣をなし.內花被片は長微凸頭をなす。〔花色〕淡褐色。〔花候〕夏。〔分布〕本州中部。

＊　＊　＊　＊　＊

(備考)

鐵砲百合の栽培法

百合の品種數は世界に於て我國最も惠まれ.約20餘の品種を數へ.其生產額も亦世界の主位を占む。百合は內地のみに於て觀賞用に供するのみならず.實に外國輸出品の一として.重要の位置を占むるものなり。而して輸出向として.其主なる品種は.鐵砲百合•白鹿子•紅鹿子•丸葉鹿子の4種なれども.就中鐵砲百合を第一とす。鐵砲百合には.普通鐵砲(雜種)•柳葉鐵砲(晚生種)•黑軸鐵砲の3種あれども.柳葉•黑軸の2種を主とす。

元來歐米各國に於て.「イースター」(基督蘇生祭)に鐵砲百合を大多數に需要する理由は.佛蘭西に於けるヨレハユリ(ハシロユリ)(Lilium Candidum, L.)が彼等の所謂聖母百合(Madonna Lily)として廣く獻花せられたるに初まれるものなれども.其主產地としては佛國の一小部と.北米「バムーダ」島なりしが.或る年「バムーダ」島の百合.非常なる萎縮病に罹り.其需要に應ずること能はず.且つ佛國の一部に產するもののみにては.勿論其の需要を充たすに充分ならざりしに.時恰も聖母百合に形容全く相似たる我鐵砲百合を.比較的廉價に.而も無病なるものを供給せしかば.俄然本邦產鐵砲百合の聲價を擧げ.其の輸出も逐年增加し.今や「バムーダ」島と共に其の主產地の位置を占むるに至りたるものなり。

以下輸出向鐵砲百合の品質•價格•販路等につき略記すべし。

品　質　輸出向の百合は1鱗莖1芽にして.能く緊縮せるものを主要條件とす。1鱗莖より2芽以上に分蘖せるものは「割れ球」と稱して之を忌む。通常黑軸種は15糎(5寸)より.他のものは18糎(6寸)以上の周圍あるを要す。

價　格　價格の標準は100箇を建とし.其鱗莖の周圍の大さによりて定む。即ち15糎(5寸)と稱するは.15糎(5寸)以上.18糎(6寸)未滿.18糎(6寸)と稱するは18糎(6寸)以上.21糎(7寸)未滿を稱し.且つ內地の商慣習上50箇につき1箇の數を加ふるものなり。

販　路　年々其販路を增し.其の額を增加する有樣にして.最近に於ける輸出先としては.北米合衆國•英本國を第一位とし.和蘭•獨逸•丁抹等之に次ぎ.英領加奈太•伊太利•佛蘭西其他歐米各國に盛に輸出せらる。

繁 殖 法

繁殖法には.木子分殖法•分蘖繁殖法•實蒔法•「ヘラザシ」法との4種あれども實蒔法と「ヘラザシ」法とは食用向の天蓋種に限り.普通は木子分殖法と分蘖繁殖法とによる。

木子分殖法　本法は鱗莖上部の地下莖の周圍に新生せる鱗莖.即ち地中芽を分離して植うるものにして.この新芽は初年のものを木子と稱し.一作したるものを2年生.更に一作したるものを3年生と稱し.通常3年乃至4年にして輸出品となすを得べし。

栽 培 法

百合は西南の暖地より.北海道に至るまで栽培し得れども.優良なるものは.寧ろ稍寒冷の地に適す。土質は排水佳良にして.常に適當なる水濕を含み.有機質に富める砂質壤土に最も適し.砂土にては發育佳良なるも鱗莖は稍粗糙なり。而して多濕に過ぐるときは立枯病の害多く.又此病害の爲めに.連作を避けざるべからざるに至るものなり。

植　付　土質と習慣とにより多少相違あれども.概して暖地にては10-11月の候.寒地にありては9-10月頃.何れも晴天の日を選び.畦幅60糎(2尺)內外とし.之に人糞尿に水を混じて稀薄にしたるものを施し.薄く間土をなし.方6-9糎(2-3寸).深さ1·8-2·1糎(6-7分)に植付け.其上に薄く土を覆ひて液肥を施し.莖葉の凋枯するに至りて掘り上ぐるものなり。

肥　料　基肥は.なるべく腐熟したるものを可とす。殊に油粕の如き醱酵し易きものを.其儘種球の下に施すべからず。補肥としては.發芽前1回人糞尿を施し.發芽後は中耕と共に第2回を施し.花蕾摘み取り後第3回を施すべし。

管　理　百合は莖葉の繁茂せざるものなれば.雜草生育し易く.從つて絕えず除草するの必要あり。殊に梅雨以前にありては.充分丁寧に除草し.梅雨中は可成畑中に入らざる樣にすること肝要なり。

百合は鱗莖の發育を主とするものなれば.花蕾の生じたるときは注意して.莖•葉を損傷せざる樣に摘除せざるべからず。花蕾は概ね7月頃に至り.莖上に生ずるものなるを以て.此時期に至れば.よく畑中を見廻はり.蕾の未だ青色にして僅かに其形を認め得る時に於て摘除するに努むべきなり。

收　穫　前に述べたるが如く.鱗莖の收穫は一般に莖・葉の凋枯したる頃を適期とし.掘り取りたる球の幹莖は全部鋏み切るべし。此際木子は幹付のまゝ數日間假植し置くか.日陰に並べて貯ふるものとす。

貯 藏 法　秋期直ちに販賣するものなれば.土間に並べ置くか.箱中に貯へ置くも可なれども.翌春まで貯藏の必要あるものは.窖又は箱•桶等に乾燥せる砂を布き.其の上に鱗莖を上向に並べ.又其の上に砂を覆ひ.交互に堆積して乾•濕度を失はざる樣に注意すれば可なり。鱗莖を日光に晒すときは.赤色に變じ.外觀甚だ惡しくなるものなれば.必ず砂中に埋め.必要に應じて之を取出すべきなり。

病　害　百今の病害は腐敗病なり。之を防除するには連作を避け.石灰を以て土壤消毒をなし.種球は「ボルドー液」又は鹽化石灰に數分間浸漬したる後.植付をなすを安全なりとす。

種百合の養成　種百合は地下莖に附着せる小鱗莖.或は珠芽より養成するを普通とす。掘り上げたる鱗莖の側に附着せる數箇の小鱗莖或は珠芽を選別し.10月末頃.之を1·8-2糎(6-7分)許の深さに千鳥形に1列に排列し.其上に覆土す。基肥として油粕•米糠•木灰等を施し.補肥として人糞尿の稀薄にしたのものを施し.翌年葉の凋枯したる後掘り上ぐ。斯くして1-2箇年間肥培し以て種球を養成するものとす。

觀賞用としての鐵砲百合の栽培法　觀賞用として栽培するには.先づ第一着手として.移植の約1箇月以前に.豫め木葉•麥稈等の腐熟したるものを混合したる土3分と.砂土及木灰の粉末7分とを混合したる肥土を造り置き.鱗莖の發を待ちて鉢に植込をなす。

植込には豫め造りたる土を鉢の最下部に薄く布き.其の中へ鱗莖を並べ.周圍に普通の壤土を撒布したる後.前に作りたる肥土にて包むべし。而して.其上層に肥料を施すことは.莖•葉の充分に發育したる後にするを可とす。

內外植物原色大圖鑑 第九卷
終

第九卷總索引

ア

アヲカウガイ …… 142
アヲサギサウ …… 24
アヲスズラン …… 16
アヲチドリ …… 39
アヲテンマ …… 19
アヲトンボ …… 24
アヲノクマタケラン …… 54
アヲノリユウゼツラン …… 81
アヲフタバラン …… 28
アヲモヂズリ …… 40
アヲヤギサウ …… 136
アカクラエビネ …… 5
アカヌマラン …… 27
アカネイリス …… 65
アカネズキセン …… 66
アカバナクンシラン …… 82
アカバナダンドク …… 50
アカバナトリトマ …… 120
アカヒメユリ …… 90
アカメソシン …… 11
アキアサヒラン …… 27
アキタネギ …… 98
アケボノシユスラン …… 20
アサギズキセン …… 66
アサギノヒトヘズキセン …… 81
アサツキ …… 101
アサヒエビネ …… 6
アサヒゴテフ …… 35
アサヒラン …… 2
アサマクワンザウ …… 117
アサマサウ …… 16
アツバセンネンボクラン …… 110
アツモリサウ …… 12
アフギバセウ …… 59
アフヒボクロ …… 32
アフミシヤウガ …… 53
アマゾンリリー …… 82
アマドコロ …… 127
アマナ …… 135
アマリリス …… 82
アマリリス …… 85
アミガサユリ …… 113
アヤメ …… 60
アヤメ科 …… 60
アリドホシラン …… 31
アメリカダンドク …… 50
アリマサウ …… 16
アリマラン …… 2
アルマン …… 6
アントリザ …… 65

イ・ヰ

ヰ …… 140
イイヌマムカゴ …… 36
イエロー・グローヴ・ダンヴアース …… 100
イエロー・スキン …… 101
イエロー・ダンヴアース …… 100
イエロー・トランペツト …… 81
イガイモ …… 74
イキシオリリオン・モンタヌム …… 86
ヰグサ …… 140
ヰ　科 …… 140
ヰズヰ …… 127
ヰゼキシヤウ …… 142
イソノナミ …… 61
イチエフコラン …… 31
イチエフチドリ …… 24
イチエフラン …… 2
イチエフラン …… 15
イチゲイチエフラン …… 15
イチネンイモ …… 74
イチハツ …… 62
イツポンネギ …… 100
イテフイモ …… 74
イトヰ …… 141
イトウエビネ …… 7
イトウセキコク …… 16
イトザキズヰセン …… 81
イトバセウ …… 58
イトヒキサギサウ …… 24
イトラン …… 136
イヌヰ …… 141
イヌサフラン …… 110
イヌサンキライ …… 133
イノゲラン …… 66
イハキチドリ …… 1
イハギバウシ …… 119
イハシヤウブ …… 133
イハゼキシヤウ …… 133
イハチドリ …… 23
イハツキネギ …… 98
イハユリ …… 93
イハラン …… 2
イブキチドリ …… 23
イブキワニグチサウ …… 128
イボクサアヤメ …… 69
イリモテラン …… 7
インデアン・シヨツト …… 49
インドアツモリサウ …… 12
インドハマユウ …… 82

ウ

ヴアニラ …… 40
ヴアロタ・プルプレア …… 86
ヴイクトリア …… 81
ウケユリ …… 94
ウコン …… 54
ウスゴ …… 57
ウスフヂイロアマナ …… 123
ウスベニゴテフ …… 31
ウチハドコロ …… 74
ウツコンカウ …… 135
ウテフラン …… 2
ウバユリ …… 97
ウラベニセウ …… 6
ウルイ …… 118
ウンバイロ …… 97

エ・ヱ

エイザンユリ …… 89
エゾイトヰ …… 141
エゾウバユリ …… 97
エゾエビネ …… 6
エゾクワンザウ …… 117
エゾスカシユリ …… 93
エゾスズラン …… 16
エゾネギ …… 101
エゾノクマガイサウ …… 12
エゾノソクシンラン …… 97
エゾノミクリゼキシヤウ …… 145
エゾホソヰ …… 141
エゾラツキヨウ …… 105
ヱダウチチゴユリ …… 113
エドイモ …… 74
エドドコロ …… 74
エビネ …… 5
エヒメアヤメ …… 61
ヱミグサ …… 127
エンプレス …… 81
エンペラー …… 81
エンレイサウ …… 135

オ・ヲ

オキナグサ …… 120
オキナハチドリ …… 23
オキナハテツパウユリ …… 90
ヲクラ …… 2
ヲサラン …… 19
オニクワンザウ …… 117
オニドコロ …… 74
オニナユリ …… 94
オニノヤガラ …… 19
オニユリ …… 89
ヲノヘラン …… 2
オブバラリス …… 81
オホアマドコロ …… 127
オホアマナ …… 124
オホイヌヰ …… 141
オホウバユリ …… 97
オホヲサラン …… 19
オホキバナアツモリサウ …… 12
オホキンバイザサ …… 82
オホクマタケラン …… 54
オホシユスラン …… 23
オホセンバウ …… 82
オホチゴユリ …… 113
オホツクバネサウ …… 124
オホトリトマ …… 120
オホニガイモ …… 74
オホニラ …… 101
オホネギ …… 100
オホネブカ …… 100
オホハウチヤクサウ …… 113
オホバキソチドリ …… 36
オホバギバウシ …… 118
オホバジヤノヒゲ …… 124

第九卷總索引

オホバセンバウ……82
オホバタケシマラン……133
オホバナクンシラン……82
オホバナセキコク……16
オホバナノエンレイサウ……135
オホバノカンラン……8
オホバノトンボサウ……36
オホバノヤウラクラン……32
オホバハナゼキシヤウ……133
オホバユキザサ……128
オホビル……105
オホフタバラン……28
オホマツユキサウ……85
オホマヒヅルサウ……123
オホミヅトンボ……24
オホムカデラン……39
オホヤマサギザウ……36
オモト……128
オランダアヤメ……61
オランダキジカクシ……106
オランダズキセン……85
オランダダンドク……49
オランダネギ……100
オリヅルラン……109
オルニソガルム・アラビクム……124

カ

カウガイゼキシヤウ……142
カウキセキコク……16
カウスゲ……117
カウモリドコロ……74
カガユリ……113
カキツバタ……62
カキラン……16
カグラザサ……113
カゴメラン……20
カサユリ……94
カシノキラン……39
カシユウイモ……74
ガジユツ……57
カスガノ……61
カタカゴ……113
カタクリ……113
カタグリ……113
カタコユリ……113
カタバナ……113
カタユリ……113
カツトレヤ・モツシエー……7
カノコユリ……94
カバスカシユリ……93
カバユリ……97
カヘデドコロ……74
カマヤマシヤウブ……62
カメモサウ……24
カモメラン……23
カモメラン……24
カヤシヤウガ……53
カヤラン……40
カラスノススキ……106
カラスバサンキライ……133
カラスユリ……127
カラフトアツモリサウ……12
カラフトキシヤウブ……62
カラフトスズラン……16
カラフトホソヰ……141
カラフトラツキヨウ……105
ガランガ……57
カリギ……98
ガンセウラン……8
ガンゼキラン……35
カンタラ……81
カンナ・ヒーブリダ……50
カンボウラン……12
カンラン……8
カンランズキセン……81

キ

キイルンヤマノイモ……73
キエビネ……6
キキヤウラン……110
キクバドコロ……74
キサンラン……16
キジカクシ……109
キシヤウガ……53
キシヤウブ……62
キズキセン……81
キスカシ……93
キスゲ……117
キソエビネ……5
キツチドリ……36
キゾメグサ……54
キダチロクワイ……105
キチジヤウサウ……128
キツネノヲ……123
キツネノカミソリ……78
キトビル……105
キヌガササウ……127
キネイモ……74
ギバ……118
ギバウシ……118
ギバウシズキセン……82
ギバウシユ……118
キバナアツモリサウ……12
キバナアマナ……114
キバナサフラン……66
キバナタウチクラン……113
キバナダルマヒアフギ……65
キバナチゴユリ……113
キバナテウセンカサユリ……94
キバナノオニユリ……89
キバナキキヤウラン……110
キバナノギヤウジヤニンニク……105
キバナノセキコク……15
キバナノダンドク……50
キバナノヒメユリ……90
キバナノホトトギス……134
キバナユリズキセン……81
キヒメユリ……90
キフクリンタウギバウシ……119
ギボ……118
ギボシ……118
キホトトギス……134
キミカゲサウ……110
ギヤウジヤニンニク……105
キヤウワウ……57
ギヨクチンラン……11
キリシマエビネ……6
キリシマサウ……45
キリシマシヤクヂヤウ……45
ギンエフセンネンサウ……113
キンカキツバタ……62
キンギンサウ……23
キング・アルフレツド……81
キンケイラン……35
キンセイエビネ……6
キンセイラン……6
キンチヤクイモ……74
キントキ……53
キンバイザサ……82
キンブセン……93
キンヤウラク……7
キンラン……16
ギンラン……16
キンリヨウヘン……11

ク

クサアダン……106
クサキ……142
クサスギカヅラ……106
クサナギカヅラ……106
クシロチドリ……27
クジヤウネギ……98
クズウコン……46
クズウコン科……46
クチベニズキセン……81
クマガイサウ……12
クマタケラン……54
クモキリサウ……27
クモチリサウ……27
クモマスズメノヒエ……145
クモラン……23
クモラン……40
クリムソンカツプ・イキシヤ……69
クルマアヤメ……60
クルマバツクバネサウ……124
クルマユリ……94
クロギバウシ……119
クロークス・ヴエルシカラー……66
クロークス・ヴエルナス……66
クロークス・サチヴス……66
クロークス・スペシオサス……66
クロークス・ヌデイフローラス……66
クロークス・ビフロラス……66
クロークス・メーシアクス……66
クロークス・モエシアクス……66
クロバナギバウシ……118
クロボシオホアマナ……124
クロボシサウ……145
クロミクリゼキシヤウ……142
クロミノイハゼキシヤウ……133
クロムスカリ……123
クロユリ……114
クワクラン……35

第九卷總索引

クワラン……7
クワンザウ……117
クンシラン……82
グンバイドコロ……74

ケ

ケイシヤウラン……11
ケイショウウイ……61
ケイビラン……97
ケイモ……74
ケツカカウ……85
ケツタウ……54
ケユリ……93

コ

コアツモリサウ……12
コアヤメ……60
コイチエフラン……16
コウチク……110
コウトウアバカ……59
コウトウクマタケラン……46
コウトウバセウ……59
コオニユリ……90
コカキツバタ……62
コギバウシ……118
コキンバイザサ……85
ゴクラクバナ……59
コクラン……28
コケイラン……32
ココリン……11
コテフセキコク……15
コテフラン……2
コナルコユリ……127
コバイケイサウ……136
コバイモ……114
コハウチヤクサウ……113
コバギバウシ……117
コバナアヤメ……70
コバノトンボサウ……36
コバラン……8
コバンドコロ……74
コヒゲ……141
コヒメユリ……90
コフキギバウシ……119
コブシイモ……74
コフタバラン……28
コホロギラン……40
コマユリ……90
コヤスグサ……62
コラン……5
コラン……8
コルシクム……110
ゴールデン・スパー……81
コンリンザイ……11

サ

サイカチバラ……130
サイコクバラ……130
サイザルアサ……81
サイザルサウ……81
サイハイラン……8
サウチク……109
サカネラン……31
サガミラン……12
サギサウ……24
サクユリ……94
ササエビネ……32
ササガニユリ……86
ササニンドウ……110
ササバギンラン……19
ササバサンキライ……130
ササユリ……93
ササバラン……27
サジギバウシ……118
サトウヅラ……23
サハトンボ……24
サハラン……2
サフラン……66
サフランモドキ……86
サボテンセキコク……16
ザマノモリ……61
サユリ……93
サルカキ……130
サルカキイバラ……130
サルサバリルラ……130
サルトリイバラ……130
サルマメ……130
サルメンエビネ……6
サレツブ……2
サンガイネギ……100
サンカクニラ……105
サンキラヒ……130
サンダイガサ……128

シ

ジガバチサウ……28
シカフラン……7
シカンラン……8
シケイ……5
シシノハバキ……136
シタマガリ……78
シデラン……5
シナクワンザウ……117
シナシヤウガ……53
シナダンドク……50
シナラツキヨウ……101
ジネンジヤウ……73
シノブバハキ……106
シハイヒメバセウ……46
シバイモ……145
シビトバナ……78
シブリペデユーム・カロスム・サンデリー……15
シブリペデユーム・ピツチエリアヌム……15
シホデ……130
シボリイリス……65
シボリノナツスカシ……93
シマクモキリサウ……72
シマサキラン……8
シマササバラン……27
シマシユスラン……20
シマスズメノヒエ……145
シマセンネンサウ……113
シマツレサギ……35
シマホウサイ……11
シマモクコク……16
シマラン……12
シメイノアキ……62
シモニタネギ……100
シモニダネギ……98
シヤウガ……50
シヤウガ科……50
シヤウジヤウバカマ……114
シヤウジヤウラン……39
ジヤウジユウダイ……93
ジヤウラウホトトギス……134
シヤガ……62
ジヤカウサギ……36
ジヤカウチドリ……36
ジヤガタラズキセン……85
ジヤガタラユリ……85
シヤグマユリ……120
ジヤノヒゲ……123
シヤボンロクワイ……106
ジユウダイユリ……93
シユクシヤ……57
シユスラン……20
ジユマウラン……136
シユロサウ……136
シユンラン……11
ショウイー・リリー……94
ショウキラン……45
ショウキラン……78
ショウデ……130
シライトサウ……109
シラタマユリ……94
シラネヰ……142
シラネチドリ……1
シラヤマアフヒ……123
シラン……5
ジラン……11
シルレルコテフラン……35
シロアヤメ……60
シロウコン……57
シロウマアサツキ……101
シロウマチドリ……36
シロカキツバタ……62
シロカノコユリ……94
シロシヤクヂヤウ……45
シロタヘセキコク……15
シロテンマ……20
シロバナアツモリサウ……12
シロバナイリス……65
シロバナエンレイサウ……135
シロバナオホバジヤノヒゲ……124
シロバナシヤウジヤウバカマ……117
シロバナシラン……5
シロバナタマムラサキ……105
シロバナダンドク……50
シロバナネヂバナ……39

シロバナハクサンチドリ …… 1
シロバナホトトギス …… 134
シロバナマンジユシヤケ …… 78
シロバナミヅギバウシ …… 118
シロバナヤブラン …… 120
シロヒアフギズキセン …… 70
シンコバナ …… 37
シンソウカジン …… 61
ジンバイサウ …… 36

ス

スキセン …… 78
スキセンアヤメ …… 70
スカシユリ …… 93
スゲユリ …… 90
スゲユリ …… 94
スズムシサウ …… 27
スズメノヒエ …… 145
スズメノヤリ …… 145
スズメラン …… 32
スズラン …… 16
スズラン …… 110
スヂギバウシ …… 118
スヂクワンザウ …… 117
スヂテツバウユリ …… 90
ステゴビル …… 105
スパニツシユ・アイリス …… 60
スペインアヤメ …… 60
スルガラン …… 11

セ

セイカンラン …… 8
セイタカスズムシ …… 28
セイタカミバセウ …… 58
セイヤウアマナ …… 109
セイヤウアマナ …… 123
セイヤウスズラン …… 110
セウヅク …… 57
セキコク …… 15
セキシヤウキ …… 145
セキラン …… 2
セツテイクワ …… 117
ゼブラサウ …… 46
ゼンジヤウ …… 105
センジユネギ …… 98
ゼンテイクワ …… 117
センネンサウ …… 110
センネンボク …… 110
センネンボクラン …… 110
ゼンブ …… 74
センブキ …… 101
センボンワケギ …… 101

ソ

ソクシンラン …… 97
ソシンラン …… 11
ソノエビネ …… 6

タ

ダイコクイモ …… 74
ダイサギサウ …… 24
ダイジヨ …… 74
タイヘイラク …… 16
タイリンゲツタウ …… 54
タイリンコクラン …… 28
タイワウラン …… 19
ダイワウラン …… 40
タイワンシヤクヂヤウ …… 45
タイワンスズメノヒエ …… 145
タイワンノギラン …… 97
タイワンバセウ …… 59
タイワンハマオモト …… 82
タイワンヒメユリ …… 90
タイワンメウガ …… 54
タイワンモクコク …… 16
タイワンユリ …… 90
タウアダン …… 106
タウギバウシ …… 118
タウシヤウブ …… 69
タウチクラン …… 113
タウチサウ …… 110
タウネギ …… 100
タウロクワイ …… 105
タカヲジヤノヒゲ …… 124
タカクマホトトギス …… 134
タカサゴユリ …… 90
タカツルラン …… 19
タカネアヲヤギサウ …… 136
タカネキ …… 141
タカネサギサウ …… 36
タカネシユスラン …… 20
タカネスズメノヒエ …… 145
タカネトンボ …… 35
タカネフタバラン …… 28
タカノハ …… 27
タケシマユリ …… 93
タケシマラン …… 133
タシロイモ …… 77
タシロイモ科 …… 77
タタミガラカザ …… 120
タチアフヒ …… 135
タチカウガイゼキシヤウ …… 142
タチギバウシ …… 118
タチシホデ …… 130
タチテンモンドウ …… 106
タチドコロ …… 74
タチビヤクブ …… 139
ダツチ・アイリス …… 61
ダツチ・クロークス …… 66
タニマノヒメユリ …… 110
タビビトノキ …… 59
タマキ …… 140
タマカウガイゼキシヤウ …… 142
タマガハホトトギス …… 134
タマスダレ …… 86
タマネギ …… 100
タマノカンザシ …… 118
タマバハキ …… 109
タマビヤクブ …… 140
タマブキ …… 100
タマムラサキ …… 105
タメトモユリ …… 90
タモトユリ …… 94
ダルマヒアフギ …… 65
タレユエサウ …… 61
ダンドク …… 49
ダンドク科 …… 49

チ

チクカクラン …… 28
チクケイラン …… 28
チグリジヤ …… 70
チケイラン …… 28
チゴユリ …… 113
チシマアヲチドリ …… 39
チシマアマナ …… 120
チシマスズメヒエ …… 145
チシマゼキシヤウ …… 133
チシマラツキヨウ …… 105
チトセラン …… 128
チドリサウ …… 23
チ　モ …… 106
チモト …… 101
チヤイロヤウラクラン …… 8
チヤウジユラン …… 11
チヤボゼキシヤウ …… 133
チヤボホトトギス …… 134
チユウリツプ …… 135
チヨゴテフ …… 35

ツ

ツクイモ …… 74
ツクシアリドホシラン …… 31
ツクネイモ …… 74
ツクバネサウ …… 124
ツチアケビ …… 19
ツバメオモト …… 110
ツバメズキセン …… 85
ツリガネオモト …… 114
ツリシユスラン …… 20
ツリフネラン …… 7
ツルカメサウ …… 77
ツルギノマヒ …… 61
ツルツチアケビ …… 19
ツルビヤクブ …… 139
ツルボ …… 128
ツルラン …… 7
ツレサギサウ …… 33

テ

テウセンカサユリ …… 94

テウセンキバナアツモリサウ …… 12
テガタチドリ …… 23
テツコツソシン …… 11
テツバウユリ …… 90
テンガイバナ …… 78
テンガイユリ …… 114
テンマ …… 19
テンモンドウ …… 106

ト

トイモ …… 74
トウシンサウ …… 140
トキサウ …… 39
トキハラン …… 12
トクサラン …… 6
トクダマ …… 119
トケンラン …… 8
トツクリラン …… 123
トナカイサウ …… 128
トヨシマラン …… 23
トラノヲラン …… 128
トラフスズメ …… 32
トラフヒメバセウ …… 46
トラフユリ …… 70
トラユリ …… 70
トレクレイトラン …… 139
ドロキ …… 142
ドンドバナ …… 62

ナ

ナガイモ …… 73
ナカテシヤウガ …… 53
ナガドコロ …… 74
ナガバアマドコロ …… 127
ナガバナウヅラ …… 23
ナガバノムカゴサウ …… 27
ナガバミヅギバウシ …… 118
ナーガルブルーム …… 69
ナギイカダ …… 128
ナギラン …… 11
ナゴラン …… 2
ナツエビネ …… 6
ナツズキセン …… 78
ナツスカシユリ …… 93
ナベワリ …… 140
ナリイモ …… 74
ナルコユリ …… 127
ナンキンアヤメ …… 60

ニ

ニウサイラン …… 127
ニウジイラン …… 127
ニウジイランドアサ …… 127
ニウメンラン …… 7
ニガガシユウ …… 74
ニツクワウキスゲ …… 117
ニツクワウチドリ …… 39
ニニク …… 105
ニハシロユリ …… 93
ニハゼキシヤウ …… 70
ニヒタカイトキ …… 141
ニヒタカヌカボシ …… 145
ニホヒイリス …… 65
ニホヒシヤウブ …… 65
ニホヒシユロラン …… 110
ニホヒユリ …… 94
ニヨウホウチドリ …… 2
ニ　ラ …… 105
ニラネギ …… 100
ニラバラン …… 31
ニンニク …… 105

ヌ

ヌカゴサウ …… 27
ヌカボシサウ …… 145
ヌスビトノアシ …… 19

ネ

ネ　ギ …… 98
ネズミユリ …… 97
ネヂアヤメ …… 60
ネヂキ …… 141
ネヂバナ …… 39
ネヂバリン …… 60
ネツタイラン …… 40
ネバリノギラン …… 97
ネブカ …… 98
ネブカフトネギ …… 98

ノ

ノギラン …… 123
ノクワンザウ …… 117
ノシラン …… 124
ノハナシヤウブ …… 62
ノビネチドリ …… 36
ノヒメユリ …… 90
ノビル …… 105

ハ

バイケサウ …… 136
バイケイラン …… 8
バイモ …… 113
ハクサンチドリ …… 1
ハクサンラン …… 19
ハクラン …… 11
ハジカミ …… 50
ハズミダマ …… 123
バセウ …… 58
バセウ科 …… 58
ハチヂヤウギバウシ …… 118
ハチヂヤウシユスラン …… 20
ハチヂヤウツレサギ …… 36
ハツクリ …… 8
バツコクラン …… 19
ハツシモ …… 61
ハツヒノデラン …… 7
ハツユリ …… 113
ハナアヤメ …… 60
ハナサフラン …… 66
ハナシヤウガ …… 53
ハナシヤウブ …… 61
ハナスゲ …… 106
ハナゼキシヤウ …… 133
バナナ …… 58
ハナニラ …… 109
ハナビゼキシヤウ …… 142
ハナビムヌカリ …… 123
ハナボウラン …… 40
ハナホトトギス …… 134
ハナメウガ …… 54
ハナラン …… 82
ハネヒメズキセン …… 123
ハネムスカリ …… 123
ハハクリ …… 113
ハヒカウガイゼキシヤウ …… 142
バビアナ …… 65
ハマキ …… 141
ハマオモト …… 82
ハマモメン …… 82
ハマユウ …… 82
ハラン …… 109
バラン …… 109
ハリカウガイゼキシヤウ …… 142
バリン …… 60
ハルウコン …… 57
ハルサフラン …… 66
ハルスカシユリ …… 93
ハルホウラン …… 12
ハルユリ …… 113
バレン …… 60
バレン …… 109
バンウコン …… 57
バンカジユツ …… 57
バンクラチウム・イリリクム …… 86
バンクラチウム・スペシオサム …… 86
バンサンジコ …… 66
バンダイハ …… 61
ハンボノカウ …… 62

ヒ

ヒアフギ …… 65
ヒアフギアヤメ …… 61
ヒアフギズキセン …… 70
ヒアフギモドキ …… 61
ヒアフギラン …… 32
ヒガンバナ …… 78
ヒガンバナ科 …… 78
ヒゲサギサウ …… 24
ビジンセウ …… 58

ヒスキラン ……40
ヒダリマキ ……39
ピツキ ……66
ヒトツボクロ ……40
ヒトハラン ……15
ヒトモジ ……98
ヒナアヤメ ……61
ヒナゴテフ ……35
ヒナタウシヤウブ ……69
ヒナチドリ ……23
ヒナノシヤクヂヤウ ……45
ヒナノシヤクヂヤウ科 ……45
ヒナバセウ ……58
ヒナユリ ……109
ヒナラン ……23
ヒノデラン ……7
ヒメアマドコロ ……127
ヒメアマナ ……105
ヒメアマナ ……114
ヒメキ ……141
ヒメキズキ ……127
ヒメイハシヤウブ ……133
ヒメイハラン ……23
ヒメカウガイゼキシヤウ ……142
ヒメカカラ ……130
ヒメクワンザウ ……117
ヒメケイラン ……32
ヒメゴテフ ……35
ヒメサユリ ……94
ヒメサルトリ ……130
ヒメシヤガ ……65
ヒメシヤグマユリ ……120
ヒメスズムシサウ ……27
ヒメスズメラン ……32
ヒメタウシヤウブ ……70
ヒメタケシマラン ……133
ヒメツリガネズキセン ……128
ヒメテンマ ……20
ヒメトケンラン ……40
ヒメドコロ ……74
ヒメナベワリ ……140
ヒメナルコユリ ……127
ヒメニラ ……105
ヒメノヤガラ ……20
ヒメバセウ ……58
ヒメヒアフギズキセン ……70
ヒメヒガンバナ ……85
ヒメヒトハラン ……15
ヒメビル ……105
ヒメフタバラン ……28
ヒメホテイラン ……7
ヒメミヤマウヅラ ……23
ヒメムエフラン ……32
ヒメヤブラン ……120
ヒメユリ ……90
ビヤクギフ ……5
ビヤクブ ……139
ビヤクブ科 ……139
ヒヤシンス ……119
ヒヤシンス・アメシスチナス ……119
ヒヤシンス・オリエンタリス ……119
ヒヤシンス・ローマナス ……119
ヒラキ ……141
ビラウドラン ……20
ヒラトユリ ……93
ヒル ……105
ヒロハオリヅルラン ……109
ヒロハノアマナ ……135
ヒロバノカウガイゼキシヤウ ……142
ヒロバムギグワキ ……135
ヒロハヤマユリ ……89
ヒロハユキザサ ……128

フ

フイリウヅラ ……23
フイリクマタケラン ……54
フキリツピンナゴラン ……2
フイリヒメバセウ ……46
フイリメウガ ……54
フイリロクワイ ……105
フウラン ……2
フクリンササユリ ……94
フクリンシラン ……5
フクリンチトセラン ……128
フシナシヲサラン ……19
フタバイロマランタ ……46
フタツバグサ ……28
フタツバラン ……28
フタバナイチエフラン ……24
フタバラン ……28
フタモジ ……105
フヂセキコク ……15
フチベニホウサイラン ……11
フナシミヤマウヅラ ……23
フユキ ……100
フユネギ ……100
プライズ・テーカー ……101
フランスユリ ……93
フリージヤ ……66
フリージヤ・アームストロンギー ……69
フリージヤ・レフラクタ・ピユーリチイー ……69
ブンダイユリ ……113

ヘ

ヘウモンラン ……40
ベニカンラン ……8
ベニクワンザウ ……117
ベニシマセンネンサウ ……110
ベニシユスラン ……20
ベニスヂサンジコ ……85
ベンケイイモ ……74

ホ

ホウコトウオモト ……128
ホウサイラン ……11
ボウセキコク ……16
ホウチヤクサウ ……113
ホウメイラン ……11
ホウライウヅラ ……23
ホウライジユリ ……89
ホウラン ……12
ボウラン ……31
ホクロ ……11
ホザキイチエフラン ……31
ホザキヲサラン ……19
ホザキシヤウガ ……57
ホシケイ ……35
ホシケイラン ……35
ホシセネンサウ ……113
ホシチドリ ……32
ボスメン ……66
ホソキ ……141
ホソカウガイゼキシヤウ ……142
ホソガタサンキライ ……130
ホソバオホアマナ ……124
ホソバオホハマニラ ……124
ホソバキジカクシ ……109
ホソバクモキリサウ ……27
ホソバシユロサウ ……130
ホソバセンネンサウ ……110
ホソバダンドク ……49
ホソバテツバウユリ ……90
ホソバナコバイモ ……114
ホソバナルコユリ ……127
ホソバノアマナ ……120
ホソバノカウガイゼキシヤウ ……142
ホソバノキソチドリ ……39
ホソバハウチヤクサウ ……113
ボタンズキセン ……81
ホテイサウ ……12
ホテイラン ……7
ポテト・オニオン ……101
ホトトギス ……134
ホドヅラ ……139
ホロ ……100
ホワイト・トランペツト ……81
ホワイト・ボルチユガル ……101
ホワイト・ワツトソニア ……73
ホンクワンザウ ……117
ホンシロズキセン ……81
ホンワスレグサ ……117

マ

マヲラン ……127
マシロラン ……8
マツカゼ ……62
マツノハラン ……27
マツノユキ ……85
マツバウド ……106
マツユキサウ ……85
マドンナ・リリー ……93
マナヅル ……61
マニラアサ ……59
マニライトバセウ ……59
マニラコテフラン ……35
マヒコノハマ ……62
マヒヅルサウ ……123
マヒヅルラン ……31
マメヅタラン ……5
マメラン ……5

マランタ ……46
マルドコロ ……74
マルバカノコユリ ……94
マルバサンキライ ……130
マルバドコロ ……74
マンジユシヤケ ……78
マンネンネギ ……100
マンネンラン ……81

ミ

ミクリゼキシヤウ ……142
ミチノクヒメユリ ……90
ミヅキ ……142
ミヅギバウシ ……118
ミヅスゲ ……117
ミヅチドリ ……36
ミヅトンボ ……24
ミツバザサ ……128
ミツバタチシホデ ……130
ミツバドコロ ……74
ミツバナキ ……141
ミヅモラン ……36
ミドリバハキ ……106
ミドリユキザサ ……128
ミバゼウ ……58
ミヤマアツモリサウ ……12
ミヤマキ ……141
ミヤマウヅラ ……23
ミヤマエンレイサウ ……135
ミヤマクロボシサウ ……146
ミヤマコクラン ……28
ミヤマシユスラン ……2
ミヤマスズメノヒエ ……145
ミヤマチドリ ……39
ミヤマナルコユリ ……127
ミヤマヌカボシサウ ……145
ミヤマフタバラン ……28
ミヤマホソカウガイゼキシヤウ ……142
ミヤマムギラン ……5
ミヤマモヂズリ ……24
ミヤマラツキヨウ ……105

ム

ムエフラン ……27
ムカゴサイシン ……32
ムカゴサウ ……27
ムカゴトンボ ……24
ムカデラン ……39
ムギグワキ ……135
ムギラン ……5
ムシトリゼキシヤウ ……133
ムスカリ・バーレンス ……125
ムラサキアサヒラン ……27
ムラサキイリス ……65
ムラサキエンレイサウ ……135
ムラサキクンシラン ……97
ムラサキサフラン ……66
ムラサキセンネンサウ ……110
ムラサキハナニラ ……109
ムラサキビル ……105
ムラサキフタバラン ……28
ムラサメ ……62
ムレスズメラン ……32

メ

メウガ ……53
メカ ……53
メラン ……11

モ

モクコクラン ……16
モヂズリ ……39
モミヂドコロ ……74
モミヂノタキ ……61
モミヂラン ……32
モンイキシヤ ……69
モンエフセウ ……46
モントブチア ……70

ヤ

ヤウラクラン ……32
ヤキバラン ……11
ヤグラネギ ……100
ヤクシマケイビラン ……97
ヤクシマシユスラン ……20
ヤクシマチドリ ……39
ヤクシマチヤボゼキシヤウ ……133
ヤチラン ……31
ヤナギバハキ ……106
ヤバネヒメバセウ ……46
ヤブエビネ ……5
ヤブクワンザウ ……117
ヤブラン ……120
ヤヘクワンザウ ……117
ヤヘテンガイ ……90
ヤヘノラツバズキセン ……81
ヤヘヤマクマガエサウ ……32
ヤヘヤヲシヤクヂヤウ ……45
ヤマイバラ ……130
ヤマカシユウ ……130
ヤマサギサウ ……36
ヤマシ ……106
ヤマシヤウブ ……62
ヤマシヤクジヤウ ……19
ヤマスズメノヒエ ……145
ヤマタウガラシ ……19
ヤマタウガラシ ……45
ヤマヂノホトトギス ……134
ヤマトキサウ ……39
ヤマトコロ ……106
ヤマナルコユリ ……127
ヤマニラ ……105
ヤマノイモ ……73
ヤマノイモ科 ……73
ヤマバセウ ……59
ヤマビル ……105
ヤマホトトギス ……134
ヤマラツキヨウ ……105
ヤマユリ ……89
ヤマラン ……11

ユ

ユリグルマ ……114
ユキゲユリ ……97
ユキザサ ……128
ユキノハナ ……85
ユフスゲ ……117
ユリ科 ……86
ユリズキセン ……81
ユルシノイロ ……61

ヨ

ヨコグラツクバネ ……124
ヨゴレカンラン ……8
ヨシノキスゲ ……117
ヨシノユリ ……89
ヨレハユリ ……93

ラ

ラクダイモ ……74
ラーヂ・レツド・ウエザース・フイールド ……100
ラツキヨウ ……101
ラツキヨウアヤメ ……60
ラツバズキセン ……81
ララン ……11
ラン科 ……1
ランテンマ ……45

リ

リウキウエビネ ……7
リウキウシユスラン ……20
リウキウセキコク ……19
リウキウバセウ ……58
リウキウヒナラン ……23
リウキウヤブラン ……120
リウキウボウラン ……31
リウキウユリ ……90
リーキ ……100
リシリキ ……141
リユウゼツサウ ……81
リユウゼツラン ……81
リユウノヒゲ ……123

第九卷總索引

ル

ルリシヤクヂヤウ……45
ルリムスカリ……123

レ

レウリユリ……89

ロ

ロクワイ……105

ワ

ワウクワンサウ……114
ワウセイ……127
ワウラン……1[illegible]
ワケギ……100
ワシノヲ……62
ワスレグサ……117
ワセシヤウガ……53
ワニグチサウ……127
ワラヒホテイ……61

第九卷五十音總索引終

內外植物原色大圖鑑

許複製　不模寫

著者檢印證

1019

內外植物原色大圖鑑

第九卷

豫約頒布

發行所　東京市神田區錦町一丁目拾六番地　植物原色大圖鑑刊行會　振替東京四六〇一六番

責任製本所　東京市神田區美土代町三丁目拾四番地　合資會社　山口製本所

印刷所　東京市京橋區築地四丁目四番地　中屋三間印刷株式會社

圖版製版技師　橋本敏夫

寫眞調製者　東京市本郷區駒込曙町拾三番地　光映社寫眞部

製版所　本文及彩色圖　照文社製版部

印刷者　東京市京橋區築地四丁目四番地　鈴木茂

發行者　東京市神田區錦町一丁目拾九番地　小川菊松

著作者　東京市本郷區駒込曙町拾三番地　村越三千男

昭和九年十月二十日再版發行
昭和九年八月廿五日發行
昭和九年八月二十日印刷

32.2.16

638-81
1200501565661
638
81
1